

平成 30 年度介護支援専門員研修改善 に係る調査等一式

報 告 書

※本報告書は、平成 30 年度介護支援専門員研修改善に係る調査等一式(厚生労働省委託事業)として、
株式会社日本総合研究所が厚生労働省から業務委託を受けて作成したものである。

平成 31 年 3 月

平成 30 年度介護支援専門員研修改善に係る調査等一式 報告書

目 次

第 1 章 本調査事業の概要	4
1. 調査の背景・目的	4
2. 調査研究の方法・進め方	5
3. 過年度調査の概要	8
第 2 章 アンケート調査結果報告	13
1. 各調査の概要	13
2. アンケート調査結果	16
(1) 都道府県向け調査結果	16
(2) 研修向上委員会向け調査結果	48
(3) 法定研修実施機関向け調査結果	64
3. 参考資料の収集	93
4. 調査結果の考察	93
(1) 研修改善に向けたマネジメントの状況	93
(2) 研修の運営状況	95
5. 調査結果を踏まえた今後の課題	101
第 3 章 全国介護支援専門員研修向上会議の開催報告	105
1. 全国介護支援専門員研修向上会議の概要	105
2. 都道府県の取り組みの状況	110
(1) 研修記録シートの活用	110
(2) 講師・ファシリテーターの養成・評価	111
(3) 副教材の活用	113
(4) 都道府県独自の課題への取り組み	113
3. 全国会議アンケート調査結果	115
(1) 事後アンケート調査の概要および結果	115
第 4 章 本調査事業のまとめ	117
参考資料1_都道府県向けアンケート調査票	120
参考資料2_研修向上委員会向けアンケート調査票	134
参考資料3_法定研修実施機関向けアンケート調査票	140
参考資料4_全国会議 事後アンケート調査票	205
参考資料5_全国介護支援専門員研修向上会議資料一式	207
参考資料6_参考資料一覧	289

第1章 本調査事業の概要

1. 調査の背景・目的

「介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する検討会」における議論の中間的整理(平成25年1月)において、介護支援専門員の養成に係る研修制度の見直しについて提言がなされたことから、平成28年度に介護支援専門員および主任介護支援専門員の研修カリキュラムの見直しと新カリキュラムにおける研修実施に係るガイドラインの整備などが進められた。

平成29年度からは、各地域において本格的に新カリキュラムに基づく各課程の養成研修がされているところであり、その実施状況や課題、特に研修の質の継続的な向上に向けたPDCAサイクルの構築について調査、検証が実施された。

このなかでは、新カリキュラムに基づく法定研修の実施において特に以下のような点が課題となっていることが整理された。

○PDCAで取り組む内容の充実

研修の実施方法だけでなく研修展開や講師の育成・支援や、地域における法定外研修に係る課題の把握・検証まで踏み込む取り組み、一連のPDCAサイクルへの都道府県の関わり方など

○研修展開および講師育成・支援の具体化

特に講義・演習一体型課目における研修展開の水準を高めるための副教材などの整備を含めた方策、研修展開を前提とした講師の育成と支援の展開など

○研修評価

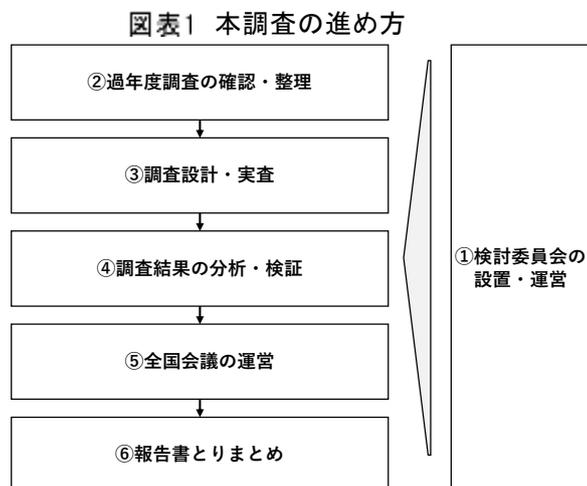
研修の効果の評価、とくにできるだけ定量的なデータを活用した検証のためのデータ整備、修了評価におけるテストなどの活用、講師・ファシリテーターや実習受入機関からの評価の収集・分析など

以上の整理を踏まえ、本年度事業の実施においては、研修実施におけるPDCAサイクルを確立させ、新カリキュラムに基づく研修制度のよりの確な運営を支援していくため、以下の①～④に必要な調査・検証を実施し、その結果を整理・提供することを目的とした。

- ①これまでの研修改善に係る調査などの成果の確認・総括
- ②過年度調査にて抽出された課題の詳細な実態把握および対応施策の提言
- ③都道府県から国への報告書式・運用モデルについての整理
- ④関係者の情報共有の場の設置・運営

2. 調査研究の方法・進め方

前述の目的を踏まえ、本調査研究は以下の方法・進め方にて検討を行った。



① 委員会の設置・運営

本事業では、学識経験者、実務者などの有識者からなる研修向上委員会およびワーキンググループを設置し、各種検討を行った。主な検討内容および委員会のメンバーを以下に示す。なお、ワーキンググループの第1回は研修向上委員会と同時開催とした。

図表2 研修向上委員会 実施概要

会合名	日程	主な検討事項
第1回研修向上委員会	平成30年10月16日	<ul style="list-style-type: none"> 調査・検討の進め方および論点 アンケート調査設計
第2回研修向上委員会	平成31年2月11日	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査結果 全国会議運営方針

図表3 研修向上委員会委員(五十音順・敬称略)

氏名	所属先・役職名
石山 麗子	国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授
齊木 大	株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト
○藤井 賢一郎	上智大学 総合人間科学学部社会福祉学科 准教授
堀部 徹	NPO 法人岡山県介護支援専門員協会 会長

○印：委員長

図表4 ワーキンググループ 実施概要

会合名	日程	主な検討事項
第1回ワーキンググループ	平成30年10月16日	<ul style="list-style-type: none"> 調査・検討の進め方および論点 アンケート調査設計
第2回ワーキンググループ	平成30年11月13日	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査設計
第3回ワーキンググループ	平成31年2月4日	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査結果 全国会議運営方針

図表5 ワーキンググループ委員(五十音順・敬称略)

氏名	所属先・役職名
○齊木 大	株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト
中馬 三和子	一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会 理事
戸田 栄子	千葉県健康福祉部高齢者福祉課 副課長
原口 道子	公益財団法人東京都医学総合研究所 難病ケア看護プロジェクト 主席研究員
福原 健夫	公益財団法人総合健康推進財団 関東支部 課長
村田 雄二	特定非営利活動法人静岡県介護支援専門員協会 会長
望月 裕美	一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会 全県理事
森 昌弘	岩手県保健福祉部長寿社会課 介護福祉担当課長

○印：座長

(オブザーバー)

厚生労働省老健局振興課人材研修係

② 過年度調査の確認・整理

本年度の調査を実施するにあたり、介護支援専門員の法定研修に関連する過年度調査事業について整理し、これらを踏まえて今年度実施事項の検討および調査設計を行った。

③ 調査設計・実査

本調査事業では「都道府県」、「研修向上委員会」、「法定研修実施機関」を対象にアンケー

ト調査を実施した。アンケート調査票の設計は研修向上委員会およびワーキンググループで実施した。実査は電子メールにて、Microsoft Excel 形式の調査票を送信し、電子メール添付にて回収した。回収状況は以下の図表のとおりであった。なお、調査実査業務の一部は一般社団法人日本介護支援専門員協会に再委託し、共同で実施した

図表6 アンケート調査回収結果

対象		配布数	回収数	回収率
都道府県の介護保険担当部局		47	47	100.0%
研修向上委員会事務局担当者		47	44	93.6%
研修実施機関の 企画担当者	実務研修	50	49	98.0%
	専門Ⅰ	54	53	98.1%
	専門Ⅱ	57	57	100.0%
	再研修	51	49	96.1%
	主任	47	47	100.0%
	主任更新	49	49	100.0%

④ 調査結果の分析・検証

アンケート調査結果について、ワーキンググループおよび研修向上委員会で検討を行い、①研修改善に向けたマネジメントの状況、②研修の運営状況の2つの観点から調査結果の取りまとめ、分析・検証を実施した。

⑤ 全国会議の運営

平成28年度から施行された新研修カリキュラムに基づく研修制度のより適切な運営の支援のため、本事業のアンケート調査結果などの報告および協議や意見交換を行うために全国介護支援専門員研修向上会議を開催した。

なお、全国介護支援専門員研修向上会議の運営に関わる業務の一部は一般社団法人日本介護支援専門員協会に再委託し、共同で実施した。

3. 過年度調査の概要

本年度の調査を実施するにあたり、介護支援専門員の法定研修に関連する過年度調査事業について整理し、これらを踏まえて調査設計を行った。以下に整理を行った調査事業の概要および各調査で示された今後の課題・提言について示す。

(ア) 平成 29 年度介護支援専門員研修改善事業

① 調査概要

年度・事業名	平成 29 年度介護支援専門員研修改善事業
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 新カリキュラムに基づく研修制度のより適切な運営を支援すること ● 特に、①都道府県ごとの PDCA サイクルの構築、②介護支援専門員実務研修の実態把握、③新カリキュラムの成果の調査分析を図ること
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修の実態や課題を調査し、改善点などを検討したうえで、改善策の伝達や意見交換などの場を提供。研修における PDCA サイクルを構築するために必要な調査、検証を実施
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 47 都道府県の介護保険担当部局(介護支援専門員所管部局) ● 47 都道府県の研修実施機関
主な調査項目	<p><都道府県></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法定研修の実施状況 ● 研修向上委員会の設置・運営状況、予算の状況 ● 受講要件設定 など <p><研修実施期間></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修の実施状況 ● 法定研修に係る組織間での連携状況 ● 講師などの確保・育成状況 など

② 調査結果を踏まえた今後の課題・提言(報告書などより抜粋)

- 研修向上委員会による研修の評価・見直し
 - 研修向上委員会の設置が進み、多くの県で企画検討・見直しを実施
 - 検討のための材料が少ない。また、研修向上委員会自体の運営の評価も少ない
- シラバス作成とコースデザイン担当者の設置
 - 過半数の地域・実施機関でシラバス作成、コースデザイン担当者の設置が行われている
 - 科目間の調整や講師などの負担軽減に向け、取り組みの推進が期待される
- 研修記録シートの活用
 - 修了評価での利活用が進んでいる
 - 集計して活用している例は少ない。研修向上委員会での検討材料や、講師などへのフィードバックへの活用が望まれる
- 講師・ファシリテーターの養成・支援
 - 都道府県や研修向上委員会による講師などの養成・支援が行われている
 - 講師などの負担感を考慮すると、科目の内容に関する助言や副教材の共通化など

の支援が期待される

- 実務研修・実習の運営方法の検証
 - 地域の違いを踏まえた運営方法が採られている
 - 今後、実習受入機関の負担軽減を踏まえた、運営方法の検証が必要
- 研修の運営実態を踏まえたガイドラインの見直し
 - 講義・演習一体型科目の講義展開を中心にガイドラインを一部変更している例がある
 - 実務研修の実習運営を含め、各地域での運営実態を踏まえてガイドラインの見直しの検討が必要

(イ) 平成 29 年度介護支援専門員研修の効果に関する調査等事業

① 調査概要

年度・事業名	平成 29 年度介護支援専門員研修の効果に関する調査等事業
調査目的	● 研修参加者や関係者の評価や課題について分析を行い、研修の標準化および質の向上を図ること
主な実施内容	● 研修改善事業において対象とならない受講者本人、管理者、講師などに受講効果に関する調査を実施
調査対象	● 研修受講者 ● 居宅介護支援事業所および地域包括支援センターの管理者 ● 研修講師およびファシリテーター
主な調査項目	<研修受講者> ● 研修の成果・理解度 ● 研修内容への評価 など <居宅介護支援事業所および地域包括支援センターの管理者> ● 研修に参加した職員の成果・理解度への評価 など <研修講師およびファシリテーター> ● 講師向け研修の実施状況 ● 新カリキュラム導入の効果認識 など

② 調査結果を踏まえた今後の課題・提言(報告書などより抜粋)

- 実務研修における実習効果の向上
 - 実務研修における実習の効果は、受講者やその所属する管理者も高く評価しており、就業後にも大きな効果を生んでいると考えられる。しかし、実習指導については未だ指導方法や指導のポイントが確立されておらず、実習指導者の裁量に依存している状況である。
 - そこでさらに実習効果をあげるために実習指導者の育成については、指導内容の平準化を目的に、実習指導の方法から検討し、その結果を踏まえ全国共通のガイドラインなどで示すべきである。
- 初任者の育成

- 専門研修課程 I の調査において、旧カリキュラム時代より自己評価の低下が課題と考える。特に実務研修と専門研修課程 I との中間にあった実務従事者基礎研修が実務研修のなかに含まれた事で、実務従事後の早期の研修が無い状況になった事も一因として考えられる。
- 全国レベルはもとより、都道府県や市町村単位でも研修機会の確保に努めるとともに、事業所における OJT についても、事業所の管理者研修などの取り組みを実施すべきである。
- 研修評価
 - 研修に対する評価が、現状では自己評価によるものが多くなっている。今回の調査についても自己評価が主体である客観的評価が難しい状況である。このような状況を解決するために客観的評価の導入は必要であり、都道府県単位や受講者単位で相互に対比して、改善点が明確になるようなシステム作りが必要である。
- 講師・ファシリテーターへの支援
 - 講師やファシリテーターの担当者の多くは、介護支援専門員であり、教育や指導の専門職ではないため、議論のポイントや指導方法に差異が発生している。また、講義の進め方も各自講師任せとなっている状況である。そういった課題を解決するために、講師やファシリテーターの支援体制が組織的かつ機動的に機能するように、相談窓口の設置や必要な知識習得のための研修機会の確保、シラバスやコースデザイン担当者の設置など検討すべきである。

(ウ) 平成 28 年度介護支援専門員研修改善事業

① 調査概要

年度・事業名	平成 28 年度介護支援専門員研修改善事業
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 新カリキュラムに基づく研修制度のより適切な運営を支援すること ● 特に、指導者養成研修の効果的な実施に向けた検討を行い、各都道府県が行う研修の標準化と質の担保を図ること
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修指導者を対象とした養成研修に向けた助言を実施 ● 養成研修の効果の把握・評価を実施 ● 把握・評価結果を踏まえて、効果的に研修を実施するうえでの留意点などの改善策の取りまとめを実施
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 47 都道府県の介護保険担当部局(介護支援専門員所管部局) ● 47 都道府県の研修実施機関
主な調査項目	<p><都道府県></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法定研修の実施状況 ● 研修向上委員会の設置・運営状況、予算の状況 ● 受講要件設定 など <p><研修実施機関></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修の実施状況 ● 法定研修に係る組織間での連携状況 ● 講師などの確保・育成の状況 など

② 調査結果を踏まえた今後の課題・提言(報告書などより抜粋)

● 研修実施主体としての責任

- 都道府県は介護支援専門員研修の実施主体として責任を持ちながら研修の運営に関わることが求められる一方で、研修の企画・検討に参加していない、研修向上委員会に関する事業評価が行われていないなどのケースが見られる。
- 都道府県は、それぞれの地域で関わる介護保険制度に関わる様々な課題などを踏まえながら、ケアマネジャーにどのような知識や技術が必要であるかを考え、また、そうした知識や技術をどのように知識や技術をどのように習得していただくかについて研修実施機関と共有することが重要。そのためには、研修の企画・運営の一切を研修実施機関に任せきりにするのではなく、都道府県においても積極的に研修の企画・検討に関与していくことが必要ではないか。
- 対応案としては、「研修実施主体としての都道府県の役割の明確化」、「都道府県の研修実施機関とが十分に連携を図っている事例の周知」などが考えられる。

● 研修向上委員会の運営

- 都道府県は研修の実施主体として、研修の企画・検討、研修の実施、研修実施後の評価、課題の把握、課題への対応策の検討など、介護支援専門員研修を PDCA サイクルを回しながら効果的・継続的に実施していくことが求められる。
- こうした PDCA サイクルを適切に回していくためには、研修実施に関する関係者が集まる研修向上委員会(注:地域によって名称は様々)の場を十分に活用することが考えられるが、研修向上委員会の意義や役割が明確ではなく、関係者間で十分に共有できていないのではないか。
- 対応案としては、「研修向上委員会の意義や役割の明確化」、「研修向上委員会において研修実施機関後の評価を実施」、「研修向上委員会の運営規定案(仮)の例示」などが考えられる。

● 研修ガイドラインの活用

- 全ての都道府県で研修ガイドラインが活用されている一方で、ガイドラインの活用状況はそれぞれの地域で異なっている。
- 研修の企画・検討は、各都道府県がそれぞれ地域の実情に応じて行うことが前提であるが、一方で各都道府県が研修ガイドラインをより効果的に活用できるよう工夫していくことが必要ではないか。
- 対応案としては、「ガイドラインの周知徹底」、「都道府県などから、ガイドラインをより効果的に活用するための対応について意見を集約(意見を踏まえて、必要に応じてガイドラインを見直し)」などが考えられる。

● 受講料の設定

- 研修実施体制、受講者数、会場、研修スケジュール、公費などによる助成有無など

の違いを十分に考慮する必要があるが、地域によって受講料について差がみられる状況。受講者負担に配慮する必要があるのではないか。

- ▶ 対応案としては、「受講者負担に十分に配慮するため、法定研修にかかる経費への補助について地域医療介護総合確保基金の活用を周知」などが考えられる。

- 研修運営について(その他)

- ▶ 研修運営にあたって、講師やファシリテーターへの関わり方、研修内容に関する受講者の理解度の評価方法、また、研修への欠席などの取り扱いなど、各地域において様々である。
- ▶ 一方、これらについてどのような運営方法が効果的であるかについて、都道府県の事例も参考にしつつ、その実態を把握する必要があるのではないか。
- ▶ 対応案としては、「都道府県における地域の実情を考慮すると、全国一律のルールを定めるのは困難であるが、共通して取り組むことが可能であるものについては、都道府県の事例も踏まえながら整理」などが考えられる。

第2章 アンケート調査結果報告

1. 各調査の概要

本調査事業では「都道府県」、「研修向上委員会」、「法定研修実施機関」を対象に調査を実施した。各調査の実施概要を以下に示す。なお、調査実査業務の一部を一般社団法人日本介護支援専門員協会に再委託し、共同で実施した。

(ア) 都道府県向け調査

調査対象	都道府県の介護保険担当部局(介護支援専門員所管部局)
調査方法	電子媒体の調査票(MS-Excel等)を電子メールで配布・回収
調査時期	2018年12月5日(水)～2018年12月27日(木) ※27日以降も調査票の回収を継続。2019年2月15日(金)回収分までを分析対象とした。
サンプル数・回収率	配布数:47件 回収数:47件 回収率:100.0%
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護支援専門員の状況 ● 居宅介護支援事業所の状況 ● 実務研修の実習受け入れ事業所の状況 ● 研修ガイドラインの活用状況 ● 研修向上委員会の運営状況 ● 都道府県の研修への参画状況 ● 研修向上委員会に対する運営評価(事業評価)の実施状況 ● 法定研修実施状況についての国への報告状況 ● 実務研修・主任研修の実施状況 ● 法定研修の実施状況(委託状況、交付金、受講要件など) ● 講師などの人材育成の状況 ● 資質向上事業の行政評価の実施状況 ● 法定外研修の実施状況および職能団体への期待 など

(イ) 研修向上委員会向け調査

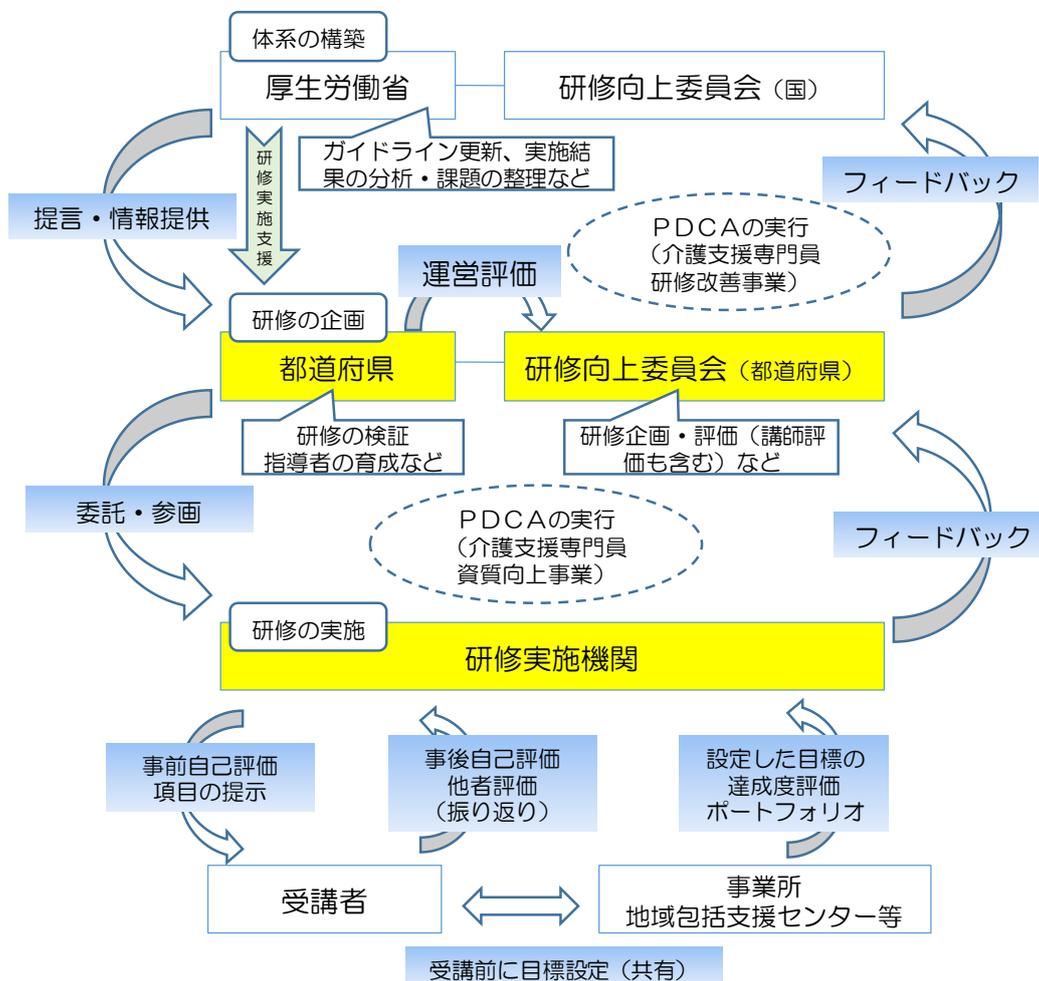
調査対象	都道府県の研修向上委員会事務局担当者
調査方法	電子媒体の調査票(MS-Excel等)を電子メールで配布・回収
調査時期	2018年12月5日(水)～2018年12月27日(木) ※27日以降も調査票の回収を継続。2019年2月15日(金)回収分までを分析対象とした。
サンプル数・回収率	配布数:47件 回収数:44件 回収率:93.6%
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修向上委員会・事務局の基本情報 ● 研修向上委員会の実施状況 ● 研修記録シートの活用状況 ● 研修実施機関との連携状況 ● 講師などの人材育成の状況 ● 法定外研修の実施状況 など

(ウ) 法定研修実施機関向け調査

調査対象	研修実施機関の企画担当者 ※課程別
調査方法	電子媒体の調査票(MS-Excel 等)を電子メールで配布・回収
調査時期	2018年12月5日(水)～2018年12月27日(木) ※27日以降も調査票の回収を継続。2019年2月15日(金)回収分までを分析対象とした。
サンプル数・回収率	<p><配布数></p> <p>実務研修 :50件 専門Ⅰ :54件 専門Ⅱ :57件 再研修 :51件 主任研修 :47件 主任更新 :49件</p> <p><回収数・回収率></p> <p>実務研修 :49件(98.0%) 専門Ⅰ :53件(98.1%) 専門Ⅱ :57件(100.0%) 再研修 :49件(96.1%) 主任研修 :47件(100.0%) 主任更新 :49件(100.0%)</p>
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 法定研修の運営状況 ● 研修科目・研修ツール・教材の状況 ● 講師の確保、育成の状況 ● ファシリテーターの確保、育成の状況 ● 実習の実施状況 ● 研修評価の実施状況 など

(参考)法定研修のPDCA サイクルにおける調査対象の位置づけ<イメージ>

図表7 PDCA サイクルにおける調査対象の位置づけ<イメージ>



※上図は法定研修のPDCA サイクルの一例を示したものである。

2. アンケート調査結果

(1) 都道府県向け調査結果

【単純集計表_都道府県向け調査】

(I) 介護支援専門員の状況について

問1 介護支援専門員の登録者数・現任者数(介護支援専門員として従事している方)についてご回答ください

●登録者数

n	47
平均	13,831.6
標準偏差	12,846.5
最小値	3,734.0
最大値	62,044.0
中央値	8,440.5

●現任者数

n	45
平均	4,823
標準偏差	6,167
最小値	1,109
最大値	28,988
中央値	2,733

問1-2-1 現任者数(介護支援専門員として従事している方)の把握状況についてご回答ください

	n	①把握している	②把握していない
地域別(2次医療圏別)の現任者数	47	4	43
経験年数別の現任者数	47	0	47
年代別の現任者数	47	5	42

問1-3 研修の平成30年度の受講(予定)者数、平成31年度の受講見込み者数についてご回答ください

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
		実務研修	専門研修課程 I	専門研修課程 II	再研修	(実務更新未経験者)	(実務更新経験者)	門主任研修 員主任介護支援専	門主任更新研修 員主任介護支援専
平成30年度受講(予定)者数	n	47	47	47	47	47	47	47	47
	平均	222.6	215.4	368.7	125.6	229.4	622.2	189.0	257.0
	標準偏差	476.4	277.9	565.4	110.8	265.8	632.0	173.3	241.3
	最小値	30.0	7.0	0.0	18.0	35.0	0.0	50.0	62.0
	最大値	2317.0	1630.0	2632.0	541.0	1458.0	3939.0	861.0	1260.0
中央値	78.0	131.0	166.0	87.5	130.0	456.0	124.0	172.0	
平成31年度の受講見込者数	n	47	47	47	47	47	47	47	47
	平均	177.0	196.0	316.0	119.0	186.6	471.8	220.4	223.9
	標準偏差	348.2	247.2	584.3	118.8	272.7	741.9	272.5	231.2
	最小値	49.0	10.0	5.0	30.0	40.0	0.0	60.0	51.0
	最大値	2307.0	1435.0	3337.0	527.0	1500.0	4400.0	1336.0	1200.0
中央値	105.0	150.0	197.0	100.0	140.0	500.0	150.0	180.0	

問1-4 平成30年度の主任介護支援専門員の登録者数(修了予定者含)数についてご回答ください

	①登録者数(修了予定者含)数	②内、主任更新研修受講修了者数
n	41	44
平均	1442.2	473.8
標準偏差	1225.6	496.6
最小値	144.0	4.0
最大値	5725.0	2858.0
中央値	1063.0	337.5

(Ⅱ)居宅介護支援事業所の状況について

問2-1 (平成29年度末の)居宅介護支援事業所数をご回答ください

n	47
平均	892.5
標準偏差	807.4
最小値	197.0
最大値	3935.0
中央値	593.0

問2-2 (平成29年度末の)特定事業所加算を取得している事業所数をご回答ください

n	46
平均	269.2
標準偏差	272.7
最小値	63.0
最大値	1581.0
中央値	174.0

(Ⅲ)平成29年度の実務研修の実習の受入事業所について

問3-1 実務研修の実習の受入をしている事業所数をご回答ください

n	45
平均	255.9
標準偏差	216.6
最小値	64.0
最大値	1157.0
中央値	176.0

問3-2 問3-1(実習の受入をしている事業所数)の内訳をご回答ください(複数選択可)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①特定事業所加算Ⅰ	35	74.5%
②特定事業所加算Ⅱ	35	74.5%
③特定事業所加算Ⅲ	35	74.5%
④居宅介護支援事業所(特定事業所の算定なし)	24	51.1%
⑤事業所総数しか把握していない	7	14.9%
⑥内訳は把握していない	6	12.8%
無回答	0	0.0%

問3-2 問3-1(実習の受入をしている事業所数)の内訳をご回答ください

	①特定事業所加算Ⅰ	②特定事業所加算Ⅱ	③特定事業所加算Ⅲ	④居宅介護支援事業所
n	35	34	34	27
平均	12.9	113.1	75.4	124.1
標準偏差	31.2	82.6	54.4	333.0
最小値	1.0	27.0	25.0	0.0
最大値	192.0	342.0	211.0	1373.0
中央値	8.0	83.0	54.5	17.0

※①～④の合算数での報告が1件あるため、誤差あり

(Ⅳ) 研修ガイドラインの活用について

問4-1 研修ガイドラインに沿った形で研修を実施しているかご回答ください(1つ選択) n=47

	件数	% (全体)
①ガイドラインに沿っている	24	51.1%
②ガイドラインにほぼ沿っている	22	46.8%
③都道府県独自で実施している	1	2.1%
無回答	0	0.0%

問4-2 問4-1で、②(ガイドラインにほぼ沿っている)③(都道府県独自で実施している)を選択した方のみご回答ください
研修ガイドラインに沿っていない部分についてご回答ください(複数選択可) n=23

	実務研修	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任研修	主任更新
n (%ベース)	23	23	23	23	23
①修了評価の実施	22.2%	22.2%	16.7%	21.1%	14.3%
②研修記録シートの実施	11.1%	11.1%	5.6%	21.1%	19.0%
③研修手法の特徴と留意点	5.6%	5.6%	5.6%	15.8%	14.3%
④各科目の修得目標	5.6%	5.6%	5.6%	5.3%	9.5%
⑤各科目の内容	11.1%	11.1%	5.6%	15.8%	9.5%
⑥各科目のポイント	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	9.5%
⑦講義・演習の展開例	77.8%	88.9%	88.9%	94.7%	95.2%
⑧把握していない	16.7%	16.7%	16.7%	10.5%	9.5%
無回答	27.8%	27.8%	27.8%	21.1%	9.5%

問4-3 問4-2で、⑦(講義・演習の展開例)を選択した場合、該当するものをご回答ください(複数選択可)

	実務研修	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任研修	主任更新
n (%ベース)	14	16	16	16	19
①修了評価の実施	56.3%	62.5%	62.5%	50.0%	52.6%
②研修記録シートの実施	56.3%	68.8%	62.5%	68.8%	63.2%
③研修手法の特徴と留意点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④各科目の修得目標	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤各科目の内容	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥各科目のポイント	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦講義・演習の展開例	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧把握していない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	5.3%

問4-4 問4-1で②(ガイドラインにほぼ沿っている)③(都道府県独自で実施している)を選択した方のみご回答ください。
研修ガイドラインに沿っていない理由があれば、具体的にご記入ください

※自由記述回答については後述

問4-5 講義演習の展開例について、研修ガイドラインとの変更箇所など、
該当するものをご回答ください(複数選択可) n=47

	実務研修	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任研修	主任更新
n (%ベース)	47	47	47	47	47
①展開例通りすべて行った	23.4%	25.5%	25.5%	25.5%	23.4%
②展開例を一部変更した	34.0%	31.9%	31.9%	31.9%	34.0%
③展開例をすべて変更した	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	6.4%
無回答	38.3%	38.3%	38.3%	38.3%	36.2%

問4-6 ガイドラインに沿って研修を実施する上で課題があれば具体的にお書きください

※自由記述回答については後述

(V) 研修向上委員会について

問5-1 研修向上委員会の設置の有無についてご回答ください(1つ選択)n=47

	件数	% (全体)
①設置あり	43	91.5%
②設置なし	4	8.5%
無回答	0	0.0%

問5-2 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

介護支援専門員にかかる研修のガイドラインで示された研修向上委員会(名称が異なっても実態があれば可)の設置主体についてご回答ください(1つ選択)n=43

	件数	% (全体)
①都道府県が設置	26	60.5%
②研修実施機関が設置(委託)	13	30.2%
③左記以外で設置	4	9.3%
無回答	0	0.0%

問5-3 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会の運営予算についてご回答ください(1つ選択)n=43

	件数	% (全体)
①都道府県が全額負担	30	71.4%
②都道府県と研修実施機関が負担	2	4.8%
③研修実施機関が全額負担	8	19.0%
④その他	2	4.8%
無回答	1	2.4%

問5-4 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会への都道府県の職員の参画状況についてご回答ください(複数回答可)n=43

	件数	% (全体)
①委員として参画している	22	52.4%
②事務局として参画している	24	57.1%
③オブザーバーとして参画している	8	19.0%
④委員会に都道府県職員は参画していない	0	0.0%
⑤その他	1	2.4%
無回答	2	4.8%

問5-5 問5-4で④(委員会に都道府県職員は参画していない)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会に都道府県の職員が参画していない理由を具体的にご記入ください

※自由記述回答については後述

問5-6 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

都道府県が検討の基礎資料として、研修向上委員会に提供している情報等についてご回答ください(複数回答可)n=43

カテゴリ	件数	% (全体)
①都道府県内の要介護高齢者の状況	4	9.3%
②都道府県内の介護給付サービスの状況	3	7.0%
③都道府県内の地域密着型サービス等の社会資源の整備状況	2	4.7%
④地域ケア会議で把握した介護支援専門員をとりまく課題整理総括表	0	0.0%
⑤地域同行型研修の実施状況	1	2.3%
⑥他職種連携の取り組みの整備状況	0	0.0%
⑦その他	21	48.8%
⑧特に、研修向上委員会への情報提供は行っていない	19	44.2%
無回答	5	11.6%

問5-7 問5-1で②(設置なし)を選択した方のみご回答ください
 研修向上委員会を設置していない理由を具体的にご記入ください

※自由記述回答については後述

(VI) 都道府県における研修への参画状況について

問6-1 都道府県の担当者が、研修の企画・検討に参加していますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①すべての課程・科目で検討に参加している	14	29.8%
②一部の課程・科目の検討に参加している	25	53.2%
③検討には全く参加していない	8	17.0%
無回答	0	0.0%

問6-2 問6-1で①あるいは②を選択した方のみご回答ください

都道府県の担当者は研修企画への参画はどのように行っていますか(複数回答可)n=39

カテゴリ	件数	% (全体)
①企画・検討の会議への出席	37	94.9%
②研修の具体的な企画内容に関する文書による提案	1	2.6%
③その他	6	15.4%
無回答	0	0.0%

問6-3 問6-1で③(検討には全く参加していない)を選択した方のみご回答ください

都道府県の担当者が研修企画への参画を行っていない理由をご回答ください(複数回答可)n=8

カテゴリ	件数	% (全体)
①具体的な内容は研修実施機関に任せているから	6	75.0%
②都道府県担当者の時間の確保が難しいから	2	25.0%
③その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

問6-4 問6-3で①を選択した方のみご回答ください

研修実施機関に任せている理由をご回答ください

※自由記述回答については後述

(Ⅶ) 都道府県における研修向上委員会の運営に対する評価(事業評価)の状況について

問7-1 研修向上委員会の運営に対する評価(事業評価)を都道府県として行っていますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行っている	3	6.4%
②行っていない	43	91.5%
無回答	1	2.1%

問7-2 問7-1で①(行っている)を選択した方のみご回答ください
運営評価(事業計画)の方法についてご回答ください

※自由記述回答については後述

問7-3 問7-1で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください
運営評価(事業評価)を行っていない理由をご回答ください(複数回答可)n=43

カテゴリ	件数	% (全体)
①運営評価の方法・評価基準が分からないから	26	60.5%
②研修ガイドラインに運営評価に関する記載がないから	8	18.6%
③都道府県が主体となり、委員会の運営を行っており、運営評価を行う必要性を感じていないから	9	20.9%
④研修向上委員会が未設置だから	3	7.0%
⑤国から運営評価の実施を求められていないから	18	41.9%
⑥その他	6	14.0%
無回答	0	0.0%

問7-4 問7-1で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください
今後の運営評価(事業計画)の実施に向けて、都道府県内で検討していることがあればご回答ください。
(例:評価体制、評価基準など)

※自由記述回答については後述

問7-5 都道府県における研修向上委員会の運営評価(事業評価)について
国へ報告を行っていますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行っている	0	0.0%
②行っていない	46	97.9%
無回答	1	2.1%

問7-6 問7-5で①(行っている)を選択した方のみご回答ください
運営評価(事業計画)の都道府県から国への報告方法について教えてください

※自由記述回答については後述

問7-7 問7-5で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください
運営評価(事業評価)の報告を行っていない理由を選んでご回答くださいn=46

カテゴリ	件数	% (全体)
①国から報告内容を特に示されていないから	28	60.9%
②国から照会や請求がないから	22	47.8%
③報告する情報がないので必要性を感じていないから	8	17.4%
④研修向上委員会が未設置だから	3	6.5%
⑤義務ではないから	6	13.0%
⑥その他	7	15.2%
無回答	0	0.0%

問7-8 現在、国では都道府県における研修向上委員会の運営評価(事業評価)指標及び基準の整備に関して、検討を行っております。今後、都道府県が研修向上委員会の運営評価(事業評価)を行う際に用いるべきだと考える指標及び基準があれば、その内容を具体的にご回答ください。

※自由記述回答については後述

問7-9 今後、研修向上委員会の運営評価(事業評価)を行う場合に、研修向上委員会や研修実施機関等から収集しておきたい記録や情報等があれば、その内容を具体的にご回答ください。
(例:委員会の議事録、研修記録シート、修了評価のデータなど)

※自由記述回答については後述

(Ⅷ) 都道府県における法定研修の実施状況の国への報告状況について

問8-1 国から報告の要請があったもの以外で、都道府県における法定研修の実施状況について国へ報告を行っていますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	%(全体)
①行っている	0	0.0%
②行っていない	47	100.0%
無回答	0	0.0%

問8-2 問8-1で①(行っている)を選択した方のみご回答ください

都道府県から国への法定研修の実施状況の報告方法についてご回答ください(1つ選択)n=0

カテゴリ	件数	%(全体)
①「介護支援専門員法定研修実施報告書(案)」を使用して報告を行っている	0	0.0%
②都道府県で作成した独自様式で報告を行っている	0	0.0%
③その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

問8-3 現在、国では法定研修の実施状況に関して、都道府県と国の情報共有の仕組みの整備について検討を行っております。仮に、法定研修の実施状況に関する以下の記録や情報の国への報告を定期的にお願した場合のご対応の可否についてご回答ください。

「報告ができない」を選択した項目についてはその理由をご回答ください。

	n	①報告できる	②報告できない
研修記録シートの集計・分析結果	46	19	27
シラバスの作成状況	46	36	10
独自テキストなどの副教材の使用状況	46	42	4
講師・ファシリテーターの確保・育成の状況	46	39	7

(Ⅸ) 実務研修について／主任介護支援専門員研修について

問9-1 平成30年度実務研修の実習研修で、居宅介護支援事業所の実習受入状況について事前に把握していますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行っている	38	80.9%
②平成30年度は行っていないが、31年度以降は行う予定	0	0.0%
③行っておらず、今後行う予定	9	19.1%
無回答	0	0.0%

問9-2 実習を受け入れる居宅介護支援事業所への研修(説明会)の実施についてご回答ください(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行っている	37	78.7%
②平成30年度は行っていないが、31年度以降は行う予定	1	2.1%
③行っておらず、今後行う予定	8	17.0%
無回答	1	2.1%

問9-3 問9-1で①(行っている)を選択した方のみご回答ください

当日資料(プログラム)等・案内文を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

※ご提供資料の概要については後述

問9-4 問9-1で①(行っている)を選択した方のみご回答下さい

実習を受け入れる居宅介護支援事業所に対する、実習に関する説明の具体的な方法をご回答ください

※自由記述回答については後述

問9-5 主任介護支援専門員研修(主任介護支援専門員更新研修)の修了日の設定方法についてご回答ください(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①研修最終日=修了日 としている	37	78.7%
②年度末(3月31日)=修了日 としている	1	2.1%
③研修記録シート(3ヶ月後)の提出期限=修了日としている	4	8.5%
④その他	5	10.6%
無回答	0	0.0%

(X) 法定研修の実施について

問10-1 研修の実施形式についてご回答ください(複数回答可)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①都道府県直営で実施	2	4.3%
②指定機関への委託にて実施	17	36.2%
③指定機関が実施	36	76.6%
無回答	1	2.1%

問10-2 問10-1で②(指定機関への委託にて実施)を選択した方のみご回答ください
平成30年度の委託費をご回答ください(回答可能な範囲で構いません)

		① 実務 研修	② 専 門 研 修 課 程 I	③ 専 門 研 修 課 程 II	④ 再 研 修	⑤ (実 務 未 経 験 者) 更 新 研 修	⑥ (実 務 経 験 者) 更 新 研 修	門⑦ 主任 介 護 支 援 専 門 員 研 修	門⑧ 主任 介 護 支 援 専 門 員 更 新 研 修
全受講者 数	n	10	10	9	15	10	9	16	16
	平均	65.4	150.3	314.8	108.6	128.0	351.9	161.9	203.7
	標準偏差	22.8	83.4	313.0	100.6	87.7	173.7	182.1	163.8
	最小値	40	56	0	31	35	52	26	46
	最大値	107	340	1000	415	350	507	693	691
	中央値	58	128	260	67	112.5	427	103.5	153.5
コース名	n	7	6	6	10	7	6	9	9
	平均	1.5	2.0	3.0	2.5	1.5	2.0	1.3	1.3
	標準偏差	0.5	0.0	1.0	2.1	0.5	0.0	0.4	0.4
	最小値	1	2	2	1	1	2	1	1
	最大値	2	2	4	6	2	2	2	2
	中央値	1.5	2.0	3.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0
委託費	n	9	10	7	14	6	7	15	14
	平均	1190.7	834.5	1095.2	614.1	140.0	569.5	942.6	895.1
	標準偏差	1082.8	624.6	690.9	570.2	140.0	101.5	1187.2	1323.4
	最小値	0	240	468	0	0	468	216	46
	最大値	3,395	2,238	2,433	1,700	280	671	3,711	5,216
	中央値	940.0	619.5	920.0	441.0	140.0	569.5	412.5	300.0

問10-3 平成30年度の法定研修実施に対する地域医療介護総合確保基金の
交付状況をご回答ください(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①交付あり	23	48.9%
②交付なし	24	51.1%
無回答	0	0.0%

問10-4 問10-3で①(交付あり)を選択した方のみご回答ください
 交付額を回答ください。(回答可能な範囲で構いません)(単位:万円)

	① 実務 研修	② 専 門 研 修 課 程 I	③ 専 門 研 修 課 程 II	④ 再 研 修	⑤ 更 新 研 修 未 経 験 者 (⑥ 更 新 研 修 経 験 者)	⑦ 門 員 研 修 主 任 介 護 支 援 専	⑧ 門 員 更 新 研 修 主 任 介 護 支 援 専
n	14	17	12	11	10	11	19	17
平 均	664.1	513.1	258.1	143.4	1293.5	487.5	254.9	194.0
標準偏差	949.4	916.6	157.5	284.3	2874.5	554.6	166.1	170.1
最小値	0	43	11	0	0	0	0	0
最大値	2,904	3,888	494	890	7,721	1,612	624	582
中央値	293.0	276.0	240.0	40.0	0.0	321.5	187.0	153.0

問10-5 問10-3で①(交付あり)を選択した方のみご回答ください
 交付金の主な用途をご回答ください(複数回答可)n=23

カテゴリ	件数	%(全体)
①受講料の軽減(受講料に充当)	12	52.2%
②会場費	7	30.4%
③研修の講師謝金	10	43.5%
④運営にかかる人件費	7	30.4%
⑤その他	6	26.1%
無回答	0	0.0%

(XI) 受講要件設定について

問11-1 独自に設定している要件を研修課程毎にご回答下さい

※特に昨年度から変更があった場合は変更点をご回答ください

①実務研修	※自由記述回答については後述
②専門研修課程 I	※自由記述回答については後述
③専門研修課程 II	※自由記述回答については後述
④再研修	※自由記述回答については後述
⑤更新研修(実務未経験者)	※自由記述回答については後述
⑥更新研修(実務経験者)	※自由記述回答については後述
⑦主任介護支援専門員研修	※自由記述回答については後述
⑧主任介護支援専門員更新研修	※自由記述回答については後述

(XII) 講師等の人材育成について

問12-1 都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①不足	9	19.1%
②やや不足	13	27.7%
③適切	15	31.9%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥分からない/把握していない	10	21.3%
無回答	9	0.0%

問12-2 講師の育成や支援を都道府県として行っていますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①実施している	13	27.7%
②実施していないが、今後実施する予定である	5	10.6%
③実施していないし、今後実施する予定もない	28	59.6%
無回答	1	2.1%

問12-3 問12-2で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください
講師の育成や支援を実施しない理由を教えてください

※自由記述回答については後述

問12-4 問12-2で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください
都道府県として実施した又は実施する予定の講師の育成・支援施策として、
該当するものをご回答ください。(複数回答可)n=18

カテゴリ	件数	% (全体)
①講師養成研修の開催	12	66.7%
②研修ガイドラインについての説明会の開催	3	16.7%
③独自の研修教材(副教材)の開発	0	0.0%
④シラバスの作成方法の説明や指導	0	0.0%
⑤講師同士の意見交換会の開催	5	27.8%
⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など)	6	33.3%
⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施(講師の意見の吸い上げ)	8	44.4%
⑧その他	6	33.3%
無回答	0	0.0%

問12-5 都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①不足	6	12.8%
②やや不足	15	31.9%
③適切	15	31.9%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥分からない/把握していない	11	23.4%
無回答	0	0.0%

問12-6 ファシリテーターの育成や支援を都道府県として行っていますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①実施している	14	29.8%
②実施していないが、今後実施する予定である	5	10.6%
③実施していないし、今後実施する予定もない	27	57.4%
無回答	1	2.1%

問12-7 問12-6で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください
ファシリテーターの育成や支援を実施しない理由を教えてください

※自由記述回答については後述

問12-8 問12-6で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください
都道府県として実施した又は実施する予定のファシリテーターの育成・支援施策として、
該当するものをご回答ください。(複数回答可)n=19

カテゴリ	件数	% (全体)
①ファシリテーター養成研修の開催	17	89.5%
②研修ガイドラインについての説明会の開催	2	10.5%
③独自の研修教材(副教材)の開発	0	0.0%
④シラバスの作成方法の説明や指導	0	0.0%
⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催	3	15.8%
⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など)	5	26.3%
⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施(ファシリテーターの意見の吸い上げ)	5	26.3%
⑧その他	3	15.8%
無回答	0	0.0%

問12-9 都道府県として、講師、ファシリテーターの評価を行っていますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①実施している	0	0.0%
②実施していないが、今後実施する予定である	12	25.5%
③実施していないし、今後実施する予定もない	35	74.5%
無回答	0	0.0%

問12-10 問12-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください
評価基準や評価体制を示す資料等を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

※ご提供資料の概要については後述

問12-11 問12-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください
都道府県が行った『講師、ファシリテーターの評価』の結果の活用状況についてご回答ください n=0

カテゴリ	件数	% (全体)
①講師、ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている	0	0.0%
②研修講師、ファシリテーターの人選に活用している	0	0.0%
③研修講師、ファシリテーター向けの育成・支援施策の内容検討に活用している	0	0.0%
④研修内容の検討に活用している	0	0.0%
⑤特に活用は行っていない	0	0.0%
⑥その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

問12-14 問12-13で①(独自に定めている)を選択した方のみご回答ください
選定基準を示す資料等を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

※ご提供資料の概要については後述

問12-13 講師、ファシリテーターの選定基準等を都道府県で独自に定めていますか(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①独自に定めている	6	12.8%
②国の実施要綱の通り	41	87.2%
無回答	0	0.0%

問12-15 講師、ファシリテーターの選定を行っている主体についてご回答ください(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①都道府県の職員が行っている	0	0.0%
②都道府県の研修向上委員会が行っている	3	6.4%
③研修実施機関が行っている	41	87.2%
④職能団体(介護支援専門員協会等)が行っている	3	6.4%
⑤その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

(XIII) 「介護支援専門員資質向上事業」の行政評価(政策評価)の実施状況について

問13-1 「介護支援専門員資質向上事業」は行政評価(政策評価)の対象事業になっていますか
(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行政評価(政策評価)の対象になっている	13	27.7%
②行政評価(政策評価)の対象になっていない	32	68.1%
無回答	2	4.3%

問13-2 問13-1で①(対象になっている)を選択した方のみご回答ください
行政評価(政策評価)の実施体制についてご回答ください(1つ選択)n=13

カテゴリ	件数	% (全体)
①内部評価のみ	8	61.5%
②内部評価と外部評価の両方	4	30.8%
③外部評価のみ	0	0.0%
④その他	0	0.0%
無回答	1	7.7%

(XIV) 法定外研修の実施状況及び職能団体に期待する役割について

問14-1 管内で、都道府県以外の職能団体等が主体となって開催している法定外研修について
研修の内容を把握しているかご回答ください(1つ選択)n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①職能団体等が行う法定外研修の内容を全て把握している	2	4.3%
②職能団体等が行う法定外研修の内容を一部把握している	35	74.5%
③職能団体等が行う法定外研修の内容を全く把握していない	10	21.3%
無回答	0	0.0%

問14-2 以下の各テーマの法定外研修についての実施状況についてご回答ください。(1つ選択)

(1) 予防ケアマネジメント n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行政(都道府県・市町村)が主体となり実施している	18	38.3%
②職能団体等が主体となり実施している	6	12.8%
③実施していない	0	0.0%
④分からない/把握していない	23	48.9%
無回答	0	0.0%

(2) 共生型サービスの活用 n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行政(都道府県・市町村)が主体となり実施している	4	8.5%
②職能団体等が主体となり実施している	3	6.4%
③実施していない	3	6.4%
④分からない/把握していない	37	78.7%
無回答	0	0.0%

(3) 入退院連携 n=47

カテゴリ	件数	% (全体)
①行政(都道府県・市町村)が主体となり実施している	14	29.8%
②職能団体等が主体となり実施している	8	17.0%
③実施していない	0	0.0%
④分からない/把握していない	25	53.2%
無回答	0	0.0%

問14-4 主任介護支援専門員更新研修課程の受講要件における、法定外研修の取り扱いについてお伺いします。ガイドラインでは更新研修の受講要件の1つとして、「地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等に年4回以上参加した者」と示されていますが、法定外研修1回あたりの算定基準時間についてご回答ください。(1つ選択)
 ※法定外研修の算定要件を1回につき90分以上にしている場合は「90」、60分にしている場合は「60」とご記入ください。

n	44
平均	126.4
標準偏差	50.9
最小値	60
最大値	300
中央値	120.0

問14-5 平成29年度に実施した法定外研修に関して、都道府県として支出した費用額についてご回答ください。

	①都道府県単費額	②補助金・交付金額	③その他の費用
n	25	21	23
平均	46.5	226.8	114.2
標準偏差	88.5	407.1	182.2
最小値	0	0	0
最大値	290	1,461	652
中央値	0.0	0.0	0.0

(X V) その他

問15-1 法定研修/法定外研修の実施に関して、職能団体に期待する役割についてご回答ください。

※自由記述回答については後述

問15-2 PDCAサイクルを回す観点から、都道府県として独自の工夫している取り組み等があれば、具体的にご回答ください。

※自由記述回答については後述

【自由記述回答_都道府県調査】

- 問 4-4:問 4-1 で②(ガイドラインにほぼ沿っている)③(都道府県独自で実施している)を選択した方のみご回答ください。研修ガイドラインに沿っていない理由があれば、具体的にご記入ください

1	同一課程で複数の機関を指定しているため。 ガイドラインを基本としつつ、使用するテキストなどの内容を取り入れているため。 研修記録シートの代わりに本県では独自の自己評価シートを使用しているため。
2	主任・主任更新研修ではテキストを使用せず、受講生もしくは現場から事例提供していただき、演習の展開を行った。
3	人権問題に関する内容、福祉施策に関する内容などを強化して見識を広げている。
4	実施機関の内容検討委員会で決定した。ガイドラインに具体的な演習シートや演習題が示されていないため。
5	担当講師が種々の出版社のテキストを参考・活用して受講者にとってより良い講義・演習(スーパービジョン)を構成した結果、多少ガイドラインに沿わない箇所が発生したものの。
6	演習の展開など、担当講師に任せているため(ガイドラインは配布している)

- 問 4-6:ガイドラインに沿って研修を実施するうえで課題があれば具体的にお書きください

1	<ul style="list-style-type: none"> ・国の要綱の「目的・研修内容」とガイドライン(案)の「修得目標・研修内容が」合っていないため、テキスト作成時に苦慮した。 ・研修内容が科目間で重複しているものが多く、どの科目ではどの程度の内容を教えるなどの整理がついていないため、研修テキストの作成などに苦慮した。 (例) ①科目:「介護保険制度の理念・現状およびケアマネジメント」 研修内容:地域包括ケアシステムが求められる背景とその考え方、構築に向けた取り組み状況に関する講義を行う。 ②科目:「地域包括ケアシステムおよび社会資源」 研修内容:地域包括ケアシステムの構築が求められる背景および地域包括ケアシステムが目指す姿についての講義を行う。 など
2	受講者によって経験年数に差があるため、ガイドラインと同じレベルでグループワークを実施することが難しい。
3	講義演習の展開例のとおり実行するうえで、「説明の分量に対して時間が短い」「演習の時間が短すぎて受講生に理解されない」などの課題があり、とにかくスケジュールがタイト過ぎることが原因であると考え。本県では、こういったことを少しでも解消するために、決められた時間内で受講生に少しでも内容を理解してもらうべく展開例の一部を変更して実施している。
4	研修記録シートの集計には相当な手間を要するが、分析方法や評価基準が分からずうまく活用できていない。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・演習時間が演習内容によっては短いものがある。演習時間にゆとりがある研修構成にしてほしい。 ・専門研修課程Ⅱでガイドラインでは地域課題まで考えるようになっているが、これまでの研修になかったため、地域課題を考えるとところまで至らない様子が見受けられる。
6	研修評価の指標などが明確でない。
7	ガイドラインの内容とおりの研修を行う場合、設定された研修の時間では足りない

8	現在のところ特に課題は認識していない。
---	---------------------

- 問 5-3:問 5-1 で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください。研修向上委員会の運営予算についてご回答ください(1つ選択) ※「その他」の回答

1	予算措置なし
2	運営費は発生しない

- 問 5-4:問 5-1 で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください。研修向上委員会への都道府県の職員の参画状況についてご回答ください(複数回答可) ※「その他」の回答

1	都道府県として参画している
---	---------------

- 問 5-6:問 5-1 で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください。都道府県が検討の基礎資料として、研修向上委員会に提供している情報などについてご回答ください(複数回答可)

1	介護支援専門員の登録者数や各年度の更新対象者予定数など
2	介護支援専門員実務研修受講試験、介護支援専門員法定研修の実施状況など
3	介護支援専門員の登録状況 研修修了者数や更新申請者数
4	・介護支援専門員研修実施計画 ・地域ケア会議立上げ支援事業について ・研修実施機関における講師・ファシリテーターの選定などについて
5	介護支援専門員に係る改正などについて
6	・研修の実施規模 ・修了評価の他県における実施状況 ・都が実施する法定外研修の実施状況
7	次年度の研修定員規模の予測
8	都道府県が実施した研修に対する意向調査結果
9	都道府県としての研修事業の評価や課題、修了評価実施要領案の提示など
10	実務研修受講試験受験者の動向や、日程などの情報を提供している。
11	介護支援専門員の課題、事業内容、研修記録シートの集計結果
12	・研修実施に関する講師・ファシリテーターの確保状況 ・研修実施に関する課題と解決策の状況
13	介護支援専門員法定研修および法定外研修の実施状況、介護支援専門員実務研修受講試験結果など
14	第7期介護保険事業支援計画
15	研修修了者数の推移など
16	日本介護支援専門員協会から案内のあった「試験を活用した研修修了評価システム」
17	受講者数の推移など
18	研修事務、研修の組み立て、法定外研修との連動性など
19	委員会の検討内容によって適宜提供
20	研修向上委員会における協議事項に合わせて、提供できる情報があれば提供している。

- 問 5-7:問 5-1 で②(設置なし)を選択した方のみご回答ください。研修向上委員会を設置していない理由を具体的にご記入ください

1	「研修委員会」の名称で、研修の実施方法や評価を行う委員会を社会福祉協議会に設置しているため。
2	現在、研修講師、研修実施機関、県担当で研修の企画、実施後の評価などを行っているが、外部委員(学識経験者など)を含めた場において議論・検討する段階まで至っていないため。
3	各指定研修機関において、各研修の講師打ち合わせ会を行い、研修のあり方などを検討しているため
4	次年度設置に向け、調整中

- 問 6-2:問 6-1 で①あるいは②を選択した方のみご回答ください。都道府県の担当者は研修企画への参画はどのように行っていますか(複数回答可)

1	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県と実施機関との担当者連絡会を開催している。 ・都度、電話などで相談を受けている。
2	主任・主任更新研修は県が企画・運営している。その他は研修向上委員会で関与。
3	研修実施機関主催の「内容検討委員会」への参画。
4	企画・検討にかかる相談に随時対応している。

- 問 6-4:問 6-3 で①を選択した方のみご回答ください。研修実施機関に任せている理由をご回答ください

1	法定研修については、研修実施機関からの実績報告などにより、適切な内容で研修が行われていることを確認しているため。 法定外研修については、都道府県で全ての職能団体による研修を把握することは困難であるため。
2	職能団体の専門性を尊重しているから。
3	研修実施機関は、職能団体であり、従来から当該団体に所属の経験豊富な介護支援専門員によって実践的かつ高水準の内容の研修を実施できているため
4	必要に応じて都道府県と協議することとしているため
5	研修機関は各種関係機関とのネットワークを持っており、研修実施ノウハウも豊富であるため。
6	研修内容の詳細については、内容が専門的となるため

- 問 7-2:問 7-1 で①(行っている)を選択した方のみご回答ください。運営評価(事業評価)の方法についてご回答ください

1	研修終了後に研修企画委員会を開催し、課題や反省点を挙げ、翌年の運営に活かしている。
2	都道府県で定めた様式に則って、評価している
3	前年度を振り返り、今後の向上委員会の在り方を検討したうえで、次年度の開催計画を立てている。

- 問 7-3:問 7-1 で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください。運営評価(事業評価)を行っていない理由をご回答ください(複数回答可)

1	評価という形ではなく、都道府県が事務局として内容の検討を行っているため。
2	今年度より設置したため
3	研修向上委員会の実施主体である指定研修機関は、研修内容や受講者の要望などを熟知しており、都道府県が事業評価を行うものになじまないため。 また、都道府県職員も検討会議に参加しており、必要に応じて、進行の修正などが可能であるため。
4	研修向上委員会には都道府県も参加しており、運営評価を行う必要性を感じていないから
5	本年度からの設置であり、今後検討していく。
6	本来は実施すべきであるが、マンパワーが不足しているため。

- 問 7-4:問 7-1 で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください。今後の運営評価(事業評価)の実施に向けて、都道府県内で検討していることがあればご回答ください。

1	今後の運営評価(事業評価)の実施については、検討中である。具体的な評価基準や評価方法を示していただけると良い。
2	都道府県が主体となり運営しているため、問題ありません。
3	研修向上委員会において、評価方法や評価項目などについて、他都道府県の状況を参考にしながら検討している。
4	平成 30 年度より、研修向上委員会を設置した。今後、研修の質の向上に向けて研修向上委員会がPDCA サイクルにおいて効果的に機能していくよう運営管理していく。研修向上委員会自体の具体的評価方策が提示されれば参考としたい。
5	評価基準
6	評価体制
7	研修向上委員会の運営評価(事業評価)については検討していない。

- 問 7-7:問 7-5 で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください。運営評価(事業評価)の報告を行っていない理由を選んでご回答ください

1	運営評価を行っておらず、報告できる情報がないから。
2	委員会の具体的な評価方法が不明のため
3	今年度より設置したため
4	運営評価は、事業継続の必要性を判断するために実施しているものであり、主旨が異なるため。
5	運営評価(事業評価)を行っていないため
6	本年度から設置しており、今後、国に提言すべき課題の発生があれば、報告する。
7	運営評価(事業評価)を行っていないから

- 問 7-8: 現在、国では都道府県における研修向上委員会の運営評価(事業評価)指標および基準の整備に関して、検討を行っております。今後、都道府県が研修向上委員会の運営評価(事業評価)を行う際に用いるべきだと考える指標および基準があれば、その内容を具体的に回答ください。

1	国が示す内容を見てから検討したい。
2	指標案①: 研修向上委員会への都道府県および研修実施機関の参加の有無 或いは研修向上委員会からの都道府県および研修実施機関への課題の報告(視点: 検討研修実施機関が研修に関する課題を共有する機会・手段を明確にしているか。) 指標案②: 課題について対策を検討する体制の有無(視点: 把握した課題について、対策を立てているか。)
3	都道府県ごとに状況が違い、事業評価の指標を一律に定めることは難しいと思われるため、指標および基準はあくまで参考としての提示に留めるべきと考える。

- 問 7-9: 今後、研修向上委員会の運営評価(事業評価)を行う場合に、研修向上委員会や研修実施機関などから収集しておきたい記録や情報などがあれば、その内容を具体的に回答ください。

1	研修記録シート、ファシリテーターの実施報告(どのような助言をしたのかなど)
2	修了評価のデータなど
3	研修記録シート、研修の修了評価のデータ
4	議事録、講師および、ファシリテーターの評価データなど
5	修了評価データ
6	委員会の議事録、修了評価などをまとめた資料
7	研修修了評価のデータ
8	研修記録シート、修了評価のデータ
9	研修記録シート、修了評価のデータ
10	研修記録シートの情報や、受講性に対して行ったアンケートの内容など
11	研修記録シート、修了評価のデータ
12	委員会の議事録、委員の意見を受けて改善した事項に関する資料
13	委員会の概要、修了評価のデータ

- 問 8-3: 現在、国では法定研修の実施状況に関して、都道府県と国の情報共有の仕組みの整備について検討を行っております。仮に、法定研修の実施状況に関する以下の記録や情報の国への報告を定期的にお願ひした場合のご対応の可否についてご回答ください。

研修記録シートの集計・分析結果

1	研修実施機関との調整が必要なため
2	都道府県で対応していないため
3	集計・分析の内容を統一してもらう必要がある。
4	現在十分な集計をしておらず、委託先での事務量が増えるため、対応を検討する必要がある。
5	集計結果は報告可能だが分析は困難
6	現在、研修実施機関と研修記録シートの活用について検討中であるため。
7	集計ができていない。

8	分析していない
9	集計・分析結果を取りまとめていない
10	研修記録シートの代わりに本県では独自の自己評価シートを使用しているため。
11	膨大なデータを分析していないため
12	研修記録シートは活用しているが、細かい分析には至っていないため。
13	集計分析を行っていないため
14	「研修記録シート」は受講生に案内しているが、回収していないため
15	十分な分析はできていないため
16	集計後の分析にまで至っていないため
17	研修実施機関が研修記録シートを使っていないため。
18	研修実施機関との調整が必要
19	集計・分析する態勢がとれていない為
20	マンパワー不足により集計をしていない部分がある。
21	現時点、研修記録シートの集計・分析を行っていない
22	分析まで行えていない。
23	研修記録シートを活用していない研修がある。
24	まだ試行中のため
25	現在、指定機関において集計のみ行い、分析は行っていないため。
26	研修記録シートは受講者の手書きにより作成しており、データ化に係る作業量が膨大である。
27	分析までに至っていないため
28	実施機関がデータを保存しているが、集計・分析はできていないとのこと。
29	ただし、今後研修記録シートではなく小テストによる修了評価を検討しているため今後は報告できない可能性もある。

シラバスの作成状況

1	研修実施機関との調整が必要なため
2	都道府県で対応していないため
3	作成してないから
4	研修実施機関および講師と相談し、可能な範囲で報告できると考えている。
5	作成していない
6	シラバスを作成していないため
7	未作成のため
8	研修実施機関との調整が必要
9	詳細なシラバスを作成していない
10	現時点、シラバスを作成していない
11	シラバスの定義、記すべき事項をガイドラインに設けたほうがよい
12	作成できていない
13	ガイドラインをもとに実施しており、研修機関および講師に任せているため。(都道府県としてシラバスを作成していない)

独自テキストなどの副教材の使用状況

1	研修実施機関との調整が必要なため
2	都道府県で対応していないため
3	研修実施機関および講師と相談し、可能な範囲で報告できると考えている。

4	研修実施機関から提出されていないため
5	研修実施機関との調整が必要
6	具体的にどういったものを指すのかわからない。

講師・ファシリテーターの確保・育成の状況

1	研修実施機関との調整が必要なため
2	都道府県で対応していないため
3	研修実施機関および講師と相談し、可能な範囲で報告できると考えている。
4	研修実施機関が実施しているため
5	業務負担が重すぎる
6	研修実施機関との調整が必要
7	都道府県としては講師を育成していない
8	現時点、講師などの育成を行っていない
9	法定研修講師の養成研修を実施しているが確保・育成ができたと判断する基準がない。

- 問9-4:問9-1(9-2)で①(行っている)を選択した方のみご回答下さい。実習を受け入れる居宅介護支援事業所に対する、実習に関する説明の具体的な方法をご回答ください

1	3ヶ所の会場に対象となる事業所の実習指導者を参集し、①実習受入のためのスーパービジョン ②課題整理総括表の書き方 ③『実習の手引き』を基にした実習についての基本的な考え方などを県介護支援専門員協会が依頼した講師が説明する。
2	研修会において、基本的な考え方、事務手続きを説明。その他前年度受入れ事業所からの報告
3	都道府県担当者、職能団体講師による研修会
4	説明会形式で県担当と研修実施機関の担当者から説明
5	手引きの送付
6	ケアマネジャー協会と連携し、特定加算取得事業所向けの説明会を開催し、そのなかで、事業所としての心構え、事務手続きなどについて説明を行っている。
7	講義形式
8	実習指導を行う主任介護支援専門員に対し講義(3時間)。
9	説明会および手引きの配布。
10	都道府県が実習の概要、実施機関が実習の詳細を各々資料(実習の手引きなど)を用いて説明会を実施
11	研修実施機関が説明会を開催した。研修に参加できなかった事業所に、説明会当日に録画したDVDを配付した。 (平成29年度は①新規に特定事業所加算を取得した事業所は悉皆であり、②既存事業所で人事異動などにより、説明会に参加したことがある職員が不在になってしまった場合は出席可とした。また、研修実施機関のホームページで録画した動画を閲覧できるように設定し、説明会に参加した事業所も実習受入前に振り返りが行えるよう視聴できるようにした。)
12	実務研修の概要、実習受入れの際の留意点、実習生へのフォローアップなどについて、『介護支援専門員養成研修における実習受入に関する指針』に沿って実務研修講師から説明。
13	パワーポイントを用いての説明
14	実務研修実習前に、実習受入予定事業所の主任介護支援専門員などに対して指導者養成研修会を実施している。講師がマニュアル(H30年度に研修企画委員の協力を得て

	事務局が作成)に沿って、実習の内容や指導方法について説明した後、都道府県と研修実施機関の担当者が実施要綱や実習で用いる様式、留意事項などを説明している。
15	説明会の開催
16	研修実施機関が独自で説明会を行っている。
17	上記研修の一環として行う。
18	今年度見学実習を受入れる全事業所を対象に説明会を実施。都道府県から見学実習の概要、実務研修の指定機関である県介護支援専門員協会から内容について説明を行う。
19	説明会を開催し、当日資料に基づき実習の概要および指導方法を周知
20	研修実施機関が、実習前に実習先事業所を集め説明会を2回開催している。説明は紙資料を配布し実施している。
21	都道府県から研修制度や実習の趣旨を説明した後、研修実施機関から具体的な実習内容、指導の留意点、必要書類などに関して説明
22	北部と南部の2会場において、実習受入協力事業所の指導者を集めて講習会を行っている。
23	関係者を集めた研修会方式
24	集合研修(3h)にて、受入手続きや実習指導内容、実務研修の内容について、事務局および研修講師より説明。また、事例発表やグループワークにより、主任介護支援専門員どうして実習についての情報交換を行っていただいている。
25	・実習に関する基本的な考え方や、受入に係る事務手続きを手引きなどに沿って説明。 ・前年度受入実績のある事業所から実習の実施状況について事例発表を行い、他事業所の参考にしよう。
26	説明会により、実習概要および事務手続きの流れについて説明
27	研修実施機関が研修を実施した
28	実習の受入や指導方法を講義形式で説明。
29	研修実施機関が、実習受入担当者となる主任介護支援専門員を対象に、実習の指導方法や留意点について説明するため、説明会を実施。なお、都道府県からも行政説明を行う。
30	①実務研修の概要 ②前年度受け入れ先による実習日程と前年度受け入れた結果の発表 ③前年度の受け入れ先へのアンケートで知りたかった項目
31	実習指導者など研修会における説明、周知
32	研修実施機関が作成した手引きなどに基づく説明など
33	説明会を開催した
34	新規の実習指導者に対しては、実習受入についての総論、事務手続きおよび実習指導者としての心構えなどの座学を行い、模擬ケアプラン作成実習における留意点や指導方法などの演習を行っている。 また、新規の実習指導者を含む県内の全実習指導者に対しては、実習および受入報告を聞き、前回の実習受入の振り返りと今後の受入に向けた取り組みについて演習を行っている。
35	実習を受け入れる事業所の実習指導者に対し、集合研修を実施。
36	通知、および説明会の実施

- 問 9-5:主任介護支援専門員研修(主任介護支援専門員更新研修)の修了日の設定方法について

1	主任研修:研修修了日 主任更新研修:8月1日に統一
---	------------------------------

2	主任は研修最終日 主任更新は小論文の内容を確認できた日
3	最終レポートを講師が確認し、修了認定した日
4	修了認定日(修了評価完了日)としている。 ⇒ 例年2月末
5	レポート提出後、指導者の評価を経て修了が認められた日(概ね研修最終日から3か月後)

- 問 10-5: 問 10-3 で①(交付あり)を選択した方のみご回答ください。交付金の主な用途をご回答ください(複数回答可)

1	研修実施に係る諸経費
2	・研修受講者全員が負担すべきでない経費(身体障害者受講支援の経費、募集案内送付経費) ・受講者数の増減により研修事業費を受講料収入で賄えない場合に生じる事業費分
3	講師旅費、需用費
4	手話通訳者の派遣経費
5	全般(総事業費-手数料収入=補助額)
6	②、③のほか、事業に必要な旅費、需用費、役務費など

- 問 11-1: 独自に設定している要件を研修課程ごとにご回答下さい

③専門Ⅱ

1	・事例研究とその進め方(初日) ・研修の振り返りとまとめ(最終日) 内容: 研修制度の見直しの背景、本研修の目的、研修記録シートの目的、さらに本研修では主なテーマとなる事例検討、研究の考え方、今後の演習の進め方などを説明
---	--

⑥更新(実務経験者)

1	※②、③と同様 ・特になし ・事例研究とその進め方(初日) ・研修の振り返りとまとめ(最終日) 内容: 研修制度の見直しの背景、本研修の目的、研修記録シートの目的、さらに本研修では主なテーマとなる事例検討、研究の考え方、今後の演習の進め方などを説明
---	--

⑦主任

1	現任の介護支援専門員 ・市区町村からの推薦 ・以下の(ア)から(ウ)までの要件をすべて満たす者 (ア)専任(常勤専従)、兼任(常勤兼務)を問わず、介護支援専門員として従事した期間が通算して5年(60カ月)以上である者 (イ)介護支援専門員に関する研修の講師を務めた経験があるなど、指導者として経験がある者 (ウ)本研修修了後、各地域で課題となっている困難事例および介護支援専門員に関する研修などで、地域の核となり活動できる者 ・地域包括支援センターに配属予定の者で、本研修の申込日から6ヶ月以内に主任介護
---	---

	支援専門員として配置されることが確定している者。ただし、当該受講者については、当該年度以降の介護支援専門員に関する研修の講師を務めることができる者とする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・初日に「オリエンテーション」の時間を設け、受講にあたって研修制度の見直しの背景、本研修の目的、研修記録シートの目的などを説明 ・修了時課題では論述課題を課している。
3	<p>※独自に市区町村推薦要件を設定しており、平成 30 年度は下記(ウ)の項目を追加した。</p> <p>【市区町村推薦要件】</p> <p>利用者の自立支援に資するケアマネジメントが実践できており、以下の(ア)又は(イ)のいずれかに該当し、本研修修了後、地域の中核となって活躍しうる高い能力および意欲がある介護支援専門員として、市区町村から推薦を受けること。</p> <p>(ア) 施行規則第140条の66第1号イ(3)に規定する主任介護支援専門員に準ずる者として、現に地域包括支援センターに配属されている者</p> <p>(イ) 質の高いケアマネジメントを実施し、地域の介護支援専門員の研修、支援および連携体制の構築業務を担い、地域全体のケアマネジメントの向上に資することが期待される者</p> <p>(ウ) 居宅介護支援事業所の介護支援専門員であって、管理者として配置されている者で、本研修修了後は市区町村が行う事業などに協力する意思がある者(同一事業所内に主任介護支援専門員がいる場合を除く)</p>
4	主任介護支援専門員研修事業実施要領のとおり
5	研修修了後、講師又はファシリテーターに従事すること
6	<ul style="list-style-type: none"> ・専任ではないが、介護支援専門員業務を主務としており、5年(60ヶ月)以上の実務経験があり、かつ都道府県が主催する介護支援専門員に係る研修会において講師・ファシリテーターとして協力実績があるなど、指導的立場にある者 ・現に地域包括支援センターで勤務している者であって、当該地域包括支援センターにおいて主任介護支援専門員として配置が予定されている者。(ただし、介護支援専門員としての実務経験を有し、かつ、介護支援専門員の相談対応や地域の介護支援専門員への支援などに関する知識と能力がある者)
7	<p>介護支援専門員として従事した期間(兼務の期間を含む)が通算して5年(60か月)以上である者であって、次のいずれかに該当するもの</p> <p>ア. 都道府県が実施する介護支援専門員など研修において、講師又はファシリテーターとしての経験を有する者</p> <p>イ. 兼務の内容が、地域包括支援センターにおいて、居宅サービス計画の指導などに関わりがある者</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・専任・兼任を問わず、介護支援専門員としての従事期間が5年以上で、介護支援専門員の各法定研修の指導者もしくは演習指導者 ・専任・兼任を問わず常勤の介護支援専門員として従事した期間が通算して3年(36か月)以上であり、地域包括支援センター又は在宅介護支援センターでの経験を有し、新たに地域包括支援センターで主任介護支援専門員として配置が予定されている経験豊富な介護支援専門員であって、市区町村が推薦する方
9	地域包括支援センターで常勤の介護支援専門員として包括的支援業務と介護予防支援業務を兼務している期間は、専任の介護支援専門員として従事した期間に通算できるものとする。
10	専任・兼任を問わず実務経験が5年(60ヶ月)以上あり、都道府県または市区町村が実施した介護支援専門員を対象とする研修の講師・演習指導を担当したことがある方
11	常勤の介護支援専門員として実務に従事した期間が通算して5年(60ヶ月)以上である者

12	<p>1 都道府県が適当と認める者として下記①②を要件に入れている。</p> <p>①実務経験が5年以上あり、平成18年度以降に法定研修の講師もしくはファシリテーターを担当した者</p> <p>②実務経験が5年以上あり、市区町村が実施した介護支援専門員を対象とする研修講師を担当したなど、地域の介護支援専門員に対して指導的立場にある者で市区町村推薦を受けた者</p> <p>2 専任5年のうちに認める管理者との兼務は、居宅介護支援事業所管理者を兼務している期間に限定(居宅管理者をしていれば、他の管理者との兼務をしていても OK)。← 昨年度より変更。昨年度までは、居宅管理者のみ認めていた。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県で実施した法定研修の講師、演習指導者を担当し、常勤の介護支援専門員として従事した期間が5年以上である現任の介護支援専門員 ・他の事業所と兼務しており、それらの事業所の専任の介護支援専門員としての勤務合計時間が、それらの事業所における常勤時間数の平均に達している場合で、その期間が通算して5年以上である者(常勤専従の期間を通算できる) ・地域包括支援センターにおいて主任介護支援専門員としての配置が確実に予定されている者で、地域包括支援センターにおいて、常勤として包括的支援業務と介護予防業務を兼務している期間(介護支援専門員証が交付されている期間のみ算定可)が通算して5年以上であり、市区町村長が推薦する者(常勤専従の期間などを通算できる)
14	専任・兼任問わずケアマネに従事した期間が 5 年以上有る者で、法定研修の講師・ファシリテーターの経験がある者又は市区町村長の推薦を受けた者
15	勤務先代表者による推薦
16	現に地域包括支援センターに勤務している者であって、当該地域包括支援センターにおいて主任介護支援専門員として配置が予定されている者
17	都道府県が適当と認める者(市区町村推薦)・昨年度から変更なし
18	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の現任介護支援専門員に限定。市区町村長の推薦が必要。
19	評価委員会により。申込者の提出書類を評価基準に沿って評価し、受講者を決定する。

⑧主任更新

1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都道府県が実施する初任介護支援専門員OJT事業においてアドバイザーとして従事した者 ・ 介護支援専門員同行型研修において指導者として従事した者
2	現任の介護支援専門員
3	5年以内に実習指導者研修を受講し、かつ、5年以内に実務研修の実習指導を計2年以上にわたり受講者5人以上に行った経験を有する者。
4	・初日に「今後の研修受講にあたって」の時間を設け、指導事例の書き方や今後の演習方法などを説明
5	主任介護支援専門員更新研修事業実施要領のとおり
6	介護支援専門員実務研修の実習指導者、地域同行型研修の指導者
7	実務研修の実習などにおいて受入・指導をした経験がある者
8	主任介護支援専門員の業務に十分な知識と経験を有する者であり、都道府県が適当と認めるもの
9	地域同行型研修アドバイザーを①の要件に追加
10	当該主任介護支援専門員更新研修の申込締切日から過去5年以内に実務研修の実習生の指導を受入事業所において行った実績のある者。
11	(昨年度から変更なし)介護支援専門員実務研修の実習指導実績のある者、滋賀県主

	任介護支援専門員地域同行型実地研修を受講した者
12	・法定外研修年4回かつ20時間以上 ・同年度の実務研修の実習において、実習生の指導を受入機関にて主担当された方
13	地域包括支援センターで、主任介護支援専門員として業務をしていると証明される者 実務研修などにおいて、指導した実績がある主任介護支援専門員である者
14	地域包括支援センターや職能団体などが開催する法定外の研修などに年6回以上参加した者
15	都道府県が適当と認める者として下記の内容を要件に入れている。 ○市区町村が実施した介護支援専門員を対象とする研修講師を担当した、実務研修実習受入事業所において指導者として指導したことがあるなど、地域の介護支援専門員に対して指導的立場にある者で市区町村推薦を受けた者
16	介護支援専門員実務研修におけるケアマネジメントプロセスを経験する実習において主に指導した実績のある者
17	実務研修の実習指導者は2年の実績がある者、都道府県が適当と認める者(市区町村推薦の内:市区町村が実施するケアプランチェックについて支援している者について追加)
18	介護支援専門員への助言指導および地域包括ケアシステムの講師国に向けた地域づくりの実践への協力が可能であり、市区町村長からの推薦がある者。
19	年4回以上受講する法定外研修は、受講時間の合計が24時間以上必要としている。(1日の研修時間は2時間以上)
20	・「介護支援専門員に係る研修の企画、講師やファシリテーター経験」「地域包括支援センターや職能団体などが開催する法定外研修」の対象となる期間を2年から3年に変更 ・「地域包括支援センターや職能団体などが開催する法定外研修」の合計時間を18時間以上から16時間以上へ変更
21	「法定外の研修などに年4回以上」に、「16時間以上」という要件を追加。

- 問 12-3:問 12-2 で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください。講師の育成や支援を実施しない理由を教えてください

1	講師が不足していないため
2	都道府県担当者では講師育成ができる者がおらず、支援についても時間の確保が難しいから
3	都道府県の委託事業で、主任介護支援専門員を対象とした指導力の向上研修を実施しているため。 (委託先:介護支援専門員協会)
4	研修向上会議とは別事業で実施予定であるため
5	予算措置が困難なため。
6	研修実施機関において実施しているため。
7	講師を育成するための指導ができるスーパーバイザーや体制がないため。
8	研修機関の選定により、継続して同じ方に依頼をしているため。
9	研修実施機関が行っているため
10	研修機関に任せているため
11	現時点で講師は不足していないが、講師の後任育成については課題となっている。今後の対応について研修実施機関と検討する必要があると考えている。
12	介護支援専門員協会が養成研修を行っているため。
13	経験や資質のある人を選定し、事務局が研修カリキュラムの趣旨を説明している。
14	継続してお願いできている講師や演習助手がいるため。都道府県としては実施していな

	いが、研修実施機関が実施する打合会に参加したり、研修実施機関から研修評価シートのフィードバックを行っている。
15	実施方法、内容などが分からないため
16	現在講師となっているメンバーで人員は充足しているため。また、新たな講師の育成については、講師の選定を担当している研修実施1機関において行っており、都道府県が主体となって行う必要性を感じないため。
17	研修実施機関において実施しているため。
18	講師の育成については、指定研修実施機関・委託研修実施機関で対応してもらっているため。
19	研修実施機関において実施しているため
20	現状では予算措置を講じていない。今後状況に応じ実施を検討していく。
21	研修実施機関に全面的に任せており、研修実施機関からも特に問題提起がないため
22	指定機関や現任講師から要望がない。
23	ファシリテーターとしての経験が豊富で、講師としての資質が認められる方に講師をお願いしており、現状支援は必要であると考えていない。
24	研修実施機関において適切に育成されていると考えているため
25	講師の育成などは研修実施機関に一任している。
26	法定研修の講師としての育成はしていないが、圏域ごとに自立支援に向けたケアマネジメントに関する研修を実施しているため。
27	職能団体で研修を実施している為

- 問 12-4:問 12-2 で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください。都道府県として実施した又は実施する予定の講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

1	実施自体が予定であり、内容については未定である。
2	講師養成マニュアルの作成
3	研修向上委員会にて対応。(委員会運営を支援)
4	中央研修への講師費用弁償
5	指導者養成研修会の開催(介護支援専門員協議会に委託)、指導者研修会の開催(年1回・直営)
6	ファシリテーターの養成を主な目的とした指導者養成研修を実施している。
7	現在の講師を対象とした研修も必要であると考えている。

- 問 12-7:問 12-6 で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください。ファシリテーターの育成や支援を実施しない理由を教えてください

1	ファシリテーターが不足していないため
2	都道府県担当者ではファシリテーター育成ができる者がおらず、支援についても時間の確保が難しいから
3	都道府県の委託事業で、主任介護支援専門員を対象とした指導力の向上研修を実施しているため。(委託先:介護支援専門員協会)
4	研修向上会議とは別事業で実施予定であるため
5	主任更新研修の受講要件に講師やファシリテーターの実施としているため、今後主任ケアマネが実践する機会が増えると見込まれるため、意図的に育成する必要性は感じられ

	ない。
6	予算措置が難しいため
7	研修実施機関において実施しているため。
8	研修実施機関が「ファシリテータースキルアップ研修」を実施しているため。
9	研修実施機関が行っているため
10	現在は、研修実施機関がファシリテーターのための研修を行っている。講師育成と併せて今後の対応方法について、研修実施機関と検討が必要と考えている。
11	介護支援専門員協会が養成研修を行っているため。
12	介護支援専門員協会で行っている。初回ファシリテーターを依頼した場合、事務局が役割を説明し、実践ではベテランファシリテーターがフォローしている。
13	継続してお願いできている講師や演習助手がいるため。都道府県としては実施していないが、研修実施機関が実施する打合会に参加したり、研修実施機関から研修評価シートのフィードバックを行っている。
14	研修実施機関が育成などを行っているため。
15	研修実施機関において実施しているため。
16	ファシリテーターの育成については、指定研修実施機関・委託研修実施機関で対応してもらっているため。
17	研修実施機関において実施しているため
18	研修実施機関に全面的に任せており、研修実施機関からも特に問題提起がないため
19	指定機関や現任講師から特に要望はない。
20	研修実施機関において H29 年度から対応しているところであるため。(都道府県単独では実施していない。)
21	研修実施機関で現在、講師・ファシリテーター養成研修を実施しているため
22	研修実施機関において適切に育成されていると考えているため
23	現在、法定研修においてファシリテーターを配置していない。
24	研修実施機関が実施しているため
25	職能団体に研修を実施している為

- 問 12-8:問 12-6 で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください。都道府県として実施した又は実施する予定のファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

1	実施自体が予定であり、内容については未定である。
2	講師養成マニュアルの作成
3	指導者養成研修会の開催(県介護支援専門員協議会に委託)、指導者研修会の開催(年1回・直営)

- 問 12-12:問 12-9 で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください。講師、ファシリテーターの評価を実施しない理由を教えてください

1	特に問題が生じていないため
2	研修実施機関において適切な講師およびファシリテーターを選任しているため。
3	評価方法がわからないため
4	評価基準などが不明だから。
5	評価する方法がない。
6	予算措置が難しいため

7	評価項目や評価基準が具体的に示されていないため。
8	評価基準が明確になっていないため。全国で統一した評価基準がほしい。
9	実施するかしないか、実施する場合はどのようにするか検討中。
10	研修機関に任せているため。
11	受講者に対して研修内容に関するアンケートを毎回行っており、その結果を研修向上委員会などで講師などにフィードバックし、今後の指導に反映しているため、評価の代替となっているため。
12	経験や知識のある講師にお願いしているため必要性を感じていない。なお、受講者からの講義内容などへの意見がある場合にはお伝えさせていただいている。
13	研修実施機関が講師の選定を行っているため。
14	研修の主体である受講者が記入したアンケートの意見や要望をもとに研修内容の検討を行っており、県で評価を行う必要性を感じていないため。
15	研修実施機関において実施しているため。
16	研修実施機関と実施するか否かを含め方法などを検討している状況であるため未実施である。
17	評価指標がないため
18	講師やファシリテーターの評価を行うために、職員がすべての研修に出席し、その活動状況を把握することはできないから
19	研修実施機関に全面的に任せており、研修実施機関からも特に問題提起がないため
20	講師、ファシリテーターの評価はケアマネ協会などが実施しているため
21	受講生の研修記録シートを研修向上委員会でチェックすることで、指導講師を評価する方法をとっており、現在のところそれが適切と考えている。
22	講師の評価は研修実施機関に一任している。
23	評価基準がないため
24	一定の条件を設けて推薦を受け、また推薦者についても検討委員会で提出物(レポートとケアプランなど)を審査し決定しているため、現段階で講師・ファシリテーターの評価の必要性を感じていない。
25	受講生からのアンケート結果などをフィードバックしているため。
26	必要性を感じていないため
27	都道府県に評価を行えるような専門的知識を有する職員がいないため。
28	講師・ファシリテーターの評価基準がない。
29	都道府県が選定した介護支援専門員など指導者のなかから、実施機関が講師、ファシリテーターを選定しているため。
30	検討をしたことがない。

- 問 14-5:平成 29 年度に実施した法定外研修に関して、都道府県として支出した費用額についてご回答ください。

1	医療介護総合確保基金
2	専門研修ⅠⅡ、更新研修(実務経験あり)、主任研修、主任更新研修
3	法定外研修実施委託費用
4	地域医療介護総合確保基金
5	地域医療介護総合確保基金
6	地域医療介護総合確保基金を活用。
7	地域医療介護総合確保基金

- 問 15-1:法定研修/法定外研修の実施に関して、職能団体に期待する役割についてご回答ください

1	安定した研修の運営
2	講師・支援者の育成、研修などの円滑な運営
3	指導者の育成
4	地域の実情に合わせた講義、演習の設定。
5	・介護支援専門員の能力向上
6	①法定研修への積極的な関与(研修企画および運営に関して、講師の育成なども含めて、専門性の発揮に期待) ②地区支部単位での法定研修と連動した法定外研修の重層的な研修体系の構築(Off-JTとOJTの連動および強化)
7	講師の育成
8	講師、ファシリテーターの選定方法の基準作成や養成、主任介護支援専門員の育成
9	講師・ファシリテーターの育成／研修後のアンケート集計・分析
10	講師の育成、法定外研修の実施
11	講師の育成
12	講師の育成、介護支援専門員の資質の向上
13	講師の育成
14	自立支援に資するケアマネジメント技術を繰り返し学べるよう研修会の実施など、介護支援専門員全体の質の向上に継続して取り組んでいただきたい。
15	講師やファシリテーターの育成・登録、支部や関係団体が実施している法定外研修の把握・周知
16	講師およびファシリテーターの育成
17	講師の育成、研修の質向上に向けた助言、研修で習得した知識・技術が実践につながるようなOJT、Off-JTの機会
18	優秀な介護支援専門員および講師の育成
19	講師・ファシリテーターの育成、法定外研修の実施
20	講師の育成、講師の確保、介護支援専門員のニーズに合った法定外研修の企画・実施
21	講師・ファシリテーターの育成
22	(特に過疎地域における)法定外研修の開催回数の増加(困難な場合は主催する地域包括支援センターへの協力)
23	講師・ファシリテーターの育成、介護支援専門員の資質向上
24	職能団体には講師の育成を期待する。
25	講師の推薦
26	介護支援専門員の育成
27	介護支援専門員の資質向上
28	自立支援型ケアマネジメントに関する人材育成
29	講師の育成、現場の声を生かした研修内容の検討・実施
30	講師・ファシリテーターの育成

- 問 15-2:PDCA サイクルを回す観点から、都道府県として独自の工夫している取り組みなどがあれば、具体的にご回答ください。

1	受講生から研修実施機関の研修運営に関わる要望を都道府県に直接いただくことが重なったため、試行的に主任介護支援専門員研修について、都道府県で受講生に対し研修全体に関わるアンケートを実施した。
2	(研修の客観的な評価指標が未設定(評価できていない)のため、他都道府県の取り組み状況を参考にして検討したい。)
3	今年度から実務研修について科目ごとの小テストによる修了評価を予定している。これまでの研修記録シートよりも研修の効果が明白になるため PDCA サイクルを円滑に回すためにも効果的であると考えている。

(2) 研修向上委員会向け調査結果

(I) 研修向上委員会・事務局の基本情報について

問1-1 介護支援専門員に係る研修のガイドラインで示された研修向上委員会（名称が異なっても実態があれば可）の設置主体についてご回答ください(1つ選択) n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①都道府県が設置	27	61.4%
②研修実施機関が設置(委託)	12	27.3%
③左記以外で設置	5	11.4%
無回答	0	0.0%

問1-2 研修向上委員会の実施要綱等(運営マニュアルなども含む)の取り決めを作成されていますか(1つ選択) n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①作成している	27	61.4%
②作成していない	17	38.6%
無回答	0	0.0%

問1-3 問1-2で①(作成している)を選択した方のみご回答ください
作成されている研修向上委員会の実施要綱等(運営マニュアルなどを含む)を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

※ご提供資料の概要については後述

問1-4 研修向上委員会の委員構成についてご回答ください(複数回答可) n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①学識者	30	68.2%
②実務者(ケアマネージャー)	34	77.3%
③実務者(ケアマネージャー以外)	12	27.3%
④職能団体の代表者	27	61.4%
⑤職能団体の指導者(リーダー層)	16	36.4%
⑥研修実施機関の一部の職員	28	63.6%
⑦研修実施機関のすべての職員	4	9.1%
⑧講師/ファシリテーター	28	63.6%
⑨都道府県の職員	31	70.5%
⑩市区町村の職員	16	36.4%
⑪地域包括支援センターの職員	24	54.5%
⑫その他	4	9.1%
無回答	0	0.0%

問1-5 研修向上委員会の事務局の構成(担い手)についてご回答ください(複数回答可)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①都道府県の職員	23	53.5%
②研修実施機関の職員	22	51.2%
③職能団体の職員	3	7.0%
④その他	2	4.7%
無回答	1	2.3%

問1-6 研修向上委員会の事務局の役割、実施業務について回答ください(それぞれ1つ選択) n=44

	n	事務局が行っている	事務局が行っていない	無回答
委員会の議題・検討事項の設定	44	86.4%	6.8%	4.5%
委員会の検討用資料の作成、準備	44	97.7%	0.0%	2.3%
委員会の進行・ファシリテーション	44	59.1%	34.1%	4.5%
委員の選定・委託	44	81.8%	15.9%	2.3%
都道府県との連絡調整	44	86.4%	2.3%	11.4%
研修実施機関との連絡調整	44	81.8%	2.3%	15.9%

(Ⅱ) 研修向上委員会の実施状況について

問2-1 平成29年度及び平成30年度の研修向上委員会の開催実績回数(開催予定回数)をご回答ください。

	平成29年度の開催実績回数	平成30年度の開催予定回数
n	43	44
平均	3.3	3.5
標準偏差	4.0	4.2
最小値	0	1
最大値	23	26
中央値	2.0	2.0

問2-2 研修向上委員会で研修の内容について、検討している点についてご回答ください(複数回答可)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①介護支援専門員実務研修の実習に関する要件	19	43.2%
②主任介護支援専門員更新研修の受講要件	19	43.2%
③法定研修と法定外研修の連動(不足している部分の補完等)	9	20.5%
④職能団体の代表者	5	11.4%
⑤職能団体の指導者(リーダー層)	7	15.9%
⑥研修実施機関の一部の職員	1	2.3%
⑦研修実施機関のすべての職員	20	45.5%
無回答	0	0.0%

問2-3 研修向上委員会における研修の評価・検証状況及び研修企画の変更状況についてご回答ください。「③評価・検証を行い、企画の変更を行った」を選択した項目は研修企画の具体的な変更内容をご回答ください。n=44

	n	①評価・検証を行っていない	②評価・検証を行ったが、企画の変更は行わなかった	③評価・検証を行い、企画の変更を行った	無回答
研修事務(告知・受付・終了確認等)の適正	44	56.8%	18.2%	13.6%	11.4%
使用した資料・事例の適正	44	54.5%	18.2%	20.5%	6.8%
シラバス、講義の組み立ての適正	44	54.5%	27.3%	15.9%	4.5%
研修修了評価の手法	44	31.8%	43.2%	15.9%	9.1%
受講者の負担(移動や時間、費用等)	44	59.1%	22.7%	9.1%	9.1%
研修科目間の指導の視点の統一性	44	40.9%	29.5%	22.7%	11.4%
研修課程間の連動性	44	45.5%	22.7%	18.2%	13.6%

問2-4 研修向上委員会の議事録の作成及び共有、公開状況についてご回答ください(複数回答可)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①議事録を作成しているが、特に関係機関との共有はしていない	15	34.1%
②議事録を作成し、委員会委員と共有している	19	43.2%
③議事録を作成し、都道府県と共有している	10	22.7%
④議事録を作成し、研修実施機関と共有している	19	43.2%
⑤議事録は作成していない	2	4.5%
⑥その他	6	13.6%
無回答	0	0.0%

問2-5 研修向上委員会に対して、都道府県から次年度以降の研修内容の検討の基礎資料として提供されている情報、データ等の状況及びそれらの活用意向についてご回答ください。(それぞれ1つ選択)n=44

	n	①提供されており、検討に活用している	②提供されているが、検討に活用していない	③提供されていないが、検討に活用したいと思う	④提供されていないし、検討に活用したいと思わない	無回答
都道府県内の要介護高齢者の状況	44	9.1%	9.1%	43.2%	34.1%	4.5%
都道府県内の介護給付サービスの状況	44	11.4%	9.1%	40.9%	34.1%	4.5%
都道府県内の地域密着型サービス等の社会資源の整備状況	44	6.8%	6.8%	40.9%	38.6%	6.8%
地域ケア会議で把握した介護支援専門員をとりまく課題	44	2.3%	4.5%	61.4%	22.7%	9.1%
地域同行型研修の実施状況	44	6.8%	6.8%	50.0%	29.5%	6.8%
多職種連携の取り組みの整備状況	44	4.5%	2.3%	54.5%	29.5%	9.1%

問2-6 問2-5の選択肢以外に都道府県に提供して欲しい情報、データ等があれば、ご記入ください。

※自由記述回答については後述

(Ⅲ) 研修記録シートの活用状況について

問3-1 研修記録シート(事前、事後、実践後)の研修実施機関からの提供状況及び研修内容の検討や評価への活用状況についてご回答ください(1つ選択)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①提供されており、検討や評価に活用している	19	43.2%
②提供されているが、検討や評価に活用していない	5	11.4%
③提供されていないが、検討や評価に活用したい	13	29.5%
④提供されていないし、検討や評価に活用したいと思わない	5	11.4%
無回答	2	4.5%

問3-2 問3-1で①(提供されており、～)又は、②(提供されているが、～)を選択した方のみご回答ください。研修記録シートの集計の実施状況についてご回答ください(1つ選択)n=24

カテゴリ	件数	% (全体)
①研修実施機関が集計を行っている	18	75.0%
②研修向上委員会(事務局含む)が集計を行っている	3	12.5%
③研修記録シートの集計は行っていない	3	12.5%
④その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

問3-3 問3-1で①(提供されており、検討や評価に活用している)を選択した方のみご回答ください。研修記録シートの情報、データ等の具体的な活用事例があれば、ご記入ください。

※自由記述回答については後述

問3-4 問3-1で②(提供されているが、検討や評価に活用していない)を選択した方のみご回答ください。研修記録シートを研修内容の検討や評価に活用していない理由をご記入ください。

※自由記述回答については後述

(Ⅴ) 講師等の人材育成について

問5-1 都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください(1つ選択)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①不足	9	20.5%
②やや不足	19	43.2%
③適切	9	20.5%
④やや適切	1	2.3%
⑤過剰	0	0.0%
⑥分からない/把握していない	6	13.6%
無回答	0	0.0%

問5-2 講師の育成や支援を研修向上委員会として行っていますか(1つ選択)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①実施している	12	27.3%
②実施していないが、今後実施する予定である	8	18.2%
③実施していないし、今後実施する予定もない	24	54.5%
無回答	0	0.0%

問5-3 問5-2で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください
講師の育成や支援を実施しない理由を教えてください

※自由記述回答については後述

問5-4 問5-2で①(実施している)②(実施していないが、今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会として実施した又は実施する予定の講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可) n=20

カテゴリ	件数	% (全体)
①講師養成研修の開催	13	65.0%
②研修ガイドラインについての説明会の開催	6	30.0%
③独自の研修教材(副教材)の開発	3	15.0%
④シラバスの作成方法の説明や指導	7	35.0%
⑤講師同士の意見交換会の開催	9	45.0%
⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など)	5	25.0%
⑦講師へのアンケートやヒヤリングの実施(講師の意見の吸い上げ)	5	25.0%
⑧その他	6	30.0%
無回答	0	0.0%

問5-6 研修講師が独自に作成、使用している副教材の研修向上委員会の確認状況についてご回答ください(1つ選択)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①すべて確認している	4	9.1%
②一部確認している	6	13.6%
③確認はしていない	23	52.3%
④その他	1	2.3%
無回答	10	22.7%

問5-5 都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください(1つ選択)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①不足	6	13.6%
②やや不足	15	34.1%
③適切	14	31.8%
④やや過剰	3	6.8%
⑤過剰	0	0.0%
⑥分からない/把握していない	6	13.6%
無回答	0	0.0%

問5-6 ファシリテーターの育成や支援を研修向上委員会として行っていますか(1つ選択)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①実施している	12	27.3%
②実施していないが、今後実施する予定である	7	15.9%
③実施していないし、今後実施する予定もない	25	56.8%
④その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

問5-7 問5-6で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください
ファシリテーターの育成や支援を実施しない理由を教えてください

※自由記述回答については後述

問5-8 問5-6で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください
研修向上委員会として実施した又は実施する予定のファシリテーターの育成・支援施策として、
該当するものをご回答ください。(複数回答可) n=19

カテゴリ	件数	% (全体)
①ファシリテーターの養成研修の開催	12	63.2%
②研修ガイドラインについての説明会の開催	4	21.1%
③独自の研修教材(副教材)の開発	2	10.5%
④シラバスの作成方法の説明や指導	5	26.3%
⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催	9	47.4%
⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など)	6	31.6%
⑦ファシリテーターへのアンケートやヒヤリングの実施(講師の意見の吸い上げ)	5	26.3%
⑧その他	4	21.1%
無回答	0	0.0%

問5-9 研修向上委員会として、講師、ファシリテーターの評価を行っていますか(1つ選択) n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①実施している	3	6.8%
②実施していないが、今後実施する予定である	17	38.6%
③実施していないし、今後実施する予定もない	24	54.5%
無回答	0	0.0%

問5-10 問5-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください
評価基準や評価体制を示す資料等を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

※ご提供資料の概要については後述

問5-11 問5-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください
研修向上委員会が行った『講師、ファシリテーターの評価』の結果の活用状況について
ご回答ください(複数選択可) n=3

カテゴリ	件数	% (全体)
①講師、ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている	2	66.7%
②研修講師、ファシリテーターの人選に活用している	2	66.7%
③研修講師、ファシリテーター向けの育成、支援施策の内容検討に活用している	1	33.3%
④研修内容の検討に活用している	2	66.7%
⑤特に活用は行っていない	0	0.0%
⑥その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

問5-12 問5-9で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください
講師、ファシリテーターの評価を実施しない理由を教えてください

※自由記述回答については後述

(Ⅵ) 法定外研修の実施状況について

問6-1 管内で、研修向上委員会以外の職能団体等が主体となって開催している法定外研修について研修の内容を把握しているかご回答ください(1つ選択)n=44

カテゴリ	件数	% (全体)
①職能団体等が行う法定外研修の内容を全て把握している	4	9.1%
②職能団体等が行う法定外研修の内容を一部把握している	22	50.0%
③職能団体等が行う法定外研修の内容を全く把握していない	8	18.2%
無回答	10	22.7%

問6-2 研修向上委員会が主体となり平成29年度に実施した法定外研修の実施概要(テーマ、定員数、講師等)が分かる資料がございましたら、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

※ご提供資料の概要については後述

(Ⅶ) その他

問7-1 PDCAサイクルを回す観点から、研修向上委員会として独自の工夫している取り組み等があれば、具体的にご回答ください。
(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください。)

※自由記述回答については後述

【自由記述回答_研修向上委員会向け調査】

- 問 1-4:研修向上委員会の委員構成についてご回答ください(複数回答可)

1	④は団体から推薦されたもの ⑦研修担当のすべての職員
2	実務者は医療・保健・介護の専門知識を有する者
3	医療関係者
4	・日本介護支援専門員協会の役員 ・他都道府県の研修実施機関の職員
5	職能団体の元事務局長およびDr.
6	・基本的には、法定研修の講師であること ・介護福祉士、社会福祉士、医師、看護師、主任介護支援専門員(包括、居支)などで構成 ・都道府県職員は事務局で委員会の企画・運営を実施

- 問 1-5:研修向上委員会の事務局の構成(担い手)についてご回答ください(複数回答可)

1	委員会は開催しているが、研修実施機関を中心に、都道府県の担当者、講師などの参加で行っており、事務局は設置していない。
2	介護支援専門員会事務局員
3	都道府県主管課職員もオブザーバーとして出席。

- 問 1-6:研修向上委員会の事務局の役割、実施業務について回答ください(それぞれ1つ選択)「②事務局が行っていない」を選択した項目については該当の業務の担い手をご回答ください。

委員会の議題・検討事項の設定

1	各研修カリキュラムを検討している研修委員会から議題を提出してもらっている。
2	委員会内でも次回の議題について決めて頂いている。
3	介護支援専門員会担当役員
4	委員会作業部会から検討課題の報告を受け、事務局で取りまとめている。
5	都道府県担当職員および、研修の企画に携わる内部委員会(生涯研修事業委員会)により検討

委員会の進行・ファシリテーション

1	委員長
2	委員のなかから互選
3	委員長
4	研修向上委員会内で議長を指名し執り行ってもらっている。
5	開会のあいさつは事務局が行うが、その後は委員メンバーに進行を任せている。
6	学識者
7	介護支援専門員会担当役員
8	委員長にて実施。
9	議事の進行は、委員長
10	委員長(ケアマネ協会理事長)

11	委員会の会長が務める
12	委員長に依頼
13	研修の企画に携わる内部委員会(生涯研修事業委員会)により進行

委員の選定・委託

1	都道府県
2	委員会内で決定
3	都道府県
4	介護支援専門員会担当役員
5	都道府県担当職員および、研修の企画に携わる内部委員会(生涯研修事業委員会)により選定

都道府県との連絡調整

1	指定研修実施機関
2	事務局が都道府県であるため

研修実施機関との連絡調整

1	介護支援専門員会担当役員
2	事務局＝研修実施機関

- 問 2-2: 研修向上委員会で研修の内容について、検討している点についてご回答ください(複数回答可)

1	各種研修の枠組みや科目別ワーキングのメンバー選出、主任介護支援専門員研修と主任介護支援専門員更新研修の講師(大学教授などに依頼する場合)の推挙
2	法定研修を欠席した場合の対応(翌年度まで保留など)
3	研修運営の課題、研修の周知や評価方法について
4	講師、ファシリテーターの選定、研修について
5	修了評価、ファシリテーターの育成、受講者の受講態度
6	通信学習の導入など
7	修了評価や自己評価
8	実務研修の実習の手引きおよび独自資料、主任介護支援専門員更新研修の追加科目など
9	研修全体の評価や評価方法の検討など
10	評価方法、講師の養成など
11	各研修の評価基準・評価項目の策定
12	研修評価方法、県独自の到達目標
13	研修評価の試行について 講師評価および要件について 研修実施にあたる懸案事項について
14	各法定研修の受講者から提出のあった評価シートから、作業部会にて研修結果を検証し、構成や内容を含めた課題を抽出して委員の助言を得た。
15	介護支援専門員の資質向上全般について 研修の郡部開催について

16	介護支援専門員更新(Ⅰ・Ⅱ・未経験)研修、再研修
17	実務研修の実習について
18	法定研修の目標設定
19	DVD およびテレビ会議(講義のみ)システムの導入の検討

- 問 2-3:研修向上委員会における研修の評価・検証状況および研修企画の変更状況についてご回答ください。「③評価・検証を行い、企画の変更を行った」を選択した項目は研修企画の具体的な変更内容をご回答ください。

研修事務(告知・受付・終了確認など)の適正

1	受付の期間や方法について、複数の実施機関で申し合わせを行った。
2	災害などによる研修の中止、延期などの連絡方法を HP で案内する(個別には連絡しない)
3	実施機関の変更に伴い企画変更あり
4	研修日程の大幅な変更、研修の修了評価についてなど
5	開催要領の修正など

使用した資料・事例の適正

1	事例を使用した演習のあり方
2	居宅サービス計画書の記載例を演習が進みやすいように変更した。
3	前年度の反省を踏まえて改良した。
4	演習用ワークシート、上映用スライド、事例作成要領の修正
5	研修内容に合わせて、個別事例、共通事例を分けて使用する
6	提出事例に関する記述の修正など

シラバス、講義の組み立ての適正

1	提示されているシラバスとテキストの量にアンバランスが生じていたため適正化した。
2	前年度の反省を踏まえて改良した。
3	シラバスは研修ごとで、講師陣の意見を反映し修正。(時間配分など) ※委員会以外の場
4	演習内容の修正
5	事例の活用(演習)について進行の見直しなど
6	シラバス(演習の進め方)の平準化に取り組みました。

研修修了評価の手法

1	振り返り時間や評価シートの使い方を話し合い、H30年から実施機関2箇所ですべて統一した。
2	第3社による評価の取りやめ
3	評価基準の見直し
4	研修記録シートの集計方法、分析
5	実務研修から研修記録シートではなく、修了評価テストに変えて行っています。

受講者の負担(移動や時間、費用など)

1	研修日数の変更
---	---------

2	地域開催の実施
3	遠隔地へのインターネット配信による通信学習の実施、都道府県による助成金の新設。

研修科目間の指導の視点の統一性

1	微修正は常に行っている。どこをどう変更したかは研修をたくさん実施しているのでここに書ききれない。
2	H31 から専門研修 I は、テキストを導入
3	今後、検証
4	委員会のなかで研修企画班として研修別に 2 班体制で進めていたが、本年度より研修課程間での連動性の強化や共通基盤づくりのために企画部会として 1 つに統合した。
5	研修実施前に、講師調整会議を設定し、各科目の講師による講義概要・シラバスを共有し、研修全体の指導・視点について統一を図りました。

研修課程間の連動性

1	委員会のなかで研修企画班として研修別に 2 班体制で進めていたが、本年度より研修課程間での連動性の強化や共通基盤づくりのために企画部会として 1 つに統合した。
2	講師間における各課程の習得目標の共有、専門 II ・主任更新研修での倫理科目の追加
3	研修記録シートの集計を分析し検討
4	提出課題を増やすなど、主任研修を見据えた更新研修 II を行う
5	研修内容の見直しに伴う時間数などの変更

- 問 2-4: 研修向上委員会の議事録の作成および共有、公開状況についてご回答ください(複数回答可)

1	・科目別ワーキングの委員に見せることもある(毎回ではない) ④＝研修実施機関が研修向上委員会の議事録を作成している
2	欠席者に資料とともに送付している
3	議事録ではないが検討内容をまとめている。
4	議事録は作成せず、会議の会場に都道府県職員や研修実施機関の職員も出席して、情報を共有している。
5	議事録を作成し、研修実施機関と共有する予定。
6	・都道府県が事務局であり、研修実施機関も委員として参加している。
7	議事の内容を共有したい関係機関は、委員会に参画しているため、議事録の共有は行っていない。
8	委員会員との共有のために記録しているが、共有までに至っていない。

- 問 2-6: 問 2-5 の選択肢以外に都道府県に提供して欲しい情報、データなどがあれば、ご記入ください。

1	向上会議用には提供されていないが都道府県担当者が担当する科目において上記に該当する資料がある。
2	都道府県が研修向上委員会事務局

- 問 3-2: 問 3-1 で①(提供されており、～)又は、②(提供されているが、～)を選択した方のみ

ご回答ください。研修記録シートの集計の実施状況についてご回答ください(1つ選択)

1	※ガイドラインに示された研修記録シートは使用していない。実施機関が独自につくった「修了評価シート」を使い、回収して集計を行っている。
---	--

- 問 3-3:問 3-1 で①(提供されており、検討や評価に活用している)を選択した方のみご回答ください。研修記録シートの情報、データなどの具体的な活用事例があれば、ご記入ください。

1	講師へのフィードバックに使っている。
2	講師へ受講前と受講後の情報提供をしている
3	事前評価と事後評価との比較検討 など
4	事前・事後の評価の変化を集計し、都道府県、委員へ提供している。
5	受講者の領域などの理解度合いを評価している。
6	受講者の疑問点を研修中に解決したり、評判のよかった事例を次回の研修でも取り上げるなどの活用を行っている。 また都道府県の職員が会議に参加しているため、文書にて提供していない情報についても、必要な情報であれば会議の場などで提供している。
7	他制度やインフォーマルサービスの活用に関する項目の評価が低いため、コミュニティソーシャルワークの実践力向上を図るための事業に取り組むこととした。
8	自由記載欄や備考欄に記載された受講者の意見を吸い上げ、研修実施方法の見直しを行っている。
9	理解度の低い科目に対して演習内容を見直し、時間数の強化などを行った。
10	実務研修、更新研修(I、II、未経験)、再研修終了後に実施する講師陣の振り返り会議で活用している。
11	受講前後の理解度の点数の差
12	講師の振り返り
13	・次年度の法定研修における、演習のすすめ方の参考にしている。 ・任意研修を企画する際に参考にしている。
14	厚労省の記録シートを山口県版に変更し使用。厚労省のシートは自己研鑽用として活用のため、研修では使用しない。 都道府県では各科目実施後にミニテストを実施。
15	受講者から出た課題を元に、次年度の研修内容を修正する。
16	研修向上委員会で資料として提示し、受講者の自己評価が理解度となることから、委員会委員や講師には、受講者が理解しやすい項目や難しいと感じている項目をご確認いただき、今後の講義の組み立ての参考にさせていただいています。

- 問 3-4:問 3-1 で②(提供されているが、検討や評価に活用していない)を選択した方のみご回答ください。研修記録シートを研修内容の検討や評価に活用していない理由をご記入ください。

1	研修向上委員会は研修実施機関による自主的な運営のため、評価実施に至っていない。今後、研修ごとおよび実施コースごとに一定数のサンプルを抽出し、評価を行う予定。
2	研修記録シート(特に2のシート)は、検討材料にするには、信憑性に乏しい。
3	研修記録シートの活用、分析などについての知識が不足しているため
4	理由は特にないが、活用を検討していきたい。

- 問 4-2:問 4-1 の選択肢以外に研修実施機関に提供・報告して欲しい情報、データなどがあれば、ご記入ください。

1	講師が感じる受講者の特徴(年齢、所属)や講義を進めるなかでの理解度などを受講者の傾向を記録に残し、今後の研修組み立ての参考としてほしい。
---	--

- 問 4-3:問 4-1 の選択肢以外に研修実施機関に提供・報告を受けている情報、データなどがあれば、ご記入ください。

1	募集要領(受講要件)、講義資料、受講の手引き、指導者の手引きなど
2	アンケート形式ではないが、講師やファシリテーター、研修実施機関は会議に参加しているため、評価についても、会議のなかで集約している。
3	③に回答したアンケートや評価は未実施

- 問 4-4:研修向上委員会で議論された内容をどのように研修実施機関に伝達していますか(複数回答可)

1	研修実施機関が委員会を設置している
2	法定研修の目標を策定し、都道府県ホームページに公表
3	研修実施機関と研修向上委員会の実施機関が一緒

- 問 5-3:問 5-2 で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください。講師の育成や支援を実施しない理由を教えてください

1	講師の育成に関わることは研修実施機関が担っていることであり、研修向上委員会にそういう機能を持たせるつもりはない。研修向上委員会は現職の主任ケアマネと大学の先生の計6名+研修実施機関の職員で構成しており、講師の育成や支援を行える組織になっていないし、する必要もない。ケアマネの法定研修は半永久的に続くものでもないし、受講者が今後も一定数確保できるわけでもない。こういうことは職能団体がやればよい。
2	講師の育成できる人材が確保できていないため
3	他事業で既に行っている内容だから
4	都道府県が研修向上会議とは別事業として実施予定であるため
5	講師の不足や講義内容の水準の低下も聞かれていないため。
6	研修実施機関が必要に応じて実施しているため。
7	都道府県協会が、講師研修の伝達研修を実施予定の為
8	研修実施機関が実施を予定している
9	ケアマネ協会が実施しているため
10	継続してお願いできている講師や演習助手がいるため。また、研修実施機関が実施する打合会に県も参加したり、研修実施機関から研修評価シートのフィードバックを行っている。
11	本会には、評価機関として位置付けている研修向上委員会とは別に、研修の内容を検討している『介護支援専門員研修企画・検討委員会』があり、その組織で講師・ファシリテーター向け研修などについても検討しているから。
12	研修実施機関としてすでに養成を行っている。
13	検討課題であることは認識しているが、向上委員会が本年度からの実施であるため、未検討。今後検討・実施する可能性はある。

14	研修実施機関から特に課題として提案されていないため。
15	講師育成などの実務的な内容は、各介護支援専門員研修の講師会議の場で実施しているため。
16	講師の育成や支援は研修実施機関や都道府県が実施するものである為
17	研修実施機関で研修前に講師を集めての実習内容の検討会を行っているため
18	資質向上検討委員会事務局でもある都道府県が実施しているため
19	向上委員会では、介護支援専門員の資質向上のための研修の在り方などを検討しており、直接講師の育成や支援を実施することは考えていない。
20	職能団体に研修を実施しているため
21	都道府県で指導者を養成する事業を行っているため。
22	都道府県が独自事業として講師養成研修を実施している。
23	都道府県として実施しているため

- 問 5-4:問 5-2 で①(実施している)②(実施していないが、今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください。研修向上委員会として実施した又は実施する予定の講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

1	委員会に新メンバーを招き、実際に研修に参加していただきながら、委員会からも講師を養成している。
2	講師の育成については、指定研修実施機関が実施している。
3	いきなり講師をしてもらうのではなく、まずはファシリテーターとして演習に入ってもらった上で、講師を担ってもらう。その前段として、ファシリテーターの養成研修を開催している。

- 問 5-6(5-5):研修講師が独自に作成、使用している副教材の研修向上委員会の確認状況についてご回答ください(1つ選択)

1	研修評価の一環として確認するかを検討中
---	---------------------

- 問 5-7(5-8):問 5-6(5-7)で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください

1	ファシリ育成に関わることは研修実施機関が担っていることであり、研修向上委員会にそういう機能を持たせるつもりはない。研修向上委員会は現職の主任ケアマネと大学の先生の計6名+研修実施機関の職員で構成しており、講師の育成や支援を行える組織になっていないし、する必要もない。ケアマネの法定研修は半永久的に続くものでもないし、受講者が今後も一定数確保できるわけでもない。こういうことは職能団体がやればよい。
2	ファシリテーターの育成できる人材が確保できていないため
3	他事業で既に実施しているから
4	都道府県が研修向上会議とは別事業として実施予定であるため
5	主任更新研修の受講要件にファシリテーターの実施を上げているため、現在実施していない主任ケアマネがファシリテーターを実践する機会が増えると見込まれるため、意図的に育成などの必要はないと考える。
6	研修実施機関が実施しているため
7	研修実施機関が必要に応じて実施しているため。
8	都道府県協会が、ファシリテーター研修などを実施している為
9	研修実施機関が実施

10	研修実施機関として検討中
11	継続してお願いできている講師や演習助手がいるため。また、研修実施機関が実施する打合会に参加したり、研修実施機関から研修評価シートのフィードバックを行っている。
12	本会には、評価機関として位置付けている研修向上委員会とは別に、研修の内容を検討している『介護支援専門員研修企画・検討委員会』があり、その組織で講師・ファシリテーター向け研修などについても検討しているから。
13	研修実施機関としてすでに養成を行っている。
14	検討課題であることは認識しているが、向上委員会が本年度からの実施であるため、未検討。今後検討・実施する可能性はある。
15	研修実施機関から特に課題として提案されていないため。
16	問 5-3 と同様
17	ファシリテーターの育成や支援は研修実施機関や県で実施している為
18	予算がついておらず、協会などで実施を検討しているため。
19	研修実施機関で研修前にファシリテーターを集めての実習内容の検討会を行っているため
20	資質向上検討委員会事務局でもある都道府県として実施しているため
21	向上委員会では、介護支援専門員の資質向上のための研修の在り方などを検討しており、直接講師の育成や支援を実施することは考えていない。
22	職能団体が研修を実施しているため
23	都道府県で指導者を養成する事業を行っているため。
24	都道府県が独自事業として講師養成研修を実施している。
25	都道府県として実施しているため

- 問 5-8(5-9) : 問 5-6(5-7) で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください。研修向上委員会として実施した又は実施する予定のファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

1	各研修委員会への参加
2	ファシリテーターの育成については、指定研修実施機関が実施している。
3	講師養成マニュアルの作成
4	委員会で作された意見・助言のフィードバック (①は県として既に実施、⑥、⑦は研修実施機関で既に実施)

- 問 5-12(5-13) : 問 5-9(5-10) で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください。講師、ファシリテーターの評価を実施しない理由を教えてください

1	修了評価シートやアンケート結果を講師やファシリテーターに送っている。委員会でも同じ資料を使って会議のなかで講師に対する評価に関わる話をするにはあるが、それを本人に伝える必要は感じない(同じ資料を本人に送っているので自覚してもらえばよい)。実績のある人たちを信頼して講師として依頼しているし、委員会メンバーも現職のケアマネであり、講師も担当しているので伝える必要はない。
2	評価が難しいうえに、限られた候補者のなかから研修実施機関において選定確保しているため
3	職能団体内で既に行われている内容だから
4	講師の評価の仕方が分からない。講師を選抜しているわけではないので、地域でのその分野の有識者に講師を依頼しているのが現状であるため。

5	必要だと認識しているが実行に移せていない。
6	検討中
7	客観的な評価基準がないのと、研修機関が8機関もあるので、講師やファシリテーターの数も多く、把握しきれない
8	評価指標を持ちえていないし、仮に評価をした場合その後の育成体制などが整っていないため、評価結果次第では講師受託者が減ってしまい、研修自体が成立しなくなることを危惧している。
9	評価は受講者による実施機関アンケートのみを実施している。
10	経験や知識のある講師にお願いしているため必要性を感じていない。なお、受講者からの講義内容などへの意見がある場合にはお伝えさせていただいている。
11	研修向上委員会の実施主体である指定研修機関は、研修内容や受講者の要望などを熟知しており、都道府県が事業評価を行うものになじまないため。また、都道府県職員も検討会議に参加しており、必要に応じて、進行の修正などが可能であるため。
12	評価指標がないため
13	検討課題であることは認識しているが、向上委員会が本年度からの実施であるため、未検討。今後検討・実施する可能性はある。
14	研修実施機関から特に課題として提案されていないため。
15	向上委員のうち、半数が講師兼ファシリテーターであり、各研修会の振り返り会議(反省会)の際、相互評価を行っているため。
16	向上委員会の委員は、殆どが講師であるため、評価しにくい。
17	評価する体制が整っていない
18	評価を行うための基準がガイドラインで明示されていないため
19	現段階で講師、ファシリテーターの評価の必要性を感じていない。
20	評価方法などについて、現時点では具体的に議論したことがない。
21	必要性を感じていないため
22	講師、ファシリテーターの評価基準がない。

- 問 7-1:PDCA サイクルを回す観点から、研修向上委員会として独自の工夫している取り組みなどがあれば、具体的にご回答ください。(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください。)

1	研修実施機関が実務研修委員会、専門研修委員会、主任・主任更新委員会を設置し、研修企画の検討などを行い、各委員会から各研修委員会で共有すべきこと、検討したい事などを県が主催の研修向上委員会に議題として提出し外部有識者も入れた形で共有・検討し、各研修委員会に返し現場に反映している。各研修カリキュラムの連動制も意識して行っている。
2	法定研修と実践が連動できるよう、法定研修の評価・見直しとともに、実践現場における介護支援専門員の育成支援策についても検討。
3	ワーキンググループの設置および活用

(3) 法定研修実施機関向け調査結果

【単純集計表_法定研修実施機関向け】

(I) 法定研修の運営状況について

問1-1 ご回答者様が所属する研修実施機関の機関種別についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①社会福祉協議会	65.3%	45.3%	43.9%	59.2%	23.4%	22.4%
②都道府県介護支援専門員協会(協議会)	18.4%	22.6%	26.3%	16.3%	46.8%	49.0%
③介護支援専門員研修実施機関	12.2%	26.4%	24.6%	20.4%	21.3%	20.4%
④地方公共団体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.0%
⑤その他	4.1%	5.7%	5.3%	4.1%	6.4%	6.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問1-2 ご回答者様が所属する研修実施機関の研修の実施形態についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①都道府県の直営による実施	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.0%
②都道府県の委託による実施	26.5%	30.2%	31.6%	32.7%	44.7%	44.9%
③指定実施機関による実施	73.5%	69.8%	68.4%	67.3%	53.2%	53.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問1-4 平成29年度の受講者数及び平成30年度の受講予定(又は実績)者数についてご回答ください

【実務】

	平成29年度 受講者数(実績)	平成30年度 受講者 数(予定又は実績)
n	46	47
平均	439.7	145.8
標準偏差	288.2	255.5
最小値	139.0	30.0
最大値	1415.0	1440.0
中央値	362.0	80.0

【更新Ⅰ】

	平成29年度 受講者数(実績)	平成30年度 受講者 数(予定又は実績)
n	50	49
平均	249.4	257.0
標準偏差	211.2	283.1
最小値	21.0	14.0
最大値	1044.0	1630.0
中央値	193.0	166.0

【更新Ⅱ】

	平成29年度 受講者数(実績)	平成30年度 受講者 数(予定又は実績)
n	53	52
平均	595.7	670.4
標準偏差	494.0	532.9
最小値	45.0	171.0
最大値	2946.0	2632.0
中央値	441.5	484.0

【再研修】

	平成29年度 受講者数(実績)	平成30年度 受講者 数(予定又は実績)
n	48	49
平均	260.1	286.3
標準偏差	206.9	231.7
最小値	72.0	49.0
最大値	1237.0	1294.0
中央値	196.0	214.5

【主任】

	平成29年度 受講者数(実績)	平成30年度 受講者 数(予定又は実績)
n	44	43
平均	90.2	188.6
標準偏差	75.2	175.4
最小値	5.0	5.0
最大値	385.0	829.0
中央値	67.5	124.0

【主任更新】

	平成29年度 受講者数(実績)	平成30年度 受講者 数(予定又は実績)
n	47	47
平均	208.4	242.1
標準偏差	234.2	237.8
最小値	55.0	62.0
最大値	1480.0	1220.0
中央値	138.0	170.0

問1-5 平成29年度及び平成30年度の受講料の設定方法とその額をご回答ください。(1つ選択)

【実務】

①受講料にテキスト代を含む				②受講料にテキスト代を含まない				
	受講料	内、テキスト代	その他費用	受講料	テキスト代	その他費用		
平成29年度(実績)	n	19	16	5	n	27	25	12
	平均	54794.7	8566.4	0.0	平均	44858.1	9848.3	3608.3
	標準偏差	5428.2	4916.0	0.0	標準偏差	10311.1	1465.1	6629.8
	最小値	45000.0	0.0	0.0	最小値	12000.0	7500.0	0.0
	最大値	64640.0	24000.0	0.0	最大値	60000.0	15000.0	25000.0
中央値	54000.0	8640.0	0.0	中央値	60000.0	10260.0	1650.0	
平成30年度(予定又は実績)	n	19	27	11	n	29	27	11
	平均	54768.4	10259.7	5454.5	平均	45661.0	10259.7	5454.5
	標準偏差	5042.6	5042.6	0.0	標準偏差	9933.3	2026.2	8261.2
	最小値	45000.0	7500.0	0.0	最小値	12000.0	7500.0	0.0
	最大値	64640.0	15636.0	25000.0	最大値	60000.0	15636.0	25000.0
中央値	54000.0	10260.0	3000.0	中央値	47000.0	10260.0	3000.0	

【更新Ⅰ】

①受講料にテキスト代を含む				②受講料にテキスト代を含まない				
	受講料	内、テキスト代	その他費用	受講料	テキスト代	その他費用		
平成29年度(実績)	n	26	19	9	n	28	23	7
	平均	36257.7	3343.5	222.2	平均	28697.0	5533.6	1038.6
	標準偏差	6657.1	2289.0	628.5	標準偏差	7811.1	1718.6	7782.2
	最小値	21900.0	0.0	0.0	最小値	10000.0	0.0	0.0
	最大値	45000.0	6480.0	2000.0	最大値	43000.0	8800.0	5000.0
中央値	35930.0	3240.0	0.0	中央値	43000.0	6000.0	230.0	
平成30年度(予定又は実績)	n	26	19	9	n	29	24	7
	平均	36027.7	3177.4	222.2	平均	29193.6	5030.3	1270.0
	標準偏差	6744.8	2129.5	628.5	標準偏差	7782.2	1124.7	2053.5
	最小値	21900.0	0.0	0.0	最小値	10000.0	2800.0	0.0
	最大値	43600.0	6480.0	2000.0	最大値	43000.0	8800.0	6000.0
中央値	36500.0	3240.0	0.0	中央値	29500.0	4860.0	230.0	

【更新Ⅱ】

①受講料にテキスト代を含む				②受講料にテキスト代を含まない				
	受講料	内、テキスト代	その他費用	受講料	テキスト代	その他費用		
平成29年度(実績)	n	29	23	8	n	28	22	7
	平均	24949.5	2982.3	285.7	平均	25103.3	2868.8	333.3
	標準偏差	5985.1	1434.6	699.9	標準偏差	6021.7	1397.1	745.4
	最小値	12,500	0	0	最小値	12,500	0	0
	最大値	32,000	4,320	2,000	最大値	32,000	4,320	2,000
中央値	25000.0	3240.0	0.0	中央値	24998.0	3240.0	0.0	
平成30年度(予定又は実績)	n	28	22	7	n	28	22	7
	平均	25103.3	2868.8	333.3	平均	25103.3	2868.8	333.3
	標準偏差	6021.7	1397.1	745.4	標準偏差	6021.7	1397.1	745.4
	最小値	12500.0	0	0	最小値	12,500	0	0
	最大値	32000.0	4,320	2,000	最大値	32,000	4,320	2,000
中央値	24998.0	3240.0	0.0	中央値	24998.0	3240.0	0.0	

【再研修】

①受講料にテキスト代を含む				②受講料にテキスト代を含まない				
	受講料	内、テキスト代	その他費用	受講料	テキスト代	その他費用		
平成29年度(実績)	n	19	12	3	n	29	26	6
	平均	38710.5	9098.0	0.0	平均	30580.4	9629.6	7426.0
	標準偏差	6884.2	3907.9	0.0	標準偏差	8830.0	2156.4	8954.7
	最小値	28,500	2,000	0	最小値	8,000	3,000	0
	最大値	57,760	19,000	0	最大値	53,000	15,600	21,900
中央値	38000.0	8640.0	0.0	中央値	53000.0	10260.0	1000.0	
平成30年度(予定又は実績)	n	19	12	3	n	29	25	5
	平均	38394.7	9098.0	0.0	平均	31542.5	9698.8	2557.5
	標準偏差	6955.031	3907.9	0.0	標準偏差	10529.9	3234.4	3738.0
	最小値	28500.0	2,000	0	最小値	8,000	0	0
	最大値	57760.0	19,000	0	最大値	55,200	18,000	9,000
中央値	38000.0	8640.0	0.0	中央値	31000.0	9880.0	615.0	

【主任】

①受講料にテキスト代を含む				②受講料にテキスト代を含まない					
	受講料	内、テキスト代	その他費用		受講料	テキスト代	その他費用		
平成29年度(実績)	n	21	11	2	平成29年度(実績)	n	26	18	5
	平均	44514.3	3972.0	0.0		平均	41176.0	4266.0	2519.6
	標準偏差	9979.5	2624.0	0.0		標準偏差	10365.7	883.1	2995.4
	最小値	23,000	0	0		最小値	17,000	3,456	0
	最大値	62,000	10,000	0		最大値	60,000	7,500	6,368
中央値	43800.0	4000.0	0.0	中央値	60000.0	4160.0	230.0		
平成30年度(予定又は実績)	n	22	12	3	平成30年度(予定又は実績)	n	25	19	5
	平均	44399.8	3932.4	0.0		平均	42133.3	4126.6	2322.0
	標準偏差	9764.172	2520.6	0.0		標準偏差	10876.9	874.4	2912.3
	最小値	23000.0	0	0		最小値	17,000	3,456	0
	最大値	62000.0	10,000	0		最大値	62,400	7,500	7,200
中央値	42900.0	3996.0	0.0	中央値	41500.0	3996.0	230.0		

【主任更新】

①受講料にテキスト代を含む				②受講料にテキスト代を含まない					
	受講料	内、テキスト代	その他費用		受講料	テキスト代	その他費用		
平成29年度(実績)	n	29	3	5	平成29年度(実績)	n	22	19	4
	平均	37964.1	1804.0	0.0		平均	30082.7	4359.6	57.5
	標準偏差	7491.8	1571.3	0.0		標準偏差	8608.1	1366.3	99.6
	最小値	20,000	412	0		最小値	15,900	3,000	0
	最大値	53,000	4,000	0		最大値	43,000	10,000	230
中央値	38000.0	1000.0	0.0	中央値	43000.0	4104.0	0.0		
平成30年度(予定又は実績)	n	29	3	5	平成30年度(予定又は実績)	n	22	19	3
	平均	37839.6	1720.0	0.0		平均	30082.7	6092.2	1406.7
	標準偏差	7497.235	1417.3	0.0		標準偏差	8608.1	8104.1	1829.1
	最小値	20000.0	460	0		最小値	15,900	3,000	0
	最大値	53000.0	3,700	0		最大値	43,000	39,966	3,990
中央値	37000.0	1000.0	0.0	中央値	31500.0	3996.0	230.0		

問1-6 平成29年度及び平成30年度の補助金または基金の交付(実績・予定)についてご回答ください
(それぞれ1つ選択)

【実務】n=49

	平成29年度(実績)		平成30年度(予定又は実績)	
	件数	% (全体)	件数	% (全体)
①補助や交付あり(一部あるいは全部)	14	28.6%	15	30.6%
②補助や交付なし	33	67.3%	33	67.3%
無回答	2	4.1%	1	2.0%

【更新Ⅰ】n=53

	平成29年度(実績)		平成30年度(予定又は実績)	
	件数	% (全体)	件数	% (全体)
①補助や交付あり(一部あるいは全部)	19	35.8%	20	37.7%
②補助や交付なし	30	56.6%	30	56.6%
無回答	4	7.5%	3	5.7%

【更新Ⅱ】n=57

	平成29年度(実績)		平成30年度(予定又は実績)	
	件数	% (全体)	件数	% (全体)
①補助や交付あり(一部あるいは全部)	21	36.8%	21	36.8%
②補助や交付なし	34	59.6%	33	57.9%
無回答	2	3.5%	3	5.3%

【再研修】n=49

	平成29年度(実績)		平成30年度(予定又は実績)	
	件数	% (全体)	件数	% (全体)
①補助や交付あり(一部あるいは全部)	15	30.6%	15	30.6%
②補助や交付なし	33	67.3%	34	69.4%
無回答	1	2.0%	0	0.0%

【主任】n=47

	平成29年度(実績)		平成30年度(予定又は実績)	
	件数	% (全体)	件数	% (全体)
①補助や交付あり(一部あるいは全部)	20	42.6%	20	42.6%
②補助や交付なし	27	57.4%	27	57.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%

【主任更新】n=49

	平成29年度(実績)		平成30年度 (予定又は実績)	
	件数	% (全体)	件数	% (全体)
①補助や交付あり(一部あるいは全部)	15	30.6%	15	30.6%
②補助や交付なし	32	65.3%	32	65.3%
無回答	2	4.1%	2	4.1%

問1-7 受講要件設定についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)の通り	98.0%	92.5%	96.5%	95.9%	78.7%	59.2%
②都道府県で独自の要件を設定している	2.0%	1.9%	1.8%	2.0%	19.1%	34.7%
無回答	0.0%	5.7%	1.8%	2.0%	2.1%	6.1%

問1-8 【問1-7で②(都道府県で独自の要件を設定している)を選択した方のみ】

独自に設定している要件の概要がわかる資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

※ご提供資料の概要については後述

問1-9 研修全般の質やバランスを確保するため、研修課程毎または介護支援専門員研修全般において、各科目間や各研修課程間の連動性を調整し、齟齬が発生しないよう統括し、研修を計画的に運営する責任者(コースデザイン等を行っている担当者)を設置しているかご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①設置している	59.2%	67.9%	66.7%	63.3%	59.6%	67.3%
②設置していないが、今後設置する予定である	6.1%	3.8%	5.3%	2.0%	10.6%	10.2%
③設置していないし、今後設置する予定もない	34.7%	28.3%	28.1%	34.7%	27.7%	20.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.0%

問1-10 【問1-9で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】

その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可)

※「研修向上委員会」の定義は別シート【回答方法等】をご確認ください。

	実務 n=32	専門Ⅰ n=38	専門Ⅱ n=41	再研修 n=31	主任 n=33	主任更新 n=38
①研修向上委員会の委員	56.3%	57.9%	63.4%	54.8%	69.7%	65.8%
②研修実施機関の職員	56.3%	52.6%	48.8%	51.6%	54.5%	52.6%
③都道府県担当部局の職員	21.9%	21.1%	22.0%	19.4%	24.2%	23.7%
④その他	25.0%	28.9%	26.8%	29.0%	15.2%	18.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	2.6%

問1-11 貴都道府県では法定研修に係る『シラバス』を作成していますか。最も近いものをご回答ください(1つ選択)

※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①すべての科目で作成している	32.7%	35.8%	29.8%	28.6%	27.7%	40.8%
②一部の科目で作成している	38.8%	41.5%	36.8%	40.8%	51.1%	38.8%
③作成していないが、今後全ての科目で作成予定(検討中を含む)	4.1%	3.8%	8.8%	4.1%	6.4%	4.1%
④作成していないが、今後一部の科目で作成予定(検討中を含む)	2.0%	1.9%	3.5%	2.0%	4.3%	4.1%
⑤作成していないし、今後作成する予定もない	22.4%	15.1%	19.3%	24.5%	10.6%	12.2%
無回答	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

問1-12 【問1-11で①又は②(作成している)を選択した方のみ】

『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください(1つ選択)

	実務 n=35	専門Ⅰ n=41	専門Ⅱ n=38	再研修 n=34	主任 n=37	主任更新 n=39
①都道府県が作成	2.9%	4.9%	5.3%	5.9%	2.7%	0.0%
②研修向上委員会が作成	11.4%	12.2%	15.8%	14.7%	18.9%	20.5%
③研修実施機関が作成	37.1%	31.7%	34.2%	23.5%	21.6%	35.9%
④講師が作成(講師に作成を依頼)	37.1%	36.6%	36.8%	44.1%	43.2%	33.3%
⑤その他	11.4%	4.9%	10.5%	8.8%	13.5%	10.3%
無回答	0.0%	9.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%

問1-13 遅刻・早退者・欠席者の取り扱いについて規定した資料(実施要綱等)があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

※ご提供資料の概要については後述

(Ⅱ) 研修科目・研修ツール・教材の状況

問2-1 研修科目・研修時間を介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)よりも多く設定している場合があります(複数回答可)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①講義形式の科目で時間数を追加している	14.3%	3.8%	7.0%	2.0%	6.4%	6.1%
②講義・演習一体型の科目で時間数を追加している	24.5%	9.4%	5.3%	10.2%	2.1%	6.1%
③講義形式の科目を追加している	2.0%	1.9%	3.5%	4.1%	6.4%	4.1%
④講義・演習一体型の科目を追加している	4.1%	3.8%	8.8%	12.2%	0.0%	6.1%
⑤実施要綱通り(科目や時間数の追加はない)	42.9%	77.4%	68.4%	73.5%	76.6%	69.4%
⑥その他	10.2%	0.0%	3.5%	2.0%	4.3%	10.2%
無回答	6.1%	5.7%	3.5%	6.1%	6.4%	2.0%

問2-2 【問2-1で①、②、③、④を選択した方のみ】

介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください

※自由記述回答については後述

問2-3 講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているかご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①ガイドライン通りに実施した	71.4%	64.2%	64.9%	69.4%	68.8%	63.3%
②ガイドラインから変更したものもある	24.5%	34.0%	33.3%	26.5%	34.0%	34.7%
③分からない(実施方法は講師に任せており研修実施機関にて把握していない)	2.0%	1.9%	1.8%	4.1%	2.1%	2.0%
無回答	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問2-4 講義・演習一体型科目の演習の展開方法や内容を示す資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。(可能であれば全科目分の資料をご提供ください)

※ご提供資料の概要については後述

問2-5 講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①研修向上委員会が決めしている	16.3%	18.9%	17.5%	14.3%	8.5%	14.3%
②研修実施機関が決めしている	18.4%	24.5%	21.1%	20.4%	21.3%	30.6%
③研修講師が各自で決めしている	36.7%	39.6%	43.9%	44.9%	57.4%	34.7%
④その他	26.5%	17.0%	17.5%	20.4%	12.8%	14.3%
無回答	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%

問2-6 主要教材(テキスト)の概要をご回答ください

書籍名:
発行元:
価格(1冊あたり): 円(税別)
その他(独自に作成している場合等):

問2-7 副教材(PPT等)の配布の有無についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①副教材(PPT等)の配布がある	77.6%	83.0%	82.5%	79.6%	74.5%	71.4%
②副教材(PPT等)の配布がない	16.3%	17.0%	17.5%	18.4%	21.3%	24.5%
無回答	6.1%	0.0%	0.0%	2.0%	4.3%	4.1%

問2-8 【問2-7で①(副教材(PPT等)の配布がある)を選択した方のみ】

『副教材(PPT等)』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。(複数回答可)

	実務 n=38	専門Ⅰ n=44	専門Ⅱ n=47	再研修 n=39	主任 n=35	主任更新 n=35
①都道府県が作成している	5.3%	6.8%	4.3%	2.6%	0.0%	0.0%
②研修向上委員会が作成している	2.6%	6.8%	4.3%	2.6%	5.7%	20.0%
③研修実施機関が作成している	18.4%	25.0%	21.3%	15.4%	17.1%	17.1%
④講師が作成している	84.2%	84.1%	87.2%	87.2%	94.3%	88.6%
⑤その他	13.2%	4.5%	4.3%	15.4%	2.9%	5.7%
無回答	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問2-9 【問2-7で①(副教材(PPT等)の配布がある)を選択した方のみ】

副教材(PPT等)の質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的にご回答ください。

(例:講師向けの副教材の作成研修の実施、副教材の作成に関する独自のガイドラインの作成など)

※自由記述回答については後述

問2-10 【問2-7で④(講師が作成している)を選択した方のみ】

講師が作成・使用している副教材(PPT等)の内容の確認状況についてあてはまるものをすべてご回答ください。(複数回答可)

	実務 n=32	専門Ⅰ n=37	専門Ⅱ n=41	再研修 n=34	主任 n=33	主任更新 n=31
①研修実施機関が内容の確認を行っている	71.9%	70.3%	65.9%	70.6%	68.6%	61.3%
②研修向上委員会が内容の確認を行っている	12.5%	18.9%	12.2%	11.8%	15.2%	16.1%
③都道府県が内容の確認を行っている	6.3%	8.1%	4.9%	8.8%	3.0%	6.5%
④職能団体が内容の確認を行っている	3.1%	5.4%	4.9%	0.0%	3.0%	6.5%
⑤副教材の内容の確認は特に行っていない	21.9%	18.9%	22.0%	23.5%	21.2%	25.8%
⑥その他	6.3%	5.4%	7.3%	5.9%	12.1%	9.7%
無回答	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問2-11 演習科目等におけるワークシートの使用の有無についてご回答ください

(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①ワークシートの使用がある	98.0%	96.2%	91.2%	98.0%	93.6%	95.9%
②ワークシートの使用がない	2.0%	1.9%	3.5%	2.0%	2.1%	4.1%
無回答	0.0%	1.9%	5.3%	0.0%	4.3%	0.0%

問2-12 【問2-11で①(ワークシートの使用がある)を選択した方のみ】

『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。

(複数回答可)

	実務 n=48	専門Ⅰ n=51	専門Ⅱ n=52	再研修 n=48	主任 n=44	主任更新 n=47
①都道府県が作成している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
②研修向上委員会が作成している	8.3%	11.8%	7.7%	4.2%	13.6%	17.0%
③研修実施機関が作成している	25.0%	31.4%	28.8%	27.1%	29.5%	29.8%
④講師が作成している	66.7%	72.5%	71.2%	72.9%	75.0%	66.0%
⑤その他	18.8%	13.7%	19.2%	20.8%	6.8%	14.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%

問2-13 【問2-11で①(ワークシートの使用がある)を選択した方のみ】

ワークシートの質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的にご回答ください。

(例:講師向けのワークシートの作成研修の実施、ワークシートの作成に関する独自のガイドラインの作成など)

※自由記述回答については後述

(Ⅲ)講師の確保、育成の状況

問3-1 都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①不足	16.3%	18.9%	15.8%	16.3%	27.7%	26.5%
②やや不足	49.0%	47.2%	49.1%	42.9%	46.8%	38.8%
③適切	30.6%	34.0%	33.3%	38.8%	25.5%	34.7%
④やや過剰	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
⑤過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

問3-2 今年度の講師の確保方法について近いものをご回答ください(複数回答可)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①昨年度までの講師を起用した	95.9%	100.0%	100.0%	98.0%	97.9%	89.8%
②新たに養成した	10.2%	20.8%	22.8%	14.3%	12.8%	32.7%
③独自のネットワークで声をかけた	24.5%	30.2%	26.3%	26.5%	25.5%	28.6%
④他の団体や機関に紹介を依頼した	34.7%	34.0%	24.6%	28.6%	19.1%	12.2%
⑤市町村からの推薦を受けた	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	2.1%	0.0%
⑥都道府県外の講師を起用した	8.2%	11.3%	1.8%	2.0%	19.1%	14.3%
⑦大学などの研究者に依頼した	8.2%	5.7%	8.8%	6.1%	29.8%	12.2%
⑧地域同行型研修のアドバイザー(主任介護支援専門員)に依頼した	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した	24.5%	13.2%	19.3%	16.3%	14.9%	14.3%
⑩加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問3-3 講師の選定基準についてご回答ください(1つ選択)

独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的に回答ください。

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り	93.9%	92.5%	87.7%	98.0%	95.7%	91.8%
②都道府県で独自の要件を設定している	6.1%	5.7%	8.8%	2.0%	4.3%	6.1%
無回答	0.0%	1.9%	3.5%	0.0%	0.0%	2.0%

問3-4 研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①講師養成研修の開催	18.4%	24.5%	22.8%	18.4%	31.9%	38.8%
②研修ガイドラインについての説明会の開催	16.3%	24.5%	22.8%	12.2%	25.5%	24.5%
③独自の研修教材(副教材)の開発	6.1%	11.3%	10.5%	6.1%	6.4%	12.2%
④シラバスの作成方法の説明や指導	8.2%	7.5%	7.0%	4.1%	6.4%	18.4%
⑤講師同士の意見交換会の開催	44.9%	49.1%	43.9%	38.8%	29.8%	53.1%
⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など)	44.9%	49.1%	47.4%	42.9%	46.8%	44.9%
⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施(講師の意見の吸い上げ)	8.2%	35.8%	33.3%	30.6%	27.7%	30.6%
⑧研修実施機関として、講師の育成や支援は行っていない	8.2%	18.9%	19.3%	28.6%	19.1%	18.4%
⑨その他	4.1%	9.4%	8.8%	12.2%	12.8%	8.2%
無回答	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	4.3%	4.1%

問3-5 研修実施機関として「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①実施している	4.1%	7.5%	7.0%	4.1%	12.8%	12.2%
②実施していないが、今後実施する予定である	8.2%	9.4%	10.5%	4.1%	12.8%	14.3%
③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う	71.4%	75.5%	75.4%	81.6%	68.1%	63.3%
④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う	16.3%	5.7%	5.3%	10.2%	4.3%	6.1%
無回答	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	2.1%	4.1%

問3-6 【問3-5で①(実施している)を選択した方のみ】

研修実施機関が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)

	実務 n=2	専門Ⅰ n=4	専門Ⅱ n=4	再研修 n=2	主任 n=6	主任更新 n=6
①講師に評価結果をフィードバックしている	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%
②研修講師の人選に活用している	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%
③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している	0.0%	25.0%	50.0%	50.0%	16.7%	16.7%
④研修内容の検討に活用している	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	33.3%	16.7%
⑤特に活用は行っていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
⑥その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問3-7 受講者による「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①実施している	22.4%	15.1%	17.5%	18.4%	14.9%	14.3%
②実施していないが、今後実施する予定である	6.1%	1.9%	3.5%	2.0%	6.4%	6.1%
③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う	59.2%	69.8%	68.4%	69.4%	63.8%	61.2%
④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う	12.2%	9.4%	8.8%	10.2%	12.8%	10.2%
無回答	0.0%	9.4%	1.8%	0.0%	2.1%	8.2%

問3-8 【問3-7で①(実施している)を選択した方のみ】

受講者が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)

	実務 n=11	専門Ⅰ n=8	専門Ⅱ n=10	再研修 n=9	主任 n=7	主任更新 n=7
①講師に評価結果をフィードバックしている	63.6%	87.5%	60.0%	77.8%	71.4%	71.4%
②研修講師の人選に活用している	18.2%	12.5%	20.0%	11.1%	42.9%	28.6%
③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している	9.1%	0.0%	10.0%	0.0%	14.3%	28.6%
④研修内容の検討に活用している	18.2%	37.5%	40.0%	22.2%	42.9%	28.6%
⑤特に活用は行っていない	9.1%	12.5%	20.0%	11.1%	14.3%	14.3%
⑥その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問3-9 講師の評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

※自由記述回答については後述

(Ⅳ) ファシリテーターの確保、育成の状況

問4-1 都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①不足	10.2%	18.9%	19.3%	12.2%	21.3%	20.4%
②やや不足	49.0%	45.3%	36.8%	46.9%	46.8%	36.7%
③適切	34.7%	30.2%	40.4%	32.7%	23.4%	28.6%
④やや過剰	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
⑤過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	4.1%	5.7%	3.5%	6.1%	0.0%	14.3%

問4-2 今年度のファシリテーターの確保方法について近いものをご回答ください(複数回答可)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①昨年度までのファシリテーターを起用した	91.8%	92.5%	93.0%	93.9%	80.9%	73.5%
②新たに養成した	26.5%	32.1%	36.8%	26.5%	51.1%	40.8%
③独自のネットワークで声をかけた	20.4%	32.1%	29.8%	26.5%	19.1%	20.4%
④他の団体や機関に紹介を依頼した	28.6%	13.2%	14.0%	24.5%	8.5%	6.1%
⑤市町村からの推薦を受けた	0.0%	1.9%	1.8%	2.0%	0.0%	2.0%
⑥講師に推薦を依頼した	20.4%	11.3%	15.8%	18.4%	19.1%	16.3%
⑦都道府県外のファシリテーターを起用した	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧大学などの研究者に依頼した	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.1%	2.0%
⑨地域同行型研修のアドバイザー(主任介護支援専門員)に依頼した	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した	18.4%	15.1%	17.5%	14.3%	19.1%	18.4%
⑪加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6.1%	5.7%	3.5%	6.1%	12.8%	16.3%

問4-3 ファシリテーターの選定基準についてご回答ください(1つ選択)

独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的に回答ください。

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り	63.3%	58.5%	59.6%	65.3%	51.1%	51.0%
②都道府県で独自の要件を設定している	34.7%	35.8%	29.8%	28.6%	31.9%	32.7%
無回答	2.0%	5.7%	10.5%	28.6%	17.0%	16.3%

問4-4 一人のファシリテーターが担当するグループ数についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①10グループ以上	0.0%	3.8%	3.5%	0.0%	0.0%	12.2%
②5~9グループ	28.6%	28.3%	35.1%	32.7%	34.0%	38.8%
③2~4グループ	59.2%	56.6%	49.1%	59.2%	40.4%	32.7%
④1グループ	8.2%	3.8%	5.3%	4.1%	10.6%	2.0%
無回答	4.1%	7.5%	7.0%	4.1%	14.9%	14.3%

問4-5 研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①ファシリテーター養成研修の開催	36.7%	45.3%	40.4%	34.7%	46.8%	53.1%
②ガイドラインについての説明会の開催	12.2%	13.2%	22.8%	12.2%	25.5%	20.4%
③独自の研修教材(副教材)の開発	8.2%	15.1%	14.0%	8.2%	8.5%	12.2%
④シラバスの作成方法の説明や指導	8.2%	17.0%	12.3%	6.1%	6.4%	10.2%
⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催	36.7%	35.8%	31.6%	32.7%	31.9%	38.8%
⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など)	28.6%	32.1%	28.1%	24.5%	31.9%	32.7%
⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施	36.7%	30.2%	28.1%	28.6%	27.7%	20.4%
⑧研修実施機関として、ファシリテーターの育成や支援は行っていない	16.3%	13.2%	17.5%	18.4%	6.4%	8.2%
⑨その他	18.4%	9.4%	8.8%	10.2%	10.6%	10.2%
無回答	4.1%	5.7%	5.3%	6.1%	10.6%	12.2%

問4-6 研修実施機関として「ファシリテーターへの評価」を行っていますか(1つ選択)

	実務 n=49	専門 I n=53	専門 II n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①実施している	4.1%	3.8%	5.3%	4.1%	10.6%	12.2%
②実施していないが、今後実施する予定である	8.2%	15.1%	12.3%	8.2%	12.8%	16.3%
③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う	69.4%	66.0%	71.9%	71.4%	57.4%	49.0%
④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う	14.3%	5.7%	5.3%	10.2%	4.3%	4.1%
無回答	4.1%	9.4%	5.3%	6.1%	14.9%	18.4%

問4-7 【問4-6で①(実施している)を選択した方のみ】

研修実施機関が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)

	実務 n=2	専門 I n=2	専門 II n=3	再研修 n=2	主任 n=5	主任更新 n=8
①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	20.0%	16.7%
②ファシリテーターの人选に活用している	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している	0.0%	50.0%	66.7%	0.0%	60.0%	50.0%
④研修内容の検討に活用している	0.0%	50.0%	66.7%	50.0%	60.0%	50.0%
⑤特に活用は行っていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問4-8 受講者による「ファシリテーターへの評価」を行っていますか(1つ選択)

	実務 n=49	専門 I n=53	専門 II n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①実施している	10.2%	11.3%	14.0%	12.2%	6.4%	12.2%
②実施していないが、今後実施する予定である	4.1%	7.5%	5.3%	2.0%	8.5%	4.1%
③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う	63.3%	62.3%	68.4%	67.3%	57.4%	57.1%
④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う	16.3%	9.4%	7.0%	10.2%	12.8%	8.2%
無回答	0.0%	9.4%	5.3%	8.2%	0.0%	18.4%

問4-9 【問4-8で①(実施している)を選択した方のみ】

受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)

	実務 n=5	専門 I n=6	専門 II n=8	再研修 n=6	主任 n=3	主任更新 n=6
①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている	80.0%	83.3%	75.0%	83.3%	100.0%	50.0%
②ファシリテーターの人选に活用している	0.0%	16.7%	37.5%	0.0%	66.7%	50.0%
③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している	0.0%	16.7%	25.0%	0.0%	66.7%	50.0%
④研修内容の検討に活用している	20.0%	16.7%	37.5%	16.7%	100.0%	16.7%
⑤特に活用は行っていない	0.0%	16.7%	12.5%	16.7%	0.0%	16.7%
⑥その他	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問4-10 ファシリテーターの評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

※ご提供資料の概要については後述

(V) 実習の実施状況について

問5-1 実習の手引きについてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49
①独自に作成した手引きがある	67.3%
②手引きは作成せず、テキストを使用して対応している	24.5%
③その他	8.2%
無回答	0.0%

問5-2 実習報告書・書式の指定状況についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49
①独自に定めた報告書・書式がある	98.0%
②報告書・書式は決めていない	0.0%
無回答	2.0%

問5-3 提出事例が課程および科目に見合うものかの確認する際の、確認基準、確認項目、確認方法についてご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49
①基準・確認項目を決めて、担当者が確認を行っている	51.0%
②基準・確認項目は決めずに、担当者が確認を行っている	32.7%
③確認はしていない	12.2%
無回答	4.1%

問5-4 実習指導の質の向上及び平準化に関して、実習受け入れ事業所に対して、研修実施機関として実施している取り組みや工夫として当てはまるものを全てご回答ください。(複数選択)

	実務 n=49
①実習中に指導すべき内容についての事前研修会の開催	73.5%
②過去の実習指導の評価のフィードバック	10.2%
③「実務研修ガイドライン」及び「介護支援専門員養成研修における実習受入に関する指針」の記載内容の共有	40.8%
④実習の手順や考え方を詳細化した副教材(テキスト)を作成・配布	40.8%
⑤主任介護支援専門員などの実習指導者となりうる層を対象とした研修を実施する際、実習中に指導すべき内容について組み込んで実施	12.2%
⑥とくに実習指導の質の向上及び平準化に関する取り組みは行っていない(各事業所に委ねた)	6.1%
⑦その他	10.2%
無回答	2.0%

問5-5 実習の受け入れ機関は特定事業所のみで足りましたか。平成29年度及び平成30年度の状況についてご回答ください。(1つ選択)

	実務 n=49
①29年度は特定事業所のみで対応できた(特定事業所のみで足りた)し、30年度も対応できる見込み(特定事業所のみで足りる)	63.3%
②29年度は特定事業所のみで対応できた(特定事業所のみで足りた)が、30年度は対応できない見込み(特定事業所が不足する)	2.0%
③29年度は特定事業所のみでは対応できなかった(特定事業所のみでは不足した)が、30年度は対応できる見込み(特定事業所が足りる)	28.6%
④29年度は特定事業所のみでは対応できなかった(特定事業所のみでは不足した)し、30年度も対応できない見込み(特定事業所が不足する)	6.1%
無回答	0.0%

問5-6 【問5-5で③④特定事業所のみでは対応できなかった(特定事業所が不足した)を選択した方のみ】不足した特定事業所数を補うためにどのような対応を行ったか、ご回答ください
(例)特定事業所だけでなく、主任介護支援専門員がいる事業所も実習受け入れ機関とした 等

※自由記述回答については後述

問5-7 実習の受け入れ機関に対して、実習の受け入れへの対価（協力金など）を支払っていますか。支払っている場合は1機関あたりの金額をご記入ください。（1つ選択）

	実務 n=49
①支払った	30.6%
②支払っていない	69.4%
無回答	0.0%

①支払った ⇒ 1機関あたりの金額

【実務】

n	14
平均	2857.1
標準偏差	1108.9
最小値	1000
最大値	5000
中央値	3000

問5-8 実習中の事故等に関する保険への加入状況についてご回答ください。（複数選択可）

	実務 n=49
①研修実施機関が加入している	69.4%
②実習の受け入れ機関が加入している	2.0%
③受講者が個人で加入している	10.2%
④特に保険には加入していない	18.4%
⑤その他	6.1%
無回答	0.0%

問5-9 実習受け入れ事業所への受講者の割り振りについてご回答ください（1つ選択）

	実務 n=49
①受講者自身で探すよう説明した	20.4%
②実習受け入れ事業所は研修実施機関側で指定した	71.4%
③探すのが困難な受講者についてのみ斡旋（あっせん）した	0.0%
④その他	6.1%
無回答	2.0%

問5-10 実習に関する提出物（実習報告書、模擬ケアプラン等）の評価を実施していますか。

以下の実習1・2それぞれについてご回答ください。（それぞれ1つ選択）

※「新カリキュラム」での実習は、次の2項目

1. 「実習協力者を対象にケアプランに沿って、居宅サービス計画書の作成をする実習（提出物：模擬ケアプランなど）」の評価について

	実務 n=49
①実施している	53.1%
②実施していないが、今後実施する予定である	10.2%
③実施していないし、今後実施する予定もない	36.7%
無回答	0.0%

2. 「実習協力事業所において、ケアプランプロセスの各場面を見学する実習（提出物：実習報告書など）」の評価について

	実務 n=49
①実施している	49.0%
②実施していないが、今後実施する予定である	12.2%
③実施していないし、今後実施する予定もない	36.7%
無回答	2.0%

問5-11 【問5-10で①(実施している)を選択した方のみ】

実習に関する提出物(実習報告書、模擬ケアプラン等)の評価結果の受講者へのフィードバック方法について、以下の実習1・2それぞれについてご回答ください。(それぞれ1つ選択)

※「新カリキュラム」での実習は、次の2項目

1. 「実習協力者を対象にケアプランに沿って、居宅サービス計画書の作成をする実習(提出物: 模擬ケアプランなど)」のフィードバックについて

	実務 n=26
①面談時間を設け、受講者へのフィードバックを行った	15.4%
②評価結果を記載した資料を作成・配布し、受講者へのフィードバックを行った	7.7%
③受講者へのフィードバックは特に行っていない	19.2%
④その他	53.8%
無回答	3.8%

2. 「実習協力事業所において、ケアプランプロセスの各場面を見学する実習(提出物: 実習報告書など)」のフィードバックについて

	実務 n=24
①面談時間を設け、受講者へのフィードバックを行った	16.7%
②評価結果を記載した資料を作成・配布し、受講者へのフィードバックを行った	12.5%
③受講者へのフィードバックは特に行っていない	29.2%
④その他	37.5%
無回答	4.2%

(VI) 研修評価の実施状況について

問6-1 研修記録シート(事前・事後・3か月)の利用状況についてご回答ください。(1つ選択)

	実務 n=49	専門 I n=53	専門 II n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①「事前」のみ利用している	0.0%	3.8%	5.3%	2.0%	6.4%	2.0%
②「事後」のみ利用している	2.0%	1.9%	1.8%	2.0%	2.1%	2.0%
③「事前と事後」のみ利用している	40.8%	32.1%	35.1%	42.9%	29.8%	34.7%
④「事前、事後、3か月後」を利用している	42.9%	45.3%	40.4%	42.9%	51.1%	51.0%
⑤研修記録シートを利用していない	12.2%	17.0%	15.8%	8.2%	8.5%	10.2%
⑥その他	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.1%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

問6-2 【問6-1で⑤(研修記録シートを利用していない)を選択した方のみ】

研修記録シート(事前・事後・3か月)を利用していない理由や利用に際しての課題等があれば、具体的に記入ください。

※自由記述回答については後述

問6-3 【問6-1で④(「事前、事後、3か月後」を利用している)を選択した方のみ】

「3か月後」のシートの回収、内容の評価状況についてご回答ください。(1つ選択)

	実務 n=21	専門 I n=24	専門 II n=23	再研修 n=21	主任 n=24	主任更新 n=25
①回収して、内容の評価を行った	28.6%	33.3%	39.1%	19.0%	45.8%	40.0%
②回収したが、内容の評価は行っていない	38.1%	50.0%	47.8%	61.9%	37.5%	44.0%
③回収していない(各自で自己評価)	33.3%	16.7%	8.7%	19.0%	16.7%	16.0%
無回答	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%

問6-4 研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計の実施状況についてご回答ください(1つ選択)

※一部の利用でも可

	実務 n=49	専門 I n=53	専門 II n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①集計を行っている	44.9%	56.6%	54.4%	46.9%	55.3%	51.0%
②集計を行っていない	40.8%	28.3%	28.1%	40.8%	34.0%	36.7%
③研修記録シートを利用していない	6.1%	7.5%	7.0%	4.1%	0.0%	6.1%
無回答	0.0%	7.5%	10.5%	8.2%	10.6%	6.1%

問6-5 【問6-4で②(集計を行っていない)を選択した方のみ】

研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計を行っていない理由をご回答ください。(複数回答可)

	実務 n=20	専門Ⅰ n=15	専門Ⅱ n=16	再研修 n=20	主任 n=16	主任更新 n=18
①研修記録シートを回収していないから	0.0%	20.0%	6.3%	0.0%	6.3%	5.6%
②どのように集計を行うべきか分からないから(集計ツールが整備されてないから)	25.0%	20.0%	31.3%	20.0%	12.5%	22.2%
③集計作業に時間を割くことが困難であるため	60.0%	80.0%	75.0%	60.0%	68.8%	72.2%
④集計を行う必要性を感じていないから	25.0%	13.3%	12.5%	25.0%	25.0%	16.7%
⑤都道府県から集計の実施を求められていないから	30.0%	26.7%	25.0%	35.0%	25.0%	22.2%
⑥その他	15.0%	0.0%	6.3%	15.0%	0.0%	5.6%
無回答	5.0%	6.7%	0.0%	5.0%	6.3%	5.6%

問6-6 受講者の修了評価方法についてご回答ください(複数選択)。

※受講者の評価を行っていない場合は⑧(受講者の評価は行っていない)を選択してください。

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①択一式テスト	22.4%	28.3%	26.3%	14.3%	12.8%	8.2%
②記述式テスト	4.1%	0.0%	0.0%	2.0%	2.1%	6.1%
③レポート	2.0%	7.5%	7.0%	2.0%	31.9%	32.7%
④受講者間の相互評価	2.0%	1.9%	1.8%	0.0%	2.1%	2.0%
⑤実技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥講師・ファシリテーター等による評価	22.4%	20.8%	15.8%	14.3%	19.1%	18.4%
⑦研修記録シート	53.1%	49.1%	49.1%	44.9%	51.1%	53.1%
⑧受講者の評価は行っていない	20.4%	15.1%	19.3%	34.7%	14.9%	20.4%
⑨その他	6.1%	9.4%	7.0%	8.2%	4.3%	12.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%

問6-7 【問6-6で①(択一式テスト)又は②(記述式テスト)を選択した方のみ】

テストの内容(設問数、テスト時間、採点基準等)が分かる資料がございましたら、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

※ご提供資料の概要については後述

問6-8 【問6-6で⑥(講師・ファシリテーター等による評価)を選択した方のみ】

受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)

	実務 n=11	専門Ⅰ n=11	専門Ⅱ n=9	再研修 n=7	主任 n=9	主任更新 n=9
①研修評価の考え方や方法についての説明会を開催	9.1%	9.1%	11.1%	28.6%	11.1%	11.1%
②研修評価の考え方や方法についての説明資料を作成・配布	27.3%	27.3%	11.1%	14.3%	0.0%	0.0%
③情報提供は特に実施していない	36.4%	45.5%	44.4%	57.1%	44.4%	44.4%
④その他	18.2%	9.1%	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%
無回答	9.1%	9.1%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%

問6-9 平成29年度の研修に関して、受講者への評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的に記入ください。(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①本課程の修了を認めなかったことはない	87.8%	98.1%	96.5%	98.0%	93.6%	95.9%
②本課程の修了を認めなかったことがある	2.0%	1.9%	1.8%	0.0%	4.3%	2.0%
③その他	8.2%	0.0%	0.0%	2.0%	2.1%	0.0%
無回答	2.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	2.0%

問6-10 研修で実施される講義や演習等についてのアンケートの実施状況についてご回答ください。(複数回答可)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①受講者向けのアンケートを実施している	63.3%	54.7%	59.6%	51.0%	48.9%	59.2%
②講師向けのアンケートを実施している	20.4%	24.5%	22.8%	18.4%	0.0%	16.3%
③ファシリテーター向けのアンケートを実施している	24.5%	24.5%	26.3%	16.3%	0.0%	16.3%
④特にアンケートは実施していない	26.5%	24.5%	21.1%	32.7%	27.7%	28.6%
無回答	2.0%	0.0%	1.8%	4.1%	14.9%	4.1%

問6-11 研修全般に関して、研修実施機関として「自己評価」を行っていますか。(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①実施している	18.4%	28.3%	15.8%	14.3%	21.3%	22.4%
②実施していないが、今後実施する予定である	12.2%	13.2%	12.3%	10.2%	12.8%	10.2%
③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う	61.2%	54.7%	63.2%	67.3%	61.7%	61.2%
④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う	6.1%	1.9%	5.3%	6.1%	2.1%	2.0%
無回答	2.0%	1.9%	3.5%	2.0%	2.1%	0.0%

問6-12 評価結果・アンケートを都道府県内の研修実施機関全体で共有しているかご回答ください(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①共有している	24.5%	22.6%	31.6%	18.4%	31.9%	32.7%
②都道府県内に他の研修実施機関があるが、共有していない	30.6%	24.5%	17.5%	28.6%	12.8%	14.3%
③都道府県内に他の研修実施機関がないため、共有していない	44.9%	50.9%	47.4%	51.0%	55.3%	53.1%
無回答	0.0%	1.9%	3.5%	2.0%	0.0%	0.0%

問6-13 【問6-12で①(共有している)を選択した方のみ】共有方法をご回答ください(1つ選択)

	実務 n=12	専門Ⅰ n=12	専門Ⅱ n=18	再研修 n=9	主任 n=15	主任更新 n=16
①研修向上委員会で共有している	41.7%	58.3%	66.7%	66.7%	80.0%	56.3%
②研修向上委員会とは別の連絡会議で共有している	16.7%	16.7%	5.6%	0.0%	13.3%	12.5%
③講師・ファシリテーター向け連絡会で共有している	33.3%	16.7%	22.2%	0.0%	6.7%	31.3%
④その他	0.0%	8.3%	5.6%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問6-14 都道府県及び研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データ等として該当するものをご回答ください。(複数選択可)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①受講者に実施したアンケート結果	51.1%	37.7%	40.4%	38.8%	38.3%	38.8%
②講師に実施したアンケート結果	16.3%	13.2%	14.0%	16.3%	14.9%	8.2%
③ファシリテーターに実施したアンケート結果	20.4%	15.1%	19.3%	16.3%	12.8%	12.2%
④受講者・修了者数	89.8%	94.3%	94.7%	95.9%	80.9%	87.8%
⑤受講者・修了者のプロフィール情報	28.6%	26.4%	24.6%	24.5%	25.5%	28.6%
⑥研修実施機関の自己評価結果	2.0%	3.8%	5.3%	2.0%	2.1%	6.1%
⑦研修記録シート(未集計)	6.1%	1.9%	1.8%	6.1%	4.3%	6.1%
⑧研修記録シート(集計済み)	34.7%	35.8%	36.8%	30.6%	34.0%	34.7%
⑨受講者への評価に関する資料(テスト結果、提出レポートなど)	16.3%	35.8%	17.5%	8.2%	14.9%	22.4%
⑩研修で使用した独自のワークシートや副教材	20.4%	18.9%	19.3%	16.3%	17.0%	24.5%
⑪都道府県及び研修向上委員会に情報、データの提供は行っていない	2.0%	24.5%	1.8%	0.0%	2.1%	2.0%
⑫その他	4.1%	7.5%	5.3%	6.1%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	4.3%	0.0%

問6-15 都道府県及び研修向上委員会から研修実施機関に対して、研修の運営に必要な情報、データは十分に提供されていますか。最も近いものを1つ選択してください。(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=49
①必要な情報、データはすべて提供されている	30.6%	28.3%	28.1%	22.4%	31.9%	32.7%
②必要な情報、データは概ね提供されている	59.2%	58.5%	56.1%	61.2%	51.1%	46.9%
③必要な情報、データはあまり提供されていない	10.2%	11.3%	12.3%	14.3%	14.9%	16.3%
④必要な情報、データは全く提供されていない	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	2.0%
無回答	0.0%	1.9%	3.5%	0.0%	2.1%	2.0%

問6-16 研修の質の向上に向けて、都道府県及び研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データ等があればご記入ください。

※自由記述回答については後述

問6-17 本課程の受講者は「〇〇」ができるようになったと思いますか。(1つ選択)

	実務 n=49	専門Ⅰ n=53	専門Ⅱ n=57	再研修 n=	主任 n=47	主任更新 n=49
①できるようになった	8.2%	0.0%	8.8%	-	0.0%	0.0%
②概ねできるようになった	77.6%	92.5%	84.2%	-	80.9%	85.7%
③あまりできるようになっていない	12.2%	5.7%	5.3%	-	12.8%	12.2%
④できるようになっていない	0.0%	0.0%	0.0%	-	2.1%	0.0%
無回答	2.0%	1.9%	1.8%	-	4.3%	2.0%

※〇〇には以下が入る

- ・実務: ケアマネジメントに関する基本を修得し、多職種と協働・連携しながら専門職としての役割を果たすこと
- ・専Ⅰ: 専門的知識・技能を修得し、多様な疾病や生活状況に応じて医療との連携や多職種協働を図り、ケアマネジメントを実践すること
- ・専Ⅱ: 主体的に個別支援、ネットワークづくりや事例に応じた支援方法・内容の改善を行うこと
- ・主任: 関係者との連絡調整、スーパーバイズ、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践すること
- ・更新: 各科目の指導・支援のポイントを理解し、地域の介護支援専門員を育成すること

(Ⅶ) その他

問7-1 本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的にご回答ください(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください)

※自由記述回答については後述

問7-2 本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的にご回答ください

※自由記述回答については後述

問7-3 PDCAサイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください

※自由記述回答については後述

【自由記述回答_実施機関向け調査】

- 問 1-10:【問 1-9 で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可)

1	組織内にある「試験実務研修委員会 実務研修部会」が統括
2	介護支援専門員研修委員会
3	専任講師
4	介護支援専門員研修企画・検討委員会 実務部会
5	実施機関(県社協)主催の「内容検討委員会」
6	「介護支援専門員研修向上のためのワーキング会議」メンバー
7	研修実施機関内における研修担当部会役員など
8	研修実施機関の委員(法定研修運営委員)

- 問 1-12:【問 1-11 で①又は②(作成している)を選択した方のみ】『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください(1つ選択)

1	新カリキュラム導入時ワーキンググループにて作成、以後担当講師が修正を必要とした場合修正している。
2	介護支援専門員研修委員会
3	「介護支援専門員研修向上のためのワーキング会議」メンバー

- 問 2-1:研修科目・研修時間数を介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)よりも多く設定している場合がありますらご回答ください(複数回答可)

1	都道府県実施による介護認定調査員研修4時間を設定
2	実習オリエンテーションを2回実施
3	カリキュラムとは別に120分の人権研修を実施している。
4	都道府県の指示により人権研修(2時間)を加えている
5	ICF の理解
6	科目「②自立支援のためのケアマネジメントの基本」に「都道府県版共通アセスメントの活用」を含めるため、講義・演習として2h追加しています。

- 問 2-2:【問 2-1 で①、②、③、④を選択した方のみ】介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください。

1	20分程度、演習時間(特にケアプラン作成など)での追加
2	○追加科目、時間 「アセスメントおよびニーズの把握方法」(30分追加) 「実習の振り返り」(1時間追加)
3	「受付および相談並びに契約」 介護支援専門員業務の第一段階であり、規定に時間では、伝えきれないため。
4	講師からの申し出により、第15章-②ケアマネジメントの展開「脳血管疾患に関する事例」の講義演習の時間を30分間延長し、5時間30分のカリキュラムとして実施する予定。(H30年度より)
5	介護保険認定調査員研修 4時間

	アセスメントツールによる居宅サービス計画の作成手法 3 時間
6	認定調査員の資格が得られるよう、「要介護認定のしくみ」という 2 時間の科目を追加している。
7	より理解を深め、実践力を付けるため。60分。「ケアマネジメントに必要な基礎知識および技術／居宅サービス計画などの作成」
8	実習オリエンテーション 1時間半
9	課題整理総括表作成 (1.5H) アセスメントとは別の科目にし、理解するうえでの混乱を防ぐため
10	・『要介護認定』(240 分) ー本県では介護支援専門員証の交付と同時に認定調査員となれるよう、本科目を追加している。
11	人権研修
12	介護予防6H追加
13	時間数:1 時間 理由:要綱の時間数だと時間が不足するから 科目:実習オリエンテーション
14	「居宅サービス計画などの作成」(2 時間) 受講者・講師の意見を踏まえ、しっかりと伝え理解していただくため 「実習オリエンテーション」(1 時間) 独自に作成している手引きに基づいて、実習実施についての説明を行っている。
15	演習時間を多く取り、内容を充実させるため
16	「実習振り返り」において、課題整理総括表などの作成・指導のため、時間数を 1 時間 30 分追加している。 「居宅サービス計画などの作成」において、習得目標達成のため、時間数を 2 時間追加している。
17	ケアプラン作成演習において、時間が足りないため、6時間を「アセスメントおよびニーズ把握の方法」に追加。

- 問 2-5: 講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください(1つ選択)

1	ワーキングを経て「試験実務研修委員会 実務研修部会」が決定
2	担当科目のメイン講師、ファシリテーターが集まって打合せ会を実施。
3	研修実施機関と研修講師で打合せを行い決めている
4	講師依頼をしている職能団体が統一した演習展開を行っている
5	介護支援専門員研修委員会
6	テキストの発行元である長寿社会開発センターのシラバスを参考に講師が作成している。
7	・実務研修の中心となる立場にいる指導者 12 名からなる「実務研修委員会(事務局:本会)」を組織し、委員会の議題として協議・決定している。
8	講師と研修実施機関が協議しながら決めている。
9	介護支援専門員研修企画・検討委員会 実務部会
10	課程ごとに企画会議を設け、検討している。
11	実施機関(都道府県社協)主催の「内容検討委員会」
12	講師・ファシリテーターが一堂に会するプログラム会議で決めている
13	「介護支援専門員研修向上のためのワーキング会議」メンバー

- 問 2-6: 主要教材(テキスト)の概要をご回答ください

1	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト
2	①介護支援専門員実務研修テキスト上下巻 ②居宅サービス計画書作成の手引き
3	介護支援専門員実務研修テキスト(上・下巻)
4	介護支援専門員実務研修テキスト 上下巻、 居宅介護サービス計画書作成の手引
5	七訂介護支援専門員実務研修テキスト
6	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト
7	介護支援専門員実務研修テキスト
8	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト 上・下巻
9	「七訂 介護支援専門員実務研修テキスト」
10	介護支援専門員実務研修テキスト
11	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト
12	介護支援専門員実務研修テキスト
13	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト
14	介護支援専門員実務研修テキスト
15	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト 上下巻
16	介護支援専門員実務研修テキスト
17	介護支援専門員実務研修テキスト
18	介護支援専門員実務研修テキスト
19	介護支援専門員実務研修テキスト
20	介護支援専門員実務研修テキスト 上下巻
21	①介護支援専門員実務研修テキスト(上巻・下巻) ②居宅サービス計画書 作成の手引
22	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト(上巻・下巻) 六訂 居宅介護サービス計画書作成の手引き
23	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト
24	介護支援専門員実務研修テキスト
25	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト
26	第六訂 介護支援専門員実務研修テキスト
27	実務研修テキスト
28	介護支援専門員実務研修テキスト
29	介護支援専門員実務研修テキスト上・下巻
30	七訂新カリキュラム対応介護支援専門員実務研修テキスト上・下巻
31	介護支援専門員実務研修テキスト
32	〈7訂〉介護支援専門員実務研修テキスト
33	①〔七訂〕介護支援専門員実務研修テキスト(上・下) ②〔六訂〕居宅サービス計画書作成の手引
34	介護支援専門員実務研修テキスト(上巻・下巻)
35	七訂介護支援専門員実務研修テキスト
36	介護支援専門員実務研修テキスト
37	改訂 介護支援専門員実務研修テキスト ー新カリキュラム対応ー
38	介護支援専門員実務研修テキスト上下
39	介護支援専門員実務研修テキスト上下巻
40	七訂 介護支援専門員実務研修テキスト(上・下巻)
41	実務研修テキスト(上下巻)居宅サービス計画書作成の手引き

42	介護支援専門員実務研修テキスト／居宅サービス計画書作成の手引
43	介護支援専門員実務研修テキスト

● 問 2-6: 主要教材(テキスト)の概要をご回答ください

1	長寿社会開発センター
2	①②共に一般財団法人 長寿社会開発センター
3	一般財団法人長寿社会開発センター
4	(一社)長寿社会開発センター
5	一般財団法人長寿社会開発センター
6	財団法人長寿社会開発センター
7	長寿社会開発センター
8	一般社団法人長寿社会開発センター
9	一般財団法人長寿社会開発センター
10	長寿社会開発センター
11	一般財団法人 長寿社会開発センター
12	一般社団法人 長寿社会開発センター
13	(一財)長寿社会開発センター
14	長寿社会開発センター
15	一般財団法人 長寿社会開発センター
16	長寿社会開発センター
17	長寿社会開発センター
18	一般財団法人 長寿社会開発センター
19	長寿社会開発センター
20	一般社団法人長寿社会開発センター
21	一般社団法人 長寿社会開発センター
22	一般財団法人 長寿社会開発センター
23	一財 長寿社会開発センター
24	一般社団法人 長寿社会開発センター
25	一般財団法人 長寿社会開発センター
26	長寿社会開発センター
27	長寿社会開発センター
28	長寿社会開発センター
29	一般財団法人 長寿社会開発センター
30	一般財団法人長寿社会開発センター
31	長寿社会開発センター
32	一般社団法人長寿社会開発センター
33	一般財団法人 長寿社会開発センター
34	一般財団法人長寿社会開発センター
35	一般財団法人長寿社会開発センター
36	長寿社会開発センター
37	公益財団法人 東京都福祉保健財団
38	長寿社会開発センター
39	一般財団法人 長寿社会開発センター
40	一般財団法人 長寿社会開発センター
41	長寿社会開発センター

42	一般財団法人 長寿社会開発センター
43	一般財団法人 長寿社会開発センター

- 問 2-8:【問 2-7 で①(副教材(PPT など)の配布がある)を選択した方のみ】『副教材 (PPT など)』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。(複数回答可)

1	講師依頼をしている職能団体で作成
2	長寿社会開発センターより指導材料として配布される PP データを元に講師が作成している。
3	集合研修のパワーポイントは、講師と実施機関の間で擦り合わせて確定。
4	テキスト発行元が作成した PP など
5	「介護支援専門員研修向上のためのワーキング会議」メンバー

- 問 2-9:【問 2-7 で①(副教材(PPT など)の配布がある)を選択した方のみ】副教材 (PPT など)の質の向上および平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的にご回答ください。

1	演習用資料を集めたサブテキストを副教材とする
2	・長寿開発センターで作成したパワーポイント資料をベースに各メイン講師が作成。 ・科目によってはメイン講師が前年度の資料を引用し作成している。
3	厚生労働省や県が示している統計資料に、一部講師が作成したものを加えて配布する科目もある。(一部科目)
4	独自の取り組みは特になく、講師に一任している。
5	①演習シート用のシート集 ②見学・観察実習の手引き ③ケアプラン作成実習の手引き
6	・平準化を念頭に、同一科目で複数の講師が登壇する場合、研修実施機関が間に入りながら、共通のレジュメ・パワーポイントにしている。
7	担当する個人でPPT資料を作成せず、研修運営委員会メンバーで作成し、同じ資料を使って研修を行っている。資料の修正などは、指導者会議と称した会議を研修開始前と終了後に開催し、行っている。 同じくシラバスも研修運営委員会メンバーで作成している。
8	研修指導者連絡会議で共有化を図っている。
9	主要教材(テキスト)に沿う内容で作成するように講師へ依頼しており、副教材 (PPT など)作成に関する研修やガイドラインの作成は行っていない。

- 問 2-12:【問 2-11 で①(ワークシートの使用がある)を選択した方のみ】『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。(複数回答可)

1	講師依頼している職能団体で作成
2	主要テキストの発行元である長寿社会開発センターより指導材料として配布される PP データを元に講師が作成している。
3	テキストに準拠
4	既存のシートを活用している(ICFシート、課題整理総括表、計画書など)
5	実施機関(県社協)主催の「内容検討委員会」
6	テキスト発行元が作成したワークシートを使用

7	「介護支援専門員研修向上のためのワーキング会議」メンバー
8	テキストのものを使用。
9	テキストおよびガイドラインに記載あるワークシートを使用

- 問 2-13:【問 2-11 で①(ワークシートの使用がある)を選択した方のみ】ワークシートの質の向上および平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的にご回答ください。

1	研修講師と協議しながら作成している
2	過年度の研修実施内容の振り返り似て、設問の妥当性および解答例などを精査している。
3	研修についての気づきや、疑問に思ったことなど、受講生に考えさせるようなワークシートを心掛けている。
4	講師連絡会で内容および目的確認を行い、使用している。
5	・後期の科目「ケアマネジメントの展開」については、医療系の6科目の演習問題を協議・検討し、一冊の演習シート集に集約し、研修で使用している。 ・グループ用のワークシートは実施機関が事後に回収し、取り組み状況や理解度に問題があれば、講師と共有をしている。
6	研修指導者連絡会議で共有化を図っている。
7	・ワークシート集の使用方法(演習内容によって、ワークシートへの記入がしやすいように冊子からシートを切り離して使用するなどの工夫など)について、実務研修指導者養成研修や講師打合せの場で共有、確認している。
8	講師打合せ会議のなかで、課題整理総括表および演習ワークシートの作成方法など演習など、演習を円滑に進めるための研修会を実施している。
9	講師に一任しており、研修実施機関としては特に示してはいない。

- 問 3-3:講師の選定基準についてご回答ください(1つ選択)独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的にご回答ください。

1	介護支援専門員連絡協議会主催の指導者養成研修などを受講していること
2	毎年度、市区町村、都道府県介護支援専門員協議会(各支部推薦)からの推薦を県が取りまとめ、「指導者名簿」を作成している。

- 問 3-4:研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

1	講師用てびきの作成、見学。今後、研修などで育成を進める予定
2	全体を集めての研修会は行っていないが、依頼科目ごとに研修内容、進め方、時間配分などを書面および口頭で伝えている。
3	各科目の事前説明会の開催
4	講師・ファシリテーター向け研修会の実施(今後、充実させていく予定)
5	企画会議の開催
6	・講義用PPTデータの提供
7	ファシリテーターのなかから数名を、先進県の現任研修に派遣し、実施状況などを経験させている。
8	都道府県が主催となり、講師養成研修会を実施している。

- 問 4-3:ファシリテーターの選定基準についてご回答ください(1つ選択)独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的にご回答ください。

1	・都道府県で作成している「指導者名簿」に登録があり、且つ「実務研修委員会」委員の推薦のあった方としている
2	主任介護支援専門員研修修了者
3	主任介護支援専門員
4	養成研修など受けた方のみ
5	主任介護支援専門員
6	専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して5年以上かつ介護支援専門員に係る研修の企画、講師やファシリテーターの経験を有する者で、次の①～②いずれかの条件に該当する者。 ① 日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャー ② 主任介護支援専門員研修を修了した者
7	介護支援専門員連絡協議会主催の指導者養成研修などを受講していること
8	主任介護支援専門員であり、京都府介護支援専門員から推薦のあった者
9	講師養成研修修了者
10	原則主任介護支援専門員
11	・実務研修指導者養成研修(都道府県介護支援専門員協会主催)修了者
12	都道府県が組織している指導者検討会に所属していること
13	主任介護支援専門員、専門職、講師養成研修受講者
14	毎年度、市区町村、介護支援専門員協議会(各支部推薦)からの推薦を都道府県が取りまとめ、「指導者名簿」を作成している。

- 問 4-5:研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

1	全体を集めての研修会は行っていないが、依頼科目ごとに研修内容、進め方、時間配分などを書面および口頭で伝えている。
2	講師との打合せ会の実施
3	各科目の事前説明会の開催
4	連絡会を開催し、従事内容の説明を実施している
5	研修当日に講師とファシリテーター同士の打ち合わせ時間を設けている。
6	講師・ファシリテーター向け研修会の実施(今後、充実させていく予定)
7	・講義用PPTデータの提供
8	ファシリテーターを起用していない
9	都道府県が主催となり、講師養成研修会を実施している。

- 問 4-9:【問 4-8 で①(実施している)を選択した方のみ】受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)

1	アンケートに意見要望などを書かせている。
---	----------------------

- 問 5-1 実習の手引きについてご回答ください(1つ選択)

1	手引きの整備はできていないが、オリエンテーション用の説明資料を作成している。
---	--

2	介護支援専門員実務研修実習ガイドブックを使用
3	都道府県策定の実施要領により実施
4	事業所向けには実習指導者説明会、受講者には実習オリエンテーションで配布資料を手引きに代えている。

- 問 5-4: 実習指導の質の向上および平準化に関して、実習受け入れ事業所に対して、研修実施機関として実施している取り組みや工夫として当てはまるものを全てご回答ください。(複数選択)

1	事業所向けの説明は、実施機関ではなく、都道府県当局の役割となっている。
2	都道府県により④を開催。研修実施機関も参加
3	見学実習の手引きを作成し、受入事業所へ配布している。
4	・実習指導者に実習に係る事務手続きについて説明
5	都道府県主催による実習指導者研修会があるため、実施に協力した

- 問 5-6:【問 5-5 で③④特定事業所のみでは対応できなかった(特定事業所が不足した)を選択した方のみ】不足した特定事業所数を補うためにどのような対応を行ったか、ご回答ください。

1	特定事業所だけではなく、都道府県に実習受け入れ機関として登録している事業所も受け入れ機関とした。
2	特定事業所だけでなく、主任介護支援専門員がいる事業所も実習受け入れ機関とした
3	特定事業所だけでなく、主任介護支援専門員がいる事業所も実習受け入れ機関とした。複数の受講者を受け入れていただいた。
4	特定事業所だけでなく、介護支援専門員研修で講師もしくはファシリテーターの経験がある主任介護支援専門員がいる事業所に依頼をした
5	主任介護支援専門員がいる事業所も実習受け入れ機関とした(施設も含む)
6	特定事業所だけでなく、H28 年度に受け入れをしていただいていた主任介護支援専門員がいる事業所も実習受け入れ機関とした。
7	特定事業所だけでなく、主任介護支援専門員がいる事業所も実習受け入れ機関としている。
8	特定事業所だけでなく、主任介護支援専門員がいる事業所に協力事業所として実習受け入れを依頼した。
9	特定事業所以外の居宅介護支援事業所も実習受け入れ機関とした。

- 問 5-8: 実習中の事故などに関する保険への加入状況についてご回答ください。(複数選択可)

1	ボランティア保険の加入
2	保険料は受講者の自己負担(任意)だが研修実施機関にてとりまとめ申し込んでいる。
3	保険料を加えて、受講経費として請求

- 問 5-9: 実習受け入れ事業所への受講者の割り振りについてご回答ください(1つ選択)

1	実習受け入れ可能と回答のあった事業所を提示し、そのなかから受講者に選択いただく形としている。(連絡調整は受講者自身で行う。)
---	--

2	・提供した実習受入事業所一覧から、受講者が希望する事業所と交渉
3	受講生へ希望事業所を挙げてもらい、それを参考に実施機関側でマッチングした

- 問 5-11:実習に関する提出物(実習報告書、模擬ケアプランなど)の評価を実施していますか。以下の実習1・2それぞれについてご回答ください。(それぞれ1つ選択)

1.フィードバック状況

1	実習振り返りの GW にて計画書を用いた発表を行う予定。個々へのフィードバックというよりも GW を通しての気づきに重点
2	実習ノートを作成しコメントをいただいている。
3	講師から研修最終日に受講者へ伝えている。
4	研修のなかで内容を共有し、受講者間、または講師・ファシリテーターより意見をもらえる機会を作っている。
5	研修で活用し、受講者にフィードバックを行った。
6	科目「実習の振り返り」において自己チェックさせている
7	・実習協力事業所の主任介護支援専門員に内容確認をいただき、受講者へのフィードバックを行った
8	後期研修のなかで自己評価・グループワークによる評価
9	科目「実習の振り返り」のプログラムによって演習を通じて振り返るという形。
10	「実習の振り返り」および「アセスメントおよび居宅サービス計画など作成の総合演習」のなかで指導
11	作成したケアプランを使用したグループ演習を実施。 演習を踏まえてなお不備がある場合は、個別面談を実施している。
12	「アセスメントおよび居宅サービス計画などの総合演習」にて行っている
13	実習の振り返り時間に、講師などからコメントを添えて返却。
14	実習指導者よりフィードバック
15	受講者ではなく実習受入事業所の主ケアに対して、指導者研修などでフィールドバックしている。

2.フィードバック状況

1	実習ノートを作成しコメントをいただいている。
2	講師から研修最終日に受講者へ伝えている。
3	研修のなかで内容を共有し、受講者間、または講師・ファシリテーターより意見をもらえる時間を作っている。
4	研修で活用し、受講者にフィードバックを行った。
5	・実習協力事業所の主任介護支援専門員に内容確認をいただき、受講者へのフィードバックを行った
6	科目「実習の振り返り」のプログラムによって演習を通じて振り返るという形。
7	「実習の振り返り」にて行っている
8	実習報告書に実習指導者から評価を記入してもらい、受講者へ返却。
9	実習指導者よりフィードバック

- 問 6-1:研修記録シート(事前・事後・3か月)の利用状況についてご回答ください。(1つ選択)

1	研修記録シート1(目標)についてのみ提出
---	----------------------

- 問 6-2:【問 6-1 で⑤(研修記録シートを利用していない)を選択した方のみ】研修記録シート(事前・事後・3 か月)を利用していない理由や利用に際しての課題などがあれば、具体的にご記入ください。

1	都道府県および都道府県内の研修機関で協議した結果活用しない事となったため。
2	都道府県の実務研修実施研修機関では、評価には独自のシートを使用し、研修記録シートは使用しないことで統一が図られているため。
3	新カリキュラムになる以前、提案の「研修記録シート」を試行的に導入したが、(限られた収入・人材配置のなかで)かかる膨大な手間に見合う、明確な効果が確認できないと判断したと聞いている。それ以降、当該シートは利用していない。
4	修了後、実務に就かない場合、3ヶ月後の評価の取り扱いが曖昧であることや、「自己評価」となっていることから客観的な評価とならないため。

- 問 6-5:【問 6-4 で②(集計を行っていない)を選択した方のみ】研修記録シート(事前・事後・3 か月)の集計を行っていない理由をご回答ください。(複数回答可)

1	<3 ヶ月評価について>修了後、実務に就く受講生が少なく介護支援専門員としての3 ヶ月評価ができないため。
2	今年度より実施予定
3	都道府県が集計するため

- 問 6-6:受講者の修了評価方法についてご回答ください(複数選択)。

1	科目修了後習熟度チェックを実施、回収はしていない。
2	受講者の自己評価
3	受講生から回収する「自己評価シート」

- 問 6-8:【問 6-6 で⑥(講師・ファシリテーターなどによる評価)を選択した方のみ】受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)

1	講師・ファシリテーター養成研修において研修評価の考え方を説明している
2	講師・ファシリテーターの事前打合せにおいて、認識の共有を図る。

- 問 6-9:平成 29 年度の研修に関して、受講者への評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的にご記入ください。(1つ選択)

1	前年度は他機関にて実施
2	実習先の事業所より、前期研修の内容が理解できていない、対人援助の基本姿勢ができていないなどの連絡をもらい、報告書を確認した後、後期研修時に本人と面談し、今年度の受講はできない旨を伝える。30 年度に改めて全課程を受講することとした。
3	終了延期(受講中のスマホ、模擬カンファレンス中の居眠り)
4	本課程の修了を認めなかったことはないが、個別面談などを実施するため、他の受講生

	と比べて修了時期を遅らせるケースがあった。
5	無断欠席により受講継続不可とした。

- 問 6-14: 都道府県および研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データなどとして該当するものをご回答ください。(複数選択可)

1	講師情報
2	受講生、ファシのアンケートを実施期間事務局が集計したレポート
3	実施機関(県社協)主催の「内容検討委員会」への提供(県が出席)

- 問 6-16: 研修の質の向上に向けて、都道府県および研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データなどがあればご記入ください。

1	・メイン講義や演習指導ができる、福祉系・医療系の講師情報
2	・受講後の理解度評価の方法 ・実習先事業所の選定方法(実習先事業所より、受講生の方が数が少なくなったため)

- 問 7-1: 本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的にご回答ください(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください)

1	eラーニング導入
2	・実習協力事業所を対象に実習指導者向け研修会を行っている。 ・実習協力事業所向けマニュアルおよび実習者向け手引きの作成をしている。
3	より分かりやすくすることを目的に、課題整理総括表 都道府県版を作成し、実務研修に用いている。
4	講師打ち合わせ会を年に1度実施し、講師間の課題や講義の統一化について、話し合っている。
5	実務研修のなかでも要である第7章・第16章が非常にタイトであり、受講者の理解が十分になされないまま進めざるを得ない時が多い。一日のタイムスケジュールを調整したり、事前課題を課すなどしてできる限りグループワーク(考える時間)を充実させる努力はしているものの限界はある。
6	見学観察実習で行った①受講者の気づきや自己評を後期で振り返る時間を作り、受講者通しでGSVを行っている。
7	・実習に関しては、都道府県に実習実施要項を策定いただいたうえで、実施機関としては「実習ノート」を作成し、「オリエンテーション」「実習」「事後の振り返り」で使用している。 ・後期の科目「ケアマネジメントの展開」については、医療系の6科目の演習問題を協議・検討し、一冊の演習シート集に集約し、研修で使用している。
8	講義でまず、知識を習得し、そのうえで事例を使って演習で実際体験し、考えてもらうようにしている。その際は、まず個人で考えてからグループでの意見交換、意見の共有ができるような組み立てにしている。
9	・指導者養成や講師連絡会のもち方、当日進行、シラバスなどの資料作成について、介護支援専門員協会と常に連絡調整している。 ・全体研修である大規模研修(講義)とその講義内容の習熟のためのグループ演習を主にした小規模研修(1コースあたり1グループ6人、10~15グループ)による研修体系にしている。 ・小規模研修の講師などは、各コースともメイン講師およびサブ講師の3人体制にしてい

	る。 ・シラバスや講義用PPT、ワークシート集、実習の手引により指導方法を共有している。
10	テキストの事前読込をしていない受講生がいるため、事前に提出型の宿題を出している。
11	演習・展開の実施に当たり、各受講者の習得の状況を講師が把握することが困難であり、次回の事例などにどのように活かしていけるのか見極めるために、講師とファシリテーターが演習が修了するごとに振り返り、次回に向けて方針を話し合っている。
13	指導計画書の作成 指導者研修会および振り返りのための意見情報交換会の実施
14	・グループ形式で講義・演習を行う際、受講者の保有資格が極力同一にならないよう編成している。
15	・研修向上委員会で全科目のシラバス(案)・修了評価テスト(案)を作成している。 ・講師調整会議を事前に行い、シラバス(案)・修了評価テスト(案)の説明・共有をすることで、研修実施のマニュアル化を図っている。

- 問 7-2:本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的にご回答ください

1	受講者数の減少による運営リスク
2	受講者数と実習受入事業所での実習受入人数が地域によって差があるため、受講者数が多い時のマッチングに時間を要す。
3	後期の演習では、ファシリテーターを設置していないので、受講者の理解が講師に伝わりづらい。
4	・現状の欠席、補講の考え方は見直す余地が無いか。e-learning の導入など、活用できる部分は無いか。 ・運営経費の確保 ・新規指導者の育成
5	受講者数の大幅な増減に伴う、講師・会場確保を含めた研修準備。
6	演習など更に研修効果を推進するには、ファシリテーターの配置人数を増やすことが効果的であると考えますが、年度内に研修を修了しようとするファシリテーターの配置などが困難である。又、ファシリテーターが多人数になるとその養成に課題が残る。
7	新たな講師・ファシリテーターの確保
8	冬、雪の降る時期の集合研修の実施が難しい。
9	・とにかく全体的に時間がタイトであるために、受講者に十分理解してもらうことが困難である。 ・新カリキュラムに変わり、研修日数が倍増したことで、可能な限り早く終わるコースを設定しているが、4月1日から介護支援専門員の仕事をすることができなくなった。今のところ、事業所も理解してもらっているためか大きな問題はないが、今後の状況によっては意見が出てくるかもしれない。 ・今年度より受験要件が完全移行したことで、受験者数が激減し、それに伴い実務研修の受講者も激減している。本県は実務研修は指定事業のなかに入っているため補助などがなく、減少が続くと事務局を維持することが難しくなる。
10	・ICFシート、課題整理総括表、計画書を活用して演習を行っているが、限られた時間枠のなかで受講者の理解が不十分ななかで展開されがちな面がある。 ・平成 30 年度の受講者が大幅減となり、今後も以前と比べると受講者が減となる見込みのなかで、研修をどのように設定するかが課題である。
11	合格者数によって、研修実施団体の運営、実習受け入れ先の確保と主任更新要件に影響が大きい。

12	<ul style="list-style-type: none"> ・課目によって、修得すべき内容の量と時間の違いが大きく、時間をかけて説明できるところと詰め込みになる部分がある。 ・受講生が欠席した際、補講を行うか、レポートなどで補うかで悩む。両方難しい課目もあり、苦慮している。 ・研修日程が長くなった為、講師の配置および育成が難しい。 ・研修会場を抑えるのが難しい。 ・見学実習の説明会をどのような内容のものにすればいいのか。
13	受講者が研修を受講して、どこまで理解したのかなど、習熟度の把握が課題である。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の指導方法など、スキルに差があるため、講義・演習によっては、受講者の習熟度にも差が生じている。(講師の質の平準化) ・実習指導者の指導内容に差があるため、講義・演習での学びが十分に反映できていない。(主任介護支援専門員の質の向上) ・講師の客観的な評価(自己・相互評価、受講者評価)ができていない。 ・受講者数の振れ幅が大き過ぎるため、会場の確保や講師などの日程調整が容易でない。
15	全研修を通じての到達目標の統一。具体的には、実務→専門Ⅰ→専門Ⅱ→主任とステップアップするような到達目標を設定することが課題である。
16	受講者の減少に伴い、収入が大幅に減収となったため、研修の運営が難しくなっている。
17	今年度、実務研修受講試験合格者が激減しており、受講料で研修経費を賄えない状況である。
18	研修内容について、都道府県の関りが弱い。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の確保。 ・受講者が試験合格率に左右されるため、予測がしづらく(特に今年度は、試験受験者および合格率の大幅な減少であったため)、安定した運営が難しい。
20	合格発表日が年々遅くなってきていることから、実務研修の開始が遅れ、修了も翌年度にまたがり、年々遅くなっている。実習期間も年度末の慌ただしい時期と重なる為、実習受入事業所の負担も大きい。できるだけ合格発表日を早めてほしい。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・合格率の激減により、今後の研修運営の見通しがより不透明となった。 ・実務研修に限らず、研修内容が各講師任せになっている。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・連続日程での研修会場の確保。 ・年度内で全課程を修了する必要があるため、短期集中の実施となっていることから、受講者から勤務状況への影響があるとの声がある。

- 問 7-3:PDCA サイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください

1	年度内に修了したい受講者のニーズに応えるためにも、合否発表を1カ月ほど繰り上げることはできないのだろうか。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCA はともかく、今般の受験資格改正によって、国の提言する「資質向上」に結びつく想定内の結果となっているのか。 <p>結果的には受験者の門戸を狭め、なおかつ合格率も過去最低水準となっている現状で、試験はもとより研修事業そのものが成り立っていくことは到底考えられないことである。この現状について、詳しく伺いたい。</p>
3	実務研修のカリキュラムと、従前の基礎研修(従事1年未満対象)に該当する科目を分離し実務研修の日数を減らしてほしい。
4	人材不足が益々深刻化するとともに、法定研修の日数などが増大するなか、指定日に1カ所に全員集合しての講義・演習方式のままでは、各施設などが更に回らなく可能性が

	<p>あるので、eラーニングなどによる自宅学習および複数会場で講義・演習の同時開催ができるシステムの構築などを検討願いたい。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・「PDCA サイクルを回す」観点が何かは分かりかねるが、PDCA サイクルは研修の質の向上に有効な手法と認識し、適宜業務に反映している。 ・本調査をもとに PDCA の各プロセスにおいて有効な手法などを把握、分析いただき、課題改善提案などいただくと大変ありがたい。 ・新カリキュラムになり、「D」が肥大化した。実施機関にとって、企画・改良の協議を行う「P」「C」に時間を掛けることがこれまで以上に難しくなっている事実にも目を向けていただきたい。 ・PDCA サイクルでの研修運営には、それを成しうる実施体制の確保が前提条件となる。実施主体である都道府県や国には、ぜひ実際の研修運営の現場をご覧いただき、質の向上のための各種取り組みや運営課題を把握し、受講料の設定などを検討いただきたい。 ・本調査趣旨とは異なるが、介護支援専門員の社会的地位の向上について真摯に検討いただきたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・見学実習マニュアルを示してほしい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・研修実施機関として、法定研修に係る業務を安定的に遂行するためには、受講者数の多寡に関わらず、所要の人件費をはじめ一定程度の事業費が必要である。収入見合いの支出予算が原則であるため、受講者が激減した場合には、収入確保策として受講料の値上げを検討せざるを得ず、受講者の経済的な負担がさらに生じる。そのため、必要経費の一定割合の公費補助や助成制度の創設により、受講者の経済的負担の軽減を図ってほしい。
8	<p>研修日程の見直し。日数が多すぎて、派遣する事業所負担が大きい。</p>
9	<p>他の都道府県がどのような講義・演習を実施しているのかを知りたいと講師から要望が出ているので、国で講師養成研修および他の都道府県の講義・演習の進め方などの意見交換・情報共有ができる場を作って欲しい。</p>
10	<p>研修の成果が評価しづらいので、仕組みを考えてほしい。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員を養成するための専門機関(養成校)の設置。 ・eラーニングなどを活用した研修システムの構築など。法令理解などに関する講義は、全国統一での内容で良いと思われるため。

3. 参考資料の収集

本事業の検討の参考資料として、都道府県、研修向上委員会、研修実施機関に法定研修に関する要綱などの提供を依頼した。提供された資料については、研修向上委員会およびワーキンググループでの検討に活用すると共に、平成 30 年度全国介護支援専門員研修向上会議にて、概要について報告を行った。

(※提供を受けた資料の一覧を巻末参考資料として掲載)

4. 調査結果の考察

前述の調査結果について、ワーキンググループおよび研修向上委員会で検討を行い、①研修改善に向けたマネジメントの状況、②研修の運営状況の 2 つの観点から調査結果の取りまとめ、考察を行った。その概要を以下に示す。

(1) 研修改善に向けたマネジメントの状況

(ア) 運営評価に関する考察

- PDCA サイクルの確立に向けて、データを活用する仕組みの構築が必要ではないか。
 - 構築に向けては「何のために」データが必要か、「何に」データが使えるのか、をしっかりと現場に対して伝えていくことが重要となるのではないか。
 - また、国・都道府県・研修実施機関のなかで研修の運営・評価に係る情報共有が適切に行われる仕組みの構築が必要ではないか。
- 規模の小さい地域では県、研修向上委員会、実施機関が混然一体と運営されており、相互の牽制が形式的にしか機能しない実態があり、そのような現場の状況にも考慮した仕組み作りの検討が必要ではないか。
- 外部評価型ではなく、自己の振り返りにつながるような自己評価型の評価方法を提示していくべきではないか。

【上記の考察の前提となる主なアンケート調査の結果など】

<研修向上委員会の運営・評価>

◇ 研修向上委員会の設置状況

- ・ 47 都道府県中 43 都道府県(91.5%)で研修向上委員会が設置済み。

◇ 研修向上委員会を設置していない理由(自由記述回答より抜粋)

- ・ 研修委員会の名称で、研修の実施方法や評価を行う委員会を社会福祉協議会に設置しているため。
- ・ 現在、研修講師、研修実施機関、県担当者で研修の企画、実施後の評価などを行っ

ているが、外部委員(学識経験者など)を含めた場において議論・検討する段階まで至っていないため。

- ・ 各指定研修機関において、各研修の講師打ち合わせ会を行い、研修のあり方などを検討しているため

◇ 運営評価の実施状況

- ・ 都道府県による研修向上委員会の運営の評価を行っているのは 3 都道府県(6.4%)のみ。

◇ 運営評価を実施していない理由

- ・ 運営評価を実施していない理由としては「方法・評価基準が分からないから(60.5%)」、「国から運営評価の実施を求められていないから(41.9%)」の割合が大きい。

<行政評価(政策評価)の実施状況>

◇ 行政評価の実施状況

- ・ 介護支援専門員の資質向上事業が都道府県の行政評価の対象になっているのは 13 件(27.7%)。

◇ 行政評価の実施体制

- ・ 行政評価を行っている 13 件のうち、内部評価のみが 8 件、外部評価も組み合わせているケースが 4 件であった。※無回答 1 件

<国・都道府県・研修実施機関の情報共有>

◇ 都道府県から研修向上委員会への情報提供の状況

- ・ 都道府県内の高齢者や社会資源の整備状況などに関する研修向上委員会への情報提供は3~4都道府県でしか行われておらず、「特に、研修向上委員会への情報提供を行っていない」都道府県が全体の 19 件(44.2%)となっている。
※ただし、都道府県と研修向上委員会が事実上、一体となって運営されており、情報提供の必要性がないケースも含まれると考えられる。
- ・ 一方で、研修向上委員会向け調査結果においては、都道府県内の高齢者や社会資源の整備状況などに関する情報について、「現状として、提供がないが、検討に活用したいと思う」の割合が 4 割を超えている。

◇ 研修実施機関から研修向上委員会(および都道府県)への情報提供の状況

- ・ 「受講者・修了者数」といった参加者の基本情報以外のアンケート結果や評価結果などの情報については、研修実施機関から研修向上委員会(および都道府県)へ提供

されている割合は概ね 5 割以下となっている。

◇ 研修向上委員会(および都道府県)から研修実施機関への情報提供の状況

- ・ 研修実施機関への情報提供の状況をみると、「必要なデータが『すべて』又は『概ね』提供されている」が、いずれの課程においても、8～9 割を占めている。

(2) 研修の運営状況

(ア) 修了評価・研修記録シートに関する考察

- eラーニングやICTの活用を促進させるため、より効果的な運用につなぐ対策の検討が必要である。その対策を具体化するためには、客観性のある研修効果の指標が必要である。研修効果の指標として修了評価の重要性を再度認識し、精度の高い効果測定の見直しが必要ではないか(≒修了評価で出口の質を担保する)。
 - eラーニングの活用を進めるとすれば、併せて評価ツールもデータ化できないか。
- ICT による修了評価には少額とはいえ費用がかかるので、e ラーニング導入により、運営コストを抑え、そのコスト分を修了評価の ICT の導入・活用に回すなどできると良い。
- 研修記録シートは受講前後・事後を通じて、自己評価をもとに受講生の事後学習を促進させるツールがあり、活用が減っているのは課題であると考えられる。
 - 研修記録シートは集計作業の負担が大きいことや記述が多くデータ化が困難である事などがその要因であると推察される。
 - 一方で、実際に活用を行っているケースもあることが調査結果から示されており、活用できているところが、具体的にどうやっているかを好事例として発信することが必要ではないか。
 - 研修記録シートのデータを何に使うかを示し、理解を得るような取り組みも重要であり、納得してもらって協力を得るような環境づくりが大切ではないか。
- 修了評価の仕組みを構築することにより、データに基づいた検討やフィードバックができるようになることが期待できるのではないか。
 - 次のカリキュラムを考える時に、どの領域が修了評価のデータを踏まえると弱いから、注力すべきというような検討ができるようになるという期待もある。
 - 同じ科目を同じ副教材を使用して実施しても、講師が違くとパフォーマンスに違いが生じて、受講前後での評価にも違いが生じることがあり、そのような実態をデータで示すことができれば、講師の評価にもつながるのでないか。

【上記の考察の前提となる主なアンケート調査の結果など】

< 修了評価 >

◇ 受講者の修了評価の状況

- ・ 研修記録シート、テストの実施が多く、主任課程と主任更新課程ではレポートも利用されているという傾向は昨年度調査と同様であったが、研修記録シートを修了評価に使用している割合が大きく低下している。
- ・ また、「受講者の評価を行っていない」実施機関が課程ごとに差はあるが、再研修で 34.7%、実務研修および主任更新研修で 20.4%存在。

◇ 修了評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として修了不可としたケース

- ・ 評価結果を理由に修了不可としてことがある実施機関はいずれの課程も 5%以下であった。

<研修記録シートの活用>

◇ 研修記録シートの利用状況

- ・ 「事前と事後のみの利用」および「事前、事後、3ヶ月後の利用」で全体の約 8割程度を占める。一方で、研修記録シートを利用していない実施機関も 1~2割程度存在。

◇ 「3ヶ月後」シートの回収、内容の評価状況

- ・ 「3ヶ月後」シートを利用している実施機関のうち、回収をしている実施機関は 7~9割。
- ・ 内容の評価については、専門 I・II、主任・主任更新では、4割程度が行っている一方で、実務・再研修では、2~3割程度の実施率となっている。

◇ 研修記録シートの集計状況(シートの一部のみの利用でも可)

- ・ 全体として概ね 5割程度の実施機関が集計を実施。

◇ 研修記録シートの集計を行っていない理由

- ・ 集計を行っていない理由としては、「集計作業に時間を割くことが困難である」ことを理由として挙げる実施機関の割合が最も大きかった。

(イ) 講師・ファシリテーターの養成・評価に関する考察

- 講師・ファシリテーターの養成・評価は研修の質の向上にとって極めて重要であると考えられる。
 - 実態として、評価をやりきれていない。身内のなかで完結している現状は見直していくべきであるという考えもある。そのためには、客観的な評価の実施が必要ではないか。
 - 評価基準の検討および評価の実践に研修実施機関も都道府県も手が回っていないのが現状であり、「国や都道府県から様式を示されれば活用したい」との

意見も多いので、何らかの発信を行ってはどうか。

- 講師・ファシリテーターはどの自治体でも不足している。
 - 各自治体が独自に養成講座などを行っているが、養成方法について、本来は全国共通の標準的なカリキュラムを示すことができれば、講師の質の向上、平準化にもつながり、良いのではないか。
- 一部の地域では、講師・ファシリテーターによる受講者の評価を実施しており、具体的にどのような方法で評価を行っているかを展開した方が良いのではないか。
- 講師評価を実施する必要性は高いが、評価されることへのネガティブなイメージは考慮すべき。評価される講師がプラスな気持ちになれるような、評価軸を考えることが重要ではないか。

【上記の考察の前提となる主なアンケート調査の結果など】

<講師・ファシリテーター養成>

◇ 講師の過不足感

- ・ いずれの課程においても、全体の6～7割程度の実施機関が「不足」又は「やや不足」と回答。
- ・ 都道府県の約2割、研修向上委員会の約1割が講師の過不足の状況について、「分からない／把握していない」と回答しており、講師の需給状況への理解が進んでいない地域もあることが示唆された。

◇ ファシリテーターの過不足感

- ・ いずれの課程においても、全体の6～7割程度の実施機関が「不足」又は「やや不足」と回答。
- ・ 都道府県の約2割、研修向上委員会の約1割が講師の過不足の状況について、「分からない／把握していない」と回答しており、ファシリテーターの需給状況への理解が進んでいない地域もあることが示唆された。

◇ 講師・ファシリテーターに対する育成・支援施策

- ・ 都道府県および研修向上委員会が実施している施策としては「講師養成研修の開催」、「研修ガイドラインについての説明会の開催」の割合が大きい傾向がみられた。
- ・ 実施機関では、「意見交換会の開催」、「研修実施後のフィードバック」の割合が大きい。
- ・

<講師・ファシリテーター評価>

◇ 講師・ファシリテーター評価の実施状況

- ・ 現時点で実施しているのは「研修向上委員会」の3件(6.8%)のみであるが、都道府県では12件(25.5%)が、研修向上委員会では17件(38.6%)が「今後実施する予定である」

と回答。

◇ 講師・ファシリテーター評価結果の活用状況

- ・ 評価を行っている研修向上委員会においては、評価結果が「評価結果のフィードバック」、「人選」、「育成、支援施策の内容検討」、「研修内容検討」に活用されている。

◇ 講師・ファシリテーター評価を実施しない理由

- ・ 評価を実施しない理由としては、「評価の必要性を感じていないことを理由とする回答」と「評価基準・評価方法・評価体制がないことを理由とする回答」が多い。

◇ 研修実施機関における「講師への評価」の実施状況

- ・ 「実施している」の割合は 5～10%程度となっているが、「国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う」と回答する割合が主任・主任更新では 6 割、実務・専門Ⅰ・専門Ⅱでは 7 割、再研修では 8 割を超えている。

(ウ) 研修手法

- 講師・ファシリテーターの質の向上も必要だが、その一方で、負担だけが大きくなっている現状がある。講師の負担をいかにして軽減するかといった効率化の観点での検討も必要ではないか。
 - e ラーニングの活用をすれば講師がゼロから資料を作らないで良いし、平準化にもなる。こういうことも併せて考えてはどうか。
- 現行のカリキュラムは講義・演習一体型科目中心の構成となっており、講義演習一体型課目における e ラーニングの効果的な活用手法については開発するなり好事例を展開するなりしていくことも求められるのではないか。

(エ) 副教材の整備に関する考察

- 都道府県、研修向上委員会、研修実施機関もいずれも講師が作成した副教材を「確認していない」ケースが 2 割程度存在。これはゼロにもっていくべきであり、なぜ確認できないか、どうしたらよいかを考える必要があるのではないか。
 - 各講師がぎりぎりの状況で研修資料を作成しており、現場としては研修をこなしていくだけで精一杯という状況にあるということも想定される。
- ①共通資料を作成し、各講師に配布する方法と②講師が個別に作ったものを確認する体制を構築する方法の 2 通りが考えられるのではないか。
 - 現場では、テキストのみを使用するという動きが生じつつあるようだが、多少は講師のオリジナリティも発揮してほしいという考えもある。
 - 現実的な方法としては、統一テンプレートを作成し、ここは改編禁止、ここは講

師の経験から改編可能といったような切り分けを行うのが良いのではないかと。

- 副教材が共通化すれば、講師の質の評価もやり易くなるのではないかと。
- 講師が一から資料を作成している負担も軽減されるのではないかと。

【上記の考察の前提となる主なアンケート調査の結果など】

＜副教材の整備＞

◇ 副教材の使用状況

- ・ いずれの課程でも副教材が使用されている割合が 6 割を超えているが、昨年度調査結果と比較して、使用している割合がやや低下している。(次項参照)

◇ 副教材の作成主体

- ・ いずれの課程においても、「講師が作成している」の割合が最も大きい。
- ・ 主任更新研修は、他の課程と比較して「研修向上委員会」が作成に関与している割合がやや大きい。

◇ 講師が作成している副教材の確認状況

◇ 副教材の作成主体

- ・ いずれの課程においても、「講師が作成している」の割合が最も大きい。
- ・ 主任更新研修は、他の課程と比較して「研修向上委員会」が作成に関与している割合がやや大きい。

(オ) 主任(更新)研修に関する考察

- 自由記述でも総括的な評価でも「厳しくなった」という意見が多い現状であり、主任研修の受講者のポートフォリオに何らかの変化が生じていると考えられる。
- 本来、主任には後輩の育成、地域の連携のハブといったような役割が求められ、最後に管理者としての役割が付随的に求められるべきという考えもある。しかしながら、管理者としての側面が過度に強調され、他の役割がないがしろにされている状況にあるのではないかと。
- 一方で、主任には職域のリーダーとしての役割が求められると考えられる。頑張って上を目指す人を大切にす姿勢が必要であり、職域でしっかり取り組んでいくべきではないかと。
- 考えられる打ち手としては以下のような工夫がありうる。ただし、いずれも職能として取り組むべきことであり、国や県が方向性を定めることではないとの認識。
 - 例えば初日・導入の研修をかなり丁寧にやるということ。
 - 予め「評価をする」と通知してプレッシャーをかけること。
 - 厳しい運用をすることを事前に通告したうえで実施すること。
 - 次の更新のためには「これが重要」というビジョンを示しておくこと。

【上記の考察の前提となる主なアンケート調査の結果など】

＜各課程の達成目標の充足状況＞

- ・ 各課程ともに、「できるようになった」と「概ねできるようになった」が全体の8割以上を占める。
- ・ 一方で、他の過程と比較して、主任課程はやや「(あまり)できるようになっていない」の割合が大きい傾向がみられた。

(カ) 基礎情報に関する考察

- 中長期的な課題として、介護支援専門員の基礎情報(登録情報など)をデータベースとして整備することを考えていく必要があるのではないか。
 - 現任者の状況を捉えることで、現任者の受講者数の見込みの精度が向上し、受講料の見通しも立ちやすくなり、コストダウンにもつながるのではないか。
 - 各都道府県には介護支援専門員の情報管理システムの活用を促し、入口の登録は行っているものの、出口の管理は全くできていない状況(≒様々な理由からケアマネジャーをやめる方の動向の把握ができない)。

5. 調査結果を踏まえた今後の課題

「介護支援専門員(ケアマネジャー)の資質向上とあり方に関する検討会」における議論の中間的な整理(平成 25 年 1 月 7 日)の中で「介護支援専門員の資質に差がある現状を踏まえると、介護支援専門員の養成、研修について、実務研修受講試験の資格要件、法定研修の在り方、研修水準の平準化などに課題がある」との指摘がなされ、そこから「介護支援専門員研修改善に係る調査等事業(以下、本事業という)」においても、毎年、様々な調査、検証が実施されてきた。

今年度の事業で本事業が一区切りつくことから、昨年度一般社団法人日本介護支援専門員協会が実施した調査(平成 29 年度介護支援専門員研修の効果に関する調査等事業)も踏まえながら、介護支援専門員の法定研修における今後の課題について以下のとおり整理を行った。

なお、本項については本事業の一部を再委託した一般社団法人日本介護支援専門員協会と共同でとりまとめを行った。

(1) 法定研修がもたらすケアマネジメントの質の向上への効果

平成 29 年度に実施された介護支援専門員研修改善事業の調査のうち、研修実施機関及び講師・ファシリテーターへの調査において、研修実施機関の視点から、新カリキュラムで到達目標として掲げている事項について、旧カリキュラムの受講者と比較して新カリキュラムの受講者が総じてできるようになったのかそうでないのかを調査した結果、「できるようになった」「概ねできるようになった」を合計した割合が 80～98%となり、研修実施機関が新カリキュラムの受講者に対し、高い評価をしていることが示された。ただし、10～15%程度「できていない」という評価もあり、今後の解決すべき課題として残されている。

今後は客観的な評価も行いながら、修得度が低い科目の改善に向け、さらに内容の検討を進めると共に、講師の質や教材の活用、シラバス作成等の想定された課題を究明していくことが求められる。

(参考:平成 29 年度介護支援専門員研修改善事業報告書 P188-196)

(2) 運営する中での課題やその解決方法

運営に関する問題では、着目すべきは講師及びファシリテーターの育成である。

今年度の本事業で講師の不足については、回答した都道府県のうち 46.8%が不足と認識している一方で、育成については 59.6%の都道府県が「実施していないし、今後実施する予定もない」と回答している。ファシリテーターの育成も類似の結果となっている。

その理由の多くが研修実施機関等に任せているという回答であるが、その研修実施機関が回答した講師不足の状況については半数以上の研修実施機関が不足していると回答している。

日本介護支援専門員協会が平成 29 年度に独自で行った「介護支援専門員研修の効果に関する調査等事業」における講師等の人材育成に関する調査結果でも、「担当課目終了後に講義や指導について助言やアドバイスを受けていない」講師経験者が全体の 40%を占める状況が示

されており、講師等の育成やフォローアップに都道府県や研修実施機関の積極的関与を期待したい。

(3) 受講前後での成果

平成 28 年度から新カリキュラムで研修が実施されていることを踏まえ、平成 27 年度と平成 29 年度の研修記録シートの自己評価結果の比較を実施したところ、旧カリキュラム(平成 27 年度)と比較すると、実務研修修了者の修了直後の自己評価において、平成 29 年度受講者の方が「できる」「概ねできる」の合計比率が上がっている結果がみられた。

その他の研修においても同様の傾向がみられ、例えば主任介護支援専門員更新研修の修了直後の自己評価において、7 項目中、5 項目で平成 29 年度の受講者の方が「できる」「概ねできる」と回答している割合が大きくなっている。

(参考:平成 29 年度介護支援専門員研修の効果に関する調査等事業報告書 P52～55)

(4) 受講前後での成果を裏づける修了評価の必要性

修了評価の実施は実施要綱でも位置付けられており、受講前後での成果を裏づけるという意味でも修了評価の実施は必要であると考えられる。一方で、平成 29 年度と比較して、修了評価における研修記録シートの活用が減っている実態がアンケート調査において示されている。

第 152 回介護給付費分会における議論において、主任介護支援専門員が居宅介護支援事業所の管理者要件に位置付けられる際に、「漫然と受講すれば更新できる」、「修了テストをしていない」、「何らかの評価認定」との指摘がなされており、何らかの形での自己評価と他者評価(数値化の評価)が必要であると考えられる。

(5) アンケート結果から見えてきたこと

今年度実施したアンケート調査結果を踏まえると、今後、全国の介護支援専門員養成研修の水準を平準化し、さらに高めていく上での課題とその解決の提言としては以下が想定される。

① 研修向上委員会の運営

- ・ 研修向上委員会の設置が進んでいる。また、多くの人口小規模県では、研修向上委員会と都道府県一体的に運営されている実態があることが想定される。
- ・ 今後は「一体型」「別設置型」それぞれに、機能充実に向けた取り組みが必要である。

② 研修向上委員会の運営評価と情報共有

- ・ 正式な運営評価の実施は少ない。また、評価の根拠となり研修実施機関からの情報提供も限定的である。
- ・ 委員会を介さない振り返りや情報共有などのインフォーマルな形での運営評価は行われていると考えられるため、今後は、より効果的な方法の普及が必要である。

- ・ 運営の評価、検証状況について議事録を作成しても、関係機関・委員、都道府県・研修実施機関と共有している割合が少なかったり、議事録を作成していないなど情報共有が不十分という状況もあると想定される。

③ 研修記録シートの活用

- ・ 修了評価での利用など活用が多いものの、平成 29 年度に比べると減少している。
- ・ 集計の手間の負担が活用の壁となっている。今後の活用の促進に向けてはどのようにデータを活用するか的好ノウハウの共有が必要である。

④ 講師・ファシリテーターの評価・育成

- ・ 受講者による講師評価は実施できていないが、様式があれば実施したい意向が大きい。
- ・ 研修手法の改善や講師育成に反映させるためにも、効果的な評価方法の確立が必要である。

⑤ 副教材の活用と研修内容の均質化

- ・ 副教材を活用している割合が大きく、かつ研修実施機関が内容を確認していない割合も一定数ある。
- ・ 研修内容の均質化および講師の負担を軽減する観点からも、共通副教材の開発・活用を積極的に考える必要がある。

⑥ 研修手法の改善

- ・ 今年度の主任課程をはじめ、受講者のプロフィール(経歴、属性、意識・意向等)の多様性が大きくなっている。
- ・ 例えば、初日の導入を工夫するなど、受講者の受講意識・目標設定を整える工夫が必要と考えられる。
- ・ 加えて、研修コスト削減の観点からも、今後は e-ラーニングの積極的活用も検討することが必要である。

(6) 職能団体としての資質向上に向けた取り組み

介護支援専門員の資質向上に向けては、職能団体の果たす役割も重要になると考えられる。具体的な取り組みとしては以下のようなものが考えられる。

- ・ 管理者研修でのケアマネジメントプロセスや法令遵守、制度改正や報酬改定の動向の理解と事業所内へのフィードバック。
- ・ 講師養成研修での、研修計画策定や介護支援専門員への指導方法の理解。
- ・ 専門的知識習得のための研修会の企画実施、生涯学習体系の検討等。

- ・ 法定研修等での修了評価システムの普及促進と理解度や習熟度の見える化。

第3章 全国介護支援専門員研修向上会議の開催報告

1. 全国介護支援専門員研修向上会議の概要

① 目的

本会議は、平成 28 年度から施行された新研修カリキュラムに基づく研修制度のより適切な運営の支援のため、各都道府県における研修の実態や PDCA サイクルを促進するための取り組みについて事前に都道府県および研修実施機関に調査を行い、その結果などの報告および協議や意見交換を行うために開催した。

2 日間にわたり、各都道府県における研修向上委員会の開催・実施状況などの調査結果の報告、国・都道府県・研修実施機関・受講者の PDCA サイクルを確立するため、実施主体である都道府県が中心となって介護支援専門員研修を実施していくために、都道府県および研修実施機関への方策などの提案や協議、情報交換を実施した。

なお、全国介護支援専門員研修向上会議の運営に関わる業務の一部を一般社団法人日本介護支援専門員協会に再委託し、共同で実施した。

② 日程・会場

(ア) 日程

- 1 日目：平成 31 年 2 月 21 日（木） 13 時 00 分～18 時 10 分
※情報交換会 18 時 30 分～20 時 30 分
2 日目：平成 31 年 2 月 22 日（金） 9 時 30 分～13 時 00 分

(イ) 会場

ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター 会議室 RoomABC
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー

③ 対象者・参加後に担う役割

(ア) 対象者

- ① 都道府県において設置した研修向上委員会および都道府県の資質向上事業の企画検討・検証の中核を担う者
- ② 都道府県研修実施担当職員
- ③ 研修実施機関の企画担当者

(イ) 会議参加後に担う役割

- ① 都道府県で実施する介護支援専門員研修においてガイドラインに沿った研修実施を推進すること

- ② 都道府県における介護支援専門員研修の実施に際し、中核を担うこと
- ③ 都道府県の研修企画に係り、研修内容の伝達を行うこと

④ 申込方法・参加実績

(ア) 申込方法

- ① 都道府県において参加者を取りまとめのうえ、参加者届書で申込み
- ② 各都道府県は3名以内で参加者を選出
- ③ 申込み締切は平成30年12月26日（火）

(イ) 参加実績

今年度の全国介護支援専門員研修向上会議には、資質向上事業の中核を担う方 25 名、都道府県担当者 47 名、研修実施機関担当者 78 名の計 150 名の参加があった。

図表8 参加実績表

①資質向上事業の中核を担う方／②都道府県担当者／③研修実施機関担当者

	①	②	③	計		①	②	③	計
北海道	0	0	1	1	滋賀県	0	1	3	4
青森県	0	1	2	3	京都府	1	2	0	3
岩手県	0	1	2	3	大阪府	0	2	2	4
宮城県	0	2	2	4	兵庫県	0	1	3	4
秋田県	0	0	1	1	奈良県	0	1	2	3
山形県	0	1	2	3	和歌山県	2	1	0	3
福島県	0	1	2	3	鳥取県	1	1	2	4
茨城県	0	1	4	5	島根県	2	0	1	3
栃木県	1	1	1	3	岡山県	0	1	2	3
群馬県	1	1	0	2	広島県	1	1	1	3
埼玉県	0	1	3	4	山口県	1	1	1	3
千葉県	1	1	1	3	徳島県	0	1	1	2
東京都	0	2	3	5	香川県	0	0	1	1
神奈川県	1	2	1	4	愛媛県	3	1	1	5
新潟県	0	1	2	3	高知県	1	1	1	3
富山県	0	1	1	2	福岡県	1	1	2	4
石川県	0	1	1	2	佐賀県	0	1	1	2
福井県	0	1	3	4	長崎県	0	1	2	3
山梨県	1	2	2	5	熊本県	0	1	1	2
長野県	2	0	1	3	大分県	0	1	2	3
岐阜県	0	1	2	3	宮崎県	1	1	1	3
静岡県	1	2	2	5	鹿児島県	0	1	2	3
愛知県	1	0	3	4	沖縄県	1	0	3	4
三重県	1	1	1	3	合計	25	47	78	150

⑤ プログラム

1 日目:平成 31 年 2 月 21 日(木) 13:00～18:10

時間	項目	内容
12:15-13:00	受付	-
13:00-13:30	挨拶・解説	開会のご挨拶及び介護支援専門員研修の現状等 <厚生労働省老健局振興課 課長補佐 川部勝一氏>
13:30-14:00	報告	平成30年度介護支援専門員研修改善に係る調査等 調査結果報告 <平成30年度研修改善に係る調査等事業 ワーキンググループ座長 齊木大氏>
14:00-14:15	休憩	-
14:15-15:45	講義	適切なケアマネジメント手法の基本的な考え方 <国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授 石山麗子氏>
15:45-16:00	休憩	-
16:00-16:50	グループ ディスカッション	【テーマ】・都道府県の取り組み状況の整理 ・アクションプランシートの振り返り
16:50-17:05	発表	取り組み事例の紹介 ①研修記録シートの活用 <特定非営利活動法人岡山県介護支援専門員協会 会長 堀部徹氏>
17:05-17:15	休憩	-
17:15-17:30	発表	取り組み事例の紹介 ②修了評価について <社会福祉法人長野県社会福祉協議会 福祉人材部 研修グループ 森山雄大氏>
17:30-17:45	発表	取り組み事例の紹介 ③講義演習一体型科目の展開 <千葉県健康福祉部高齢者福祉課 介護保険制度班 技師 鈴木美那氏>
17:45-18:05	発表	試験を活用した研修修了評価システムのご案内 <一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 七種秀樹氏>
18:05-18:10	連絡	事務連絡
18:30-20:30		情報交換会

2 日目:平成 31 年 2 月 22 日(金) 9:30～13:00

時間	項目	内容
8:50-9:30	受付	-
9:30-10:30	グループ ディスカッション	【テーマ】・各都道府県の課題の整理① ・課題解決に向けた取り組みの検討①
10:30-11:30	グループ ディスカッション	【テーマ】・各都道府県の課題の整理② ・課題解決に向けた取り組みの検討②
11:30-11:40	休憩	-
11:40-12:40	グループ ディスカッション	【テーマ】・アクションプランの検討
12:40-12:55	発表	アクションプランについて都道府県からの発表
12:55-12:57	連絡	事務連絡
12:57-13:00	閉会	閉会のご挨拶 <厚生労働省老健局振興課 課長補佐 川部勝一氏>

⑥ グループディスカッション

(ア) 概要

全国介護支援専門員研修向上会議では計4回のグループディスカッションを実施した。グループ構成は、A：一都道府県又は規模や地理的に近い都道府県のグループ、B：規模や地理的な関係性を考慮せずにランダムに構成したグループの2種類とし、広く情報交換の機会を得ることができるように設計を行った。

また、ディスカッションを行う検討テーマは、過年度調査の結果および研修向上委員会での議論を踏まえ、①研修記録シートの活用、②講師・ファシリテーターの養成・評価、③副教材の活用、④都道府県独自の課題（平成29年度全国介護支援専門員研修向上会議にて、各都道府県が整理した「課題」）とした。

図表9 グループディスカッションの内容およびグループ構成

		グループ構成
1日目	● 各都道府県の取り組み状況の整理 ● アクションプランシートの振り返り	A
	● 各都道府県の課題の整理① ● 課題解決に向けた取り組み検討①	A
2日目	● 各都道府県の課題の整理② ● 課題解決に向けた取り組み検討②	B
	● アクションプランの検討	A

(イ) ワークシート

グループディスカッションでは、「ワークシート1_各都道府県の取り組み状況の整理」、「ワークシート2_各都道府県が抱える研修の課題」、「ワークシート3_他の都道府県の取り組み状況」、「ワークシート4_アクションプラン（これからの取り組み）」の計4枚のワークシートを使用した。（※ワークシートは巻末資料として掲載）

2. 都道府県の取り組みの状況

グループディスカッションの一環として、前述の4つの検討テーマに関する都道府県の取り組み状況についてのアンケート調査を実施した。結果を以下に示す。なお、対象となる47都道府県のうち46都道府県より回答を得た。(回収率：97.9%)

(1) 研修記録シートの活用

① 研修記録シートを使用状況 (n=46)

図表10 研修記録シートの使用状況

	十分できている	不十分だができている	できていない	無回答
n	29	15	2	0
比率	63.0%	32.6%	4.3%	0.0%

<具体的な取り組み状況(例)> ※自由記述回答より抜粋

- 『十分できている』と回答された都道府県
 - ◇ 全受講者、全科目ごとに開始前後の理解度を記入してもらっている
 - ◇ シートの入力を修了要件としている(事前・事後)
- 『不十分だができている』と回答された都道府県
 - ◇ 受講後は必須、3ヵ月後は任意としている
 - ◇ 主任・主任更新以外で活用した。主任・主更では今年度から〇×テスト形式の自己チェックシートを活用している
- 『できていない』と回答された都道府県
 - ◇ 研修記録シートの代わりに、平成24年から導入している自己評価シートと修了評価を用いている

② 研修記録シートの集計状況 (n=46)

図表11 研修記録シートの集計状況

	十分できている	不十分だができている	できていない	無回答
n	17	17	12	0
比率	37.0%	37.0%	26.1%	0.0%

<具体的な取り組み状況(例)> ※自由記述回答より抜粋

- 『十分できている』と回答された都道府県

- ◇ 自由記載欄の集計には至っていないが、定量化可能な所は集計し、研修ごとにグラフ化している
- ◇ マークシートに転記して4段階評価を実施している
- 『不十分だができている』と回答された都道府県
 - ◇ 個別集計ではないが集計している。グループごとの平均をすい上げしている
 - ◇ 自己評価シートは集計している。修了評価の集計はしていない
- 『できていない』と回答された都道府県
 - ◇ 回収してはいるが集計していない
 - ◇ 研修記録シートの特記事項のうち、重要なものの意見集約は行っている

③研修記録シートの内容を分析・活用状況 (n=46)

図表12 研修記録シートの分析・活用状況

	十分できている	不十分だができている	できていない	無回答
n	3	19	23	1
比率	6.5%	41.3%	50.0%	2.2%

<具体的な取り組み状況(例)> ※自由記述回答より抜粋

- 『十分できている』と回答された都道府県
 - ◇ 研修向上委員会にて集計した結果を報告済
 - ◇ 事前・事後の習得度の差を評価している
- 『不十分だができている』と回答された都道府県
 - ◇ 集計結果をグラフ化し、指導者会議で受講者の理解度を共有し、研修内容に反映している。分析までは至っていない
 - ◇ 科目・コースごとに分析し、弱いところについては養成研修で講師に改善できるよう重点的に伝えて対策している。全体的には分析できているが、個人ごとには分析できていない
- 『できていない』と回答された都道府県
 - ◇ 記録シート(3ヵ月後を含む)の集約をしているが分析するには至っていない
 - ◇ 効果的な活用方法が分からないため、次年度より活用方法を検討する

(2) 講師・ファシリテーターの養成・評価

①講師・ファシリテーターの養成状況 (n=46)

図表13 講師・ファシリテーターの養成状況

	十分できている	不十分だが できている	できていない	無回答
n	8	30	8	0
比率	17.4%	65.2%	17.4%	0.0%

<具体的な取り組み状況(例)>※自由記述回答より抜粋

- 『十分できている』と回答された都道府県
 - ◇ 講師養成研修を年3回県事業として実施している
 - ◇ 平成30年度より講師・ファシリ養成研修を体系的に実施。講師・ファシリ登録制(バンク)を設けている
- 『不十分だができている』と回答された都道府県
 - ◇ 講師の主・副担当をつくり、適宜入れ替えたり、違う研修の講師を担当してもらったりして向上を目指している
 - ◇ 行政側(県)が主体となり定期的に養成を行っている
- 『できていない』と回答された都道府県
 - ◇ 講師がファシリテーターを選定しており、養成の体制はない
 - ◇ 平成27年度以前に基金を活用し養成事業を実施。しかし、講師は不足しており、登録のある講師の見直し基準も設置していないことから、今後検討が求められている

②講師・ファシリテーターの評価の状況(n=46)

図表14 講師・ファシリテーターの評価の実施状況

	十分できている	不十分だが できている	できていない	無回答
n	1	14	29	2
比率	2.2%	30.4%	63.0%	4.3%

<具体的な取り組み状況(例)>※自由記述回答より抜粋

- 『十分できている』と回答された都道府県
 - ◇ 振り返りシートを活用し、講師、助言者の評価を行っている
- 『不十分だができている』と回答された都道府県
 - ◇ 講師の評価のデータはとっているが 研修向上委員会および全ての講師にフィードバックできていない
 - ◇ 自己評価をしてもらっている。自己評価の集計について現在検討中。
- 『できていない』と回答された都道府県
 - ◇ 個別に講師を評価するのではなく、受講生の習得度を通じて評価を行っている。

◇ 他者評価の取り組みができていない。評価の仕方が分からない

(3) 副教材の活用

①副教材の質の担保に向けた取り組みや共通副教材の開発・活用の状況 (n=46)

図表15 副教材の質の担保・共通教材の開発・活用の状況

	十分できている	不十分だが できている	できていない	無回答
n	12	21	9	4
比率	26.1%	45.7%	19.6%	8.7%

<具体的な取り組み状況(例)>※自由記述回答より抜粋

- 『十分できている』と回答された都道府県
 - ◇ 副読本の作成(演習用)、eラーニング教材の作成を行っている
 - ◇ 研修向上委員会の下部組織である検討部会において検討し、複数の部会員が協働して作成し、毎年評価を加え、修正している
- 『不十分だができている』と回答された都道府県
 - ◇ 複数の研修機関で共通認識を持つように留意しているが、副教材の共通化についてはまだ対応していない
 - ◇ 講師が作成したパワーポイントを毎年 企画検討委員会で見直しを行っている
- 『できていない』と回答された都道府県
 - ◇ テキストを中心に講義を行っている。テキスト以外に講師が作成した副教材を使っており、共通副教材はない

(4) 都道府県独自の課題への取り組み

①昨年度設定した「課題」、「課題にむけて実施すべきこと」についての取り組みの状況 (n=46)

図表16 都道府県独自の課題への取り組みの状況

	十分できている	不十分だが できている	できていない	無回答
n	3	19	17	7
比率	6.5%	41.3%	37.0%	15.2%

図表17 昨年度の全国会議で作成されたアクションプランの内容(一部抜粋)

各都道府県のアクションプラン（抜粋）		件数
委員会 研修 向上 関連	県と研修実施機関等の情報共有や連携の促進	5
	研修向上委員会の設置	5
	研修向上委員会への都道府県の関与	5
	研修向上委員会の明確化（役割や構成員の見直し）	13
	ガイドラインの周知と講師の負担軽減	3
	課題を整理して研修向上委員会検討できる環境作り	5
養成 指導 者	質の高い講師やファシリテーターの確保及び育成	25
	講師やファシリテーターの評価	5
	講師やファシリテーターからの意見集約	3
	実習指導者の育成	7
評価 受 講 者	研修記録シートの活用	9
	管理者研修による第三者評価のレベル向上	4
	修了評価の検討	13
	修了評価の検討等へのフィードバック	2
事業 評価	研修の成果指標の作成	4
	事業評価の推進	8
そ の 他	先進都道府県の視察	2
	国に対するフィードバック体制の整備	1
	法定研修を補完する法定外研修の検討	1

3. 全国会議アンケート調査結果

全国介護支援専門員研修向上会議の開催後に参加者を対象にアンケート調査を実施した。アンケート調査の概要および結果について以下に示す。

なお、調査では会議に関する質問に加えて、研修向上会議における議論にあがっていた e-ラーニングの導入状況・意向および研修修了評価システムの導入意向についても確認を行った。

(1) 事後アンケート調査の概要および結果

【アンケート調査の概要】

調査対象	平成 30 年度全国介護支援専門員研修向上会議の参加者 150 名
調査方法	電子媒体の調査票 (MS-Excel 等) を電子メールで配布・回収
調査時期	2019 年 2 月 27 日 (水)～2019 年 3 月 8 日 (金) ※8 日以降も調査票の回収を継続。2019 年 12 日 (火) 回収分までを分析対象とした。
サンプル数・回収率	65 件 (回収率:43.3%)
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国介護支援専門員研修向上会議の感想 ● 全国介護支援専門員研修向上会議の今後の参加意向 ● e-ラーニングの導入状況 など

【アンケート調査の結果】

< 回答者属性 >

項目	人数	%
① 都道府県担当者	30	46.9
② 研修実施機関担当者	32	50.0
③ その他	2	3.1
合計	64	100

< 全国介護支援専門員研修向上会議について >

- 今回の研修向上会議は今後の研修改善に向けて参考になりましたか (単一回答)

項目	人数	%
① 大変参考になった。	27	42.2
② 参考になった	32	50.0
③ やや参考になった	5	7.8
④ 参考にならなかった。	0	0.0
合計	64	100

- 次年度から当事業は新しい形態に変更となりますが、従来同様に全国の担当者が参集する場が必要かどうかについて希望をお伺いします。(単一回答)

項目	人数	%
① 開催を希望する	62	96.9
② 開催を希望しない	2	3.1
合計	64	100

<eラーニングについて>

- 法定研修での「eラーニング(e-Learning)」の活用意向についてお伺いします。現在の活用意向として最も近いものを1つ選択してください。(単一回答)

※eラーニング:パソコンやタブレットなどのデバイス上でインターネットを利用して学ぶ学習形態を意味します。

項目	人数	%
① 活用することが決定している(活用済みも含む)	1	1.6
② 活用に向けて具体的な調整・検討を行っている(予定も含む)	1	1.6
③ 活用したいと考えているが、具体的な調整・検討は行っていない	41	65.1
④ 活用したいとは思わない	20	31.7
無回答	1	1.6
合計	63	100

<研修修了評価システムについて>

- 日本介護支援専門員協会が開発を進めている「研修修了評価システム」の今後の導入意向についてお伺いします。(単一回答)

項目	人数	%
① 導入することが決定している	1	1.6
② 導入に向けて具体的な調整・検討を行っている(予定も含む)	3	4.9
③ 導入したいと考えているが、具体的な調整・検討は行っていない	32	52.5
④ 導入したいとは思わない	25	41.0
合計	61	100

第4章 本調査事業のまとめ

本調査事業では、これまで複数年にわたり、全国の都道府県及び研修実施機関を対象とした実態調査と、全国介護支援専門員研修向上会議を開催し、参加者を対象としたアンケート調査及び会議の会場で検討されたアクションプランの内容の集計・分析を行ってきた。

これらの結果を踏まえ、本調査事業全体を通じて確認された、カリキュラム改訂以降の介護支援専門員の資質向上に向けた研修の現状と、今後に向けての課題をまとめると以下の通りである。

① 新カリキュラムに基づくガイドラインに沿った研修運営

- ・ ほぼ全ての研修実施機関において、新ガイドラインに沿った研修運営が定着している。
- ・ ただし、ガイドラインの中でもとくに講義・演習一体型の課目における研修の展開については、時間配分や複数の講師が分担するなどの運用面において、ガイドラインの例を改変した運営を行っているとする研修実施機関が多い。
- ・ また、一部の都道府県では、研修科目を追加したり時間数を増やしたりして、受講者の理解度を高めたり必要とされる知識の充実を図っている例もみられる。
- ・ ガイドラインに基づく研修運営が定着してきたと評価できる一方、研修の展開特にグループワークを交えた研修手法の工夫の部分については、実践現場での工夫を把握したうえで、しかるべきタイミングで見直し・拡充を図る余地がある。

② 修了評価

- ・ 修了評価が必須化されたことに伴い、新カリキュラムの導入初期は研修記録シートによる修了評価を実施する割合が大きかった一方、平成 30 年度調査では、筆記試験を導入する研修実施機関が増えていることが確認された。
- ・ これは、研修記録シートが自己評価式であるため、その結果を踏まえた研修の見直しを検討しにくいと考えられる。また、筆記試験の方が受講者自身に、自分が習熟していない部分を気づいてもらいやすいということも筆記試験を採用する地域が増えている一因といえる。
- ・ 今後、筆記試験の内容については、全国の研修実施機関及び都道府県どうしで好例を共有するなどして、作成負担の軽減や出題内容の固定化を防ぐ工夫が必要である。
- ・ 併せて、研修記録シートを活用する負荷を下げる工夫、例えばオンラインでの電子的な入力フォーマットに切り替え、「3 か月後」の回収をしやすくしたり、その結果を集計して活用しやすくしたりする工夫の検討も必要と考えられる。

③ 研修手法の見直し(副教材、eラーニング、講師養成)

- ・ ガイドラインに沿った研修運営が定着していきいている一方、特に実務研修においては旧カリキュラムに比べて時間数が長くなったため、講師を数多く確保する必要があり、

それに応じて講師間での内容の平準化を図るための打合せ・すり合わせ、あるいは講師養成にかかる時間と手間の負担が大きくなっている。

- これは、講師養成を主に担っている研修実施機関にとって負担であるのみならず、講師にとっても、実務と離れて研修講師として従事する時間が極めて長くなるという負担につながっている。
- また、講師ごとに副教材を作成し、かつその副教材のチェックを研修向上委員会も研修実施機関も行っていない地域もあり、研修の内容の細部における講師ごとのばらつきの要因となっている。
- 研修実施機関、講師双方の負担を軽減し、かつ講師ごとの研修内容のばらつきの平準化を図るためには、副教材の共通化や研修展開手法に着目した講師養成が必要である。
- さらに言えば、eラーニング手法の活用をより積極的に検討することにより、研修講師の確保難や、地域の広い都道府県における受講者負担の軽減を図ることも積極的に検討する必要がある。
- なお、平成 30 年度は実務研修受講者が前年対比大幅に減ったために、受講料が高額になった。研修開催にかかる費用として研修会場費が多くを占め、かつこれはある程度は人数に関係のない固定費であることを鑑みれば、eラーニングを活用することは、結果として、受講料を下げることにもつながる効果も期待できる。

④ 研修向上委員会の運営機能の強化

- 研修向上委員会の設置はほぼ全県となった。しかし、研修向上委員会で検討されていることは研修の運用にかかる部分が多く、研修全体を通じてどの科目に力点を置くか、どのような研修手法を活用すべきか、地域のケアマネジャー全体を見たときにどのような知識・技術に不安が多いのか、といったまさに地域のケアマネジメント全体を見据えた課題の把握やそれに対する法定研修としての取り組み方策の検討には至っていない地域が多いのが実情である。
- これは、研修向上委員会における議論だけに課題があるのではなく、例えば研修記録シートのように地域の(法定研修を修了した)ケアマネジャーの知識・認識レベルを把握するデータなどが、十分に集計・分析され研修向上委員会に提供されていないこと、またそうした事前準備をする事務局体制がないことも課題である。
- これからのケアマネジメントには、介護給付のマネジメントだけでなく、「共生社会」としてさまざまな制度、さらには地域のインフォーマルな資源をも活用したマネジメント、さらに主任介護支援専門員には地域づくりへの取り組みが期待される。
- したがって、法定研修の企画運営をどのようにするかだけでなく、地域のケアマネジメント全体をどのように向上させていくかという視点にたった検討を研修向上委員会が行えるよう、必要なデータを提供すること、そうした準備ができる事務局体制を整えること、

といった体制整備が必要と考えられる。

- なお、こうした体制整備においては、都道府県(行政)の果たす役割が大きいことから、これまで以上に、都道府県と研修実施機関、職能団体等の連携を強化する必要があることはいうまでもない。

参考資料 1_都道府県向けアンケート調査票

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート 都道府県向け調査票

※貴都道府県内の状況についてご回答ください。

(1)都道府県名 都道府県

(2)ご回答者様
 担当部署 お名前 様 ご連絡先電話番号

※回答内容に関するお問い合わせ先

平成30年度法定研修について下記の項目をご回答ください

(I) 介護支援専門員の状況について

問1-1 介護支援専門員の登録者数についてご回答ください

名

問1-2 現任者数(介護支援専門員として従事している方)についてご回答ください

名

問1-2-1 現任者数(介護支援専門員として従事している方)の把握状況についてご回答ください

	①把握している	②把握していない
地域別(2次医療圏別)の現任者数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
経験年数別の現任者数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年代別の現任者数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問1-3 各研修の平成30年度受講(予定)者数、平成31年度受講見込み者数についてご回答ください

研修名	平成30年度受講 (予定)者数	平成31年度受講 見込み者数
①実務研修	1	2
②専門研修課程 I	1	2
③専門研修課程 II	1	2
④再研修	1	2
⑤更新研修(実務未経験者)	1	2
⑥更新研修(実務経験者)	1	2
⑦主任介護支援専門員研修	1	2
⑧主任介護支援専門員更新研修	1	2

問1-4 平成30年度の主任介護支援専門員の登録者数(修了予定者含)数についてご回答ください

① 名 ②内、主任更新研修受講修了者数 名

(Ⅱ) 居宅介護支援事業所の状況について

問2-1 (平成29年度末の)居宅介護支援事業所数をご回答ください

	所
--	---

問2-2 (平成29年度末の)特定事業所加算を取得している事業所数をご回答ください

	所
--	---

(Ⅲ) 平成29年度の実務研修の実習の受入事業所について

問3-1 実務研修の実習の受入をしている事業所数をご回答ください

	所
--	---

問3-2 問3-1(実習の受入をしている事業所数)の内訳をご回答ください

<input type="checkbox"/> ①特定事業所加算Ⅰ	所
<input type="checkbox"/> ②特定事業所加算Ⅱ	所
<input type="checkbox"/> ③特定事業所加算Ⅲ	所
<input type="checkbox"/> ④居宅介護支援事業所(特定事業所の算定なし)	所
<input type="checkbox"/> ⑤事業所総数しか把握していない	
<input type="checkbox"/> ⑥内訳は把握していない	

(Ⅳ) 研修ガイドラインの活用について

問4-1 研修ガイドラインに沿った形で研修を実施しているかご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①ガイドラインに沿っている
<input type="checkbox"/> ②ガイドラインにほぼ沿っている
<input type="checkbox"/> ③都道府県独自に実施している
<input type="checkbox"/> ④分からない/把握していない

問4-2 問4-1で、②(ガイドラインにほぼ沿っている)③(都道府県独自で実施している)を選択した方のみご回答ください
研修ガイドラインに沿っていない部分についてご回答ください(複数選択可)

実務研修	専門研修課程Ⅰ	専門研修課程Ⅱ	主任介護支援 専門員研修	主任介護支援 専門員更新研修
<input type="checkbox"/> ①修了評価の実施				
<input type="checkbox"/> ②研修記録シートの実施				
<input type="checkbox"/> ③研修手法の特徴と留意点				
<input type="checkbox"/> ④各科目の修得目標				
<input type="checkbox"/> ⑤各科目の内容				
<input type="checkbox"/> ⑥各科目のポイント				
<input type="checkbox"/> ⑦講義・演習の展開例				
<input type="checkbox"/> ⑧把握していない				

問4-3 問4-2で「⑦講義・演習の展開例」を選択した場合、該当するものをご回答ください(複数回答可)

実務研修	専門研修課程Ⅰ	専門研修課程Ⅱ	主任介護支援 専門員研修	主任介護支援 専門員更新研修
<input type="checkbox"/> ①講義演習時間を変更した				
<input type="checkbox"/> ②演習内容を変更した				

問4-4 問4-1で②(ガイドラインにほぼ沿っている)③(都道府県独自で実施している)を選択した方のみご回答ください。
研修ガイドラインに沿っていない理由があれば、具体的にご記入ください

問4-5 講義演習の展開例について、研修ガイドラインとの変更箇所など、該当するものをご回答ください(複数回答可)

実務研修	専門研修課程Ⅰ	専門研修課程Ⅱ	主任介護支援 専門員研修	主任介護支援 専門員更新研修
<input type="checkbox"/> ①展開例通りすべて行った				
<input type="checkbox"/> ②展開例を一部変更した				
<input type="checkbox"/> ③展開例をすべて変更した				

問4-6 ガイドラインに沿って研修を実施する上で課題があれば具体的にお書きください

(V) 研修向上委員会について

問5-1 研修向上委員会の設置の有無についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①設置あり	<input type="checkbox"/> ②設置なし
--------------------------------	--------------------------------

※「研修向上委員会」は、「①ガイドラインを参考として研修の実施②研修企画への参画③事業評価④次回以降の研修(事業委託内容)に反映させる」ための会議体で、名称は異なっても①～④に類することを一部またはすべて実施している委員会を指します。
※介護支援専門員ガイドライン8ページを参照

問5-2 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

介護支援専門員にかかる研修のガイドラインに示された研修向上委員会(名称が異なっても実態があれば可)の設置主体についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①都道府県が設置	<input type="checkbox"/> ②研修実施機関が設置(委託)	<input type="checkbox"/> ③左記以外で設置
-----------------------------------	---	-----------------------------------

問5-3 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会の運営予算についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①都道府県が全額負担	<input type="checkbox"/> ④その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②都道府県と研修実施機関が負担	
<input type="checkbox"/> ③研修実施機関が全額負担	

問5-4 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会への都道府県の職員の参画状況についてご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①委員として参画している	<input type="checkbox"/> ④委員会に都道府県職員は参画していない
<input type="checkbox"/> ②事務局として参画している	<input type="checkbox"/> ⑤その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③オブザーバーとして参画している	

問5-5 問5-4で④(委員会に都道府県職員は参画していない)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会に都道府県の職員が参画していない理由を具体的に記入ください

--

問5-6 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

都道府県が検討の基礎資料として、研修向上委員会に提供している情報等についてご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①都道府県内の要介護高齢者の状況	<input type="checkbox"/> ⑥他職種連携の取り組みの整備状況
<input type="checkbox"/> ②都道府県内の介護給付サービスの状況	<input type="checkbox"/> ⑦その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③都道府県内の地域密着型サービス等の社会資源の整備状況	
<input type="checkbox"/> ④地域ケア会議で把握した介護支援専門員をとりまく課題	
<input type="checkbox"/> ⑤地域同行型研修の実施状況	<input type="checkbox"/> ⑧特に、研修向上委員会への情報提供は行っていない

問5-7 問5-1で②(設置なし)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会を設置していない理由を具体的に記入ください

--

(VI) 都道府県における研修への参画状況について

問6-1 都道府県の担当者が、研修の企画・検討に参加していますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①すべての課程・科目で検討に参加している	<input type="checkbox"/> ②一部の課程・科目の検討に参加している	<input type="checkbox"/> ③検討には全く参加していない
---	--	---

問6-2 問6-1で①あるいは②を選択した方のみご回答ください

都道府県の担当者は研修企画への参画はどのように行っていますか(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①企画・検討の会議への出席	<input type="checkbox"/> ③その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②研修の具体的な企画内容に関する文書による提案	

問6-3 問6-1で③(検討には全く参加していない)を選択した方のみご回答ください

都道府県の担当者が研修企画への参画を行っていない理由をご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①具体的な内容は研修実施機関に任せているから	<input type="checkbox"/> ③その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②都道府県担当者の時間の確保が難しいから	

問6-4 問6-3で①を選択した方のみご回答ください

研修実施機関に任せている理由をご回答ください

--

(VII) 都道府県における研修向上委員会の運営に対する評価(事業評価)の状況について

問7-1 研修向上委員会の運営に対する評価(事業評価)を都道府県として行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①行っている	<input type="checkbox"/> ②行っていない
---------------------------------	----------------------------------

問7-2 問7-1で①(行っている)を選択した方のみご回答ください

運営評価(事業評価)の方法についてご回答ください

問7-3 問7-1で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください

運営評価(事業評価)を行っていない理由をご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①運営評価の方法・評価基準が分からないから	<input type="checkbox"/> ⑤国から運営評価の実施を求められていないから
<input type="checkbox"/> ②研修ガイドラインに運営評価に関する記載がないから	<input type="checkbox"/> ⑥その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③都道府県が主体となり、委員会の運営を行っており、運営評価を行う必要性を感じていないから	
<input type="checkbox"/> ④研修向上委員会が未設置だから	

問7-4 問7-1で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください

今後の運営評価(事業評価)の実施に向けて、都道府県内で検討していることがあればご回答ください。

(例:評価体制、評価基準など)

問7-5 都道府県における研修向上委員会の運営評価(事業評価)について国へ報告を行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①行っている	<input type="checkbox"/> ②行っていない
---------------------------------	----------------------------------

問7-6 問7-5で①(行っている)を選択した方のみご回答ください

運営評価(事業評価)の都道府県から国への報告方法について教えてください

問7-7 問7-5で②(行っていない)を選択した方のみご回答ください

運営評価(事業評価)の報告を行っていない理由を選んでご回答ください

<input type="checkbox"/> ①国から報告内容を特に示されていないから	<input type="checkbox"/> ⑤義務ではないから
<input type="checkbox"/> ②国から照会や請求がないから	<input type="checkbox"/> ⑥その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③報告する情報がないので必要性を感じていないから	
<input type="checkbox"/> ④研修向上委員会が未設置だから	

問7-8 現在、国では都道府県における研修向上委員会の運営評価(事業評価)指標及び基準の整備に関して、検討を行っております。今後、都道府県が研修向上委員会の運営評価(事業評価)を行う際に用いるべきだと考える指標及び基準があれば、その内容を具体的にご回答ください。

問7-9 今後、研修向上委員会の運営評価(事業評価)を行う場合に、研修向上委員会や研修実施機関等から収集しておきたい記録や情報等があれば、その内容を具体的にご回答ください。

(例:委員会の議事録、研修記録シート、修了評価のデータなど)

(Ⅷ) 都道府県における法定研修の実施状況の国への報告状況について

問8-1 国から報告の要請があったもの以外で、都道府県における法定研修の実施状況について

国へ報告を行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①行っている	<input type="checkbox"/> ②行っていない
---------------------------------	----------------------------------

問8-2 問8-1で①(行っている)を選択した方のみご回答ください

都道府県から国への法定研修の実施状況の報告方法についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①「介護支援専門員法定研修実施報告書(案)」を使用して報告を行っている	<input type="checkbox"/> ③その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②都道府県で作成した独自様式で報告を行っている	

※「介護支援専門員法定研修実施報告書(案)」とは、日本介護支援専門員協会が厚生労働省から業務委託を受けて実施した平成28年度介護支援専門員研修改善事業にて作成された、都道府県から国への法定研修の実施状況報告用の様式(案)を指します。

(平成28年度介護支援専門員研修改善事業報告書 121～158ページ参照)

問8-3 現在、国では法定研修の実施状況に関して、都道府県と国の情報共有の仕組みの整備について

検討を行っております。仮に、法定研修の実施状況に関する以下の記録や情報の国への報告を定期的

にお願いした場合のご対応の可否についてご回答ください。

「報告ができない」を選択した項目についてはその理由をご回答ください。

	①報告できる	②報告できない	報告できない理由 (下部にご記入ください)
研修記録シートの集計・分析結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
シラバスの作成状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
独自テキストなどの副教材の使用状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
講師・ファシリテーターの確保・育成の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

(IX) 実務研修について／主任介護支援専門員研修について

問9-1 平成30年度実務研修の実習研修で、居宅介護支援事業所の実習受入状況について

事前に把握していますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①行っている	<input type="checkbox"/> ②平成30年度は行っていないが、31年度以降は行う予定	<input type="checkbox"/> ③行っておらず、今後行う予定はない
---------------------------------	--	--

問9-2 実習を受け入れる居宅介護支援事業所への研修(説明会)の実施についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①行っている	<input type="checkbox"/> ②平成30年度は行っていないが、31年度以降は行う予定	<input type="checkbox"/> ③行っておらず、今後行う予定はない
---------------------------------	--	--

問9-3 問9-1で①(行っている)を選択した方のみご回答ください

当日資料(プログラム)等・案内文を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名をご記入ください

--

問9-4 問9-1で①(行っている)を選択した方のみご回答下さい

実習を受け入れる居宅介護支援事業所に対する、実習に関する説明の具体的な方法をご回答ください

--

問9-5 主任介護支援専門員研修(主任介護支援専門員更新研修)の修了日の設定方法について

ご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①研修最終日 = 修了日 としている	<input type="checkbox"/> ④その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②年度末(3月31日) = 修了日 としている	
<input type="checkbox"/> ③研修記録シート(3ヶ月後)の提出期限 = 修了日 としている	

(X) 法定研修の実施について

問10-1 研修の実施形式についてご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①都道府県直営で実施	<input type="checkbox"/> ②指定機関への委託にて実施	<input type="checkbox"/> ③指定機関が実施
-------------------------------------	--	-----------------------------------

問10-2 問10-1で②(指定機関への委託にて実施)を選択した方のみご回答ください

平成30年度の委託費をご回答ください(回答可能な範囲で構いません)

研修名	全受講者数		コース名		委託費	
①実務研修	1	名	2		3	万円
②専門研修課程Ⅰ	1	名	2		3	万円
③専門研修課程Ⅱ	1	名	2		3	万円
④再研修	1	名	2		3	万円
⑤更新研修(実務未経験者)	1	名	2		3	万円
⑥更新研修(実務経験者)	1	名	2		3	万円
⑦主任介護支援専門員研修	1	名	2		3	万円
⑧主任介護支援専門員更新研修	1	名	2		3	万円

問10-3 平成30年度の法定研修実施に対する地域医療介護総合確保基金の交付状況をご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①交付あり	<input type="checkbox"/> ②交付なし
--------------------------------	--------------------------------

問10-4 問10-3で①(交付あり)を選択した方のみご回答ください

交付額を回答ください。(回答可能な範囲で構いません)

研修名	交付額
①実務研修	万円
②専門研修課程Ⅰ	万円
③専門研修課程Ⅱ	万円
④再研修	万円
⑤更新研修(実務未経験者)	万円
⑥更新研修(実務経験者)	万円
⑦主任介護支援専門員研修	万円
⑧主任介護支援専門員更新研修	万円

問10-5 問10-3で①(交付あり)を選択した方のみご回答ください

交付金の主な使途をご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①受講料の軽減(受講料に充当)	<input type="checkbox"/> ④運営にかかる人件費
<input type="checkbox"/> ②会場費	<input type="checkbox"/> ⑤その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③研修の講師謝金	

(XI) 受講要件設定について

問11-1 独自に設定している要件を研修課程毎にご回答下さい

※特に昨年度から変更があった場合は変更点をご回答ください

研修名	受講要件(自由記述)
①実務研修	
②専門研修課程Ⅰ	
③専門研修課程Ⅱ	
④再研修	
⑤更新研修(実務未経験者)	
⑥更新研修(実務経験者)	
⑦主任介護支援専門員研修	
⑧主任介護支援専門員更新研修	

(XII) 講師等の人材育成について

問12-1 都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①不足	<input type="checkbox"/> ③適切	<input type="checkbox"/> ⑤過剰
<input type="checkbox"/> ②やや不足	<input type="checkbox"/> ④やや過剰	<input type="checkbox"/> ⑥分からない/把握していない

問12-2 講師の育成や支援を都道府県として行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①実施している	<input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である	<input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない
----------------------------------	--	--

問12-3 問12-2で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください

講師の育成や支援を実施しない理由を教えてください

--

問12-4 問12-2で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください

都道府県として実施した又は実施する予定の講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①講師養成研修の開催	<input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック (受講者アンケート結果の共有など)
<input type="checkbox"/> ②研修ガイドラインについての説明会の開催	<input type="checkbox"/> ⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施 (講師の意見の吸い上げ)
<input type="checkbox"/> ③独自の研修教材(副教材)の開発	<input type="checkbox"/> ⑧その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導	
<input type="checkbox"/> ⑤講師同士の意見交換会の開催	

問12-5 都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①不足	<input type="checkbox"/> ③適切	<input type="checkbox"/> ⑤過剰
<input type="checkbox"/> ②やや不足	<input type="checkbox"/> ④やや過剰	<input type="checkbox"/> ⑥分からない/把握していない

問12-6 ファシリテーターの育成や支援を都道府県として行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①実施している	<input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である	<input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない
----------------------------------	--	--

問12-7 問12-6で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください

ファシリテーターの育成や支援を実施しない理由を教えてください

--

問12-8 問12-6で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください

都道府県として実施した又は実施する予定のファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催	<input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック (受講者アンケート結果の共有など)
<input type="checkbox"/> ②研修ガイドラインについての説明会の開催	<input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施 (ファシリテーターの意見の吸い上げ)
<input type="checkbox"/> ③独自の研修教材(副教材)の開発	<input type="checkbox"/> ⑧その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導	
<input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催	

問12-9 都道府県として、講師、ファシリテーターの評価を行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①実施している	<input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である	<input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない
----------------------------------	--	--

問12-10 問12-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください

評価基準や評価体制を示す資料等を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名をご記入ください

問12-11 問12-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください

都道府県が行った『講師、ファシリテーターの評価』の結果の活用状況についてご回答ください(複数選択可)

<input type="checkbox"/> ①講師、ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている	<input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない
<input type="checkbox"/> ②研修講師、ファシリテーターの人選に活用している	<input type="checkbox"/> ⑥その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③研修講師、ファシリテーター向けの育成・支援施策の内容検討に活用している	
<input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している	

問12-12 問12-9で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください

講師、ファシリテーターの評価を実施しない理由を教えてください

--

問12-13 講師、ファシリテーターの選定基準等を都道府県で独自に定めていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①独自に定めている	<input type="checkbox"/> ②国の実施要綱の通り
------------------------------------	-------------------------------------

問12-14 問12-13で①(独自に定めている)を選択した方のみご回答ください

選定基準を示す資料等を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名をご記入ください

--

問12-15 講師、ファシリテーターの選定を行っている主体についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①都道府県の職員が行っている	<input type="checkbox"/> ④職能団体(介護支援専門員協会等)が行っている
<input type="checkbox"/> ②都道府県の研修向上委員会が行っている	<input type="checkbox"/> ⑤その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③研修実施機関が行っている	

(XIII) 「介護支援専門員資質向上事業」の行政評価(政策評価)の実施状況について

問13-1 「介護支援専門員資質向上事業」は行政評価(政策評価)の対象事業になっていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①行政評価(政策評価)の対象になっている	<input type="checkbox"/> ②行政評価(政策評価)の対象になっていない
---	--

※「行政評価(政策評価)」とは、政策、施策及び事務事業について、事前、事中、事後を問わず、一定の基準、指標をもって、妥当性、達成度や成果を判定するものを指します。

問13-2 問13-1で①(対象になっている)を選択した方のみご回答ください

行政評価(政策評価)の実施体制についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①内部評価のみ	<input type="checkbox"/> ④その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②内部評価と外部評価の両方	
<input type="checkbox"/> ③外部評価のみ	

※「外部評価」とは外部有識者等による評価を指します。

(XIV) 法定外研修の実施状況及び職能団体に期待する役割について

問14-1 管内で、都道府県以外の職能団体等が主体となって開催している法定外研修について
研修の内容を把握しているかご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①職能団体等が行う法定外研修の内容を全て把握している	<input type="checkbox"/> ②職能団体等が行う法定外研修の内容を一部把握している	<input type="checkbox"/> ③職能団体等が行う法定外研修の内容を全く把握していない
---	---	--

問14-2 以下の各テーマの法定外研修についての実施状況についてご回答ください。(1つ選択)

(1) 予防ケアマネジメント

<input type="checkbox"/> ①行政(都道府県・市町村)が主体となり実施している	<input type="checkbox"/> ③実施していない
<input type="checkbox"/> ②職能団体等が主体となり実施している	<input type="checkbox"/> ④分からない/把握していない

(2) 共生型サービスの活用

<input type="checkbox"/> ①行政(都道府県・市町村)が主体となり実施している	<input type="checkbox"/> ③実施していない
<input type="checkbox"/> ②職能団体等が主体となり実施している	<input type="checkbox"/> ④分からない/把握していない

(3) 入退院連携

<input type="checkbox"/> ①行政(都道府県・市町村)が主体となり実施している	<input type="checkbox"/> ③実施していない
<input type="checkbox"/> ②職能団体等が主体となり実施している	<input type="checkbox"/> ④分からない/把握していない

問14-3 都道府県が主体となり平成29年度に実施した法定外研修の実施概要(テーマ、定員数、講師等)が分かる資料がございましたら、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名をご記入ください

--

問14-4 主任介護支援専門員更新研修課程の受講要件における、法定外研修の取り扱いについてお伺いします。
ガイドラインでは更新研修の受講要件の1つとして、「地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等に年4回以上参加した者」と示されていますが、法定外研修1回あたりの算定基準時間についてご回答ください。(1つ選択)
※法定外研修の算定要件を1回につき90分以上にしている場合は「90」、60分にしている場合は「60」とご記入ください。

	分
--	---

問14-5 平成29年度に実施した法定外研修に関して、都道府県として支出した費用額についてご回答ください。

①都道府県単費額	万円
②補助金・交付金額	万円
③その他の費用 (下部にご記入ください)	万円

(その他の費用の内容)

--

(XV) その他

問15-1 法定研修/法定外研修の実施に関して、職能団体に期待する役割についてご回答ください

(例:講師の育成など)

--

問15-2 PDCAサイクルを回す観点から、都道府県として独自の工夫している取り組み等があれば、
具体的にご回答ください。(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください。)

--

参考資料 2_研修向上委員会向けアンケート調査票

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート 研修向上委員会事務局向け調査票

※貴都道府県内の状況についてご回答ください。

(1)都道府県名

	都道 府県
--	----------

(2)ご回答者様

ご所属

--

お名前

	様
--	---

ご連絡先電話番号

--

※回答内容に関するお問い合わせ先

(I) 研修向上委員会・事務局の基本情報について

問1-1 介護支援専門員に係る研修のガイドラインで示された研修向上委員会(名称が異なっても実態があれば可)の設置主体についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①都道府県が設置	<input type="checkbox"/> ②研修実施機関が設置(委託)	<input type="checkbox"/> ③左記以外で設置
-----------------------------------	---	-----------------------------------

問1-2 研修向上委員会の実施要綱等(運営マニュアルなども含む)の取り決めを作成されていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①作成している	<input type="checkbox"/> ②作成していない
----------------------------------	-----------------------------------

問1-3 問1-2で①(作成している)を選択した方のみご回答ください

作成されている研修向上委員会の実施要綱等(運営マニュアルなどを含む)を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名をご記入ください

問1-4 研修向上委員会の委員構成についてご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①学識者	<input type="checkbox"/> ⑧講師/ファシリテーター
<input type="checkbox"/> ②実務者(ケアマネジャー)	<input type="checkbox"/> ⑨都道府県の職員
<input type="checkbox"/> ③実務者(ケアマネジャー以外)	<input type="checkbox"/> ⑩市区町村の職員
<input type="checkbox"/> ④職能団体の代表者	<input type="checkbox"/> ⑪地域包括支援センターの職員
<input type="checkbox"/> ⑤職能団体の指導者(リーダー層)	<input type="checkbox"/> ⑫その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ⑥研修実施機関の一部の職員	
<input type="checkbox"/> ⑦研修実施機関のすべての職員	

問1-5 研修向上委員会の事務局の構成(担い手)についてご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①都道府県の職員	<input type="checkbox"/> ④その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②研修実施機関の職員	
<input type="checkbox"/> ③職能団体の職員	

問1-6 研修向上委員会の事務局の役割、実施業務について回答ください(それぞれ1つ選択)

「②事務局が行っていない」を選択した項目については該当の業務の担い手をご回答ください。

	①事務局が行っている	②事務局が行っていない	該当業務の担い手 (下部に具体的にご記入ください)
委員会の議題・検討事項の設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
委員会の検討用資料の作成、準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
委員会の進行・ファシリテーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
委員の選定・委託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
都道府県との連絡調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
研修実施機関との連絡調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

(Ⅱ) 研修向上委員会の実施状況について

問2-1 平成29年度及び平成30年度の研修向上委員会の開催実績回数(開催予定回数)をご回答ください。

平成29年度の開催実績回数

平成30年度の開催予定回数

 回/年度

 回/年度

問2-2 研修向上委員会で研修の内容について、検討している点についてご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①介護支援専門員実務研修の実習に関する要件	<input type="checkbox"/> ⑤代替研修(欠席した科目について他の法定外研修での補完)
<input type="checkbox"/> ②主任介護支援専門員更新研修の受講要件(年4回以上の研修会の参加に関するルール等)	<input type="checkbox"/> ⑥e-ラーニングの導入
<input type="checkbox"/> ③法定研修と法定外研修の連動(不足している部分の補完等)	<input type="checkbox"/> ⑦その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ④読み替え研修(他都道府県での受講もしくは他都道府県の受講者の受け入れ)	

問2-3 研修向上委員会における研修の評価・検証状況及び研修企画の変更状況についてご回答ください。

「③評価・検証を行い、企画の変更を行った」を選択した項目は研修企画の具体的な変更内容をご回答ください。

	①評価・検証を行っていない	②評価・検証を行ったが、企画の変更は行わなかった	③評価・検証を行い、企画の変更を行った	研修企画の具体的な変更内容 (下部にご記入ください)
研修事務(告知・受付・終了確認等)の適正	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
使用した資料・事例の適正	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
シラバス、講義の組み立ての適正	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
研修修了評価の手法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
受講者の負担(移動や時間、費用等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
研修科目間の指導の視点の統一性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
研修課程間の連動性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

問2-4 研修向上委員会の議事録の作成及び共有、公開状況についてご回答ください(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①議事録を作成しているが、特に関係機関との共有はしていない	<input type="checkbox"/> ⑤議事録は作成していない
<input type="checkbox"/> ②議事録を作成し、委員会委員と共有している	<input type="checkbox"/> ⑥その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③議事録を作成し、都道府県と共有している	
<input type="checkbox"/> ④議事録を作成し、研修実施機関と共有している	

問2-5 研修向上委員会に対して、都道府県から次年度以降の研修内容の検討の基礎資料として提供されている情報、データ等の状況及びそれらの活用意向についてご回答ください。(それぞれ1つ選択)

	①提供されており、検討に活用している	②提供されているが、検討に活用していない	③提供されていないが、検討に活用したいと思う	④提供されていないし、検討に活用したくとも思わない
都道府県内の要介護高齢者の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
都道府県内の介護給付サービスの状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
都道府県内の地域密着型サービス等の社会資源の整備状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域ケア会議で把握した介護支援専門員をとりまく課題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域同行型研修の実施状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
多職種連携の取り組みの整備状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問2-6 問2-5の選択肢以外に都道府県に提供して欲しい情報、データ等があれば、ご記入ください。

(Ⅲ) 研修記録シートの活用状況について

問3-1 研修記録シート(事前、事後、実践後)の研修実施機関からの提供状況及び研修内容の検討や評価への活用状況についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①提供されており、検討や評価に活用している	<input type="checkbox"/> ③提供されていないが、検討や評価に活用したいと思う
<input type="checkbox"/> ②提供されているが、検討や評価に活用していない	<input type="checkbox"/> ④提供されていないし、検討や評価に活用したいと思わない

問3-2 問3-1で①(提供されており、～)又は、②(提供されているが、～)を選択した方のみご回答ください。

研修記録シートの集計の実施状況についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①研修実施機関が集計を行っている	<input type="checkbox"/> ④その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②研修向上委員会(事務局含む)が集計を行っている	
<input type="checkbox"/> ③研修記録シートの集計は行っていない	

問3-3 問3-1で①(提供されており、検討や評価に活用している)を選択した方のみご回答ください。

研修記録シートの情報、データ等の具体的な活用事例があれば、ご記入ください。

問3-4 問3-1で②(提供されているが、検討や評価に活用していない)を選択した方のみご回答ください。

研修記録シートを研修内容の検討や評価に活用していない理由をご記入ください。

(Ⅳ) 研修実施機関との連携状況について

問4-1 研修向上委員会に対して、研修実施機関から研修内容の検討や評価の基礎資料として提供・報告されている情報、データ等の状況及びそれらの活用意向についてご回答ください。(それぞれ1つ選択)

	①提供されており、検討や評価に活用している	②提供されているが、検討や評価に活用していない	③提供されていないが、検討や評価に活用したいと思う	④提供されていないし、検討や評価に活用したいと思わない
受講者に実施した研修全体に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受講者に実施した自己評価に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受講者に実施した講師評価に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受講者に実施したファシリテーター評価に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
講師に実施した研修全体に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
講師に実施した自己評価に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ファシリテーターに実施した研修全体に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ファシリテーターに実施した自己評価に関するアンケート結果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受講者数、修了者数など受講者プロフィール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研修実施機関の自己評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問4-2 問4-1の選択肢以外に研修実施機関に提供・報告して欲しい情報、データ等があれば、ご記入ください。

問4-3 問4-1の選択肢以外に研修実施機関に提供・報告を受けている情報、データ等があれば、ご記入ください。

問4-4 研修向上委員会で議論された内容をどのように研修実施機関に伝達していますか(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①文書の送付	<input type="checkbox"/> ④その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②研修実施機関を集めて直接伝達	
<input type="checkbox"/> ③研修向上委員会に研修実施機関が参画しているため、特段の伝達はしていない	

(V) 講師等の人材育成について

問5-1 都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①不足	<input type="checkbox"/> ③適切	<input type="checkbox"/> ⑤過剰
<input type="checkbox"/> ②やや不足	<input type="checkbox"/> ④やや過剰	<input type="checkbox"/> ⑥分からない/把握していない

問5-2 講師の育成や支援を研修向上委員会として行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①実施している	<input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である	<input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない
----------------------------------	--	--

問5-3 問5-2で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください

講師の育成や支援を実施しない理由を教えてください

問5-4 問5-2で①(実施している)②(実施していないが、今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください

研修向上委員会として実施した又は実施する予定の講師の育成・支援施策として、

該当するものをご回答ください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①講師養成研修の開催	<input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック (受講者アンケート結果の共有など)
<input type="checkbox"/> ②研修ガイドラインについての説明会の開催	<input type="checkbox"/> ⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施 (講師の意見の吸い上げ)
<input type="checkbox"/> ③独自の研修教材(副教材)の開発	<input type="checkbox"/> ⑧その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導	
<input type="checkbox"/> ⑤講師同士の意見交換会の開催	

問5-6 研修講師が独自に作成、使用している副教材の研修向上委員会の確認状況についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①すべて確認している	<input type="checkbox"/> ④その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ②一部確認している	
<input type="checkbox"/> ③確認はしていない	

問5-5 都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①不足	<input type="checkbox"/> ③適切	<input type="checkbox"/> ⑤過剰
<input type="checkbox"/> ②やや不足	<input type="checkbox"/> ④やや過剰	<input type="checkbox"/> ⑥分からない/把握していない

問5-6 ファシリテーターの育成や支援を研修向上委員会として行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①実施している	<input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である	<input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない
----------------------------------	--	--

問5-7 問5-6で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください

ファシリテーターの育成や支援を実施しない理由を教えてください

問5-8 問5-6で①(実施している)②(今後実施する予定である)を選択した方のみご回答ください
 研修向上委員会として実施した又は実施する予定のファシリテーターの育成・支援施策として、
 該当するものをご回答ください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催	<input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック (受講者アンケート結果の共有など)
<input type="checkbox"/> ②研修ガイドラインについての説明会の開催	<input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施 (講師の意見の吸い上げ)
<input type="checkbox"/> ③独自の研修教材(副教材)の開発	<input type="checkbox"/> ⑧その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導※	
<input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催	

※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します

問5-9 研修向上委員会として、講師、ファシリテーターの評価を行っていますか(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①実施している	<input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である	<input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない
----------------------------------	--	--

問5-10 問5-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください
 評価基準や評価体制を示す資料等を電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください

電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名をご記入ください

問5-11 問5-9で①(実施している)を選択した方のみご回答ください
 研修向上委員会が行った『講師、ファシリテーターの評価』の結果の活用状況についてご回答ください(複数選択可)

<input type="checkbox"/> ①講師、ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている	<input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない
<input type="checkbox"/> ②研修講師、ファシリテーターの人選に活用している	<input type="checkbox"/> ⑥その他(下部にご記入ください)
<input type="checkbox"/> ③研修講師、ファシリテーター向けの育成・支援施策の内容検討に活用している	
<input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している	

問5-12 問5-9で③(実施していないし、今後実施する予定もない)を選択した方のみご回答ください
 講師、ファシリテーターの評価を実施しない理由を教えてください

(VI) 法定外研修の実施状況について

問6-1 管内で、研修向上委員会以外の職能団体等が主体となって開催している法定外研修について
 研修の内容を把握しているかご回答ください(1つ選択)

<input type="checkbox"/> ①職能団体等が行う法定外研修の内容を全て把握している	<input type="checkbox"/> ②職能団体等が行う法定外研修の内容を一部把握している	<input type="checkbox"/> ③職能団体等が行う法定外研修の内容を全く把握していない
---	---	--

問6-2 研修向上委員会が主体となり平成29年度に実施した法定外研修の実施概要(テーマ、定員数、講師等)
 が分かる資料がございましたら、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。

電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名をご記入ください

(VII) その他

問7-1 PDCAサイクルを回す観点から、研修向上委員会として独自の工夫している取り組み等があれば、
 具体的にご回答ください。(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください。)

参考資料 3_法定研修実施機関向けアンケート調査票

【実務研修】

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート 研修実施機関向け調査票			
都道府県名			
団体名			
ご回答者様	部署名	お名前	電話番号/E-mail (ご回答に関する問合せ先)
↓ 該当する選択肢に「1」を入力してください			
		1つ選択 複数選択	
No	設問	回答	選択肢
(I) 法定研修の運営状況について			
問1-1	ご回答者様が所属する研修実施機関の機関種別についてご回答ください (1つ選択)		①社会福祉協議会 ②都道府県介護支援専門員協会 (協議会) ③介護支援専門員研修実施機関 ④地方公共団体 ⑤その他 (下部に具体的にご記入ください)
問1-2	ご回答者様が所属する研修実施機関の研修の実施形態についてご回答ください (1つ選択)		①都道府県の直営による実施 ②都道府県の委託による実施 ③指定実施機関による実施
問1-3	平成29年度及び平成30年度の法定研修の実施日数 (実績・予定) についてご回答ください (貴機関が実施する本課程の研修日数の合計)		平成29年度 (実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します) 平成30年度 (予定又は実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します)
問1-4	平成29年度の受講者数及び平成30年度の受講予定 (又は実績) 者数についてご回答ください		平成29年度 受講者数 (実績) []名 平成30年度 受講者数 (予定又は実績) []名

問1-5	平成29年度及び平成30年度の受講料の設定方法とその額をご回答ください。(1つ選択)	①受講料にテキスト代を含む ※以下に具体的な額をご記入ください	平成29年度(実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
		②受講料にテキスト代を含まない ※以下に具体的な額をご記入ください	平成29年度(実績)
			受講料: 円
			テキスト代: 円
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円
			テキスト代: 円
			その他費用: 円
問1-6	平成29年度及び平成30年度の補助金または基金の交付(実績・予定)についてご回答ください(それぞれ1つ選択)	平成29年度(実績)	
		①補助や交付あり(一部あるいは全部)	
		②補助や交付なし	
		平成30年度(予定又は実績)	
問1-7	受講要件設定についてご回答ください(1つ選択)	①介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)の通り	
		②都道府県で独自の要件を設定している	
問1-8	【問1-7で②(都道府県で独自の要件を設定している)を選択した方のみ】独自に設定している要件の概要がわかる資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください	
問1-9	研修全般の質やバランスを確保するため、研修課程毎または介護支援専門員研修全般において、各科目間や各研修課程間の連動性を調整し、齟齬が発生しないよう統括し、研修を計画的に運営する責任者(コースデザイン等を行っている担当者)を設置しているかご回答ください。(1つ選択)	①設置している	
		②設置していないが、今後設置する予定である	
		③設置していないし、今後設置する予定もない	
問1-10	【問1-9で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可) ※「研修向上委員会」の定義は別シート【回答方法等】をご確認ください。	①研修向上委員会の委員	
		②研修実施機関の職員	
		③都道府県担当部局の職員	
		④その他(下部に具体的に記入ください)	

問1-11	貴都道府県では法定研修に係る『シラバス』を作成していますか。最も近いものをご回答ください（1つ選択） ※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します	①すべての科目で作成している ②一部の科目で作成している ③作成していないが、今後全ての科目で作成予定（検討中を含む） ④作成していないが、今後一部の科目で作成予定（検討中を含む） ⑤作成していないし、今後作成する予定もない
問1-12	【問1-11で①又は②(作成している)を選択した方のみ】『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください（1つ選択）	①都道府県が作成 ②研修向上委員会が作成 ③研修実施機関が作成 ④講師が作成（講師に作成を依頼） ⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問1-13	遅刻・早退者・欠席者の取り扱いについて規定した資料（実施要綱等）があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(Ⅱ) 研修科目・研修ツール・教材の状況		
問2-1	研修科目・研修時間を介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）よりも多く設定している場合がありますらご回答ください（複数回答可）	①講義形式の科目で時間数を追加している ②講義・演習一体型の科目で時間数を追加している ③講義形式の科目を追加している ④講義・演習一体型の科目を追加している ⑤実施要綱通り（科目や時間数の追加はない） ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-2	【問2-1で①、②、③、④を選択した方のみ】介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください。	
問2-3	講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているかご回答ください（1つ選択）	①ガイドライン通りに実施した ②ガイドラインから変更したのもある ③分からない（実施方法は講師に任せており研修実施機関にて把握していない）
問2-4	講義・演習一体型科目の演習の展開方法や内容を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。（可能であれば全科目分の資料をご提供ください）	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
問2-5	講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください（1つ選択）	①研修向上委員会が決めている ②研修実施機関が決めている ③研修講師が各自で決めている ④その他（下部に具体的に記入ください）
問2-6	主要教材（テキスト）の概要をご回答ください	書籍名： 発行元： 価格（1冊あたり）： 円（税別） その他（独自に作成している場合等）：

問2-7	副教材（PPT等）の配布の有無についてご回答ください（1つ選択）		①副教材（PPT等）の配布がある
			②副教材（PPT等）の配布がない
問2-8	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 『副教材（PPT等）』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-9	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 副教材（PPT等）の質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けの副教材の作成研修の実施、副教材の作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-10	【問2-7で④（講師が作成している）を選択した方のみ】 講師が作成・使用している副教材（PPT等）の内容の確認状況についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①研修実施機関が内容の確認を行っている
			②研修向上委員会が内容の確認を行っている
			③都道府県が内容の確認を行っている
			④職能団体が内容の確認を行っている
			⑤副教材の内容の確認は特に行っていない
			⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-11	演習科目等におけるワークシートの使用の有無についてご回答ください（1つ選択）		①ワークシートの使用がある
			②ワークシートの使用がない
問2-12	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-13	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 ワークシートの質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けのワークシートの作成研修の実施、ワークシートの作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
（Ⅲ）講師の確保、育成の状況			
問3-1	都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください（1つ選択）		①不足
			②やや不足
			③適切
			④やや過剰
			⑤過剰

問3-2	今年度の講師の確保方法について近いものをご回答ください (複数回答可)	①昨年度までの講師を起用した
		②新たに養成した
		③独自のネットワークで声をかけた
		④他の団体や機関に紹介を依頼した
		⑤市町村からの推薦を受けた
		⑥都道府県外の講師を起用した
		⑦大学などの研究者に依頼した
		⑧地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した
		⑨都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した
		⑩都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問3-3	講師の選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的に回答ください。	①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り
		②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問3-4	研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	①講師養成研修の開催
		②研修ガイドラインについての説明会の開催
		③独自の研修教材（副教材）の開発
		④シラバスの作成方法の説明や指導
		⑤講師同士の意見交換会の開催
		⑥法定研修実施後のフィードバック (受講者アンケート結果の共有など)
		⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施 (講師の意見の吸い上げ)
		⑧研修実施機関として、講師の育成や支援は行っていない
		⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問3-5	研修実施機関として「講師への評価」を行っていますか（1つ選択）	①実施している
		②実施していないが、今後実施する予定である
		③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う
		④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-6	【問3-5で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①講師に評価結果をフィードバックしている
		②研修講師の人選に活用している
		③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している
		④研修内容の検討に活用している
		⑤特に活用は行っていない
		⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問3-7	受講者による「講師への評価」を行っていますか（1つ選択）	①実施している
		②実施していないが、今後実施する予定である
		③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う
		④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う

問3-8	【問3-7で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①講師に評価結果をフィードバックしている
		②研修講師の人選に活用している
		③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している
		④研修内容の検討に活用している
		⑤特に活用は行っていない
		⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問3-9	講師の評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(IV) ファシリテーターの確保、育成の状況		
問4-1	都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください（1つ選択）	①不足
		②やや不足
		③適切
		④やや過剰
		⑤過剰
問4-2	今年度のファシリテーターの確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	①昨年度までのファシリテーターを起用した
		②新たに養成した
		③独自のネットワークで声をかけた
		④他の団体や機関に紹介を依頼した
		⑤市町村からの推薦を受けた
		⑥講師に推薦を依頼した
		⑦都道府県外のファシリテーターを起用した
		⑧大学などの研究者に依頼した
		⑨地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した
		⑩都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した
		⑪都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問4-3	ファシリテーターの選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的に回答ください。	①要件は特に定めていない
		②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問4-4	一人のファシリテーターが担当するグループ数についてご回答ください（1つ選択）	①10グループ以上
		②5～9グループ
		③2～4グループ
		④1グループ

問4-5	研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催 <input type="checkbox"/> ②ガイドラインについての説明会の開催 <input type="checkbox"/> ③独自の研修教材（副教材）の開発 <input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導 <input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催 <input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック（受講者アンケート結果の共有など） <input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施（ファシリテーターの意見の吸い上げ） <input type="checkbox"/> ⑧研修実施機関として、ファシリテーターの育成や支援は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問4-6	研修実施機関として「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-7	【問4-6で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②ファシリテーターの人選に活用している <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-8	受講者による「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-9	【問4-8で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②ファシリテーターの人選に活用している <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-10	ファシリテーターの評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください

(V) 実習の実施状況について		
問5-1	実習の手引きについてご回答ください（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①独自に作成した手引きがある <input type="checkbox"/> ②手引きは作成せず、テキストを使用して対応している <input type="checkbox"/> ③その他（下部に具体的に記入ください）
問5-2	実習報告書・書式の指定状況についてご回答ください（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①独自に定めた報告書・書式がある <input type="checkbox"/> ②報告書・書式は決めていない
問5-3	提出事例が課程および科目に見合うものかの確認する際の、確認基準、確認項目、確認方法についてご回答ください（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①基準・確認項目を決めて、担当者が確認を行っている <input type="checkbox"/> ②基準・確認項目は決めずに、担当者が確認を行っている <input type="checkbox"/> ③確認はしていない
問5-4	実習指導の質の向上及び平準化に関して、実習受け入れ事業所に対して、研修実施機関として実施している取り組みや工夫として当てはまるものを全てご回答ください。（複数選択）	<input type="checkbox"/> ①実習中に指導すべき内容についての事前研修会の開催 <input type="checkbox"/> ②過去の実習指導の評価のフィードバック <input type="checkbox"/> ③「実務研修ガイドライン」及び「介護支援専門員養成研修における実習受入に関する指針」の記載内容の共有 <input type="checkbox"/> ④実習の手順や考え方等を詳細化した副教材（テキスト）を作成・配布 <input type="checkbox"/> ⑤主任介護支援専門員などの実習指導者となりうる層を対象とした研修を実施する際、実習中に指導すべき内容について組み込んで実施 <input type="checkbox"/> ⑥とくに実習指導の質の向上及び平準化に関する取り組みは行っていない（各事業所に委ねた） <input type="checkbox"/> ⑦その他（下部に具体的に記入ください）
問5-5	実習の受け入れ機関は特定事業所のみで足りましたか。平成29年度及び平成30年度の状況についてご回答ください。（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①29年度は特定事業所のみで対応できた（特定事業所のみで足りた）し、30年度も対応できる見込み（特定事業所のみで足りる） <input type="checkbox"/> ②29年度は特定事業所のみで対応できた（特定事業所のみで足りた）が、30年度は対応できない見込み（特定事業所が不足する） <input type="checkbox"/> ③29年度は特定事業所のみでは対応できなかった（特定事業所のみでは不足した）が、30年度は対応できる見込み（特定事業所が足りる） <input type="checkbox"/> ④29年度は特定事業所のみでは対応できなかった（特定事業所のみでは不足した）し、30年度も対応できない見込み（特定事業所が不足する）
問5-6	【問5-5で③④特定事業所のみでは対応できなかった（特定事業所が不足した）を選択した方のみ】 不足した特定事業所数を補うためにどのような対応を行ったか、ご回答ください （例）特定事業所だけでなく、主任介護支援専門員がいる事業所も実習受け入れ機関とした 等	
問5-7	実習の受け入れ機関に対して、実習の受け入れへの対価（協力金など）を支払っていますか。支払っている場合は1機関あたりの金額をご記入ください。（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①支払った ⇒ 1機関あたり、約 円 <input type="checkbox"/> ②支払っていない
問5-8	実習中の事故等に関する保険への加入状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①研修実施機関が加入している <input type="checkbox"/> ②実習の受け入れ機関が加入している <input type="checkbox"/> ③受講者が個人で加入している <input type="checkbox"/> ④特に保険には加入していない <input type="checkbox"/> ⑤その他（下部に具体的に記入ください）

問5-9	実習受け入れ事業所への受講者の割り振りについてご回答ください (1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①受講者自身で探すよう説明した <input type="checkbox"/> ②実習受け入れ事業所は研修実施機関側で指定した <input type="checkbox"/> ③探すのが困難な受講者についてのみ斡旋(あつせん)した <input type="checkbox"/> ④その他(下部に具体的に記入ください)
問5-10	<p>実習に関する提出物(実習報告書、模擬ケアプラン等)の評価を実施していますか。以下の実習1・2それぞれについてご回答ください。(それぞれ1つ選択)</p> <p>※「新カリキュラム」での実習は、次の2項目 1. 実習協力者を対象にケアプランに沿って、居宅サービス計画書の作成をする実習(提出物: 模擬ケアプランなど) 2. 実習協力事業所において、ケアプランプロセスの各場面を見学する実習(提出物: 実習報告書など)</p>	<p>1. 「実習協力者を対象にケアプランに沿って、居宅サービス計画書の作成をする実習(提出物: 模擬ケアプランなど)」の評価について</p> <input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない <p>2. 「実習協力事業所において、ケアプランプロセスの各場面を見学する実習(提出物: 実習報告書など)」の評価について</p> <input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、今後実施する予定もない
問5-11	<p>【問5-10で①(実施している)を選択した方のみ】 実習に関する提出物(実習報告書、模擬ケアプラン等)の評価結果の受講者へのフィードバック方法について、以下の実習1・2それぞれについてご回答ください。(それぞれ1つ選択)</p> <p>※「新カリキュラム」での実習は、次の2項目 1. 実習協力者を対象にケアプランに沿って、居宅サービス計画書の作成をする実習(提出物: 模擬ケアプランなど) 2. 実習協力事業所において、ケアプランプロセスの各場面を見学する実習(提出物: 実習報告書など)</p>	<p>1. 「実習協力者を対象にケアプランに沿って、居宅サービス計画書の作成をする実習(提出物: 模擬ケアプランなど)」のフィードバックについて</p> <input type="checkbox"/> ①面談時間を設け、受講者へのフィードバックを行った <input type="checkbox"/> ②評価結果を記載した資料を作成・配布し、受講者へのフィードバックを行った <input type="checkbox"/> ③受講者へのフィードバックは特に行っていない <input type="checkbox"/> ④その他(下部に具体的に記入ください) <p>2. 「実習協力事業所において、ケアプランプロセスの各場面を見学する実習(提出物: 実習報告書など)」のフィードバックについて</p> <input type="checkbox"/> ①面談時間を設け、受講者へのフィードバックを行った <input type="checkbox"/> ②評価結果を記載した資料を作成・配布し、受講者へのフィードバックを行った <input type="checkbox"/> ③受講者へのフィードバックは特に行っていない <input type="checkbox"/> ④その他(下部に具体的に記入ください)
(VI) 研修評価の実施状況について		
問6-1	研修記録シート(事前・事後・3か月)の利用状況についてご回答ください。(1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①「事前」のみ利用している <input type="checkbox"/> ②「事後」のみ利用している <input type="checkbox"/> ③「事前と事後」のみ利用している <input type="checkbox"/> ④「事前、事後、3か月後」を利用している <input type="checkbox"/> ⑤研修記録シートを利用していない <input type="checkbox"/> ⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問6-2	<p>【問6-1で⑤(研修記録シートを利用していない)を選択した方のみ】 研修記録シート(事前・事後・3か月)を利用していない理由や利用に際しての課題等があれば、具体的に記入ください。</p>	

問6-3	【問6-1で④(「事前、事後、3か月後」を利用している)を選択した方のみ】 「3か月後」のシートの回収、内容の評価状況についてご回答ください。(1つ選択)	①回収して、内容の評価を行った ②回収したが、内容の評価は行ってない ③回収していない(各自で自己評価)
問6-4	研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計の実施状況についてご回答ください(1つ選択) ※一部の利用でも可	①集計を行っている ②集計を行っていない ③研修記録シートを利用していない
問6-5	【問6-4で②(集計を行っていない)を選択した方のみ】 研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計を行っていない理由をご回答ください。(複数回答可)	①研修記録シートを回収していないから ②どのように集計を行うべきか分からないから(集計ツールが整備されてないから) ③集計作業に時間を割くことが困難であるため ④集計を行う必要性を感じていないから ⑤都道府県から集計の実施を求められていないから ⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問6-6	受講者の修了評価方法についてご回答ください(複数選択)。 ※受講者の評価を行っていない場合は⑧(受講者の評価は行ってない)を選択してください。	①択一式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ②記述式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ③レポート ④受講者間の相互評価 ⑤実技 ⑥講師・ファシリテーター等による評価(習熟度、受講姿勢、意欲等による総合的な評価) ⑦研修記録シート ⑧受講者の評価は行ってない ⑨その他(下部に具体的に記入ください)
問6-7	【問6-6で①(択一式テスト)又は②(記述式テスト)を選択した方のみ】 テストの内容(設問数、テスト時間、採点基準等)が分かる資料がございましたら、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください
問6-8	【問6-6で⑥(講師・ファシリテーター等による評価)を選択した方のみ】 受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)	①研修評価の考え方や方法についての説明会を開催 ②研修評価の考え方や方法についての説明資料を作成・配布 ③情報提供は特に実施していない ④その他(下部に具体的に記入ください)
問6-9	平成29年度の研修に関して、受講者への評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的に記入ください。(1つ選択)	①本課程の修了を認めなかったことはない ②本課程の修了を認めなかったことがある(下部に理由を具体的に記入ください) ③その他(下部に具体的に記入ください)

問6-10	研修で実施される講義や演習等についてのアンケートの実施状況についてご回答ください。(複数回答可)	①受講者向けのアンケートを実施している ②講師向けのアンケートを実施している ③ファシリテーター向けのアンケートを実施している ④特にアンケートは実施していない
問6-11	研修全般に関して、研修実施機関として「自己評価」を行っていますか。(1つ選択)	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問6-12	評価結果・アンケートを都道府県内の研修実施機関全体で共有しているかご回答ください(1つ選択)	①共有している ②都道府県内に他の研修実施機関があるが、共有していない ③都道府県内に他の研修実施機関がないため、共有していない
問6-13	【問6-12で①(共有している)を選択した方のみ】 共有方法をご回答ください(1つ選択)	①研修向上委員会と共有している ②研修向上委員会とは別の連絡会議で共有している ③講師・ファシリテーター向け連絡会で共有している ④その他(下部に具体的に記入ください)
問6-14	都道府県及び研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データ等として該当するものをご回答ください。(複数選択可)	①受講者に実施したアンケート結果 ②講師に実施したアンケート結果 ③ファシリテーターに実施したアンケート結果 ④受講者・修了者数 ⑤受講者・修了者のプロフィール情報 ⑥研修実施機関の自己評価結果 ⑦研修記録シート(未集計) ⑧研修記録シート(集計済み) ⑨受講者への評価に関する資料(テスト結果、提出レポートなど) ⑩研修で使用した独自のワークシートや副教材 ⑪都道府県及び研修向上委員会に情報、データの提供は行っていない ⑫その他(下部に具体的に記入ください)
問6-15	都道府県及び研修向上委員会から研修実施機関に対して、研修の運営に必要な情報、データは十分に提供されていますか。最も近いものを1つ選択してください。(1つ選択)	①必要な情報、データはすべて提供されている ②必要な情報、データは概ね提供されている ③必要な情報、データはあまり提供されていない ④必要な情報、データは全く提供されていない
問6-16	研修の質の向上に向けて、都道府県及び研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データ等があればご記入ください。	
問6-17	本課程の受講者は「ケアマネジメントに関する基本を修得し、多職種と協働・連携しながら専門職としての役割を果たすこと」ができるようになったと思いますか。(1つ選択)	①できるようになった ②概ねできるようになった ③あまりできるようになっていない ④できるようになっていない

(Ⅶ) その他		
問7-1	本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的にご回答ください（他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください）	
問7-2	本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的にご回答ください	
問7-3	PDCAサイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください	

【専門Ⅰ】

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート 研修実施機関向け調査票

都道府県名			
団体名			
ご回答者様	部署名	お名前	電話番号/E-mail (ご回答に関する問合せ先)

↓ 該当する選択肢に「1」を入力してください

No	設問	回答		選択肢
		1つ選択	複数選択	
(Ⅰ) 法定研修の運営状況について				
問1-1	ご回答者様が所属する研修実施機関の機関種別についてご回答ください (1つ選択)			①社会福祉協議会 ②都道府県介護支援専門員協会 (協議会) ③介護支援専門員研修実施機関 ④地方公共団体 ⑤その他 (下部に具体的にご記入ください)
問1-2	ご回答者様が所属する研修実施機関の研修の実施形態についてご回答ください (1つ選択)			①都道府県の直営による実施 ②都道府県の委託による実施 ③指定実施機関による実施
問1-3	平成29年度及び平成30年度の法定研修の実施日数 (実績・予定) についてご回答ください (貴機関が実施する本課程の研修日数の合計)			平成29年度 (実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します) 平成30年度 (予定又は実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します)
問1-4	平成29年度の受講者数及び平成30年度の受講予定 (又は実績) 者数についてご回答ください			平成29年度 受講者数 (実績) []名 平成30年度 受講者数 (予定又は実績) []名

問1-5	平成29年度及び平成30年度の受講料の設定方法とその額をご回答ください。(1つ選択)		①受講料にテキスト代を含む ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
			②受講料にテキスト代を含まない ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料: 円
			テキスト代: 円
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円
テキスト代: 円			
その他費用: 円			
問1-6	平成29年度及び平成30年度の補助金または基金の交付(実績・予定)についてご回答ください(それぞれ1つ選択)	平成29年度(実績)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
		平成30年度(予定又は実績)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
問1-7	受講要件設定についてご回答ください(1つ選択)		①介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)の通り
			②都道府県で独自の要件を設定している
問1-8	【問1-7で②(都道府県で独自の要件を設定している)を選択した方のみ】独自に設定している要件の概要がわかる資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。		電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください
問1-9	研修全般の質やバランスを確保するため、研修課程毎または介護支援専門員研修全般において、各科目間や各研修課程間の連動性を調整し、齟齬が発生しないよう統括し、研修を計画的に運営する責任者(コースデザイン等を行っている担当者)を設置しているかご回答ください。(1つ選択)		①設置している
			②設置していないが、今後設置する予定である
			③設置していないし、今後設置する予定もない
問1-10	【問1-9で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可) ※「研修向上委員会」の定義は別シート【回答方法等】をご確認ください。		①研修向上委員会の委員
			②研修実施機関の職員
			③都道府県担当部局の職員
			④その他(下部に具体的に記入ください)

問1-11	貴都道府県では法定研修に係る「シラバス」を作成していますか。最も近いものをご回答ください（1つ選択） ※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します	①すべての科目で作成している
		②一部の科目で作成している
		③作成していないが、今後全ての科目で作成予定（検討中を含む）
		④作成していないが、今後一部の科目で作成予定（検討中を含む）
		⑤作成していないし、今後作成する予定もない
問1-12	【問1-11で①又は②(作成している)を選択した方のみ】 『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください（1つ選択）	①都道府県が作成
		②研修向上委員会が作成
		③研修実施機関が作成
		④講師が作成（講師に作成を依頼）
		⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問1-13	遅刻・早退者・欠席者の取り扱いについて規定した資料（実施要綱等）があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(Ⅱ) 研修科目・研修ツール・教材の状況		
問2-1	研修科目・研修時間を介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）よりも多く設定している場合がありますらご回答ください（複数回答可）	①講義形式の科目で時間数を追加している
		②講義・演習一体型の科目で時間数を追加している
		③講義形式の科目を追加している
		④講義・演習一体型の科目を追加している
		⑤実施要綱通り（科目や時間数の追加はない）
		⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-2	【問2-1で①、②、③、④を選択した方のみ】 介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください。	
問2-3	講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているかご回答ください（1つ選択）	①ガイドライン通りに実施した
		②ガイドラインから変更したのもある
		③分からない（実施方法は講師に任せており研修実施機関にて把握していない）
問2-4	講義・演習一体型科目の演習の展開方法や内容を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。（可能であれば全科目分の資料をご提供ください）	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
問2-5	講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください（1つ選択）	①研修向上委員会が決めしている
		②研修実施機関が決めしている
		③研修講師が各自で決めしている
		④その他（下部に具体的に記入ください）
問2-6	主要教材（テキスト）の概要をご回答ください	書籍名： 発行元： 価格（1冊あたり）： 円（税別） その他（独自に作成している場合等）：

問2-7	副教材（PPT等）の配布の有無についてご回答ください（1つ選択）		①副教材（PPT等）の配布がある
			②副教材（PPT等）の配布がない
問2-8	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 『副教材（PPT等）』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-9	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 副教材（PPT等）の質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けの副教材の作成研修の実施、副教材の作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-10	【問2-7で④（講師が作成している）を選択した方のみ】 講師が作成・使用している副教材（PPT等）の内容の確認状況についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①研修実施機関が内容の確認を行っている
			②研修向上委員会が内容の確認を行っている
			③都道府県が内容の確認を行っている
			④職能団体が内容の確認を行っている
			⑤副教材の内容の確認は特に行っていない
			⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-11	演習科目等におけるワークシートの使用の有無についてご回答ください（1つ選択）		①ワークシートの使用がある
			②ワークシートの使用がない
問2-12	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-13	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 ワークシートの質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けのワークシートの作成研修の実施、ワークシートの作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
（Ⅲ）講師の確保、育成の状況			
問3-1	都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください（1つ選択）		①不足
			②やや不足
			③適切
			④やや過剰
			⑤過剰

問3-2	今年度の講師の確保方法について近いものをご回答ください (複数回答可)	①昨年度までの講師を起用した
		②新たに養成した
		③独自のネットワークで声をかけた
		④他の団体や機関に紹介を依頼した
		⑤市町村からの推薦を受けた
		⑥都道府県外の講師を起用した
		⑦大学などの研究者に依頼した
		⑧地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した
		⑨都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した
		⑩都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問3-3	講師の選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的に回答ください。	①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り
		②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問3-4	研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	①講師養成研修の開催
		②研修ガイドラインについての説明会の開催
		③独自の研修教材（副教材）の開発
		④シラバスの作成方法の説明や指導
		⑤講師同士の意見交換会の開催
		⑥法定研修実施後のフィードバック (受講者アンケート結果の共有など)
		⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施 (講師の意見の吸い上げ)
		⑧研修実施機関として、講師の育成や支援は行っていない
		⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問3-5	研修実施機関として「講師への評価」を行っていますか（1つ選択）	①実施している
		②実施していないが、今後実施する予定である
		③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う
		④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-6	【問3-5で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①講師に評価結果をフィードバックしている
		②研修講師の人選に活用している
		③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している
		④研修内容の検討に活用している
		⑤特に活用は行っていない
		⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問3-7	受講者による「講師への評価」を行っていますか（1つ選択）	①実施している
		②実施していないが、今後実施する予定である
		③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う
		④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う

問3-8	【問3-7で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①講師に評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②研修講師の人選に活用している <input type="checkbox"/> ③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問3-9	講師の評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(IV) ファシリテーターの確保、育成の状況		
問4-1	都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①不足 <input type="checkbox"/> ②やや不足 <input type="checkbox"/> ③適切 <input type="checkbox"/> ④やや過剰 <input type="checkbox"/> ⑤過剰
問4-2	今年度のファシリテーターの確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①昨年度までのファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ②新たに養成した <input type="checkbox"/> ③独自のネットワークで声をかけた <input type="checkbox"/> ④他の団体や機関に紹介を依頼した <input type="checkbox"/> ⑤市町村からの推薦を受けた <input type="checkbox"/> ⑥講師に推薦を依頼した <input type="checkbox"/> ⑦都道府県外のファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ⑧大学などの研究者に依頼した <input type="checkbox"/> ⑨地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した <input type="checkbox"/> ⑩都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した <input type="checkbox"/> ⑪都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問4-3	ファシリテーターの選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的に回答ください。	<input type="checkbox"/> ①要件は特に定めていない <input type="checkbox"/> ②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問4-4	一人のファシリテーターが担当するグループ数についてご回答ください（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①10グループ以上 <input type="checkbox"/> ②5～9グループ <input type="checkbox"/> ③2～4グループ <input type="checkbox"/> ④1グループ

問4-5	研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催 <input type="checkbox"/> ②ガイドラインについての説明会の開催 <input type="checkbox"/> ③独自の研修教材（副教材）の開発 <input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導 <input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催 <input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック（受講者アンケート結果の共有など） <input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施（ファシリテーターの意見の吸い上げ） <input type="checkbox"/> ⑧研修実施機関として、ファシリテーターの育成や支援は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問4-6	研修実施機関として「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-7	【問4-6で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②ファシリテーターの人選に活用している <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-8	受講者による「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-9	【問4-8で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②ファシリテーターの人選に活用している <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-10	ファシリテーターの評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください

(V) 研修評価の実施状況について		
問5-1	研修記録シート（事前・事後・3か月）の利用状況についてご回答ください。（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①「事前」のみ利用している <input type="checkbox"/> ②「事後」のみ利用している <input type="checkbox"/> ③「事前と事後」のみ利用している <input type="checkbox"/> ④「事前、事後、3か月後」を利用している <input type="checkbox"/> ⑤研修記録シートを利用していない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的にご記入ください）
問5-2	【問5-1で⑤(研修記録シートを利用していない)を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）を利用していない理由や利用に際しての課題等があれば、具体的にご記入ください。	
問5-3	【問5-1で④(「事前、事後、3か月後」を利用している)を選択した方のみ】 「3か月後」のシートの回収、内容の評価状況についてご回答ください。（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①回収して、内容の評価を行った <input type="checkbox"/> ②回収したが、内容の評価は行っていない <input type="checkbox"/> ③回収していない（各自で自己評価）
問5-4	研修記録シート（事前・事後・3か月）の集計の実施状況についてご回答ください（1つ選択）※一部の利用でも可	<input type="checkbox"/> ①集計を行っている <input type="checkbox"/> ②集計を行っていない <input type="checkbox"/> ③研修記録シートを利用していない
問5-5	【問5-4で②(集計を行っていない)を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）の集計を行っていない理由をご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①研修記録シートを回収していないから <input type="checkbox"/> ②どのように集計を行うべきか分からないから（集計ツールが整備されていないから） <input type="checkbox"/> ③集計作業に時間を割くことが困難であるため <input type="checkbox"/> ④集計を行う必要性を感じていないから <input type="checkbox"/> ⑤都道府県から集計の実施を求められていないから <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的にご記入ください）
問5-6	受講者の修了評価方法についてご回答ください（複数選択）。 ※受講者の評価を行っていない場合は⑧（受講者の評価は行っていない）を選択してください。	<input type="checkbox"/> ①択一式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください <input type="checkbox"/> ②記述式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください <input type="checkbox"/> ③レポート <input type="checkbox"/> ④受講者間の相互評価 <input type="checkbox"/> ⑤実技 <input type="checkbox"/> ⑥講師・ファシリテーター等による評価（習熟度、受講姿勢、意欲等による総合的な評価） <input type="checkbox"/> ⑦研修記録シート <input type="checkbox"/> ⑧受講者の評価は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的にご記入ください）
問5-7	【問5-6で①(択一式テスト)又は②(記述式テスト)を選択した方のみ】 テストの内容（設問数、テスト時間、採点基準等）が分かる資料がございましたら、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください

問5-8	【問5-6で⑥(講師・ファシリテーター等による評価)を選択した方のみ】 受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)	①研修評価の考え方や方法についての説明会を開催 ②研修評価の考え方や方法についての説明資料を作成・配布 ③情報提供は特に実施していない ④その他(下部に具体的に記入ください)
問5-9	平成29年度の研修に関して、受講者への評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的に記入ください。(1つ選択)	①本課程の修了を認めなかったことはない ②本課程の修了を認めなかったことがある(下部に理由を具体的に記入ください) ③その他(下部に具体的に記入ください)
問5-10	研修で実施される講義や演習等についてのアンケートの実施状況についてご回答ください。(複数回答可)	①受講者向けのアンケートを実施している ②講師向けのアンケートを実施している ③ファシリテーター向けのアンケートを実施している ④特にアンケートは実施していない
問5-11	研修全般に関して、研修実施機関として「自己評価」を行っていますか。(1つ選択)	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問5-12	評価結果・アンケートを都道府県内の研修実施機関全体で共有しているかご回答ください(1つ選択)	①共有している ②都道府県内に他の研修実施機関があるが、共有していない ③都道府県内に他の研修実施機関がないため、共有していない
問5-13	【問5-12で①(共有している)を選択した方のみ】 共有方法をご回答ください(1つ選択)	①研修向上委員会で共有している ②研修向上委員会とは別の連絡会議で共有している ③講師・ファシリテーター向け連絡会で共有している ④その他(下部に具体的に記入ください)

問5-14	都道府県及び研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データ等として該当するものをご回答ください。(複数選択可)		①受講者に実施したアンケート結果
			②講師に実施したアンケート結果
			③ファシリテーターに実施したアンケート結果
			④受講者・修了者数
			⑤受講者・修了者のプロフィール情報
			⑥研修実施機関の自己評価結果
			⑦研修記録シート(未集計)
			⑧研修記録シート(集計済み)
			⑨受講者への評価に関する資料(テスト結果、提出レポートなど)
			⑩研修で使用した独自のワークシートや副教材
			⑪都道府県及び研修向上委員会に情報、データの提供は行っていない
			⑫その他(下部に具体的に記入ください)
問5-15	都道府県及び研修向上委員会から研修実施機関に対して、研修の運営に必要な情報、データは十分に提供されていますか。最も近いものを1つ選択してください。(1つ選択)		①必要な情報、データはすべて提供されている
			②必要な情報、データは概ね提供されている
			③必要な情報、データはあまり提供されていない
			④必要な情報、データは全く提供されていない
問5-16	研修の質の向上に向けて、都道府県及び研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データ等があればご記入ください。		
問5-17	本課程の受講者は「専門的知識・技能を修得し、多様な疾病や生活状況に応じて医療との連携や多職種協働を図り、ケアマネジメントを実践すること」ができるようになったと思いますか。(1つ選択)		①できるようになった
			②概ねできるようになった
			③あまりできるようになっていない
			④できるようになっていない
(VI) その他			
問6-1	本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的に回答ください(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください)		
問6-2	本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的に回答ください		
問6-3	PDCAサイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください		

【専門Ⅱ】

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート 研修実施機関向け調査票

都道府県名			
団体名			
ご回答者様	部署名	お名前	電話番号/E-mail (ご回答に関する問合せ先)

↓ 該当する選択肢に「1」を入力してください

No	設問	回答		選択肢
		1つ選択	複数選択	
(Ⅰ) 法定研修の運営状況について				
問1-1	ご回答者様が所属する研修実施機関の機関種別についてご回答ください (1つ選択)			①社会福祉協議会 ②都道府県介護支援専門員協会 (協議会) ③介護支援専門員研修実施機関 ④地方公共団体 ⑤その他 (下部に具体的にご記入ください)
問1-2	ご回答者様が所属する研修実施機関の研修の実施形態についてご回答ください (1つ選択)			①都道府県の直営による実施 ②都道府県の委託による実施 ③指定実施機関による実施
問1-3	平成29年度及び平成30年度の法定研修の実施日数 (実績・予定) についてご回答ください (貴機関が実施する本課程の研修日数の合計)			平成29年度 (実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します) 平成30年度 (予定又は実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します)
問1-4	平成29年度の受講者数及び平成30年度の受講予定 (又は実績) 者数についてご回答ください			平成29年度 受講者数 (実績) []名 平成30年度 受講者数 (予定又は実績) []名

問1-5	平成29年度及び平成30年度の受講料の設定方法とその額をご回答ください。(1つ選択)		①受講料にテキスト代を含む ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
			②受講料にテキスト代を含まない ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料: 円
			テキスト代: 円
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円
テキスト代: 円			
その他費用: 円			
問1-6	平成29年度及び平成30年度の補助金または基金の交付(実績・予定)についてご回答ください(それぞれ1つ選択)	平成29年度(実績)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
		平成30年度(予定又は実績)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
問1-7	受講要件設定についてご回答ください(1つ選択)		①介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)の通り
			②都道府県で独自の要件を設定している
問1-8	【問1-7で②(都道府県で独自の要件を設定している)を選択した方のみ】独自に設定している要件の概要がわかる資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。		電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください
問1-9	研修全般の質やバランスを確保するため、研修課程毎または介護支援専門員研修全般において、各科目間や各研修課程間の連動性を調整し、齟齬が発生しないよう統括し、研修を計画的に運営する責任者(コースデザイン等を行っている担当者)を設置しているかご回答ください。(1つ選択)		①設置している
			②設置していないが、今後設置する予定である
			③設置していないし、今後設置する予定もない
問1-10	【問1-9で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可) ※「研修向上委員会」の定義は別シート【回答方法等】をご確認ください。		①研修向上委員会の委員
			②研修実施機関の職員
			③都道府県担当部局の職員
			④その他(下部に具体的に記入ください)

問1-11	貴都道府県では法定研修に係る『シラバス』を作成していますか。最も近いものをご回答ください（1つ選択） ※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します	①すべての科目で作成している
		②一部の科目で作成している
		③作成していないが、今後全ての科目で作成予定（検討中を含む）
		④作成していないが、今後一部の科目で作成予定（検討中を含む）
		⑤作成していないし、今後作成する予定もない
問1-12	【問1-11で①又は②(作成している)を選択した方のみ】 『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください（1つ選択）	①都道府県が作成
		②研修向上委員会が作成
		③研修実施機関が作成
		④講師が作成（講師に作成を依頼）
		⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問1-13	遅刻・早退者・欠席者の取り扱いについて規定した資料（実施要綱等）があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(Ⅱ) 研修科目・研修ツール・教材の状況		
問2-1	研修科目・研修時間を介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）よりも多く設定している場合がありますらご回答ください（複数回答可）	①講義形式の科目で時間数を追加している
		②講義・演習一体型の科目で時間数を追加している
		③講義形式の科目を追加している
		④講義・演習一体型の科目を追加している
		⑤実施要綱通り（科目や時間数の追加はない）
		⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-2	【問2-1で①、②、③、④を選択した方のみ】 介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください。	
問2-3	講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているかご回答ください（1つ選択）	①ガイドライン通りに実施した
		②ガイドラインから変更したのもある
		③分からない（実施方法は講師に任せており研修実施機関にて把握していない）
問2-4	講義・演習一体型科目の演習の展開方法や内容を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。（可能であれば全科目分の資料をご提供ください）	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
問2-5	講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください（1つ選択）	①研修向上委員会が決めしている
		②研修実施機関が決めしている
		③研修講師が各自で決めしている
		④その他（下部に具体的に記入ください）
問2-6	主要教材（テキスト）の概要をご回答ください	書籍名： 発行元： 価格（1冊あたり）： 円（税別） その他（独自に作成している場合等）：

問2-7	副教材（PPT等）の配布の有無についてご回答ください（1つ選択）		①副教材（PPT等）の配布がある
			②副教材（PPT等）の配布がない
問2-8	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 『副教材（PPT等）』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-9	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 副教材（PPT等）の質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けの副教材の作成研修の実施、副教材の作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-10	【問2-7で④（講師が作成している）を選択した方のみ】 講師が作成・使用している副教材（PPT等）の内容の確認状況についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①研修実施機関が内容の確認を行っている
			②研修向上委員会が内容の確認を行っている
			③都道府県が内容の確認を行っている
			④職能団体が内容の確認を行っている
			⑤副教材の内容の確認は特に行っていない
			⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-11	演習科目等におけるワークシートの使用の有無についてご回答ください（1つ選択）		①ワークシートの使用がある
			②ワークシートの使用がない
問2-12	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-13	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 ワークシートの質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けのワークシートの作成研修の実施、ワークシートの作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-14	研修で使用する「事例」の提出時期についてご回答ください。（1つ選択）		①研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の1ヶ月より前
			②研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の1週間～1ヶ月前
			③研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の2日～6日前
			④研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の当日
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-15	研修の受講時に、参加者に作成・提出してもらった事例の数をご記入ください。		

問2-16	事例の提出についての規約・規定等、ルールが分かる資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください	
問2-17	提出事例が研修受講要件を満たしているか（課程および科目にみあうものか）を確認する際の、確認基準、確認項目、確認方法についてご回答ください。（1つ選択）	①基準・確認項目を決めて、担当者が確認を行っている	
		②基準・確認項目を決めずに、担当者が確認を行っている	
		③確認はしていない	
問2-18	受講者が事例提出時に、研修の事例のテーマ要件を満たす事例がない場合の対応についてご回答ください。（複数回答可）	①テーマ以外の事例でも良いとした	
		②テキストなどにある事例を用いた	
		③講師が事例を用意した	
		④その他（下部に具体的に記入ください）	
(Ⅲ) 講師の確保、育成の状況			
問3-1	都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください（1つ選択）	①不足	
		②やや不足	
		③適切	
		④やや過剰	
		⑤過剰	
問3-2	今年度の講師の確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	①昨年度までの講師を起用した	
		②新たに養成した	
		③独自のネットワークで声をかけた	
		④他の団体や機関に紹介を依頼した	
		⑤市町村からの推薦を受けた	
		⑥都道府県外の講師を起用した	
		⑦大学などの研究者に依頼した	
		⑧地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した	
		⑨都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した	
		⑩都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した	
問3-3	講師の選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的に回答ください。	①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り	
		②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）	

問3-4	研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)	①講師養成研修の開催
		②研修ガイドラインについての説明会の開催
		③独自の研修教材(副教材)の開発
		④シラバスの作成方法の説明や指導
		⑤講師同士の意見交換会の開催
		⑥法定研修実施後のフィードバック (受講者アンケート結果の共有など)
		⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施 (講師の意見の吸い上げ)
		⑧研修実施機関として、講師の育成や支援は行っていない
		⑨その他(下部に具体的に記入ください)
問3-5	研修実施機関として「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)	①実施している
		②実施していないが、今後実施する予定である
		③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う
		④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-6	【問3-5で①(実施している)を選択した方のみ】 研修実施機関が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)	①講師に評価結果をフィードバックしている
		②研修講師の人選に活用している
		③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している
		④研修内容の検討に活用している
		⑤特に活用は行っていない
		⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問3-7	受講者による「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)	①実施している
		②実施していないが、今後実施する予定である
		③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う
		④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-8	【問3-7で①(実施している)を選択した方のみ】 受講者が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)	①講師に評価結果をフィードバックしている
		②研修講師の人選に活用している
		③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している
		④研修内容の検討に活用している
		⑤特に活用は行っていない
		⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問3-9	講師の評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください

(IV) ファシリテーターの確保、育成の状況		
問4-1	都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください（1つ選択）	<input type="radio"/> ①不足 <input type="radio"/> ②やや不足 <input type="radio"/> ③適切 <input type="radio"/> ④やや過剰 <input type="radio"/> ⑤過剰
問4-2	今年度のファシリテーターの確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①昨年度までのファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ②新たに養成した <input type="checkbox"/> ③独自のネットワークで声をかけた <input type="checkbox"/> ④他の団体や機関に紹介を依頼した <input type="checkbox"/> ⑤市町村からの推薦を受けた <input type="checkbox"/> ⑥講師に推薦を依頼した <input type="checkbox"/> ⑦都道府県外のファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ⑧大学などの研究者に依頼した <input type="checkbox"/> ⑨地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した <input type="checkbox"/> ⑩都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した <input type="checkbox"/> ⑪都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問4-3	ファシリテーターの選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的にご回答ください。	<input type="checkbox"/> ①要件は特に定めていない <input type="checkbox"/> ②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問4-4	一人のファシリテーターが担当するグループ数についてご回答ください（1つ選択）	<input type="radio"/> ①10グループ以上 <input type="radio"/> ②5～9グループ <input type="radio"/> ③2～4グループ <input type="radio"/> ④1グループ
問4-5	研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催 <input type="checkbox"/> ②ガイドラインについての説明会の開催 <input type="checkbox"/> ③独自の研修教材（副教材）の開発 <input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導 <input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催 <input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック （受講者アンケート結果の共有など） <input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施 （ファシリテーターの意見の吸い上げ） <input type="checkbox"/> ⑧研修実施機関として、ファシリテーターの育成や支援は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）

問4-6	研修実施機関として「ファシリテーターへの評価」を行っていますか (1つ選択)	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-7	【問4-6で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている ②ファシリテーターの人選に活用している ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-8	受講者による「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-9	【問4-8で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている ②ファシリテーターの人選に活用している ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-10	ファシリテーターの評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(V) 研修評価の実施状況について		
問5-1	研修記録シート（事前・事後・3か月）の利用状況についてご回答ください。（1つ選択）	①「事前」のみ利用している ②「事後」のみ利用している ③「事前と事後」のみ利用している ④「事前、事後、3か月後」を利用している ⑤研修記録シートを利用していない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問5-2	【問5-1で⑤（研修記録シートを利用していない）を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）を利用していない理由や利用に際しての課題等があれば、具体的に記入ください。	

問5-3	【問5-1で④(「事前、事後、3か月後」を利用している)を選択した方のみ】 「3か月後」のシートの回収、内容の評価状況についてご回答ください。(1つ選択)	①回収して、内容の評価を行った ②回収したが、内容の評価は行ってない ③回収していない(各自で自己評価)
問5-4	研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計の実施状況についてご回答ください(1つ選択) ※一部の利用でも可	①集計を行っている ②集計を行っていない ③研修記録シートを利用していない
問5-5	【問5-4で②(集計を行っていない)を選択した方のみ】 研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計を行っていない理由をご回答ください。(複数回答可)	①研修記録シートを回収していないから ②どのように集計を行うべきか分からないから(集計ツールが整備されてないから) ③集計作業に時間を割くことが困難であるため ④集計を行う必要性を感じていないから ⑤都道府県から集計の実施を求められていないから ⑥その他(下部に具体的にご記入ください)
問5-6	受講者の修了評価方法についてご回答ください(複数選択)。 ※受講者の評価を行っていない場合は⑧(受講者の評価は行ってない)を選択してください。	①択一式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ②記述式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ③レポート ④受講者間の相互評価 ⑤実技 ⑥講師・ファシリテーター等による評価(習熟度、受講姿勢、意欲等による総合的な評価) ⑦研修記録シート ⑧受講者の評価は行ってない ⑨その他(下部に具体的にご記入ください)
問5-7	【問5-6で①(択一式テスト)又は②(記述式テスト)を選択した方のみ】 テストの内容(設問数、テスト時間、採点基準等)が分かる資料がございましたら、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください
問5-8	【問5-6で⑥(講師・ファシリテーター等による評価)を選択した方のみ】 受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)	①研修評価の考え方や方法についての説明会を開催 ②研修評価の考え方や方法についての説明資料を作成・配布 ③情報提供は特に実施していない ④その他(下部に具体的にご記入ください)
問5-9	平成29年度の研修に関して、受講者への評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的にご記入ください。(1つ選択)	①本課程の修了を認めなかったことはない ②本課程の修了を認めなかったことがある(下部に理由を具体的にご記入ください) ③その他(下部に具体的にご記入ください)

問5-10	研修で実施される講義や演習等についてのアンケートの実施状況についてご回答ください。(複数回答可)	①受講者向けのアンケートを実施している
		②講師向けのアンケートを実施している
		③ファシリテーター向けのアンケートを実施している
		④特にアンケートは実施していない
問5-11	研修全般に関して、研修実施機関として「自己評価」を行っていますか。(1つ選択)	①実施している
		②実施していないが、今後実施する予定である
		③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う
		④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問5-12	評価結果・アンケートを都道府県内の研修実施機関全体で共有しているかご回答ください(1つ選択)	①共有している
		②都道府県内に他の研修実施機関があるが、共有していない
		③都道府県内に他の研修実施機関がないため、共有していない
問5-13	【問5-12で①(共有している)を選択した方のみ】 共有方法をご回答ください(1つ選択)	①研修向上委員会で共有している
		②研修向上委員会とは別の連絡会議で共有している
		③講師・ファシリテーター向け連絡会で共有している
		④その他(下部に具体的に記入ください)
問5-14	都道府県及び研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データ等として該当するものをご回答ください。(複数選択可)	①受講者に実施したアンケート結果
		②講師に実施したアンケート結果
		③ファシリテーターに実施したアンケート結果
		④受講者・修了者数
		⑤受講者・修了者のプロフィール情報
		⑥研修実施機関の自己評価結果
		⑦研修記録シート(未集計)
		⑧研修記録シート(集計済み)
		⑨受講者への評価に関する資料(テスト結果、提出レポートなど)
		⑩研修で使用した独自のワークシートや副教材
		⑪都道府県及び研修向上委員会に情報、データの提供は行っていない
		⑫その他(下部に具体的に記入ください)
問5-15	都道府県及び研修向上委員会から研修実施機関に対して、研修の運営に必要な情報、データは十分に提供されていますか。最も近いものを1つ選択してください。(1つ選択)	①必要な情報、データはすべて提供されている
		②必要な情報、データは概ね提供されている
		③必要な情報、データはあまり提供されていない
		④必要な情報、データは全く提供されていない
問5-16	研修の質の向上に向けて、都道府県及び研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データ等があればご記入ください。	

問5-17	本課程の受講者は「主体的に個別支援、ネットワークづくりや事例に応じた支援方法・内容の改善を行うこと」ができるようになったと思いますか。（1つ選択）		①できるようになった
			②概ねできるようになった
			③あまりできるようになっていない
			④できるようになっていない
(VI) その他			
問6-1	本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的にご回答ください（他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください）	/	
問6-2	本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的にご回答ください	/	
問6-3	PDCAサイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください	/	

【再研修】

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート 研修実施機関向け調査票

都道府県名			
団体名			
ご回答者様	部署名	お名前	電話番号/E-mail (ご回答に関する問合せ先)

↓ 該当する選択肢に「1」を入力してください

No	設問	回答		選択肢
		1つ選択	複数選択	
(I) 法定研修の運営状況について				
問1-1	ご回答者様が所属する研修実施機関の機関種別についてご回答ください (1つ選択)			①社会福祉協議会 ②都道府県介護支援専門員協会 (協議会) ③介護支援専門員研修実施機関 ④地方公共団体 ⑤その他 (下部に具体的にご記入ください)
問1-2	ご回答者様が所属する研修実施機関の研修の実施形態についてご回答ください (1つ選択)			①都道府県の直営による実施 ②都道府県の委託による実施 ③指定実施機関による実施
問1-3	平成29年度及び平成30年度の法定研修の実施日数 (実績・予定) についてご回答ください (貴機関が実施する本課程の研修日数の合計)			平成29年度 (実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します) 平成30年度 (予定又は実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します)
問1-4	平成29年度を受講者数及び平成30年度を受講予定 (又は実績) 者数についてご回答ください			平成29年度 受講者数 (実績) []名 平成30年度 受講者数 (予定又は実績) []名

問1-5	平成29年度及び平成30年度の受講料の設定方法とその額をご回答ください。(1つ選択)		①受講料にテキスト代を含む ※以下に具体的な額をご記入ください		
			平成29年度(実績)		
			受講料: 円(内、テキスト代 円)		
			その他費用: 円		
			平成30年度(予定又は実績)		
			受講料: 円(内、テキスト代 円)		
			その他費用: 円		
			②受講料にテキスト代を含まない ※以下に具体的な額をご記入ください		
			平成29年度(実績)		
			受講料: 円		
			テキスト代: 円		
			その他費用: 円		
			平成30年度(予定又は実績)		
			受講料: 円		
テキスト代: 円					
その他費用: 円					
問1-6	平成29年度及び平成30年度の補助金または基金の交付(実績・予定)についてご回答ください(それぞれ1つ選択)		平成29年度(実績)		
			①補助や交付あり(一部あるいは全部)		
			②補助や交付なし		
			平成30年度(予定又は実績)		
問1-7	受講要件設定についてご回答ください(1つ選択)		①介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)の通り		
			②都道府県で独自の要件を設定している		
			問1-8	【問1-7で②(都道府県で独自の要件を設定している)を選択した方のみ】独自に設定している要件の概要がわかる資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください
問1-9	研修全般の質やバランスを確保するため、研修課程毎または介護支援専門員研修全般において、各科目間や各研修課程間の連動性を調整し、齟齬が発生しないよう統括し、研修を計画的に運営する責任者(コースデザイン等を行っている担当者)を設置しているかご回答ください。(1つ選択)		①設置している		
			②設置していないが、今後設置する予定である		
			③設置していないし、今後設置する予定もない		
問1-10	【問1-9で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可) ※「研修向上委員会」の定義は別シート【回答方法等】をご確認ください。		①研修向上委員会の委員		
			②研修実施機関の職員		
			③都道府県担当部局の職員		
			④その他(下部に具体的に記入ください)		

問1-11	貴都道府県では法定研修に係る『シラバス』を作成していますか。 最も近いものをご回答ください（1つ選択） ※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します		①すべての科目で作成している ②一部の科目で作成している ③作成していないが、今後全ての科目で作成予定（検討中を含む） ④作成していないが、今後一部の科目で作成予定（検討中を含む） ⑤作成していないし、今後作成する予定もない
問1-12	【問1-11で①又は②(作成している)を選択した方のみ】 『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください（1つ選択）		①都道府県が作成 ②研修向上委員会が作成 ③研修実施機関が作成 ④講師が作成（講師に作成を依頼） ⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問1-13	遅刻・早退者・欠席者の取り扱いについて規定した資料（実施要綱等）があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください	
（Ⅱ）研修科目・研修ツール・教材の状況			
問2-1	研修科目・研修時間数を介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）よりも多く設定している場合がありますらご回答ください（複数回答可）		①講義形式の科目で時間数を追加している ②講義・演習一体型の科目で時間数を追加している ③講義形式の科目を追加している ④講義・演習一体型の科目を追加している ⑤実施要綱通り（科目や時間数の追加はない） ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-2	【問2-1で①、②、③、④を選択した方のみ】 介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください。	/	
問2-3	講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているかご回答ください（1つ選択）		①ガイドライン通りに実施した ②ガイドラインから変更したのもある ③分からない（実施方法は講師に任せっており研修実施機関にて把握していない）
問2-4	講義・演習一体型科目の演習の展開方法や内容を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。（可能であれば全科目分の資料をご提供ください）	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください	
問2-5	講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください（1つ選択）		①研修向上委員会が決めている ②研修実施機関が決めている ③研修講師が各自で決めている ④その他（下部に具体的に記入ください）
問2-6	主要教材（テキスト）の概要をご回答ください	書籍名： 発行元： 価格（1冊あたり）： 円（税別） その他（独自に作成している場合等）：	

問2-7	副教材（PPT等）の配布の有無についてご回答ください（1つ選択）		①副教材（PPT等）の配布がある
			②副教材（PPT等）の配布がない
問2-8	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 『副教材（PPT等）』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-9	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 副教材（PPT等）の質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けの副教材の作成研修の実施、副教材の作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-10	【問2-7で④（講師が作成している）を選択した方のみ】 講師が作成・使用している副教材（PPT等）の内容の確認状況についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①研修実施機関が内容の確認を行っている
			②研修向上委員会が内容の確認を行っている
			③都道府県が内容の確認を行っている
			④職能団体が内容の確認を行っている
			⑤副教材の内容の確認は特に行っていない
			⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-11	演習科目等におけるワークシートの使用の有無についてご回答ください（1つ選択）		①ワークシートの使用がある
			②ワークシートの使用がない
問2-12	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-13	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 ワークシートの質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けのワークシートの作成研修の実施、ワークシートの作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
（Ⅲ）講師の確保、育成の状況			
問3-1	都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください（1つ選択）		①不足
			②やや不足
			③適切
			④やや過剰
			⑤過剰

問3-2	今年度の講師の確保方法について近いものをご回答ください (複数回答可)	<input type="checkbox"/> ①昨年度までの講師を起用した <input type="checkbox"/> ②新たに養成した <input type="checkbox"/> ③独自のネットワークで声をかけた <input type="checkbox"/> ④他の団体や機関に紹介を依頼した <input type="checkbox"/> ⑤市町村からの推薦を受けた <input type="checkbox"/> ⑥都道府県外の講師を起用した <input type="checkbox"/> ⑦大学などの研究者に依頼した <input type="checkbox"/> ⑧地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した <input type="checkbox"/> ⑨都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した <input type="checkbox"/> ⑩都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問3-3	講師の選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的に回答ください。	<input type="checkbox"/> ①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り <input type="checkbox"/> ②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問3-4	研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①講師養成研修の開催 <input type="checkbox"/> ②研修ガイドラインについての説明会の開催 <input type="checkbox"/> ③独自の研修教材（副教材）の開発 <input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導 <input type="checkbox"/> ⑤講師同士の意見交換会の開催 <input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック （受講者アンケート結果の共有など） <input type="checkbox"/> ⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施 （講師の意見の吸い上げ） <input type="checkbox"/> ⑧研修実施機関として、講師の育成や支援は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問3-5	研修実施機関として「講師への評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-6	【問3-5で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①講師に評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②研修講師の人選に活用している <input type="checkbox"/> ③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行っていない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問3-7	受講者による「講師への評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う

問3-8	【問3-7で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①講師に評価結果をフィードバックしている ②研修講師の人選に活用している ③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問3-9	講師の評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(IV) ファシリテーターの確保、育成の状況		
問4-1	都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください（1つ選択）	①不足 ②やや不足 ③適切 ④やや過剰 ⑤過剰
問4-2	今年度のファシリテーターの確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	①昨年度までのファシリテーターを起用した ②新たに養成した ③独自のネットワークで声をかけた ④他の団体や機関に紹介を依頼した ⑤市町村からの推薦を受けた ⑥講師に推薦を依頼した ⑦都道府県外のファシリテーターを起用した ⑧大学などの研究者に依頼した ⑨地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した ⑩都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した ⑪都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問4-3	ファシリテーターの選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的に回答ください。	①要件は特に定めていない ②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問4-4	一人のファシリテーターが担当するグループ数についてご回答ください（1つ選択）	①10グループ以上 ②5～9グループ ③2～4グループ ④1グループ

問4-5	研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催 <input type="checkbox"/> ②ガイドラインについての説明会の開催 <input type="checkbox"/> ③独自の研修教材（副教材）の開発 <input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導 <input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催 <input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック（受講者アンケート結果の共有など） <input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施（ファシリテーターの意見の吸い上げ） <input type="checkbox"/> ⑧研修実施機関として、ファシリテーターの育成や支援は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問4-6	研修実施機関として「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-7	【問4-6で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②ファシリテーターの人選に活用している <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行ってない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-8	受講者による「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-9	【問4-8で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている <input type="checkbox"/> ②ファシリテーターの人選に活用している <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している <input type="checkbox"/> ④研修内容の検討に活用している <input type="checkbox"/> ⑤特に活用は行ってない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-10	ファシリテーターの評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください

(V) 研修評価の実施状況について		
問5-1	研修記録シート（事前・事後・3か月）の利用状況についてご回答ください。（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①「事前」のみ利用している <input type="checkbox"/> ②「事後」のみ利用している <input type="checkbox"/> ③「事前と事後」のみ利用している <input type="checkbox"/> ④「事前、事後、3か月後」を利用している <input type="checkbox"/> ⑤研修記録シートを利用していない <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問5-2	【問5-1で⑤(研修記録シートを利用していない)を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）を利用していない理由や利用に際しての課題等があれば、具体的に記入ください。	
問5-3	【問5-1で④(「事前、事後、3か月後」を利用している)を選択した方のみ】 「3か月後」のシートの回収、内容の評価状況についてご回答ください。（1つ選択）	<input type="checkbox"/> ①回収して、内容の評価を行った <input type="checkbox"/> ②回収したが、内容の評価は行っていない <input type="checkbox"/> ③回収していない（各自で自己評価）
問5-4	研修記録シート（事前・事後・3か月）の集計の実施状況についてご回答ください（1つ選択）※一部の利用でも可	<input type="checkbox"/> ①集計を行っている <input type="checkbox"/> ②集計を行っていない <input type="checkbox"/> ③研修記録シートを利用していない
問5-5	【問5-4で②(集計を行っていない)を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）の集計を行っていない理由をご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①研修記録シートを回収していないから <input type="checkbox"/> ②どのように集計を行うべきか分からないから（集計ツールが整備されていないから） <input type="checkbox"/> ③集計作業に時間を割くことが困難であるため <input type="checkbox"/> ④集計を行う必要性を感じていないから <input type="checkbox"/> ⑤都道府県から集計の実施を求められていないから <input type="checkbox"/> ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問5-6	受講者の修了評価方法についてご回答ください（複数選択）。 ※受講者の評価を行っていない場合は⑧（受講者の評価は行っていない）を選択してください。	<input type="checkbox"/> ①択一式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください <input type="checkbox"/> ②記述式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください <input type="checkbox"/> ③レポート <input type="checkbox"/> ④受講者間の相互評価 <input type="checkbox"/> ⑤実技 <input type="checkbox"/> ⑥講師・ファシリテーター等による評価（習熟度、受講姿勢、意欲等による総合的な評価） <input type="checkbox"/> ⑦研修記録シート <input type="checkbox"/> ⑧受講者の評価は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問5-7	【問5-6で①(択一式テスト) 又は②（記述式テスト）を選択した方のみ】 テストの内容（設問数、テスト時間、採点基準等）が分かる資料がございましたら、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください

問5-8	【問5-6で⑥(講師・ファシリテーター等による評価)を選択した方のみ】 受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)	①研修評価の考え方や方法についての説明会を開催 ②研修評価の考え方や方法についての説明資料を作成・配布 ③情報提供は特に実施していない ④その他(下部に具体的にご記入ください)
問5-9	平成29年度の研修に関して、受講者への評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的にご記入ください。(1つ選択)	①本課程の修了を認めなかったことはない ②本課程の修了を認めなかったことがある(下部に理由を具体的にご記入ください) ③その他(下部に具体的にご記入ください)
問5-10	研修で実施される講義や演習等についてのアンケートの実施状況についてご回答ください。(複数回答可)	①受講者向けのアンケートを実施している ②講師向けのアンケートを実施している ③ファシリテーター向けのアンケートを実施している ④特にアンケートは実施していない
問5-11	研修全般に関して、研修実施機関として「自己評価」を行っていますか。(1つ選択)	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問5-12	評価結果・アンケートを都道府県内の研修実施機関全体で共有しているかご回答ください(1つ選択)	①共有している ②都道府県内に他の研修実施機関があるが、共有していない ③都道府県内に他の研修実施機関がないため、共有していない
問5-13	【問5-12で①(共有している)を選択した方のみ】 共有方法をご回答ください(1つ選択)	①研修向上委員会で共有している ②研修向上委員会とは別の連絡会議で共有している ③講師・ファシリテーター向け連絡会で共有している ④その他(下部に具体的にご記入ください)

問5-14	都道府県及び研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データ等として該当するものをご回答ください。(複数選択可)		①受講者に実施したアンケート結果
			②講師に実施したアンケート結果
			③ファシリテーターに実施したアンケート結果
			④受講者・修了者数
			⑤受講者・修了者のプロフィール情報
			⑥研修実施機関の自己評価結果
			⑦研修記録シート(未集計)
			⑧研修記録シート(集計済み)
			⑨受講者への評価に関する資料(テスト結果、提出レポートなど)
			⑩研修で使用した独自のワークシートや副教材
			⑪都道府県及び研修向上委員会に情報、データの提供は行っていない
			⑫その他(下部に具体的に記入ください)
問5-15	都道府県及び研修向上委員会から研修実施機関に対して、研修の運営に必要な情報、データは十分に提供されていますか。最も近いものを1つ選択してください。(1つ選択)		①必要な情報、データはすべて提供されている
			②必要な情報、データは概ね提供されている
			③必要な情報、データはあまり提供されていない
			④必要な情報、データは全く提供されていない
問5-16	研修の質の向上に向けて、都道府県及び研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データ等があればご記入ください。		
(VI) その他			
問6-1	本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的に回答ください(他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください)		
問6-2	本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的に回答ください		
問6-3	PDCAサイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください		

【主任】

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート 研修実施機関向け調査票

都道府県名			
団体名			
ご回答者様	部署名	お名前	電話番号/E-mail (ご回答に関する問合せ先)

↓ 該当する選択肢に「1」を入力してください

1つ選択
複数選択

No	設問	回答	選択肢
(I) 法定研修の運営状況について			
問1-1	ご回答者様が所属する研修実施機関の機関種別についてご回答ください (1つ選択)		①社会福祉協議会 ②都道府県介護支援専門員協会 (協議会) ③介護支援専門員研修実施機関 ④地方公共団体 ⑤その他 (下部に具体的にご記入ください)
問1-2	ご回答者様が所属する研修実施機関の研修の実施形態についてご回答ください (1つ選択)		①都道府県の直営による実施 ②都道府県の委託による実施 ③指定実施機関による実施
問1-3	平成29年度及び平成30年度の法定研修の実施日数 (実績・予定) についてご回答ください (貴機関が実施する本課程の研修日数の合計)		平成29年度 (実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します) 平成30年度 (予定又は実績) 全体[]日間/全体集合研修[]日 コース別[]日/全[]コースを設定 (全体集合研修とは同じコースの参加者が一堂に会する研修日を指します)
問1-4	平成29年度の受講者数及び平成30年度の受講予定(または実績)者数についてご回答ください。また、平成29年度については、受講者のうち「担当している事例がない方 (管理職等に専任している方) の人数」についてもご回答ください。		平成29年度 受講者数 (実績) []名 そのうち、担当している事例がない方 (管理職等に専任している方) []名 平成30年度 受講者数 (予定又は実績) []名

問1-5	平成29年度及び平成30年度の受講料の設定方法とその額をご回答ください。(1つ選択)		①受講料にテキスト代を含む ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円(内、テキスト代 円)
			その他費用: 円
			②受講料にテキスト代を含まない ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料: 円
			テキスト代: 円
			その他費用: 円
			平成30年度(予定又は実績)
			受講料: 円
テキスト代: 円			
その他費用: 円			
問1-6	平成29年度及び平成30年度の補助金または基金の交付(実績・予定)についてご回答ください(それぞれ1つ選択)	平成29年度(実績)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
		平成30年度(予定又は実績)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
問1-7	受講要件設定についてご回答ください(1つ選択)		①介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)の通り
			②都道府県で独自の要件を設定している
問1-8	【問1-7で②(都道府県で独自の要件を設定している)を選択した方のみ】独自に設定している要件の概要がわかる資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください	
問1-9	研修全般の質やバランスを確保するため、研修課程毎または介護支援専門員研修全般において、各科目間や各研修課程間の連動性を調整し、齟齬が発生しないよう統括し、研修を計画的に運営する責任者(コースデザイン等を行っている担当者)を設置しているかご回答ください。(1つ選択)		①設置している
			②設置していないが、今後設置する予定である
			③設置していないし、今後設置する予定もない
問1-10	【問1-9で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可) ※「研修向上委員会」の定義は別シート【回答方法等】をご確認ください。		①研修向上委員会の委員
			②研修実施機関の職員
			③都道府県担当部局の職員
			④その他(下部に具体的に記入ください)

問1-11	貴都道府県では法定研修に係る『シラバス』を作成していますか。 最も近いものをご回答ください（1つ選択） ※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します	①すべての科目で作成している
		②一部の科目で作成している
		③作成していないが、今後全ての科目で作成予定（検討中を含む）
		④作成していないが、今後一部の科目で作成予定（検討中を含む）
		⑤作成していないし、今後作成する予定もない
問1-12	【問1-11で①又は②(作成している)を選択した方のみ】 『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください（1つ選択）	①都道府県が作成
		②研修向上委員会が作成
		③研修実施機関が作成
		④講師が作成（講師に作成を依頼）
		⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問1-13	遅刻・早退者・欠席者の取り扱いについて規定した資料（実施要綱等）があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(II) 研修科目・研修ツール・教材の状況		
問2-1	研修科目・研修時間数を介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）よりも多く設定している場合がありますらご回答ください（複数回答可）	①講義形式の科目で時間数を追加している
		②講義・演習一体型の科目で時間数を追加している
		③講義形式の科目を追加している
		④講義・演習一体型の科目を追加している
		⑤実施要綱通り（科目や時間数の追加はない）
		⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-2	【問2-1で①、②、③、④を選択した方のみ】 介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください。	
問2-3	講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているかご回答ください（1つ選択）	①ガイドライン通りに実施した
		②ガイドラインから変更したのもある
		③分からない（実施方法は講師に任せており研修実施機関にて把握していない）
問2-4	講義・演習一体型科目の演習の展開方法や内容を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。（可能であれば全科目分の資料をご提供ください）	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
問2-5	講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください（1つ選択）	①研修向上委員会が決めている
		②研修実施機関が決めている
		③研修講師が各自で決めている
		④その他（下部に具体的に記入ください）
問2-6	主要教材（テキスト）の概要をご回答ください	書籍名： 発行元： 価格（1冊あたり）： 円（税別） その他（独自に作成している場合等）：

問2-7	副教材（PPT等）の配布の有無についてご回答ください（1つ選択）		①副教材（PPT等）の配布がある
			②副教材（PPT等）の配布がない
問2-8	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 『副教材（PPT等）』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-9	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 副教材（PPT等）の質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けの副教材の作成研修の実施、副教材の作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-10	【問2-7で④（講師が作成している）を選択した方のみ】 講師が作成・使用している副教材（PPT等）の内容の確認状況についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①研修実施機関が内容の確認を行っている
			②研修向上委員会が内容の確認を行っている
			③都道府県が内容の確認を行っている
			④職能団体が内容の確認を行っている
			⑤副教材の内容の確認は特に行っていない
			⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-11	演習科目等におけるワークシートの使用の有無についてご回答ください（1つ選択）		①ワークシートの使用がある
			②ワークシートの使用がない
問2-12	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-13	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 ワークシートの質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けのワークシートの作成研修の実施、ワークシートの作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-14	研修で使用する「事例」の提出時期についてご回答ください。（1つ選択）		①研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の1ヶ月より前
			②研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の1週間～1ヶ月前
			③研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の2日～6日前
			④研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の当日
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-15	研修の受講時に、参加者に作成・提出してもらった事例の数をご記入ください。		

問2-16	事例の提出についての規約・規定等、ルールが分かる資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください	
問2-17	提出事例が研修受講要件を満たしているか（課程および科目にみあうものか）を確認する際の、確認基準、確認項目、確認方法についてご回答ください。（1つ選択）	①基準・確認項目を決めて、担当者が確認を行っている	
		②基準・確認項目を決めずに、担当者が確認を行っている	
		③確認はしていない	
問2-18	受講者が事例提出時に、研修の事例のテーマ要件を満たす事例がない場合の対応についてご回答ください。（複数回答可）	①テーマ以外の事例でも良いとした	
		②テキストなどにある事例を参考に用意してもらった	
		③他介護支援専門員の事例を参考に用意してもらった	
		④その他（下部に具体的に記入ください）	
（Ⅲ）講師の確保、育成の状況			
問3-1	都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください（1つ選択）	①不足	
		②やや不足	
		③適切	
		④やや過剰	
		⑤過剰	
問3-2	今年度の講師の確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	①昨年度までの講師を起用した	
		②新たに養成した	
		③独自のネットワークで声をかけた	
		④他の団体や機関に紹介を依頼した	
		⑤市町村からの推薦を受けた	
		⑥都道府県外の講師を起用した	
		⑦大学などの研究者に依頼した	
		⑧地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した	
		⑨都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した	
		⑩都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した	
問3-3	講師の選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的に回答ください。	①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り	
		②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）	

問3-4	研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)		<ul style="list-style-type: none"> ①講師養成研修の開催 ②研修ガイドラインについての説明会の開催 ③独自の研修教材(副教材)の開発 ④シラバスの作成方法の説明や指導 ⑤講師同士の意見交換会の開催 ⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など) ⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施(講師の意見の吸い上げ) ⑧研修実施機関として、講師の育成や支援は行っていない ⑨その他(下部に具体的に記入ください)
問3-5	研修実施機関として「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)		<ul style="list-style-type: none"> ①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-6	【問3-5で①(実施している)を選択した方のみ】 研修実施機関が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)		<ul style="list-style-type: none"> ①講師に評価結果をフィードバックしている ②研修講師の人選に活用している ③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問3-7	受講者による「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)		<ul style="list-style-type: none"> ①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-8	【問3-7で①(実施している)を選択した方のみ】 受講者が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)		<ul style="list-style-type: none"> ①講師に評価結果をフィードバックしている ②研修講師の人選に活用している ③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問3-9	講師の評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。		電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください

(IV) ファシリテーターの確保、育成の状況		
問4-1	都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください（1つ選択）	<input type="radio"/> ①不足 <input type="radio"/> ②やや不足 <input type="radio"/> ③適切 <input type="radio"/> ④やや過剰 <input type="radio"/> ⑤過剰
問4-2	今年度のファシリテーターの確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①昨年度までのファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ②新たに養成した <input type="checkbox"/> ③独自のネットワークで声をかけた <input type="checkbox"/> ④他の団体や機関に紹介を依頼した <input type="checkbox"/> ⑤市町村からの推薦を受けた <input type="checkbox"/> ⑥講師に推薦を依頼した <input type="checkbox"/> ⑦都道府県外のファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ⑧大学などの研究者に依頼した <input type="checkbox"/> ⑨地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した <input type="checkbox"/> ⑩都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した <input type="checkbox"/> ⑪都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問4-3	ファシリテーターの選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的にご回答ください。	<input type="checkbox"/> ①要件は特に定めていない <input type="checkbox"/> ②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問4-4	一人のファシリテーターが担当するグループ数についてご回答ください（1つ選択）	<input type="radio"/> ①10グループ以上 <input type="radio"/> ②5～9グループ <input type="radio"/> ③2～4グループ <input type="radio"/> ④1グループ
問4-5	研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催 <input type="checkbox"/> ②ガイドラインについての説明会の開催 <input type="checkbox"/> ③独自の研修教材（副教材）の開発 <input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導 <input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催 <input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック（受講者アンケート結果の共有など） <input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施（ファシリテーターの意見の吸い上げ） <input type="checkbox"/> ⑧研修実施機関として、ファシリテーターの育成や支援は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）

問4-6	研修実施機関として「ファシリテーターへの評価」を行っていますか (1つ選択)	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-7	【問4-6で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)	①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている ②ファシリテーターの人選に活用している ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-8	受講者による「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-9	【問4-8で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)	①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている ②ファシリテーターの人選に活用している ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-10	ファシリテーターの評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(V) 研修評価の実施状況について		
問5-1	研修記録シート（事前・事後・3か月）の利用状況についてご回答ください。(1つ選択)	①「事前」のみ利用している ②「事後」のみ利用している ③「事前と事後」のみ利用している ④「事前、事後、3か月後」を利用している ⑤研修記録シートを利用していない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問5-2	【問5-1で⑤（研修記録シートを利用していない）を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）を利用していない理由や利用に際しての課題等があれば、具体的に記入ください。	
問5-3	【問5-1で④（「事前、事後、3か月後」を利用している）を選択した方のみ】 「3か月後」のシートの回収、内容の評価状況についてご回答ください。(1つ選択)	①回収して、内容の評価を行った ②回収したが、内容の評価は行っていない ③回収していない（各自で自己評価）

問5-4	研修記録シート（事前・事後・3か月）の集計の実施状況についてご回答ください（1つ選択）※一部の利用でも可	①集計を行っている ②集計を行っていない ③研修記録シートを利用していない
問5-5	【問5-4で②（集計を行っていない）を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）の集計を行っていない理由をご回答ください。（複数回答可）	①研修記録シートを回収していないから ②どのように集計を行うべきか分からないから（集計ツールが整備されていないから） ③集計作業に時間を割くことが困難であるため ④集計を行う必要性を感じていないから ⑤都道府県から集計の実施を求められていないから ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問5-6	受講者の修了評価方法についてご回答ください（複数選択）。 ※受講者の評価を行っていない場合は⑧（受講者の評価は行っていない）を選択してください。	①択一式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ②記述式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ③レポート ④受講者間の相互評価 ⑤実技 ⑥講師・ファシリテーター等による評価（習熟度、受講姿勢、意欲等による総合的な評価） ⑦研修記録シート ⑧受講者の評価は行っていない ⑨その他（下部に具体的に記入ください）
問5-7	【問5-6で①（択一式テスト）又は②（記述式テスト）を選択した方のみ】 テストの内容（設問数、テスト時間、採点基準等）が分かる資料がございましたら、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
問5-8	【問5-6で⑥（講師・ファシリテーター等による評価）を選択した方のみ】 受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。（1つ選択）	①研修評価の考え方や方法についての説明会を開催 ②研修評価の考え方や方法についての説明資料を作成・配布 ③情報提供は特に実施していない ④その他（下部に具体的に記入ください）
問5-9	平成29年度及び平成30年度の研修に関して、受講者への評価結果（テスト成績、受講態度など）を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的に記入ください。（1つ選択）	①本課程の修了を認めなかったことはない ②本課程の修了を認めなかったことがある（下部に理由を具体的に記入ください） ③その他（下部に具体的に記入ください）
問5-10	研修で実施される講義や演習等についてのアンケートの実施状況についてご回答ください。（複数回答可）	①受講者向けのアンケートを実施している ②講師向けのアンケートを実施している ③ファシリテーター向けのアンケートを実施している ④特にアンケートは実施していない

問5-11	研修全般に関して、研修実施機関として「自己評価」を行っていますか。(1つ選択)	<input type="radio"/> ①実施している <input type="radio"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="radio"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="radio"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問5-12	評価結果・アンケートを都道府県内の研修実施機関全体で共有しているかご回答ください(1つ選択)	<input type="radio"/> ①共有している <input type="radio"/> ②都道府県内に他の研修実施機関があるが、共有していない <input type="radio"/> ③都道府県内に他の研修実施機関がないため、共有していない
問5-13	【問5-12で①(共有している)を選択した方のみ】共有方法をご回答ください(1つ選択)	<input type="radio"/> ①研修向上委員会で共有している <input type="radio"/> ②研修向上委員会とは別の連絡会議で共有している <input type="radio"/> ③講師・ファシリテーター向け連絡会で共有している <input type="radio"/> ④その他(下部に具体的に記入ください)
問5-14	都道府県及び研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データ等として該当するものをご回答ください。(複数選択可)	<input type="checkbox"/> ①受講者に実施したアンケート結果 <input type="checkbox"/> ②講師に実施したアンケート結果 <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターに実施したアンケート結果 <input type="checkbox"/> ④受講者・修了者数 <input type="checkbox"/> ⑤受講者・修了者のプロフィール情報 <input type="checkbox"/> ⑥研修実施機関の自己評価結果 <input type="checkbox"/> ⑦研修記録シート(未集計) <input type="checkbox"/> ⑧研修記録シート(集計済み) <input type="checkbox"/> ⑨受講者への評価に関する資料(テスト結果、提出レポートなど) <input type="checkbox"/> ⑩研修で使用した独自のワークシートや副教材 <input type="checkbox"/> ⑪都道府県及び研修向上委員会に情報、データの提供は行っていない <input type="checkbox"/> ⑫その他(下部に具体的に記入ください)
問5-15	都道府県及び研修向上委員会から研修実施機関に対して、研修の運営に必要な情報、データは十分に提供されていますか。最も近いものを1つ選択してください。(1つ選択)	<input type="radio"/> ①必要な情報、データはすべて提供されている <input type="radio"/> ②必要な情報、データは概ね提供されている <input type="radio"/> ③必要な情報、データはあまり提供されていない <input type="radio"/> ④必要な情報、データは全く提供されていない
問5-16	研修の質の向上に向けて、都道府県及び研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データ等があればご記入ください。	
問5-17	本課程の受講者は「関係者との連絡調整、スーパーバイズ、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践すること」ができるようになったと思いますか。(1つ選択)	<input type="radio"/> ①できるようになった <input type="radio"/> ②概ねできるようになった <input type="radio"/> ③あまりできるようになっていない <input type="radio"/> ④できるようになっていない

(VI) その他		
問6-1	本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的にご回答ください（他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください）	
問6-2	本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的にご回答ください（受講者要件など）	
問6-3	PDCAサイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください	

問1-5	平成29年度及び平成30年度の受講料の設定方法とその額をご回答ください。(1つ選択)		①受講料にテキスト代を含む ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料(テキスト代含む) : 円
			その他費用 : 円
			平成30年度(予定)
			受講料(テキスト代含む) : 円
			その他費用 : 円
			②受講料にテキスト代を含まない ※以下に具体的な額をご記入ください
			平成29年度(実績)
			受講料 : 円
			テキスト代 : 円
			その他費用 : 円
			平成30年度(予定)
			受講料 : 円
テキスト代 : 円			
その他費用 : 円			
問1-6	平成29年度及び平成30年度の補助金または基金の交付(実績・予定)についてご回答ください(それぞれ1つ選択)	平成29年度(実績)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
		平成30年度(予定)	①補助や交付あり(一部あるいは全部)
			②補助や交付なし
問1-7	受講要件設定についてご回答ください(1つ選択)		①介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)の通り
			②都道府県で独自の要件を設定している
問1-8	【問1-7で②(都道府県で独自の要件を設定している)を選択した方のみ】独自に設定している要件の概要がわかる資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください	
問1-9	研修全般の質やバランスを確保するため、研修課程毎または介護支援専門員研修全般において、各科目間や各研修課程間の連動性を調整し、齟齬が発生しないよう統括し、研修を計画的に運営する責任者(コースデザイナー等を行っている担当者)を設置しているかご回答ください。(1つ選択)		①設置している
			②設置していないが、今後設置する予定である
			③設置していないし、今後設置する予定もない
問1-10	【問1-9で①(設置している)又は②(設置する予定)を選択した方のみ】その役割を誰が担っているか(担う予定を含む)をご回答ください(複数回答可) ※「研修向上委員会」の定義は別シート【回答方法等】をご確認ください。		①研修向上委員会の委員
			②研修実施機関の職員
			③都道府県担当部局の職員
			④その他(下部に具体的に記入ください)

問1-11	貴都道府県では法定研修に係る『シラバス』を作成していますか。 最も近いものをご回答ください（1つ選択） ※シラバスとは、講義・演習の目的、講義・演習の計画、事前準備、講義・演習の進め方等の講義・演習の全体像を示す文書を指します		①すべての科目で作成している ②一部の科目で作成している ③作成していないが、今後全ての科目で作成予定（検討中を含む） ④作成していないが、今後一部の科目で作成予定（検討中を含む） ⑤作成していないし、今後作成する予定もない
問1-12	【問1-11で①又は②(作成している)を選択した方のみ】 『シラバス』の作成主体について最も近いものをご回答ください（1つ選択）		①都道府県が作成 ②研修向上委員会が作成 ③研修実施機関が作成 ④講師が作成（講師に作成を依頼） ⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問1-13	遅刻・早退者・欠席者の取り扱いについて規定した資料（実施要綱等）があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください	
(Ⅱ) 研修科目・研修ツール・教材の状況			
問2-1	研修科目・研修時間数を介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）よりも多く設定している場合がありますらご回答ください（複数回答可）		①講義形式の科目で時間数を追加している ②講義・演習一体型の科目で時間数を追加している ③講義形式の科目を追加している ④講義・演習一体型の科目を追加している ⑤実施要綱通り（科目や時間数の追加はない） ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-2	【問2-1で①、②、③、④を選択した方のみ】 介護支援専門員資質向上事業実施要綱（厚労省通知）以外に時間数・科目を追加した理由、追加した時間数・科目の内容をご回答ください。		
問2-3	講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているかご回答ください（1つ選択）		①ガイドライン通りに実施した ②ガイドラインから変更したのもある ③分からない（実施方法は講師に任せており研修実施機関にて把握していない）
問2-4	講義・演習一体型科目の演習の展開方法や内容を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。（可能であれば全科目分の資料をご提供ください）	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください	
問2-5	講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方についてご回答ください（1つ選択）		①研修向上委員会が決めている ②研修実施機関が決めている ③研修講師が各自で決めている ④その他（下部に具体的に記入ください）
問2-6	主要教材（テキスト）の概要をご回答ください		書籍名： 発行元： 価格（1冊あたり）： 円（税別） その他（独自に作成している場合等）：

問2-7	副教材（PPT等）の配布の有無についてご回答ください（1つ選択）		①副教材（PPT等）の配布がある
			②副教材（PPT等）の配布がない
問2-8	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 『副教材（PPT等）』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-9	【問2-7で①（副教材（PPT等）の配布がある）を選択した方のみ】 副教材（PPT等）の質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けの副教材の作成研修の実施、副教材の作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-10	【問2-7で④（講師が作成している）を選択した方のみ】 講師が作成・使用している副教材（PPT等）の内容の確認状況についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①研修実施機関が内容の確認を行っている
			②研修向上委員会が内容の確認を行っている
			③都道府県が内容の確認を行っている
			④職能団体が内容の確認を行っている
			⑤副教材の内容の確認は特に行っていない
			⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問2-11	演習科目等におけるワークシートの使用の有無についてご回答ください（1つ選択）		①ワークシートの使用がある
			②ワークシートの使用がない
問2-12	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 『ワークシート』の作成主体についてあてはまるものをすべてご回答ください。（複数回答可）		①都道府県が作成している
			②研修向上委員会が作成している
			③研修実施機関が作成している
			④講師が作成している
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-13	【問2-11で①（ワークシートの使用がある）を選択した方のみ】 ワークシートの質の向上及び平準化に関して、研修実施機関として、独自の取り組みや工夫をされておりましたら、その内容を具体的に回答ください。 （例：講師向けのワークシートの作成研修の実施、ワークシートの作成に関する独自のガイドラインの作成など）		
問2-14	研修で使用する「事例」の提出時期についてご回答ください。（1つ選択）		①研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の1ヶ月より前
			②研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の1週間～1ヶ月前
			③研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の2日～6日前
			④研修開催日（講義・演習一体型科目実施日）の当日
			⑤その他（下部に具体的に記入ください）
問2-15	研修の受講時に、参加者に作成・提出してもらった事例の数をご記入ください。		

問2-16	事例の提出についての規約・規定等、ルールが分かる資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください	
問2-17	提出事例が研修受講要件を満たしているか（課程および科目にみあうものか）を確認する際の、確認基準、確認項目、確認方法についてご回答ください。（1つ選択）		<input type="radio"/> ①基準・確認項目を決めて、担当者が確認を行っている <input type="radio"/> ②基準・確認項目を決めずに、担当者が確認を行っている <input type="radio"/> ③確認はしていない
問2-18	受講者が事例提出時に、研修の事例のテーマ要件を満たす事例がない場合の対応についてご回答ください。（複数回答可）		<input type="checkbox"/> ①テーマ以外の事例でも良いとした <input type="checkbox"/> ②テキストなどにある事例を参考に用意してもらった <input type="checkbox"/> ③他の介護支援専門員の事例を参考に用意してもらった <input type="checkbox"/> ④その他（下部に具体的に記入ください）
問2-19	演習時に、グループに研修の事例のテーマ要件を満たす事例がない場合の対応についてご回答ください。（1つ選択）		<input type="checkbox"/> ①テーマ以外の事例で演習を行った <input type="checkbox"/> ②テキストなどにある事例を参考に演習を行った <input type="checkbox"/> ③他の介護支援専門員の事例を参考に演習を行った <input type="checkbox"/> ④その他（下部に具体的に記入ください）
（Ⅲ）講師の確保、育成の状況			
問3-1	都道府県における、講師の過不足感についてご回答ください（1つ選択）		<input type="radio"/> ①不足 <input type="radio"/> ②やや不足 <input type="radio"/> ③適切 <input type="radio"/> ④やや過剰 <input type="radio"/> ⑤過剰
問3-2	今年度の講師の確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）		<input type="checkbox"/> ①昨年度までの講師を起用した <input type="checkbox"/> ②新たに養成した <input type="checkbox"/> ③独自のネットワークで声をかけた <input type="checkbox"/> ④他の団体や機関に紹介を依頼した <input type="checkbox"/> ⑤市町村からの推薦を受けた <input type="checkbox"/> ⑥都道府県外の講師を起用した <input type="checkbox"/> ⑦大学などの研究者に依頼した <input type="checkbox"/> ⑧地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した <input type="checkbox"/> ⑨都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した <input type="checkbox"/> ⑩都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問3-3	講師の選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、独自の要件を設定している科目、要件の内容を具体的に回答ください。		<input type="checkbox"/> ①介護支援専門員資質向上事業実施要綱の通り <input type="checkbox"/> ②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）

問3-4	研修実施機関として実施している講師の育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。(複数回答可)		<ul style="list-style-type: none"> ①講師養成研修の開催 ②研修ガイドラインについての説明会の開催 ③独自の研修教材(副教材)の開発 ④シラバスの作成方法の説明や指導 ⑤講師同士の意見交換会の開催 ⑥法定研修実施後のフィードバック(受講者アンケート結果の共有など) ⑦講師へのアンケートやヒアリングの実施(講師の意見の吸い上げ) ⑧研修実施機関として、講師の育成や支援は行っていない ⑨その他(下部に具体的に記入ください)
問3-5	研修実施機関として「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)		<ul style="list-style-type: none"> ①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-6	【問3-5で①(実施している)を選択した方のみ】 研修実施機関が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)		<ul style="list-style-type: none"> ①講師に評価結果をフィードバックしている ②研修講師の人選に活用している ③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問3-7	受講者による「講師への評価」を行っていますか(1つ選択)		<ul style="list-style-type: none"> ①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問3-8	【問3-7で①(実施している)を選択した方のみ】 受講者が講師に対して行った評価結果の活用状況についてご回答ください。(複数選択可)		<ul style="list-style-type: none"> ①講師に評価結果をフィードバックしている ②研修講師の人選に活用している ③研修講師の育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問3-9	講師の評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。		電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください

(IV) ファシリテーターの確保、育成の状況		
問4-1	都道府県における、ファシリテーターの過不足感についてご回答ください（1つ選択）	<input type="radio"/> ①不足 <input type="radio"/> ②やや不足 <input type="radio"/> ③適切 <input type="radio"/> ④やや過剰 <input type="radio"/> ⑤過剰
問4-2	今年度のファシリテーターの確保方法について近いものをご回答ください（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①昨年度までのファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ②新たに養成した <input type="checkbox"/> ③独自のネットワークで声をかけた <input type="checkbox"/> ④他の団体や機関に紹介を依頼した <input type="checkbox"/> ⑤市町村からの推薦を受けた <input type="checkbox"/> ⑥講師に推薦を依頼した <input type="checkbox"/> ⑦都道府県外のファシリテーターを起用した <input type="checkbox"/> ⑧大学などの研究者に依頼した <input type="checkbox"/> ⑨地域同行型研修のアドバイザー（主任介護支援専門員）に依頼した <input type="checkbox"/> ⑩都道府県内の主任介護支援専門員に依頼した <input type="checkbox"/> ⑪都道府県内の特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員に依頼した
問4-3	ファシリテーターの選定基準についてご回答ください（1つ選択） 独自の要件を設定している場合、その要件の内容を具体的に回答ください。	<input type="checkbox"/> ①要件は特に定めていない <input type="checkbox"/> ②都道府県で独自の要件を設定している（下部に具体的に記入ください）
問4-4	一人のファシリテーターが担当するグループ数についてご回答ください（1つ選択）	<input type="radio"/> ①10グループ以上 <input type="radio"/> ②5～9グループ <input type="radio"/> ③2～4グループ <input type="radio"/> ④1グループ
問4-5	研修実施機関として実施しているファシリテーターの育成・支援施策として、該当するものをご回答ください。（複数回答可）	<input type="checkbox"/> ①ファシリテーター養成研修の開催 <input type="checkbox"/> ②ガイドラインについての説明会の開催 <input type="checkbox"/> ③独自の研修教材（副教材）の開発 <input type="checkbox"/> ④シラバスの作成方法の説明や指導 <input type="checkbox"/> ⑤ファシリテーター同士の意見交換会の開催 <input type="checkbox"/> ⑥法定研修実施後のフィードバック <small>（受講者アンケート結果の共有など）</small> <input type="checkbox"/> ⑦ファシリテーターへのアンケートやヒアリングの実施 <small>（ファシリテーターの意見の吸い上げ）</small> <input type="checkbox"/> ⑧研修実施機関として、ファシリテーターの育成や支援は行っていない <input type="checkbox"/> ⑨その他（下部に具体的に記入ください）

問4-6	研修実施機関として「ファシリテーターへの評価」を行っていますか (1つ選択)	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-7	【問4-6で①（実施している）を選択した方のみ】 研修実施機関が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている ②ファシリテーターの人選に活用している ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-8	受講者による「ファシリテーターへの評価」を行っていますか（1つ選択）	①実施している ②実施していないが、今後実施する予定である ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問4-9	【問4-8で①（実施している）を選択した方のみ】 受講者が行った「ファシリテーターへの評価」の結果の活用状況についてご回答ください。（複数選択可）	①ファシリテーターに評価結果をフィードバックしている ②ファシリテーターの人選に活用している ③ファシリテーターの育成・支援施策の内容検討に活用している ④研修内容の検討に活用している ⑤特に活用は行っていない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問4-10	ファシリテーターの評価基準や評価体制を示す資料等があれば、電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）にてご提供ください。	電子データ（WORD、PDF、EXCEL等）のファイル名を下部にご記入ください
(V) 研修評価の実施状況について		
問5-1	研修記録シート（事前・事後・3か月）の利用状況についてご回答ください。（1つ選択）	①「事前」のみ利用している ②「事後」のみ利用している ③「事前と事後」のみ利用している ④「事前、事後、3か月後」を利用している ⑤研修記録シートを利用していない ⑥その他（下部に具体的に記入ください）
問5-2	【問5-1で⑤（研修記録シートを利用していない）を選択した方のみ】 研修記録シート（事前・事後・3か月）を利用していない理由や利用に際しての課題等があれば、具体的に記入ください。	

問5-3	【問5-1で④(「事前、事後、3か月後」を利用している)を選択した方のみ】 「3か月後」のシートの回収、内容の評価状況についてご回答ください。(1つ選択)	①回収して、内容の評価を行った ②回収したが、内容の評価は行っていない ③回収していない(各自で自己評価)
問5-4	研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計の実施状況についてご回答ください(1つ選択) ※一部の利用でも可	①集計を行っている ②集計を行っていない ③研修記録シートを利用していない
問5-5	【問5-4で②(集計を行っていない)を選択した方のみ】 研修記録シート(事前・事後・3か月)の集計を行っていない理由をご回答ください。(複数回答可)	①研修記録シートを回収していないから ②どのように集計を行うべきか分からないから (集計ツールが整備されてないから) ③集計作業に時間を割くことが困難であるため ④集計を行う必要性を感じていないから ⑤都道府県から集計の実施を求められていないから ⑥その他(下部に具体的に記入ください)
問5-6	受講者の修了評価方法についてご回答ください(複数選択)。 ※受講者の評価を行っていない場合は⑧(受講者の評価は行っていない)を選択してください。	①択一式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ②記述式テスト ⇒テストの内容が分かる資料をご提供ください ③レポート ④受講者間の相互評価 ⑤実技 ⑥講師・ファシリテーター等による評価 (習熟度、受講姿勢、意欲等による総合的な評価) ⑦研修記録シート ⑧受講者の評価は行っていない ⑨その他(下部に具体的に記入ください)
問5-7	【問5-6で①(択一式テスト)又は②(記述式テスト)を選択した方のみ】 テストの内容(設問数、テスト時間、採点基準等)が分かる資料がございましたら、電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)にてご提供ください。	電子データ(WORD、PDF、EXCEL等)のファイル名を下部にご記入ください
問5-8	【問5-6で⑥(講師・ファシリテーター等による評価)を選択した方のみ】 受講者の評価の実施に関して、講師・ファシリテーターへ研修評価の考え方や方法についての情報提供の実施状況についてご回答ください。(1つ選択)	①研修評価の考え方や方法についての説明会を開催 ②研修評価の考え方や方法についての説明資料を作成・配布 ③情報提供は特に実施していない ④その他(下部に具体的に記入ください)
問5-9	平成29年度及び平成30年度の研修に関して、受講者への評価結果(テスト成績、受講態度など)を理由として、受講者の本課程の修了を認めなかったことはありますか。また、事例がある場合には、修了を認めなかった理由を具体的に記入ください。(1つ選択)	①本課程の修了を認めなかったことはない ②本課程の修了を認めなかったことがある (下部に理由を具体的に記入ください) ③その他(下部に具体的に記入ください)

問5-10	研修で実施される講義や演習等についてのアンケートの実施状況についてご回答ください。(複数回答可)	<input type="checkbox"/> ①受講者向けのアンケートを実施している <input type="checkbox"/> ②講師向けのアンケートを実施している <input type="checkbox"/> ③ファシリテーター向けのアンケートを実施している <input type="checkbox"/> ④特にアンケートは実施していない
問5-11	研修全般に関して、研修実施機関として「自己評価」を行っていますか。(1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①実施している <input type="checkbox"/> ②実施していないが、今後実施する予定である <input type="checkbox"/> ③実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施すると思う <input type="checkbox"/> ④実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しないと思う
問5-12	評価結果・アンケートを都道府県内の研修実施機関全体で共有しているかご回答ください(1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①共有している <input type="checkbox"/> ②都道府県内に他の研修実施機関があるが、共有していない <input type="checkbox"/> ③都道府県内に他の研修実施機関がないため、共有していない
問5-13	【問5-12で①(共有している)を選択した方のみ】 共有方法をご回答ください(1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①研修向上委員会で共有している <input type="checkbox"/> ②研修向上委員会とは別の連絡会議で共有している <input type="checkbox"/> ③講師・ファシリテーター向け連絡会で共有している <input type="checkbox"/> ④その他(下部に具体的に記入ください)
問5-14	都道府県及び研修向上委員会に対して、研修実施機関から提供・報告している情報、データ等として該当するものをご回答ください。(複数選択可)	<input type="checkbox"/> ①受講者に実施したアンケート結果 <input type="checkbox"/> ②講師に実施したアンケート結果 <input type="checkbox"/> ③ファシリテーターに実施したアンケート結果 <input type="checkbox"/> ④受講者・修了者数 <input type="checkbox"/> ⑤受講者・修了者のプロフィール情報 <input type="checkbox"/> ⑥研修実施機関の自己評価結果 <input type="checkbox"/> ⑦研修記録シート(未集計) <input type="checkbox"/> ⑧研修記録シート(集計済み) <input type="checkbox"/> ⑨受講者への評価に関する資料(テスト結果、提出レポートなど) <input type="checkbox"/> ⑩研修で使用した独自のワークシートや副教材 <input type="checkbox"/> ⑪都道府県及び研修向上委員会に情報、データの提供は行っていない <input type="checkbox"/> ⑫その他(下部に具体的に記入ください)
問5-15	都道府県及び研修向上委員会から研修実施機関に対して、研修の運営に必要な情報、データは十分に提供されていますか。最も近いものを1つ選択してください。(1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①必要な情報、データはすべて提供されている <input type="checkbox"/> ②必要な情報、データは概ね提供されている <input type="checkbox"/> ③必要な情報、データはあまり提供されていない <input type="checkbox"/> ④必要な情報、データは全く提供されていない
問5-16	研修の質の向上に向けて、都道府県及び研修向上委員会に今後提供して欲しい情報、データ等があればご記入ください。	
問5-17	本課程の受講者は「各科目の指導・支援のポイントを理解し、地域の介護支援専門員を育成すること」ができるようになったと思いますか。(1つ選択)	<input type="checkbox"/> ①できるようになった <input type="checkbox"/> ②概ねできるようになった <input type="checkbox"/> ③あまりできるようになっていない <input type="checkbox"/> ④できるようになっていない

(VI) その他		
問6-1	本課程の研修の中身や演習・展開の実施に当たり、工夫していることがあれば具体的にご回答ください（他の都道府県の参考になるような取り組みを行っておられる場合、是非、ご記入ください）	
問6-2	本課程の研修の実施に関して、課題となっていることがあれば具体的にご回答ください（受講者要件など）	
問6-3	PDCAサイクルを回す観点から、研修実施機関として都道府県や国に提言、要望したいと思っていることがあればご回答ください	

参考資料 4_全国会議 事後アンケート調査票

全国介護支援専門員研修向上会議 事後アンケート		
1. 基本情報について		
(1)都道府県名	都道府県 <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	
(2)ご回答者様 お名前	ご連絡先電話番号 <input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/>	
※回答内容に関するお問い合わせ先		
(3)ご所属(あてはまるものを1つ選択してください)		
<input type="checkbox"/> ①都道府県担当者	<input type="checkbox"/> ②研修実施機関担当者	<input type="checkbox"/> ③その他
2. 全国介護支援専門員研修向上会議について		
(1)全国介護支援専門員研修向上会議についてお伺いします。		
今回の研修向上会議は今後の研修改善に向けて参考になりましたか。1つ選択してください。		
<input type="checkbox"/> ①大変参考になった。	<input type="checkbox"/> ②参考になった	
<input type="checkbox"/> ③やや参考になった	<input type="checkbox"/> ④参考にならなかった。	
(2)今回の研修向上会議について、ご意見やご要望がございましたら、具体的にご記入ください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
3. eラーニングについて		
(1)法定研修での「eラーニング(e-Learning)」の活用意向についてお伺いします。		
現在の活用意向として最も近いものを1つ選択してください。		
※eラーニング:パソコンやタブレット等のデバイス上でインターネットを利用して学ぶ学習形態を意味します。		
<input type="checkbox"/> ①活用することが決定している(活用済みも含む)	<input type="checkbox"/> ②活用に向けて具体的な調整・検討を行っている(予定も含む)	
<input type="checkbox"/> ③活用したいと考えているが、具体的な調整・検討は行っていない	<input type="checkbox"/> ④活用したいとは思わない	
(2)「eラーニング」導入に際しての課題や懸念、ご要望等がございましたら、具体的にご記入ください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		

4. 全国介護支援専門員研修向上会議の今後の開催について

(1) 次年度から当事業は新しい形態に変更となりますが、従来同様に全国の担当者が参集する場が必要かどうかについて希望をお伺いします。

現在のご希望を1つ選択してください。

<input type="checkbox"/>	①開催を希望する
<input type="checkbox"/>	②開催を希望しない

(2) 次年度以降、仮に全国の担当者が参集する場を設ける場合、何月の開催をご希望されますか。あてはまる月をご記入ください。(※1～12のいずれかの数字をご記入ください)

月頃

(3) 次年度以降、全国の担当者が参集する場を設ける場合に関して、要望等がございましたら具体的にご記入ください。

--

5. 研修修了評価システムについて

(1) 日本介護支援専門員協会が開発を進めている「研修修了評価システム」の今後の導入意向についてお伺いします。現在の導入意向として最も近いものを1つ選択してください。

<input type="checkbox"/>	①導入することが決定している
<input type="checkbox"/>	②導入に向けて具体的な調整・検討を行っている（予定も含む）
<input type="checkbox"/>	③導入したいと考えているが、具体的な調整・検討は行っていない
<input type="checkbox"/>	④導入したいとは思わない

(2) 「研修修了評価システム」導入に際しての課題や懸念、本システムに関するご質問やご要望がございましたら、具体的にご記入ください。

--

6. その他

(1) 今年度の『全国介護支援専門員研修向上会議』及び『介護支援専門員研修改善に係る調査等事業』全般に関して、ご感想やご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

--

参考資料5_全国介護支援専門員研修向上会議資料一式

平成30年度
介護支援専門員研修改善に係る調査等事業

全国介護支援専門員 研修向上会議

禁無断転載



平成31年2月21日
全国介護支援専門員研修向上会議

介護支援専門員研修の現状等

厚生労働省 老健局 振興課

禁無断転載

介護支援専門員の進むべき方向性

1 公正中立・質の高いケアマネジメントの提供

- ・ 複数職員体制による経営安定化
- ・ 正副担当制等によるスキルアップ研修の参加

2 主任ケアマネジャーを中心とした人材育成・他機関連携

- ・ 事業所内での事例検討会・OJTによる人材育成
- ・ 地域共生社会を見据えた他機関・他職種との連携

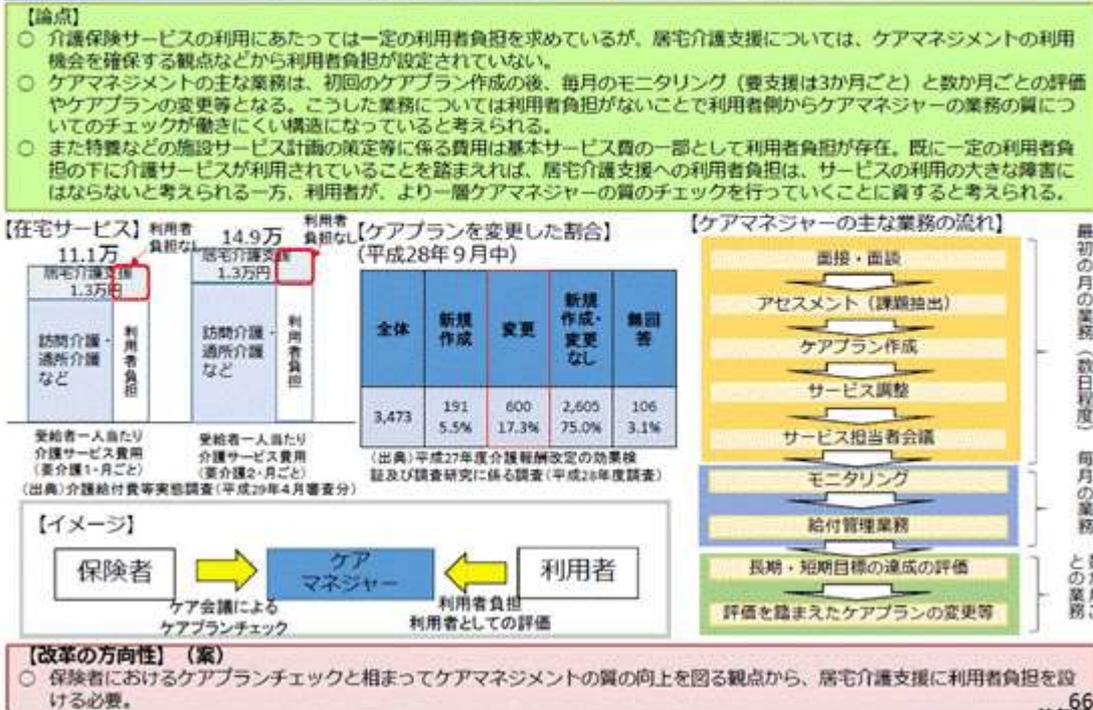
3 ICTを活用した事業所内・外連携

- ・ 業務効率化によるケアマネジメントへ注力
- ・ 利用者情報の共有によるチームケアマネジメントの促進

禁無断転載¹

ケアマネジメントの質の向上と利用者負担について

5



66 2
禁断転載

ケアマネジメントの利用者負担に関する議論

● 社会保障審議会介護保険部会「介護保険制度の見直しに関する意見」（平成28年12月9日）（抄）

利用者負担導入 賛成意見	利用者負担導入 反対意見
<ul style="list-style-type: none"> ○ ケアマネジャーの専門性を評価する意味で利用者負担を求めるべき。 ○ 家族・利用者に専門的な業務であるケアマネジメントに対するコスト意識を持ってもらうために、一定の負担は必要。 ○ 低所得者への対応は、高額介護サービス費で対処すべき問題。 ○ 利用者の意向を反映するべきとの圧力については、ケアマネジャーの専門性を高めることや、ケアマネジメントの標準化などにより対応すべき。 ○ 各種サービスには定率の利用者負担があるので、給付費の増加には直結しない。 ○ 利用者負担を導入すれば給付費の適正化につながる。 ○ 施設給付ではケアマネジメントサービスは含まれていることとの均衡を図るべき。 ○ 利用者負担の問題は何度も議論されており、どこかの時点で踏み切って解決しなければならない問題である。 <p>※ また、仮に利用者負担が導入された場合は併せてセルフケアプランを廃止することも必要との意見や、利用者負担が導入されたとしてもセルフケアプランは作成に手間がかかるため増えないとの意見があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらゆる利用者が公平にケアマネジメントを活用し、自立した日常生活の実現に資する支援が受けられるよう、現行制度を堅持すべき。 ○ ケアマネジメントは浸透したかもしれないが、介護保険制度を初めて利用する人にとっては、ケアマネジャーのサポートがないとサービスの利用につながりにくいため、ケアマネジメントが重要であることに変わりはない。利用者負担を導入すればサービスの利用抑制につながる危険性がある。 ○ ケアマネジメントは過剰サービスを抑制する役割を担っているが、利用者負担を導入すると、利用者の意向を反映すべきとの圧力が高まり、給付費の増加につながる。 ○ 利用する側が受ける不利益について十分に議論をすることが重要。気兼ねなく相談できることを確保すべき。拙速な導入は危険である。

禁断転載 3

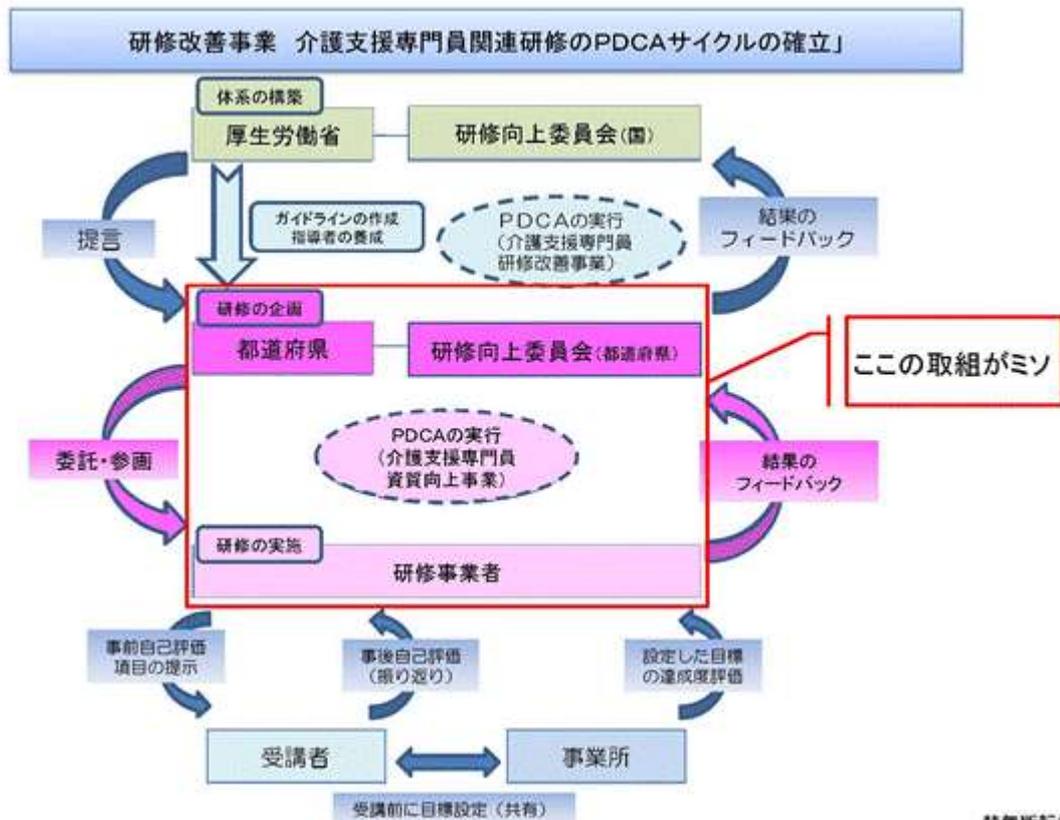
平成22～23年当時、現状における介護支援専門員の資質やそれを支える体制について、様々な指摘があり、介護保険部会や介護給付費分委会において養成・研修課程や資格の在り方に関する検討を行うよう指摘がなされた。
(下記報告書P3参照)

介護支援専門員(ケアマネジャー)の資質向上と今後のあり方に関する検討会における議論の中間的な整理(平成25年1月7日公表)

- ① 介護保険の理念である「自立支援」の考え方が、十分共有されていない。
- ② 利用者像や課題に応じた適切なアセスメント(課題把握)が必ずしも十分でない。
- ③ サービス担当者会議における多職種協働が十分に機能していない。
- ④ ケアマネジメントにおけるモニタリング、評価が必ずしも十分でない。
- ⑤ 重度者に対する医療サービスの組み込みをはじめとした医療との連携が必ずしも十分でない。
- ⑥ インフォーマルサービス(介護保険給付外のサービス)のコーディネート、地域のネットワーク化が必ずしも十分でない。
- ⑦ 小規模事業者の支援、中立・公平性の確保について、取組が必ずしも十分でない。
- ⑧ 地域における実践的な場での学び、有効なスーパービジョン機能等、介護支援専門員の能力向上の支援が必ずしも十分でない。
- ⑨ **介護支援専門員の資質に差がある現状を踏まえると、介護支援専門員の養成、研修について、実務研修受講試験の資格要件、法定研修の在り方、研修水準の平準化などに課題がある。**
- ⑩ 施設における介護支援専門員の役割が明確でない。

これらの課題には、ケアマネジメントの向上、介護支援専門員の資質の向上の両面を含んでいる。介護支援専門員とともに、**国、都道府県、保険者、事業者等が役割分担をしながら取り組んでいくことが必要。**

禁無断転載 4



禁無断転載 5

都道府県における研修向上委員会の設置状況について

問5-1 研修向上委員会の設置の有無についてご回答ください(1つ選択)

カテゴリ	件数	% (全体)	% (無回答除く)
n (%ベース)	47	47	47
①設置あり	43	91.5%	91.5%
②設置なし	4	8.5%	8.5%
無回答	0	0.0%	0.0%

問5-2 問5-1で①(設置あり)を選択した方のみご回答ください

介護支援専門員にかかる研修のガイドラインで示された研修向上委員会
(名称が異なっても実態があれば可)の設置主体についてご回答ください(1つ選択)

カテゴリ	件数	% (全体)	% (無回答除く)
n (%ベース)	43	43	43
①都道府県が設置	26	60.5%	60.5%
②研修実施機関が設置(委託)	13	30.2%	30.2%
③左記以外で設置	4	9.3%	9.3%
無回答	0	0.0%	0.0%

禁断転載 6

介護支援専門員研修における当課への照会例

【受講者からのご意見】

- ① 研修時間が長い。
- ② ケアマネの質が低いと研修の度に言われるので、やる気が減退する。
- ③ 研修を1日でも休むと(調整しても日程が合わなかった)研修の全部の受講が認められない。又、遅刻した場合、会場にも入れてもらえないことがあり対応が厳しい。
- ④ 主任ケアマネ研修について、ケアマネの仕事しながら研修に参加するため、特に一人事業所の場合、研修に参加することで事業所を空けてしまう。通信学習などをもっと導入してほしい。
- ⑤ 研修内容がどの研修も似通っており、講師のレベルも低い。内容を検討してほしい。
- ⑥ 研修費用が高く負担となっている。

【都道府県等実施側からのご意見】

- ① 地域医療介護総合確保基金で利用出来る範囲外の教材の実費分等も含んで基金を活用している自治体もある。
- ② 勤務地と登録地が県をまたいでいるため、登録地まで研修を受講しに行くことが負担となっている。都道府県同士で事務担当者と調整しようとするが、事務の仕組みが違うため、連携が図りにくい。
- ③ ケアマネ研修の中にある修了評価において、独自のテストを実施したいと考えているが可能か。

禁断転載 7

平成29年度介護支援専門員法定研修受講負担（受講料＋資料代）一覧【山形】厚生労働省老健局指導課様へ

研修科目名	定額研修	専門研修（Ⅰ）	専門研修（Ⅱ）	再研修	更新研修 （本場研修）	更新研修 （見学者） （見習）	更新研修 （見学者） （2回以上受講）	主任介護実践 専門員研修	主任介護実践 専門員更新研修
北海道	62,000	20,000	21,000	55,000	55,000	20,000	21,000	55,000	41,000
青森県	53,500	24,500	17,500	34,000	34,000	42,000	17,500	47,000	46,000
岩手県	43,000	20,000	16,000	34,000	34,000	37,000	16,000	28,000	15,000
宮城県	16,000	34,000	22,000	21,000	21,000	32,000	22,000	42,000	33,000
秋田県	27,000	24,000	16,999	28,000	28,000	16,999	16,999	20,999	20,999
山形県	55,500	27,000	15,000	40,000	40,000	20,000	15,000	41,000	23,000
福島県	73,000	17,000	15,000	53,200	53,200	32,000	15,000	23,000	20,000
茨城県	45,000	31,000	19,000	35,000	35,000	30,000	19,000	44,000	25,000
栃木県	51,000	39,000	26,000	32,000	32,000	65,000	26,000	34,000	10,000
群馬県	58,200	33,000	22,000	43,200	43,200	55,000	22,000	47,000	37,000
埼玉県	60,000	43,000	32,000	42,000	42,000	75,000	32,000	49,000	46,000
千葉県	56,000	38,000	28,000	42,000	42,000	66,000	28,000	53,000	43,000
東京都	52,800	24,500	23,800	28,500	28,500	58,300	23,800	52,600	28,000
神奈川県	60,000	43,000	32,000	42,000	42,000	75,000	32,000	50,000	40,000
新潟県	52,200	43,600	23,800	29,600	29,600	43,600	23,800	43,800	36,000
富山県	40,000	33,400	23,300	25,200	25,200	56,800	23,300	48,300	32,300
石川県	58,200	28,100	16,100	38,200	38,200	44,200	16,100	47,300	40,300
福井県	47,000	33,000	25,000	30,000	30,000	58,000	25,000	30,000	30,000
山梨県	53,000	35,000	20,000	38,000	38,000	29,000	20,000	54,300	45,300
長野県	46,000	26,000	14,000	32,000	32,000	54,000	14,000	36,000	43,000
岐阜県	34,000	33,600	24,000	36,000	36,000	28,000	24,000	58,000	43,000
静岡県	56,000	40,000	29,000	42,000	42,000	69,000	29,000	50,000	40,000
愛知県	61,200	42,400	29,400	44,900	44,900	42,400	29,400	55,000	52,000
三重県	41,000	35,600	24,300	20,200	20,200	59,300	24,300	30,600	20,000
滋賀県	53,000	31,500	19,100	38,100	38,100	31,500	19,100	32,900	25,200
京都府	56,200	41,600	27,400	43,000	43,000	47,400	27,400	44,200	43,900
大阪府	66,100	41,200	20,100	45,000	45,000	41,200	20,100	60,000	26,500
兵庫県	53,200	37,600	19,300	38,200	38,200	56,900	19,300	57,000	39,500
奈良県	52,000	30,000	21,000	31,000	31,000	51,000	21,000	44,000	39,000
和歌山県	52,000	35,000	23,000	33,000	33,000	58,000	23,000	60,000	36,000
鳥取県	52,400	38,400	22,300	36,200	36,200	60,800	22,300	40,000	30,300
徳島県	20,800	16,400	11,000	16,400	16,400	16,400	11,000	24,300	22,300
岡山県	47,000	21,000	12,500	30,500	30,500	34,000	12,500	35,400	23,000
広島県	66,600	39,400	28,300	47,600	47,600	47,600	28,300	62,000	46,100
山口県	62,200	36,500	26,500	33,500	33,500	36,500	26,500	50,000	50,000
香川県	44,000	34,400	20,300	36,000	36,000	34,400	20,300	39,300	27,300
愛媛県	62,500	32,000	28,000	60,500	60,500	47,500	28,000	40,000	42,000
高知県	55,000	45,000	25,000	45,000	45,000	65,000	25,000	52,000	46,000
福岡県	49,000	29,000	21,000	30,000	30,000	29,000	21,000	42,000	33,000
佐賀県	58,000	38,000	20,000	38,000	38,000	38,000	20,000	30,000	40,000
長門県	45,000	25,000	20,000	45,000	45,000	25,000	20,000	35,000	25,000
長崎県	59,000	30,000	30,000	40,000	40,000	30,000	30,000	40,000	40,000
熊本県	55,000	47,000	47,000	35,000	35,000	47,000	23,000	38,000	32,000
大分県	49,000	35,000	22,000	29,000	29,000	35,000	22,000	44,300	36,300
宮崎県	56,200	30,800	25,300	42,200	42,200	54,800	25,300	39,999	33,999
鹿児島県	60,200	35,400	25,300	42,200	42,200	59,800	25,300	42,300	35,300
沖縄県	40,200	28,000	24,000	31,600	31,600	52,000	24,000	40,000	28,000
平均	52,132	33,199	23,314	37,509	37,509	45,741	22,702	43,690	34,670

8 禁無断転載

地域医療介護総合確保基金を活用した介護従事者の確保

平成31年度予算案
公費：124億円（国費：82億円）

○ 地域の実情に応じた介護従事者の確保対策を支援するため、都道府県計画を踏まえて実施される「参入促進」「資質の向上」「労働環境・処遇の改善」に資する事業を支援。

参入促進	資質の向上	労働環境・処遇の改善
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進 ○ 若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした介護の職場体験 ○ 高齢者など地域の住民による生活支援の担い手の養成 ○ 介護未経験者に対する研修支援 ○ 過疎地域等の人材確保が困難な地域における合同就職説明会の実施 ○ ボランティアセンターとシルバー人材センター等の連携強化 ○ 介護事業所におけるインターンシップ等の導入促進 ○ 介護に関する入門的研修の実施からマッチングまでの一体的支援、介護の周辺業務等の体験支援（新規） ○ 介護福祉士国家資格の取得を目指す外国人留学生の受入環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護人材キャリアアップ研修支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験年数3～5年程度の中堅職員に対する研修 ・ 略歴吸引等研修 ・ 介護キャリア段階におけるアセッサー講習受講 ・ 介護支援専門員に対する研修 ○ 各種研修に係る代替要員の確保、出前研修の実施（新規） ○ 潜在介護福祉士の再就業促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識や技術を再確認するための研修の実施 ・ 離職した介護福祉士の所在等の把握 ○ 認知症ケアに携わる人材育成のための研修 ○ 地域包括ケアシステム構築に資する人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援コーディネーターの養成のための研修 ○ 認知症高齢者等の権利擁護のための人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新人介護職員に対するエルダー・メンター（新人指導担当者）制度等導入のための研修 ○ 管理者等に対する雇用改善策の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者に対する雇用管理改善のための労働関係法規、休暇・休職制度等の理解のための説明会の開催 ・ 介護従事者の負担軽減に資する介護ロボットの導入支援 ・ 新人教育やキャリアパスなど雇用管理体制の改善に取り組む事業所のコンテスト・表彰を実施 ○ 介護従事者の子育て支援のための施設内保育施設運営等の支援 ○ 子育て支援のための代替職員のマッチング ○ 介護事業所に対するICTの導入支援（新規） ○ 人材不足に関連した課題等が急務となっている介護事業所に対する業務改善支援（新規）

○ 関係機関・団体との連携・協働の推進を図るための、都道府県単位での協議会の設置
○ 介護人材育成等に取り組む事業所に対する都道府県の認証評価制度の運営支援

9 禁無断転載

居宅介護支援事業所に従事する主任介護支援専門員の推計

居宅介護支援事業所に勤務する主任ケアマネジャー数の推移

	H28	H29	H30	H31	H32
① 請求事業所数 (H28実績に直近1カ年の伸び率で推計)	39,471	40,423	41,399	42,398	43,421
② ①のうち特定事業所加算Ⅰを算定する事業所 (主任ケアマネジャーを2名配置する事業所)	395	404	414	424	434
③ 最低限必要な主任ケアマネジャー数 (①+②)	39,866	40,827	41,813	42,822	43,855
④ 居宅介護支援事業所に勤務する主任ケアマネジャー (H28実績に主任ケアマネ研修修了者のうち、居宅介護支援事業所で勤務する者 (H27実績: 4,402人) を加えた人数)	28,463	32,865	37,267	41,669	46,071
⑤ 不足する主任ケアマネジャー数 (④-③)	▲11,403	▲7,962	▲4,546	▲1,153	2,216

(参考) 主任ケアマネジャー数別の居宅介護支援事業所の分布

	全体	主任ケアマネジャー数別の分布											無回答	平均
		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人		
居宅介護支援事業所数 (調査対象数)	1572	649	482	236	96	22	18	5	0	1	0	1	62	0.93
(割合)	100.0%	41.3%	30.7%	15.0%	6.1%	1.4%	1.1%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	3.9%	-

※居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査 (平成28年度)

10
禁無断転載

平成30年度
全国介護支援専門員研修向上会議

平成30年度介護支援専門員研修改善に係る調査等 調査結果報告 (ポイント)

2019年2月21日

平成30年度介護支援専門員研修改善に係る調査等事業
研修向上委員会委員 / ワーキンググループ座長

齊木 大

禁無断転載

目次

1.研修改善に向けたマネジメントの状況

- (1) 研修向上委員会の設置
- (2) 研修向上委員会の運営自体の評価
- (3) 研修向上委員会への情報提供

2.研修の運営状況

- (1) 受講者数
- (2) ガイドラインの適用
- (3) 修了評価の方法
- (4) 研修記録シートの活用
- (5) 講師の評価
- (6) 講師・ファシリテーターの育成
- (7) 副教材の使用
- (8) 主任介護支援専門員研修

3.まとめ

禁無断転載²

目次

1.研修改善に向けたマネジメントの状況

- (1) 研修向上委員会の設置
- (2) 研修向上委員会の運営自体の評価
- (3) 研修向上委員会への情報提供

2.研修の運営状況

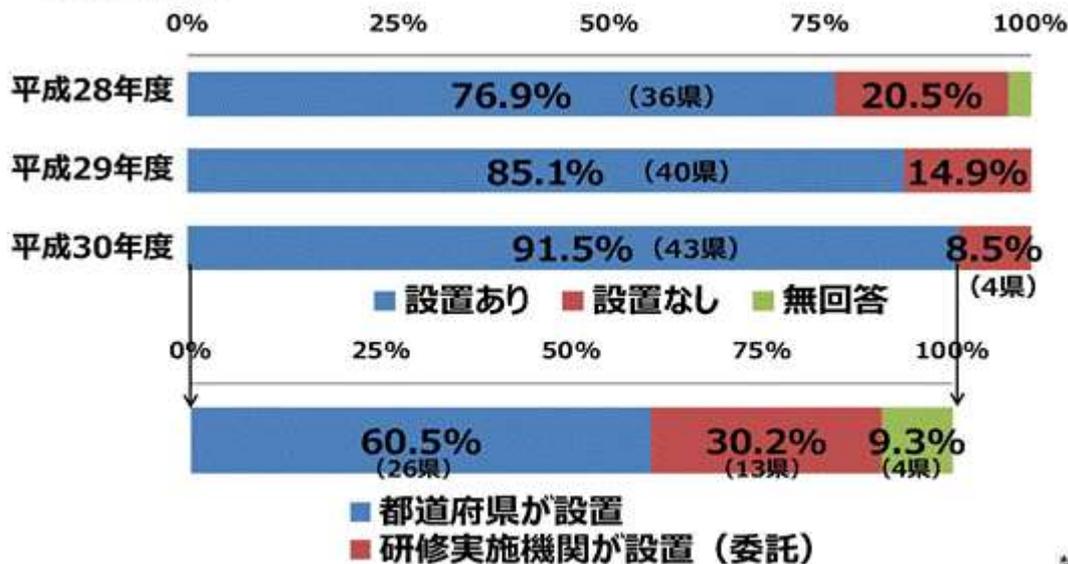
- (1) 受講者数
- (2) ガイドラインの適用
- (3) 修了評価の方法
- (4) 研修記録シートの活用
- (5) 講師の評価
- (6) 講師・ファシリテーターの育成
- (7) 副教材の使用
- (8) 主任介護支援専門員研修

3.まとめ

禁無断転載³

1. 研修改善に向けたマネジメントの状況 (1) 研修向上委員会の設置

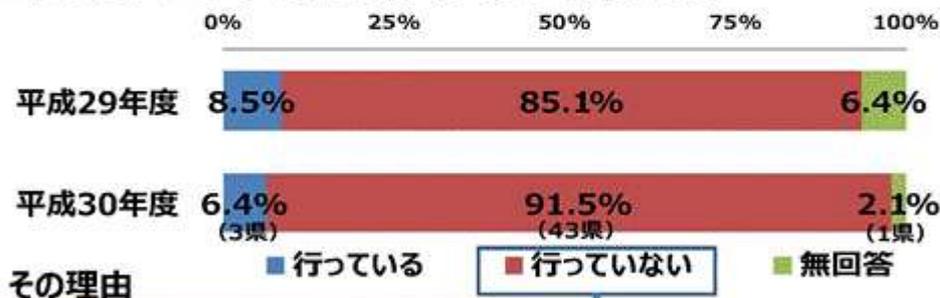
- 47県中43県（91.5%）で研修向上委員会が設置済。



4
禁無断転載

1. 研修改善に向けたマネジメントの状況 (2) 研修向上委員会の運営自体の評価

- 振り返りは行っているが、より詳細な運営評価は、「方法・基準が分からない」状況。



その理由

※複数回答	件数	% (全体)
① 運営評価の方法・評価基準が分からないから	43	43
② 研修ガイドラインに運営評価に関する記載がないから	26	60.5%
③ 都道府県が主体となり、委員会の運営を行っており、運営評価を行う必要性を感じていないから	8	18.6%
④ 研修向上委員会が未設置だから	9	20.9%
⑤ 国から運営評価の実施を求められていないから	3	7.0%
⑥ その他	18	41.9%
⑥ その他	6	14.0%
無回答	0	0.0%

5
禁無断転載

1. 研修改善に向けたマネジメントの状況

(3) 研修向上委員会への情報提供

- 委員会の設置方法にもよるが、関心が見られるため、今後の情報提供・活用が期待される。

	n	提供あり・ 検討に活用	提供あり・ 検討に未活用	提供なし・ 検討に活用 したいと思う	提供なし・ 検討に活用 したいと思わない	
都道府県からの 情報提供	都道府県内の要介護高齢者の状況	41	9.8%	9.8%	43.9%	36.6%
	都道府県内の介護給付サービスの状況	41	12.2%	9.8%	41.5%	36.6%
	都道府県内の地域密着型サービス等の社会資源の整備状況	40	7.5%	7.5%	42.5%	42.5%
	地域ケア会議で把握した介護支援専門員をとりまく課題	39	2.6%	5.1%	64.1%	28.2%
	地域間行型研修の実施状況	40	7.5%	7.5%	52.5%	32.5%
	多職種連携の取り組みの整備状況	39	5.1%	2.6%	59.0%	33.3%
実施機関からの 情報提供	受講者に実施した研修全体に関するアンケート結果	41	46.3%	9.8%	36.6%	7.3%
	受講者に実施した自己評価に関するアンケート結果	41	43.9%	7.3%	39.0%	9.8%
	受講者に実施した講師評価に関するアンケート結果	40	17.5%	7.5%	57.5%	17.5%
	受講者に実施したファシリテーター評価に関するアンケート結果	38	7.9%	5.3%	63.2%	23.7%
	講師に実施した研修全体に関するアンケート結果	38	26.3%	0.0%	60.5%	18.4%
	講師に実施した自己評価に関するアンケート結果	38	13.2%	0.0%	52.6%	34.2%
	ファシリテーターに実施した研修全体に関するアンケート結果	38	23.7%	0.0%	50.0%	26.3%
	ファシリテーターに実施した自己評価に関するアンケート結果	38	10.5%	0.0%	50.0%	39.5%
	受講者数、修了者数など受講者プロフィール	39	53.8%	7.7%	15.4%	23.1%
	研修実施機関の自己評価	37	18.9%	2.7%	56.8%	21.6%

6
禁無断転載

目次

1. 研修改善に向けたマネジメントの状況

- (1) 研修向上委員会の設置
- (2) 研修向上委員会の運営自体の評価
- (3) 研修向上委員会への情報提供

2. 研修の運営状況

- (1) 受講者数
- (2) ガイドラインの適用
- (3) 修了評価の方法
- (4) 研修記録シートの活用
- (5) 講師の評価
- (6) 講師・ファシリテーターの育成
- (7) 副教材の使用
- (8) 主任介護支援専門員研修

3. まとめ

7
禁無断転載

2.研修の運営状況

(1)受講者数

- ・ H29年度と比較して、実務課程の受講者数が激減する一方、主任課程は大幅増。

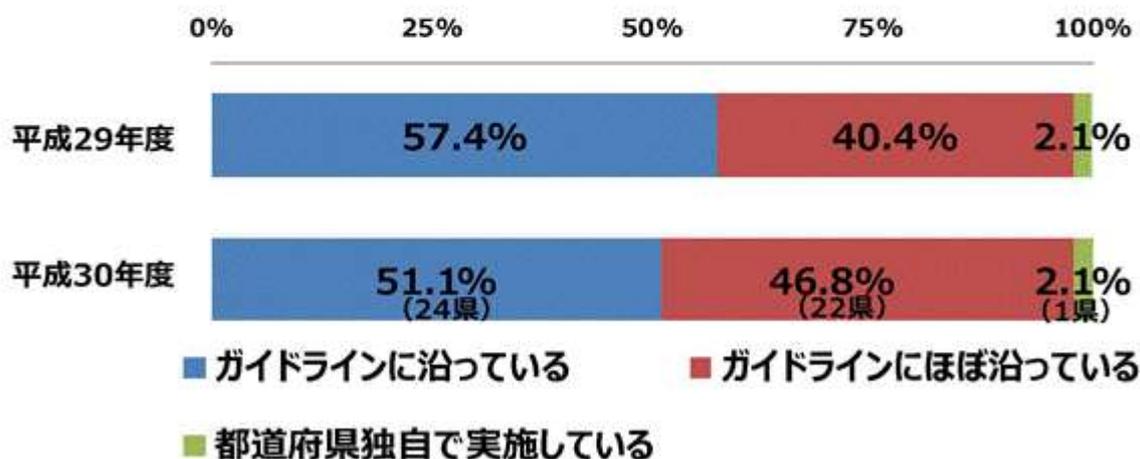
		実務	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新
平成29年度	平均	439.7	251.8	591.8	90.2	208.4
	最大	1415.0	1044.0	2946.0	385.0	1480.0
	最少	139.0	21.0	45.0	5.0	55.0
平成30年度	平均	145.8	259.5	666.5	188.6	242.1
	最大	1440.0	1630.0	2632.0	829.0	1220.0
	最少	30.0	14.0	143.0	5.0	62.0

8
禁無断転載

2.研修の運営状況

(2)ガイドラインの適用

- ・ 約半数の県において、ガイドラインの内容を一部変更して研修を実施している。



9
禁無断転載

2.研修の運営状況

(3) 修了評価の方法

- ・ H29年度と比較して、修了評価における研修記録シートの活用が減っている。

		実務	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	
		H29	n=43	n=44	n=49	n=41	n=41
		H30	n=49	n=52	n=57	n=46	n=47
テスト（択一式・記述式）	H29	30.2%	29.5%	26.5%	22.0%	24.4%	
	H30	22.4%	28.8%	26.3%	13.0%	8.5%	
レポート	H29	7.0%	6.8%	6.1%	29.3%	31.7%	
	H30	2.0%	7.7%	7.0%	30.4%	34.0%	
受講者間の相互評価	H29	4.7%	6.8%	4.1%	0.0%	2.4%	
	H30	2.0%	1.9%	1.8%	2.2%	2.1%	
実技	H29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	H30	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
講師・ファシリテーターによる評価	H29	25.6%	27.3%	20.4%	19.5%	22.0%	
	H30	22.4%	21.2%	15.8%	19.6%	19.1%	
研修記録シート	H29	79.1%	84.1%	81.6%	87.8%	85.4%	
	H30	53.1%	50.0%	49.1%	52.2%	55.3%	
受講者の評価は行っていない	H29	-	-	-	-	-	
	H30	0.0%	13.5%	19.3%	15.2%	21.3%	

10
禁無断転載

2.研修の運営状況

(4) 研修記録シートの活用

- ・ 研修記録シートの利用状況を見ると「事前と事後」、「事前、事後、3か月後」が多い。

		実務	専門Ⅰ	専門Ⅱ	再研修	主任	主任更新	
		H29	n=48	n=50	n=52	n=46	n=46	n=47
		H30	n=49	n=52	n=57	n=49	n=46	n=48
「事前」のみ利用している	H29	0.0%	0.0%	1.9%	2.2%	0.0%	2.1%	
	H30	0.0%	3.8%	5.3%	2.0%	6.5%	2.1%	
「事後」のみ利用している	H29	0.0%	2.0%	1.9%	2.2%	0.0%	2.1%	
	H30	2.0%	1.9%	1.8%	2.0%	0.0%	0.0%	
「事前と事後」のみ利用している	H29	43.8%	38.0%	40.4%	37.0%	32.6%	34.0%	
	H30	40.8%	32.7%	35.1%	42.9%	30.4%	35.4%	
「事前、事後、3か月後」を利用している	H29	35.4%	46.0%	44.2%	41.3%	54.3%	51.1%	
	H30	42.9%	44.2%	40.4%	42.9%	52.2%	52.1%	
研修記録シートを利用していない	H29	-	-	-	-	-	-	
	H30	12.2%	17.3%	15.8%	8.2%	8.7%	10.4%	
その他	H29	10.4%	4.0%	3.8%	4.3%	2.2%	4.3%	
	H30	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.2%	0.0%	
無回答	H29	10.4%	10.0%	7.7%	13.0%	10.9%	6.4%	
	H30	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	

11
禁無断転載

2.研修の運営状況

(4) 研修記録シートの活用

- ・ 約4割の機関が集計を行っていない。
- ・ 集計していない理由の上位は、「集計作業に時間を割くことが困難」であること。

	実務 n=41	専門Ⅰ n=43	専門Ⅱ n=47	再研修 n=43	主任 n=41	主任更新 n=42
集計を行っている	53.7%	67.4%	66.0%	53.5%	61.0%	57.1%
集計を行っていない	46.3%	32.6%	34.0%	46.5%	39.0%	42.9%

その理由

	実務 n=19	専門Ⅰ n=13	専門Ⅱ n=17	再研修 n=20	主任 n=16	主任更新 n=18
研修記録シートを回収していないから	0.0%	23.1%	11.8%	0.0%	6.3%	5.6%
どのように集計を行うべきか分からないから	26.3%	23.1%	29.4%	20.0%	12.5%	22.2%
集計作業に時間を割くことが困難であるため	63.2%	84.6%	70.6%	65.0%	68.8%	72.2%
集計を行う必要性を感じていないから	26.3%	15.4%	11.8%	30.0%	25.0%	16.7%
都道府県から集計の実施を求められていないから	31.6%	30.8%	23.5%	35.0%	25.0%	22.2%
その他	15.8%	0.0%	5.9%	15.0%	0.0%	11.1%
無回答	0.0%	7.7%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%

12
禁無断転載

2.研修の運営状況

(5) 講師の評価

- ・ 受講者による講師評価を約2割で実施。
- ・ 関心は大きいいため、今後、評価様式等が示されれば実施が広がる可能性がある。

実施した場合の活用方法

	実務 n=49	専門Ⅰ n=52	専門Ⅱ n=57	再研修 n=49	主任 n=47	主任更新 n=31
実施している	22.4%	15.4%	17.5%	18.4%	14.9%	14.3%
実施していないが、今後実施する予定である	6.1%	1.9%	3.5%	2.0%	6.4%	6.1%
実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。しかし、国や都道府県から評価様式が示されれば、実施する	59.2%	69.2%	68.4%	69.4%	61.7%	59.2%
実施していないし、現時点で今後実施する予定もない。また、国や都道府県から評価様式等が示されても、実施しない	12.2%	9.6%	8.8%	10.2%	12.8%	10.2%
無回答	0.0%	3.8%	1.8%	0.0%	4.3%	10.2%

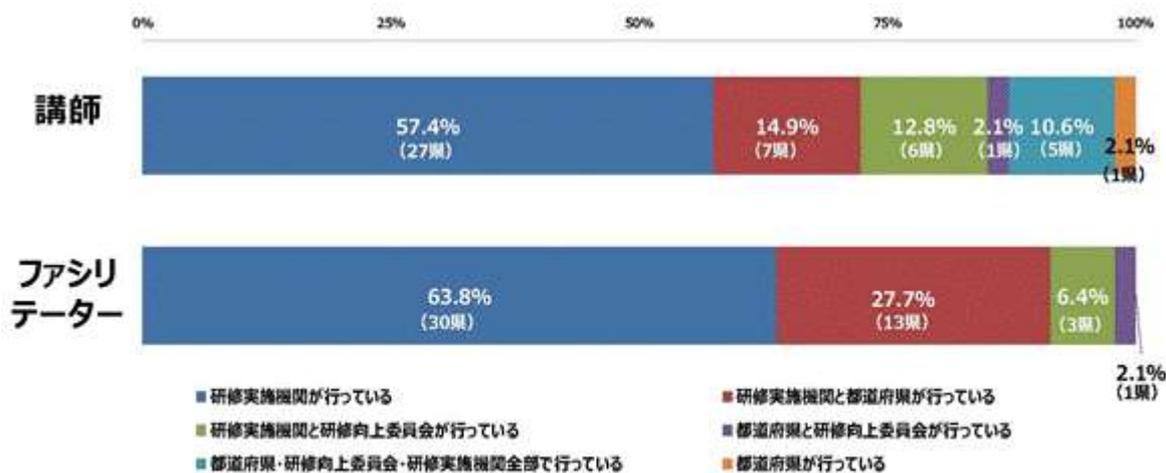
	実務 n=11	専門Ⅰ n=8	専門Ⅱ n=10	再研修 n=9	主任 n=7	主任更新 n=7
評価結果をフィードバックしている	63.6%	87.5%	60.0%	77.8%	71.4%	71.4%
人選に活用している	18.2%	12.5%	30.0%	11.1%	42.9%	28.6%
育成、支援施策の内容検討に活用している	9.1%	0.0%	20.0%	0.0%	14.3%	28.6%
研修内容の検討に活用している	18.2%	37.5%	50.0%	22.2%	42.9%	28.6%
特に活用は行っていない	9.1%	12.5%	20.0%	11.1%	14.3%	14.3%

13
禁無断転載

2.研修の運営状況

(6)講師・ファシリテーターの養成

- ・ ほぼ全ての県で研修実施機関が実施であり、
加えて都道府県も実施しているのは3割程度。



14
禁無断転載

2.研修の運営状況

(7)副教材の使用

- ・ 実務・専門課程の8割以上で副教材がある一方、
主任・主任更新では配布が無い割合が増加。

課程	年度	副教材 (PPT等) の配布がある	副教材 (PPT等) の配布がない	無回答
実務	H29 (n=48)	83.3%	16.7%	0.0%
	H30 (n=46)	82.6%	17.4%	0.0%
専門Ⅰ	H29 (n=52)	82.0%	18.0%	0.0%
	H30 (n=52)	82.7%	17.3%	0.0%
専門Ⅱ	H29 (n=57)	82.7%	15.4%	1.9%
	H30 (n=57)	82.5%	17.5%	0.0%
主任	H29 (n=47)	89.1%	10.9%	0.0%
	H30 (n=47)	72.3%	21.3%	6.4%
主任更新	H29 (n=49)	80.9%	19.1%	0.0%
	H30 (n=49)	69.4%	24.5%	6.1%

15
禁無断転載

2.研修の運営状況

(7)副教材の使用

- ・ 研修実施機関において、講師が作成している副教材を確認していないのが約2割。

	実務 n=32	専門Ⅰ n=37	専門Ⅱ n=41	再研修 n=34	主任 n=33	主任更新 n=31
①研修実施機関が内容の確認を行っている	71.9%	69.4%	65.9%	70.6%	63.6%	61.3%
②研修向上委員会が内容の確認を行っている	12.5%	19.4%	12.2%	11.8%	15.2%	16.1%
③都道府県が内容の確認を行っている	6.3%	8.3%	4.9%	8.8%	3.0%	6.5%
④職能団体が内容の確認を行っている	3.1%	5.6%	4.9%	0.0%	3.0%	6.5%
⑤副教材の内容の確認は特に行っていない	21.9%	22.2%	22.0%	23.5%	21.2%	25.8%
⑥その他	6.3%	5.6%	7.3%	5.9%	12.1%	9.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

16
禁無断転載

2.研修の運営状況

(8)主任介護支援専門員研修

- ・ 主任介護支援専門員研修では、課程全体の目標達成の状況が実務を除く他の課程と比較して低い。
- ・ 自由記述回答でも受講者プロフィールが大きく変化したとの意見があり、工夫が必要な状況。

	実務 (n=49)	専門Ⅰ (n=51)	専門Ⅱ (n=57)	主任 (n=47)	主任更新 (n=49)
①できるようになった	8.2%	0.0%	8.8%	0.0%	0.0%
②概ねできるようになった	77.6%	94.1%	84.2%	78.7%	83.7%
③あまりできるようになっていない	12.2%	5.9%	5.3%	12.8%	12.2%
④できるようになっていない	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%
無回答	2.0%	0.0%	1.8%	6.4%	4.1%
①+②	85.7%	94.1%	93.0%	78.7%	83.7%

17
禁無断転載

目次

1. 研修改善に向けたマネジメントの状況

- (1) 研修向上委員会の設置
- (2) 研修向上委員会の運営自体の評価
- (3) 研修向上委員会への情報提供

2. 研修の運営状況

- (1) 受講者数
- (2) ガイドラインの適用
- (3) 修了評価の方法
- (4) 研修記録シートの活用
- (5) 講師の評価
- (6) 講師・ファシリテーターの育成
- (7) 副教材の使用
- (8) 主任介護支援専門員研修

3. まとめ

18
禁無断転載

3. まとめ ～調査結果を踏まえた今後の課題

1. 研修向上委員会の運営

- 研修向上委員会の設置が進む。残りは人口小規模県であり、一体的な運営実態がある
- 今後は、「一体型」「別設置型」それぞれに、機能充実にに向けた取り組みが必要

2. 研修向上委員会の運営評価と情報共有

- 正式な運営評価の実施は少ない。また、検討材料としての情報提供も限定的
- 振り返りや委員会を介さない情報共有はある。今後は、より効果的な方法の普及が必要

3. 研修記録シートの活用

- 修了評価での利用等活用が多いものの、H29年度に比べると減少
- 集計の手間の負担が活用の壁となっている。併せて、どのようにデータを活用するかの好ノウハウの共有が必要

19
禁無断転載

3.まとめ ～調査結果を踏まえた今後の課題

4.講師・ファシリテーターの評価

- 受講者による講師評価は実施できていないが、様式があれば実施したい意向が大きい
- 研修手法の改善や講師育成に反映させるためにも、効果的な評価方法の確立が必要

5.副教材の活用

- 副教材を活用している割合が大きく、かつ内容確認していない割合も一定数ある
- 講師負担軽減の観点からも、共通副教材の開発・活用を積極的に考える必要

6.研修手法の改善

- 今年度の主任課程をはじめ、受講者のプロフィールの多様性が大きくなっている
- 例えば、初日の導入を工夫する等、受講者の受講意識・目標設定を整える工夫が必要
- 加えて、研修コスト削減の観点からも、今後はe-ラーニングの積極的活用も検討要

20
禁無断転載



平成30年度介護支援専門員研修改善に係る調査等事業
全国介護支援専門員研修向上会議

【適切なケアマネジメント手法を活用したケアマネジメント実践】

適切なケアマネジメント手法の概要と活用 〈モデル研修資料〉

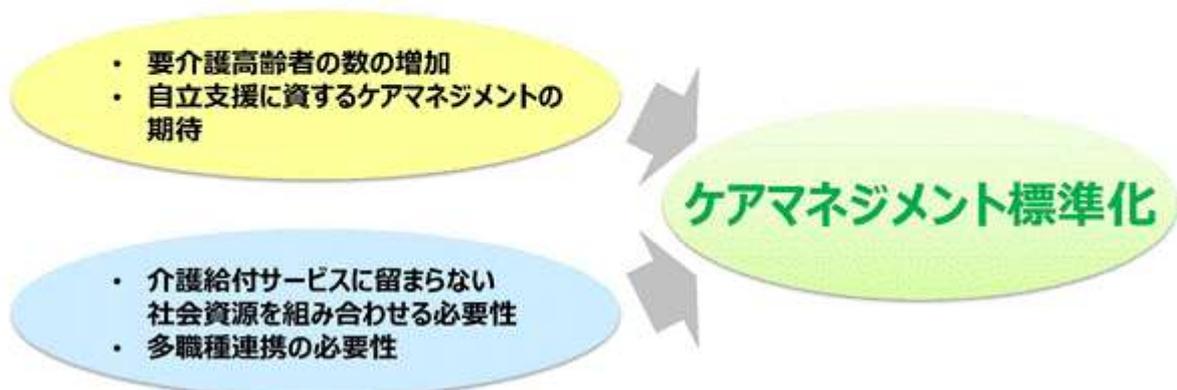
株式会社日本総合研究所

1. 適切なケアマネジメント手法 開発の背景とねらい

ケアマネジメント標準化の背景

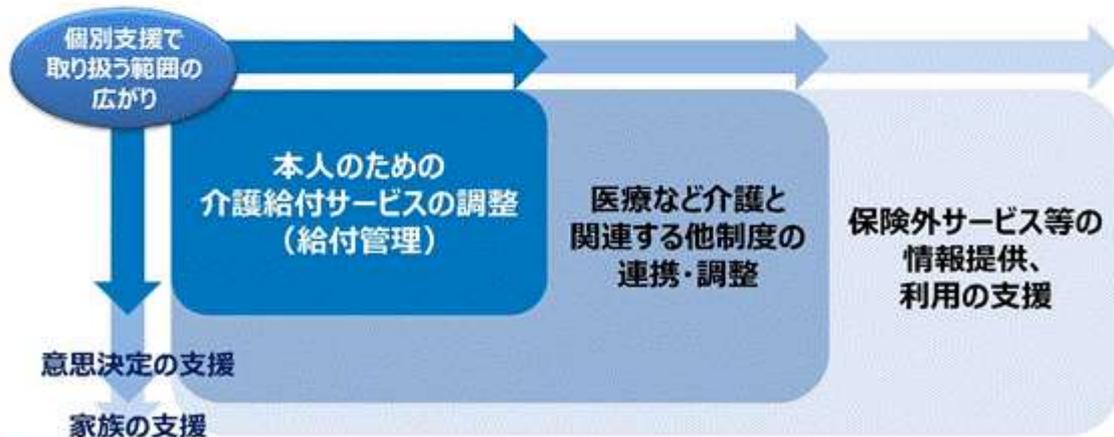
なぜ、標準化が必要とされているのか

- 要介護高齢者の増加や、高齢者のニーズの多様性に応えることの必要性、介護給付サービスに限らないさまざまな社会資源の組み合わせが求められることなどが背景にある。
- ケアマネジャーの職域の専門性を示し、他の職種との“共通言語”を確立するためにも、ケアマネジメントの共通的事項を体系化、言語化することが必要とされている。



これからのケアマネジャーに求められること

- 地域差はあるものの、さまざまな社会資源が登場しており、同じ支援内容を実現するにも複数の選択肢がある場合が増えてきた。
- 幅広い視野を持ってサービスを調整していくためには、サービス種別ではなく、「どのような支援（内容）が必要か」を、根拠を持って説明できることが重要になる。



【参考】介護保険制度の見直しに関する意見

(平成28年12月9日社会保障審議会介護保険部会)

I 地域包括ケアシステムの深化・推進

1. 自立支援・介護予防に向けた取り組みの推進

(5) 適切なケアマネジメントの推進等

【適切なケアマネジメントの推進】

- ケアマネジャーの資質の向上も含め、適切なケアマネジメントを推進していくためには、市町村や地域包括支援センターによる支援の充実が重要であるが、この点については、上記1.(2)に記載した通りである。
- また、ケアマネジャーの資質向上を図る観点からは、適切なケアマネジメント手法の策定も重要である。国においてもこの取り組みに着手しているところであるが、今後、ケアマネジメント手法の標準化に向けた取組を順次進めていくことが適当であり、本部会ではアセスメントやプロセスの手法の標準化を推進すべきとの意見があった。

■ ケアマネジメント標準化の考え方

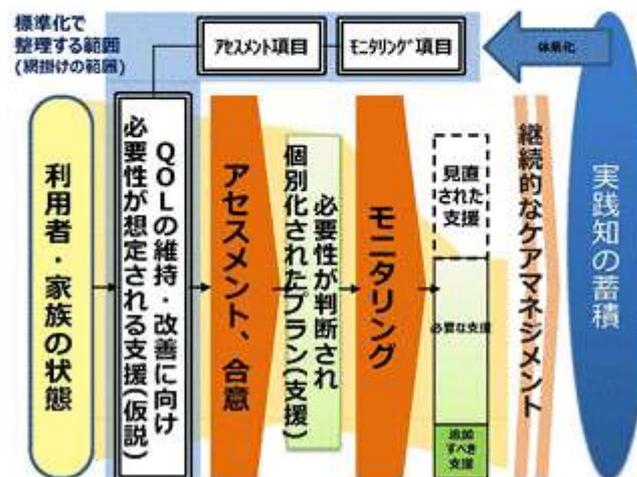
標準化がねらいとしていること

- ケアマネジメント標準化で整理した知見は、ケアマネジャーの職域が培ってきた知見を体系化し、誰もがこれを参照すれば、一定の水準のケアマネジメントが実践されるようにする「**共通化された実践知**」である。
- 体系化されているので他の職種にも示しやすく、結果的に、多職種間の連携が進むことも期待している。



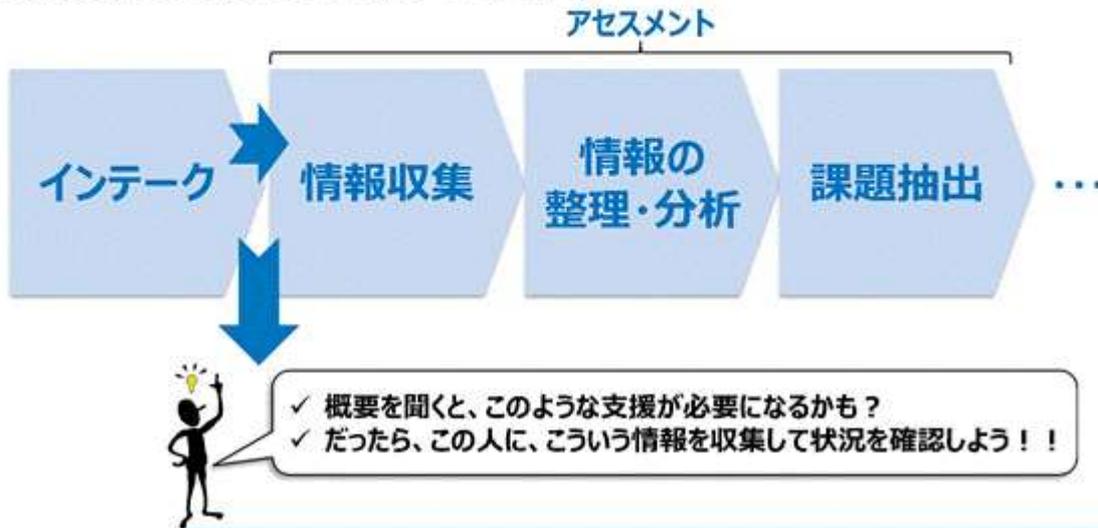
「想定される支援」の標準化

- 情報収集前にある程度仮説（当たり）をつかんで情報収集・整理・課題抽出に取り組むことを想定している。



ベテランのケアマネジャーがやっていること

- 知識と経験豊富なベテランのケアマネジャーは、網羅的な情報収集に手を付ける前に、限られた概要情報から、「どのような支援が必要な可能性があるか」、「どのようなことを詳しく確認する必要があるか」について、“あたり”をつけている。



【例題】 どのような支援が必要と、あなたは考えますか？

- 例えば以下のような情報が与えられ、インテークの依頼を受けたら、あなたならどのような支援の可能性、それに紐づく情報収集の必要性をどのように考えますか？

【インテーク時に伝えられた概要】

- ご本人は80歳の男性。妻（75歳）と自宅（マンション3階、EVあり）で二人暮らし、息子は他県だが娘が同じ市内に在住。
- 1か月前に脳梗塞で入院。
今回の退院に伴い、初めて要介護認定を申請、要介護2と認定された。
- 利き手だった右半身に軽い麻痺があり、食事、服薬、着替えに一部手助けが必要な状況。外出時は車椅子を利用。
- 高血圧なので、薬を定期的に飲んでいる。
- 妻は要介護ではないが小柄で体力に自信がなく、娘も働いているので介護サービスを活用したい意向がある。

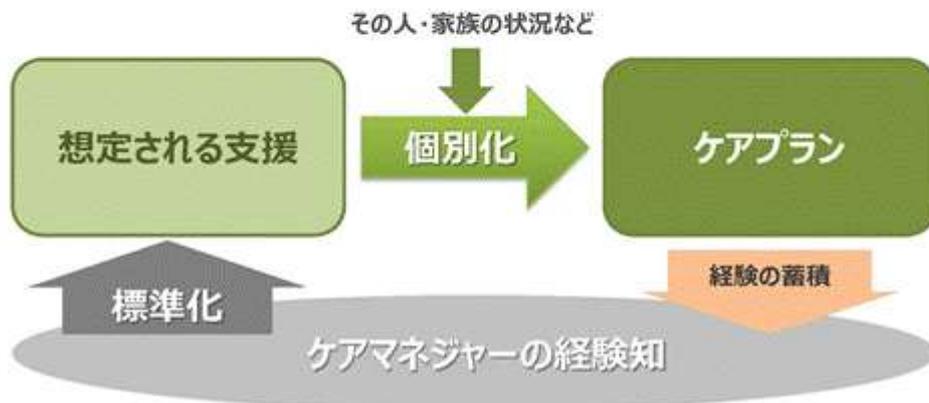
誰もが想定すること／想定する人が少ないこと＝ばらつき^①の要因

- 「想定される支援内容」として、ケアマネジャーの多くが想定すること、想定する人が少ないことがある。



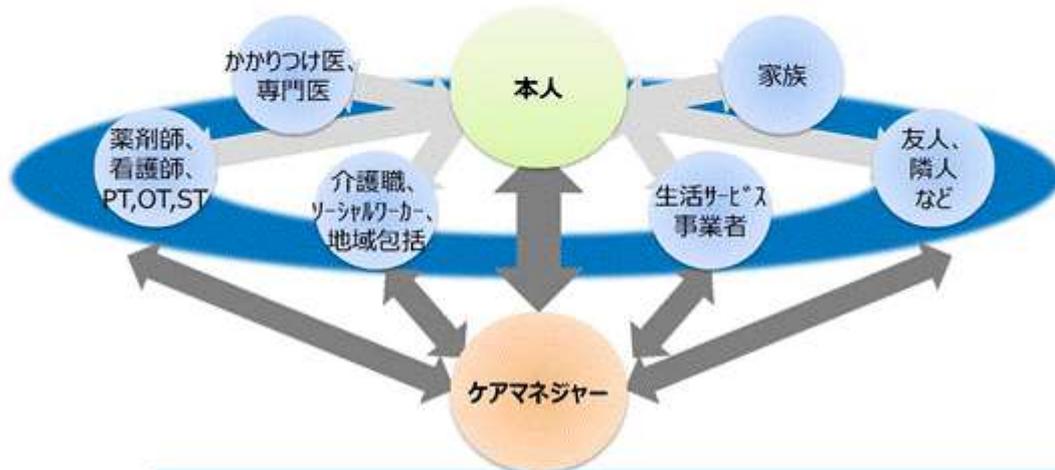
標準化と個別化の違い

- 標準化が目指しているのは、状態に応じて必要性が高いと考えられる支援内容を押さえられるようにすること。あくまでも想定される支援である。
- あくまでも「想定される支援」なので、どの支援が、どの程度必要かの判断は要介護高齢者一人一人異なる。また、同じような支援内容でもその人に合わせたやり方に工夫する余地がある。これが個別化である。



多職種連携を円滑にする体制の構築

- モニタリングや見直しまで一貫して取り組めるよう、利用者・家族の状況を把握し、適時・適切に必要な専門職に情報が共有される体制を作ることケアマネジャーの役割。
- 特に、認知症のケアマネジメントでは、利用者・家族の生活の状況やその変化を把握する体制を構築することが肝要。ケアマネジャーにはこうした体制構築が求められている。



モニタリング・見直しまで一連の取り組み

- ケアマネジメントはケアプランを作った終わりではない。ケアの提供による利用者・家族の生活の状況をモニタリングし、ケアの提供を通じて得られる新たな情報を踏まえて、よりその人にフィットしたケアへと見直していく連続的な取り組みが重要。
- 日常生活だけでなく、入退院・入退所を経ても切れ目のないケアを提供する観点を持つことが求められている。



ケアプランの標準化ではない

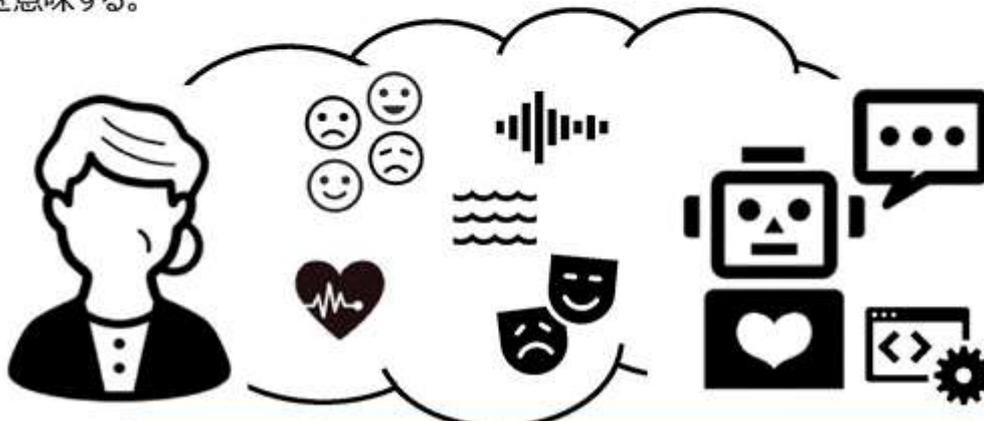
- ケアプランは一人ひとりに個別的であり、ニーズや具体的な支援内容など、極めて多様・多彩であり、かつ定性的な情報となるため、ケアプランの標準化は困難。
(少なくとも現時点では)
- ケアマネジメント標準化が目指しているのは、誰が担当ケアマネジャーとなっても、利用者から見て一定の水準のマネジメントを提供できるようになること。

× ケアプランの標準化

○ ケアマネジメントの標準化

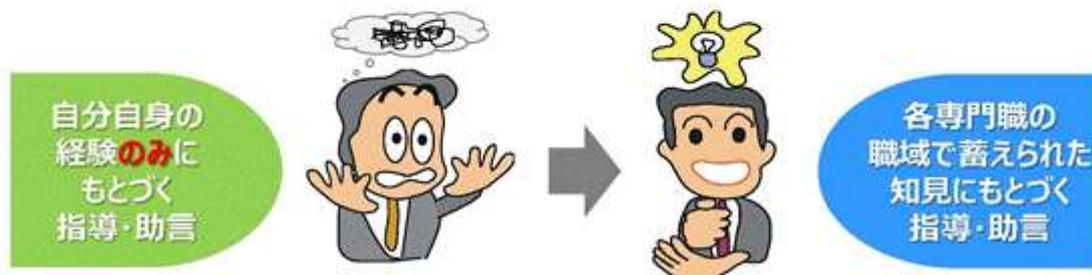
【参考】 AIがケアマネジャーの仕事を奪う？

- 情報の収集や分析はAIの得意領域。最新の知見もすぐに反映できるので、集めた情報の分析や、その人に当てはまる可能性の大きい支援・サービスの提案、記録や連絡調整はAIが担える可能性が大きい。
- 一方、利用者の意思を確認し意欲を引き出す対話や、ソーシャルワークは、当分、AIでは担いにくい領域と予測される。これは、今以上に、ソーシャルワークの技術が重要になっていくことを意味する。



指導や助言の標準化

- ケアマネジメント標準化で整理した項目の活用場面は、個別事例を担当するケアマネジャーの知識向上や業務効率化だけに留まらない。
- 地域ケア会議（個別ケア会議）やケアプラン点検などの場で、ケアマネジャーに対して提供される指導・助言の内容のばらつきを防ぎ、多職種間での連携体制が構築されやすいよう、地域づくりの観点で活用してもらうことも想定される。



【参考】標準化を意識した指導・助言のイメージ

- **このような状態・疾患だと、〜〜〜が原因で〜〜
〜となっている場合もある**
基本ケア、疾患別ケアの
基礎的な知識

- **×××××という支援が有効かもしれないので、
△△△△△を確認した方が良い**
支援の仮説
確認すべき事項

- **もしその支援を導入するなら、この事例の場合、**

○○○○○というアイデアも考えてみたらどうか

【個別化】支援のアイデア

2. ケアマネジメント標準化の検討状況

 **検討の経緯**

現時点までの検討状況

- 平成28年度から検討に着手しており、現時点での検討状況は以下の通り。

<各年度の実施事項>

□ 平成29年度までの実施事項

- 「標準化に向けた分析手法の検討」に向け、要介護認定の原因疾患の上位であり、地域連携パスが作成されている、「脳血管疾患」及び「大腿骨頸部骨折」について「検討案」を検証した。
- 退院直後～在宅生活の支援を念頭に、想定される支援内容を整理し、「心疾患」について、ケアマネジメント手法のガイドラインの「検討案」を作成した。

□ 平成30年度の実施予定

- 「脳血管疾患」及び「大腿骨頸部骨折」の「検討案」を使用し、標準化手法の普及プログラムを開発する。
- 「心疾患」について、「検討案」を活用した効果を検証する。
- 「認知症」について、「検討案」を作成する。

疾患に着目した理由

- 疾患に着目したのは、根拠を持って説明できるものとするため、現時点で根拠が多く整理されており、かつ要介護認定の原因疾患の上位であるものを取り上げたから。いわゆる「医学モデル」に戻るということではない。
- 具体的には、以下のような視点を持って、初年度に検討する疾患を選定した。

<疾患別のケアに着目した理由>

- ✓ 根拠を持って標準化の検討を進めるため、
医学的根拠がある疾患・状態別に見たケアに着目

<着目した疾患の選定理由>

- ✓ 要介護状態となる原因疾患の上位であること
- ✓ 地域連携パスの運用が比較的進んでいること

【参考】政策における位置付け

＜参考＞ニッポン一億総活躍プランの概要

一億総活躍社会とは、
女性も男性も、お年寄りも若者も、一度失敗を経験した方も、障害や難病のある方も、
家庭で、職場で、地域で、あらゆる場で、誰もが活躍できる、いわば全員参加型の社会である。

介護離職
ゼロの実現

希望する介護サービスの利用(介護基盤の供給)

① 高齢者の利用ニーズに対応した介護サービス基盤の確保

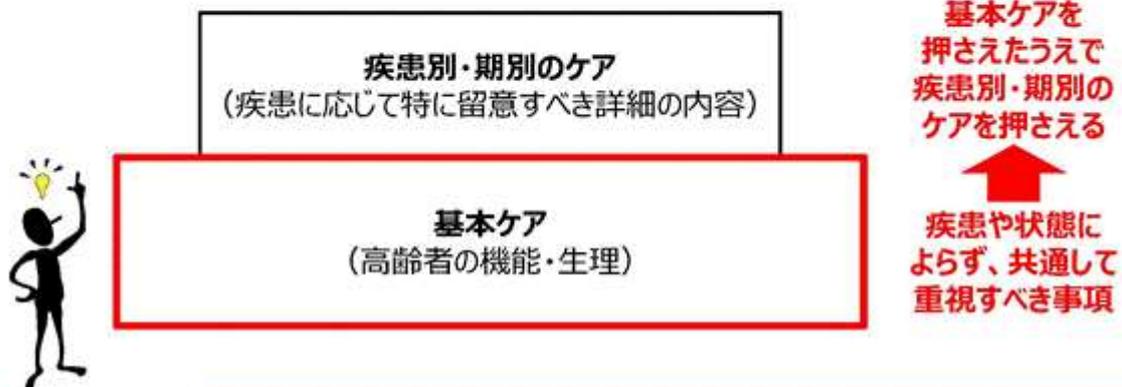
- 自立支援と介護の重度化防止を推進するため、介護記録のICT化を通じた業務の分析・標準化を進める。これにより、適切なケアマネジメント手法の普及を図るとともに、要介護度の維持・改善の効果を上げた事業所への介護報酬等の対応も含め、適切な評価の在り方について検討する。

年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度 以降	目標
施策	2016年～2026年											
適切なケアマネジメント手法の策定	標準化に向けた分析手法の検討/ケアマネジメントの先進事例の収集	分析、適切なケアマネジメント手法の策定	適切なケアマネジメント手法の検証・見直し、適切なケアマネジメント手法を踏まえたケアマネジメントの推進									

ケアマネジメント標準化の主な内容

標準化で検討した項目の構造

- 基本ケアと疾患別・期別のケアで構成される。
- 疾患別・期別のケアは当該疾患・期に該当する場合に特に想定すべき支援を整理。高齢者の機能・生理にもとづく基本ケアを踏まえた上で、疾患別・期別のケアを参照する。



基本ケアの概要

- 基本ケアとは、加齢とともに変化する機能や生理を踏まえ、目指す生活の実現に向けて生活の基盤を整えるとともに、状況が大きく悪化することを防ぐ観点から必要なケアである。

大項目	中項目
病状・病態予測と予防の重要性	病状・病態予測と予防の重要性 嚥下 口腔ケア 服薬管理の支援
家庭や地域での役割を見出す	身体機能の維持・向上 排泄 コミュニケーション
生活の場における安全管理	身体機能の低下を防ぐ 嚥下 口腔ケア 感染予防
家族支援	家族の受容に対する支援 摂食動作・認知障害 排泄 コミュニケーション



詳しくは報告書本編をご参照ください

疾患別ケア（脳血管疾患）の概要

- 脳血管疾患のケアは、退院してから在宅生活が安定するまでの時期（Ⅰ期）と、継続的なセルフマネジメントを重視するようになる時期（Ⅱ期）に分かれる。



詳しくは報告書本編をご参照ください

疾患別ケア（脳血管疾患）の概要

- 疾患別ケア（脳血管疾患）では、再発の予防と生活機能の回復・向上が重要。
- Ⅰ期では再発予防のための支援体制の整備を重視するとともに心理的回復を含めた生活機能の維持・向上に着目。一方、Ⅱ期では継続的なセルフマネジメントに着目。



詳しくは報告書本編をご参照ください

疾患別ケア（大腿骨骨折）の概要

- ・ 大腿骨骨折のケアは、退院してから在宅生活が安定するまでの時期（Ⅰ期）と、継続的なセルフマネジメントを重視するようになる時期（Ⅱ期）に分かれる。



詳しくは報告書本編をご参照ください

疾患別ケア（大腿骨骨折）の概要

- ・ 疾患別ケア（大腿骨骨折）では、再骨折の予防と骨折前の生活の回復が重要。
- ・ Ⅰ期では再骨折予防のために必要な支援体制の整備をするとともに生活機能の回復に着目。一方、Ⅱ期では支援の終結を見据えたセルフマネジメントの移行に着目。



詳しくは報告書本編をご参照ください

■ ケアマネジメント標準化を活用する際の留意点

活用上の留意点

- ケアマネジメント標準化の項目を活用する際は、以下のような点に留意が必要。

①個別化

②かかりつけ医との連携

③多職種間の連携

活用上の留意点① 個別化

- 「想定される支援内容」の全てが必要とは限らない。本人や家族の生活状況や地域事情を踏まえて、その人の目指す生活の実現に向けたプランにすることが重要。
- その際、その人や家族が持つストレンクスや意欲を踏まえることで、より効果的な支援となる可能性が高まる。



活用上の留意点② かかりつけ医との連携

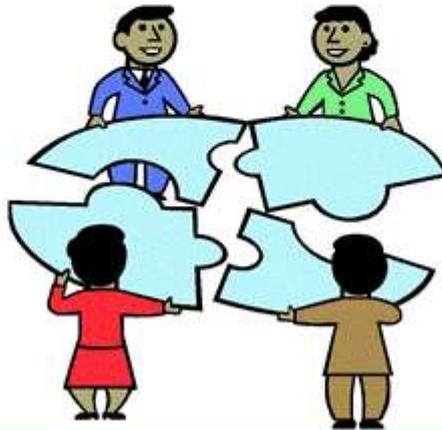
- こころ・からだの状況に対する判断は医師が専ら判断すべき事項であり、支援内容が適切なものかどうかを判断するためには、かかりつけ医※との連携が重要。
- お互いに限られた時間で連携しやすいよう、確認したい事項、判断・助言をお願いしたい事項をあらかじめ整理してから面談する。



かかりつけ医とは、
 「なんでも相談できるうえ、最新の医療
 情報を熟知して、必要なときには専門医、専
 門医療機関を紹介でき、身近で
 頼りになる地域医療、保健、福祉を担う
 総合的な能力を有する医師」と定義された者
(出所)日本医師会・四病院団体協議会「医療提供体制のあり方
 日本医師会・四病院団体協議会合同宣言」(2013年8月8日)

活用上の留意点③ 多職種間の連携

- 標準化の項目で示した「想定される支援内容」は、さまざまな領域の支援（及びその必要性を検討するためのアセスメント/モニタリング項目）が含まれる。
- ケアマネジャーが一人で抱え込んだり、一人で全て判断したりするのではなく、標準化の項目を共通言語として、多職種間で共有し、各職種の意見の把握や、各職種からの助言を求め活用する。



■ ケアマネジメント標準化の活用シーン

想定する活用シーン

活用主体	期待される活用シーン（例）
介護支援 専門員	<ul style="list-style-type: none"> 検討案が想定した状態の利用者を担当することとなった時に、（再）アセスメントあるいはケアプラン原案の作成の段階で、検討案を参考に支援内容の必要性を検討する。 数カ月に一度程度、自らのケアマネジメント実践を振り返る機会に参照する。 該当する事例を担当する都度に、検討案をチェックリストのような形で活用して、情報の収集・分析、検討の視点に抜け漏れがないようにする。
指導 担当者	<ul style="list-style-type: none"> 初任段階の者が担当する事例について、事業所での指導あるいは同行訪問等の指導の場面において、検討案をチェックリストのような形で活用し、初任段階の者のつまづきを明らかにした上で指導・支援を行う。
地域包括 支援 センター	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員向けの相談支援や研修、地域包括ケア会議等の場面において、介護支援専門員及び他職種の間で情報収集や検討の視点を共有するための参考として、検討案を活用する。

検討の視点

標準化の項目に照らした確認

見落としのチェックや
重視すべき視点の整理

個別化

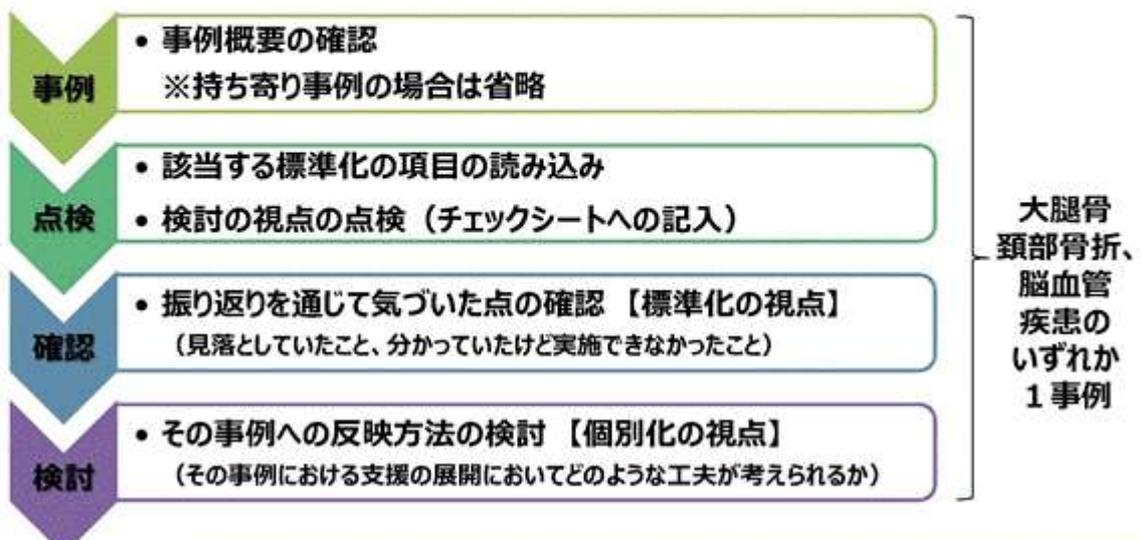
その事例における
具体的な支援内容の検討

標準化

3. ケアマネジメント標準化を活用した事例検討

本セッションの進め方

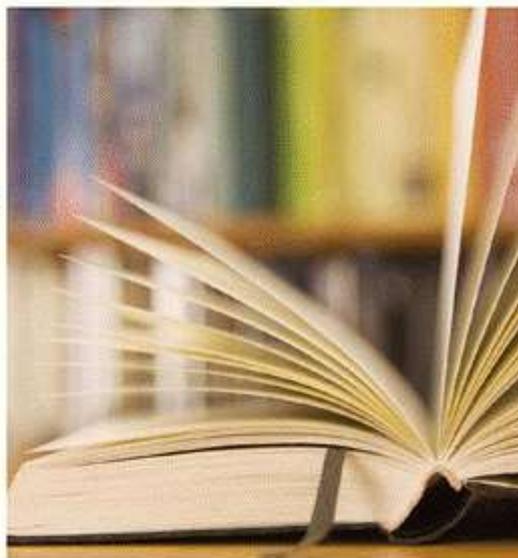
- 持ち寄り事例あるいは共通事例を用いて、標準化の項目を参照して事例における検討の視点の点検を行う。



平成30年度介護支援専門員研修改善に係る調査等事業

全国介護支援専門員 研修向上会議

グループディスカッション 1日目



禁無断転載

はじめに

今回の全国介護支援専門員研修向上会議については、平成30年度介護支援専門員研修改善に係る調査等事業の一環で行っていますので、今回、話し合われた内容や貴重なご意見については、年度末に作成する報告書の中に反映させていただく予定です。

禁無断転載

グループディスカッションの流れ

- 今年度の全国介護支援専門員研修向上会議では計4回のグループディスカッションを予定しています。

		グループ構成
1日目	<ul style="list-style-type: none">各都道府県の取り組み状況の整理アクションプランシートの振り返り	A
	<ul style="list-style-type: none">各都道府県の課題の整理①課題解決に向けた取り組み検討①	A
2日目	<ul style="list-style-type: none">各都道府県の課題の整理②課題解決に向けた取り組み検討②	B
	<ul style="list-style-type: none">アクションプランの検討	A

禁無断転載

グループディスカッション A

- 以下のテーマについてディスカッションを行っていただきます。

- 研修記録シートの活用
- 講師・ファシリテーターの養成・評価
- 副教材の活用
- 都道府県独自の課題

※昨年度の全国会議にて、各都道府県が整理した「課題」

禁無断転載

グループディスカッション A

ワークシート1の記入例

ワークシート1_各都道府県の取り組み状況の整理		Sheet : No.1	
(都道府県名：)			
テーマ① 研修記録シートの活用			
①-1：研修記録シートを 使用 していますか。			
該当するものに☑	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
例) 県内の実施している法定研修の全ての課程で研修記録シート(事前・事後・3か月後)を使用している。			
①-2：研修記録シートの 集計 を行っていますか。			
該当するものに☑	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input checked="" type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
例) シートの回収は行っているが、マンパワー不足により集計は全く行うことができていない。			

禁無断転載

グループディスカッション A

- 4つの検討テーマについて、
それぞれの都道府県の取り組み状況(チェック欄に☑)と
具体的な取り組み内容を記入してください。(ワークシート1)
- テーマ4「都道府県独自の課題」は、
昨年度の全国介護支援専門員研修向上会議で作成した
『アクションプラン』を確認し、記入してください。



禁無断転載

グループディスカッション A

- 4つの検討テーマに関する取り組み状況について、ワークシート1に記入した内容に基づき、グループ内で共有と意見交換を行ってください。



禁無断転載

1日目のグループディスカッション、お疲れ様でした。



禁無断転載

岡山県の法定研修 『研修記録シート』 に関する取り組み



NPO法人
岡山県介護支援専門員協会
Okayama Care Manager Association

堀部 徹

禁無断転載

岡山県の法定研修の現状

実務研修→岡山県社会福祉協議会に委託

平成30年度 実務研修 72名

更新・再研修 380名

専門更新研修→岡山県介護支援専門員協会に委託

平成30年度 716名

主任介護支援専門員研修→岡山県介護支援専門員協会に委託

平成30年度 221名

主任介護支援専門員更新研修→岡山県介護支援専門員協会に委託

平成30年度 214名

禁無断転載

岡山県の研修企画の構成

岡山県(長寿社会課)
 学識経験者(大学教授)
 研修実施機関
 ・岡山県社会福祉協議会
 ・NPO法人岡山県介護支援専門員協会

ワーキング
 指導者13名+社協職員
 で研修内容、シラバス作
 成などを担当

岡山県介護支援専門員協会
 研修委員会
 各支部推薦(主任介護支援
 専門員)で構成。月1回打ち
 合わせ会議

禁無断転載

(1) 向上委員会・ワーキング会議

委託期間

向上委員会・ワーキング会議		専門・更新(職員向け)	主任更新	主任	実務・更新・再
開催日		(6/9~9/11)	(9/20~11/15)	(11/29~2/22)	1/8~3/5(更新・再) 5/11(実務)
4月	第1回 4月12日(木) 13:30~15:40	シラバス、 タイムスケジュール PPTデータ作成 評価シート(岡山版) 作成 課題事例と実習案 について 研修リーダー養成研修会 講師とファシリテーターの 打ち合わせ 振り返り 10/1年度 プログラム/講師調整	プログラム/講師調整 シラバス、 タイムスケジュール、 PPTデータ作成 スーパードバイズ勉強会 受講者対応 法定外研修の実施 課題事例と事例集 について 評価シート(岡山版) 作成 平成31年度 スケジュールについて	プログラム/講師調整	プログラム/講師調整 実習指導者の研修金額 実習の組み立て 講師養成について 講師担当分け 実習受入事業所契約
5月	第2回 5月12日(土) 16:00~17:30				
第1回向上委員会 5月29日(火)13:00~					
7月	第3回 7月21日(土) 13:00~14:00				
8月	第4回 8月18日(土) 16:00~17:30				
9月	第5回 9月15日(土) 16:00~17:20				
10月	第6回 10月8日(土) 13:00~14:45				
11月	第7回 11月17日(土) 16:00~17:30				
12月	第8回 12月18日(火) 14:00~15:00				
1月	第2回向上委員会 1月10日(木)11:00~				
2月	第9回 2月16日(土) 16:00~17:30				
3月	第7回 3月18日(土) 16:00~17:30				

禁無断転載

平成 29 年度岡山県立総合支援センター 専門・更新（職業所在）研修		ふりがな										
研修記録シート【専門研修課程Ⅰ】 受講前		氏名										
		専門・更新	29559407(職業所在)研修									
		受講番号										
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	26	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	51	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	27	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	52	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	28	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	53	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	29	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	54	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	55	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	31	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	56	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	32	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	57	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	33	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	58	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	34	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	59	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	36	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	61	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	37	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	62	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	38	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	39	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	64	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	65	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	41	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	66	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	42	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	67	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	43	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	68	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	44	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	69	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	45	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	70	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	46	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	71	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	47	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	72	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	48	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	73	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	49	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	74	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	75	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

平成 29 年度岡山県立総合支援センター 専門・更新（職業所在）研修		ふりがな										
研修記録シート【専門研修課程Ⅰ】 受講後		氏名										
		専門・更新	29559407(職業所在)研修									
		受講番号										
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	26	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	51	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	27	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	52	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	28	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	53	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	29	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	54	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	55	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	31	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	56	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	32	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	57	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	33	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	58	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	34	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	59	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	36	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	61	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	37	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	62	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	38	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	39	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	64	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	65	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	41	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	66	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	42	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	67	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	43	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	68	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	44	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	69	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	45	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	70	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	46	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	71	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	47	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	72	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	48	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	73	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	49	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	74	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	75	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

禁無断転載

MARK SHEET マークシート処理ソフト Windows版

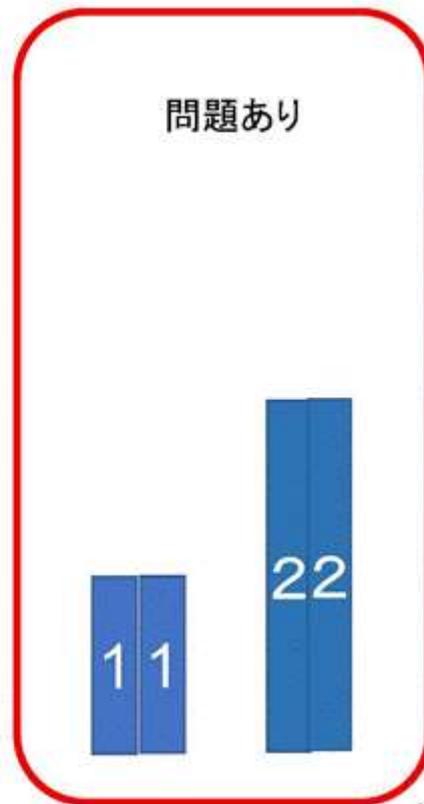
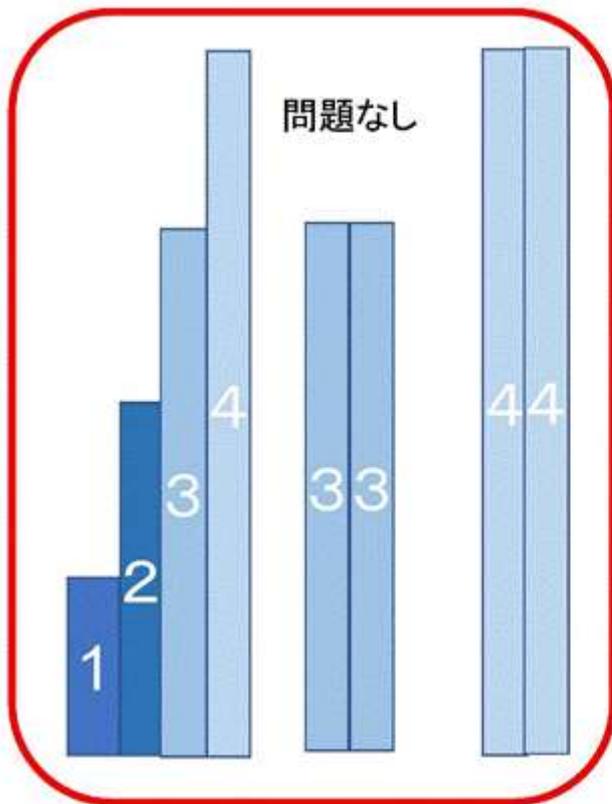
市販の
プリンタとスキャナだけでOK!

専用機・専用紙が不要な
低価格 マークシート処理ソフト (OMR)

1 2 3 4

マークシート
読取君4
MARK SHEET YOMITORIKUN 4

禁無断転載

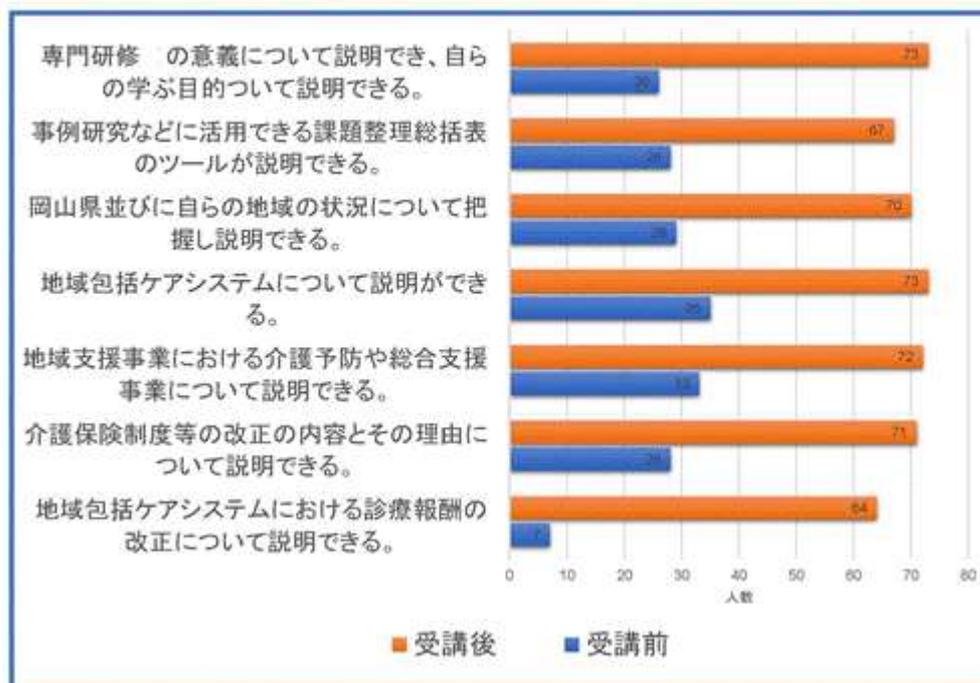


禁断転載

	更新	科目	項目数	受講前			受講後			修得度 B - A
				有効数	自己評価計	平均 A	有効数	自己評価計	平均 B	
1		介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	7	1113	2229	2.0	1106	3276	3.0	1.0
2		対人個別援助技術及び地域援助技術	6	954	1747	1.8	948	2768	2.9	1.1
3		ケアマネジメント実践の振り返りと学習課題の設定	6	954	2317	2.4	948	2924	3.1	0.7
4		ケアマネジメントの実践における倫理	6	954	1929	2.0	948	2780	2.9	0.9
5		ケアマネジメントに必要な資源との連携及び多職種協働の実践	23	3680	8839	2.4	3657	11896	3.3	0.9
6		リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	6	954	2089	2.2	948	2711	2.9	0.7
7		看取り等における看護サービスの活用に関する事例	5	795	1606	2.0	790	2284	2.9	0.9
8		認知症に関する事例	6	954	2095	2.2	948	2780	2.9	0.7
9		入退院時等における医療との連携に関する事例	5	795	1822	2.3	790	2353	3.0	0.7
10		社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	5	795	1573	2.0	790	2256	2.9	0.9
11		家族への支援の視点が必要な事例	5	795	1939	2.4	790	2370	3.0	0.6
12		状態に応じた多様なサービスの活用に関する事例	5	795	1838	2.3	790	2375	3.0	0.7

禁断転載

受講前、受講後の4(できる)、3(概ねできる)の変化⇒理解度が高まっている様子



※無断転載

専門更新研修 課程1

「介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状」

No.	修得目標	有効数					「0」の内訳 0対象者割合	
		-1	0	1	2	3	<受講前> 1or2 人数	<受講前> 3or4 人数
1	介護保険の成り立ちからの歴史と介護支援専門員の業務の変化について説明できる。	1 (0.4%)	43 (17.6%)	179 (73.4%)	19 (7.8%)	2 (0.8%)	14 (32.6%)	29 (67.4%)
2	国レベルの高齢者を取り巻く状況について把握し説明できる。	0 (0.0%)	55 (23.8%)	159 (65.2%)	27 (11.1%)	0 (0.0%)	9 (15.5%)	49 (84.5%)
3	岡山県並びに自らの地域の状況について把握し説明できる。	2 (0.8%)	30 (15.0%)	169 (69.3%)	32 (13.1%)	2 (0.8%)	14 (35.9%)	25 (64.1%)
4	地域包括ケアシステムの成り立ちと概要について説明できる。	0 (0.0%)	47 (19.3%)	169 (69.3%)	27 (11.1%)	1 (0.4%)	11 (23.4%)	36 (76.6%)
5	介護保険制度等の改正の内容とその背景について説明できる。	0 (0.0%)	70 (28.7%)	153 (62.7%)	19 (7.8%)	2 (0.8%)	28 (40.0%)	42 (60.0%)
6	診療報酬改正とケアマネジメントについての関係が説明できる。	0 (0.0%)	36 (14.8%)	177 (72.5%)	30 (12.3%)	1 (0.4%)	27 (75.0%)	9 (25.0%)
7	地域包括ケアシステムの構築に向けて介護支援専門員の果たすべき役割について説明できる。	2 (0.8%)	57 (23.4%)	161 (66.0%)	23 (9.4%)	1 (0.4%)	23 (40.4%)	34 (59.6%)

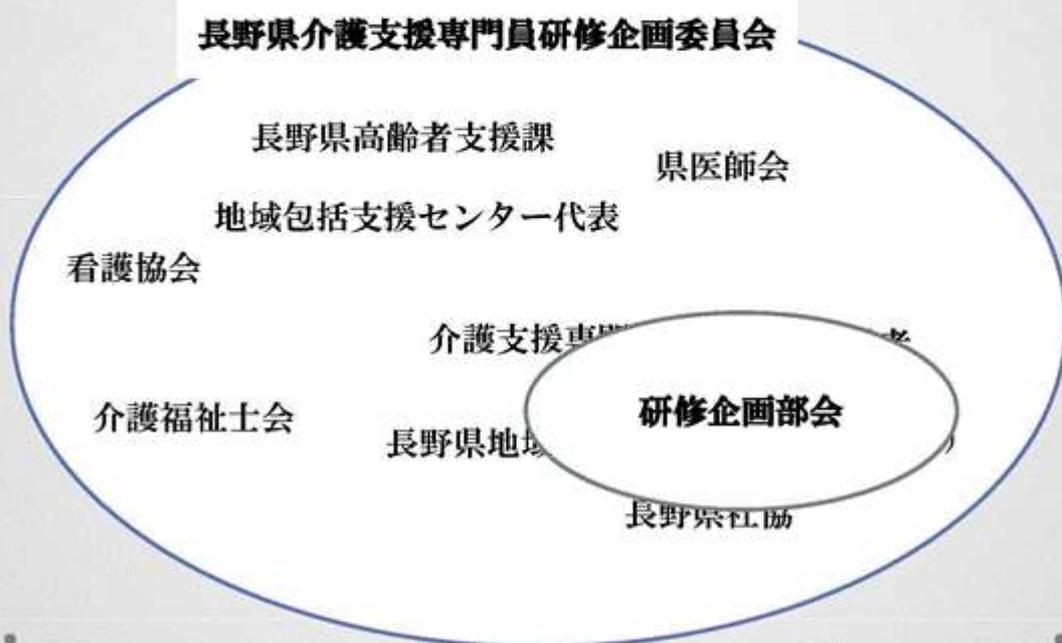
※無断転載

長野県 介護支援専門員法定研修 修了評価について

実施団体：長野県社会福祉協議会
長野県研修企画委員会

禁無断転載

長野県 介護支援専門員法定研修企画体制について



禁無断転載

新カリキュラムの施行から地域包括ケアシステムの構築に向けた10年の歩み

段階	年	ステージ	自立支援の定着	課 題	
共通 基盤 研修	1	2016	新カリキュラムに基づく研修を実施する	新たなシラバスに基づく研修の中で自立支援について伝える	新カリキュラムに基づく研修を実施する
	2	2017	研修相互に新カリキュラムの整合性を図りケアマネジメントの共通基盤を固める	自立支援に関する 概念を定着 する	現状のケアマネジメントに対する課題の共有と目指す姿を理解する
	3	2018			
	4	2019			
	5	2020	人材育成に向けてステップアップした研修プログラムを構築する	自立支援による アウトカムをデザイン できる	ICF等根拠生徒予後予測に基づくケアマネジメントの修得と必要な連携について理解する
人材 育成 研修	6	2021	必要な主任ケアマネと地域ケアマネのスキルを明確にする	自助・互助・共助・公助支援に関する 具体策の理解 (方法論の修得)	
	7	2022			
	8	2023	ケアマネジメントプロセスをシステム化する	個々を支える 地域支援力の構築 (ケアワークとコミュニティーワーク実践力)	
	9	2024			
	10	2025	地域包括ケアシステムを動かす		

禁無断転載

長野県が目指す介護支援専門員の姿（職能）

◇実務研修・専門研修Ⅰ・専門研修Ⅱ

「介護支援専門員は**利用者のことを理解し、**
要介護（支援）者が望む暮らしを表現し、その
力を行行使し続けられるように
 本人の強みを見出して
本人の抱える課題と社会資源を調整する専門職
 である。」

禁無断転載

長野県が目指す介護支援専門員の姿（職能）

◇主任研修・主任更新研修

「主任介護支援専門員は

地域の介護支援の実状を理解し、

要介護者ひとり一人の望む暮らしを支えられる地域づくりに資する

介護支援専門員への助言指導育成が出来るとともに、支援ネットワークを構築して行く専門職である。」

禁無断転載

指導の目標像

研修名	課題分析能力	職能の目標像
実務研修	利用者を理解し、課題について自分の言葉にして述べるができる	個別課題と社会資源の調整を実践できる
専門研修Ⅰ	利用者を理解し、課題の変化を予測できる	
専門研修Ⅱ	利用者を理解し、課題の変化や相互関係を個人と環境の視点から比較できる	個別課題及び地域課題と社会資源の調整ができる
主任研修	個々の支援の実状を理解し、地域のケアマネジメント課題と地域社会の現状を総合的に評価できる	育成と支援のネットワークの創造を実践できる

禁無断転載

専門研修1			専門研修2			主任更新研修		
評価視点	分析手法	目標像	評価視点	分析手法	目標像	評価視点	分析手法	目標像
利用者理解	課題分析	個別課題と社会資源の調整	利用者理解	課題分析	個別課題及び地域課題と社会資源の調整	個々の支援の実状	社会の構築	育成と支援ネットワークの創造
を理解した上で	を予測して	実践出来ること	を理解した上で	を比較して	実践出来ること	を理解した上で	と地域社会の現状を分析して	実践出来ること
2. 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状(講義180分)			1. 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開(講義 240分)			1. 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向(講義 240分)		
介護保険制度の動向や地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取組みを理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。			国における介護保険制度の最新の動向と、地域包括ケアシステムの構築に向けた各市町村における現状の取組みを比較し、今後の地域包括ケアシステムの展開において介護支援専門員に求められる課題を理解する。また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。			国の介護保険制度の最新の動向を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に向けた各市町村における現状の取組と課題を理解し、主任介護支援専門員として果たすべき役割を再確認する。		
目標			目標			目標		
介護保険制度の変遷	今後の地域社会の変化	自らに生じる課題と解決方法について説明することが出来る。	介護保険制度の変遷	介護支援専門員の実務とコンプライアンス	自らの業務改善の方法について説明できる。	介護保険制度とその他制度の変遷	地域包括ケアシステムと主任ケアマネによるコミュニケーション	
ネットワーク	情報の共有とその対応	利用者の代弁機能について説明することが出来る。	ネットワーク	社会資源と利用者の課題	チームケアの運営について説明できる。			対応すべき介護支援専門員の役割とその効果的な実践に向けて主任介護支援専門員の関わりについて具体例を挙げて説明できる。
地域包括ケアシステム	インフォーマルケアの実施	インフォーマルケアの優先とフォーマルケアの役割について説明することが出来る。	地域包括ケアシステム	インフォーマルケアとフォーマルケアの提供状況	介護支援専門員としての役割や行動について説明できる。	介護支援専門員の職能	コンプライアンスと介護支援専門員自身が抱える課題	
社会資源の開発方法	潜在化した社会資源の顕在化	社会資源の活用と支援効果の関係について説明することができる。	社会資源の開発方法	潜在化した社会資源と現在化した社会資源	利用者の暮らしの変革にむけた支援の必要性について説明できる。			
地域ケア会議の意義	地域における課題の解決	地域ケア会議に参加する意義について説明することが出来る。	地域ケア会議の意義	主任介護支援専門員と介護支援専門員の役割	地域ケア会議における介護支援専門員の役割について説明できる。	地域診断の方法	地域ケア会議とコミュニケーション	

禁無断転載

研修の修了評価の方法

1. 講義内容の理解を確認・・・
終了評価 試験
2. 演習を通しての気づきの確認と共有
個人ワーク→グループワーク→
全体発表
3. 科目全体を通しての理解を確認
振り返りシートの記載提出

禁無断転載

修了評価試験について

実務・専門Ⅰ・専門Ⅱ研修

シラバスの目標に沿って問題を作成

実務研修終了評価

次の各文章について正しいものに「○」、間違っているものには「×」を答え欄に記入しなさい。

問1	糖尿病の3大合併症としては、網膜症、腎障害、神経障害の3つが挙げられるが、それ以外の合併症が出ることはまれである。	答え
問2	塩分摂取量を制限することは高血圧の予防に効果的である。	答え
問3	心疾患が有ると浮腫を招きやすく、体重増加が一次的に生じることが有る。	答え
問4	誤嚥性肺炎の多くは、唾液の誤嚥によるものであり、口腔内を清潔に保つことはその予防に有効である。	答え
問5	介護支援専門員は、正当な理由なしに、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。介護支援専門員でなくなった後においても、同様である。	答え

禁無断転載

修了評価試験について

主任研修

レポート課題 → 講師による評価

主任更新研修

研修科目に沿った設問に対して200字以内で説明

例) 国の介護保険制度の動向を踏まえ、いまなぜ地域包括システムの構築が必要とされているのかその理由を述べよ

禁無断転載

研修の修了評価の方法

受講した科目（講義+演習）全体の振りかえり

振り返りシートの記載提出

（記載項目）

- 理解度（理解できた おおむね理解できた あまり理解できなかった 理解できなかった）
- 本科目を受講して、得たこと・気づいたことは何ですか
- 本科目を受講して、気づいたあなたの課題は何ですか
- 本科目を受講して、あなたの課題を解決するために具体的に組みこんでいきたいことは何ですか
- 本科目の研修内容・運営に関する意見・感想・評価等

禁無断転載

研修後の評価

1. 修了評価問題の正解率
2. 振り返りシートの記載内容からの振りかえり
3. 研修後に研修助言者（ファシリテーター）全員での研修振り返り会議の実施
4. 研修当日に関わった研修企画部会員からの評価・意見等のレポート提出

研修企画部会において研修内容等の修正

禁無断転載

ご清聴ありがとうございました。

...

禁無断転載



講義演習一体型科目の展開
～千葉県の取組み～

平成31年2月21日(木)
千葉県健康福祉部高齢者福祉課

禁無断転載

本日お話しすること



- 1 千葉県の概要
- 2 講義演習一体型科目の展開
- 3 千葉県の取組
(県・研修向上委員会・研修実施機関の連携)

禁無断転載

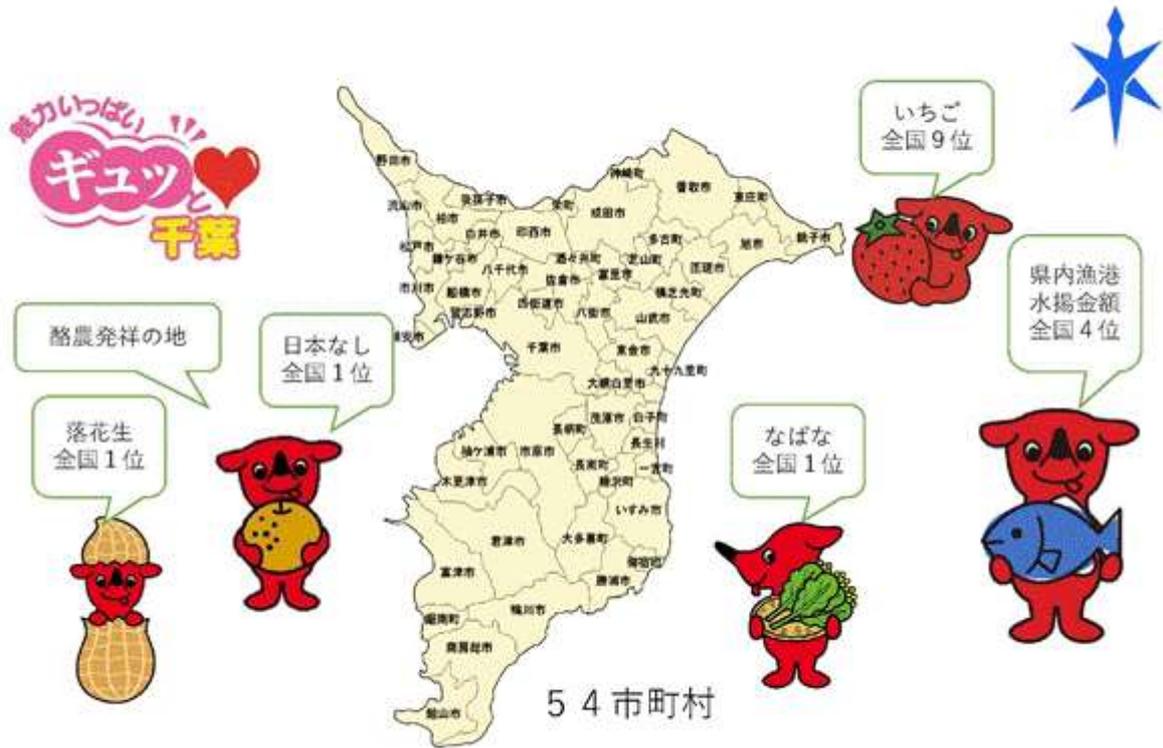


千葉県の概要



ご当地キャラクター
チーパくん

禁無断転載



禁無断転載

介護保険関連

	千葉県(2018)	全国(2018)
総人口	6,211,859人	126,320,000人
65歳以上人口	1,686,087人	35,508,000人
高齢化率	27.1%	28.1%
要介護認定者数	266,060人	6,426,516人
要介護認定率	15.9%	18.3%
第1号保険料(第7期)	5,176円	5,784円
第1号保険者一人当たり 給付月額(在宅サービス)	9,707円	11,406円
第1号保険者一人当たり 給付月額(施設・居住系)	8,520円	10,229円



※「見える化」システム及び統計局ホームページより

禁無断転載

介護支援専門員

	千葉県(2019.1)	全国
登録者数	25,481人	
うち証交付者	23,689人	
うち有効期間内の者	12,932人	
主任数	1,882人	
H30年度試験受験者数	1,660人	49,333人
H30年度合格者数	157人	4,990人
H30年度試験合格率	9.5%	10.1%



禁無断転載



2 講義演習一体型科目の展開

禁無断転載

法定研修について



	H30年度受講者数 (予定又は実績)	指定研修実施機関
実務研修	157人	千葉県社会福祉協議会
更新研修(実務未経験) ・再研修	379人	
専門研修Ⅰ・ 更新研修(実務経験有)前期	704人	千葉県介護支援専門員協議会
専門研修Ⅱ・ 更新研修(実務経験有)後期	1255人	
主任研修	282人	
主任更新研修	354人	

禁無断転載

平成30年度介護支援専門員研修改善事業

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート研修実施機関向け調査票より



(Ⅱ) 研修科目・研修ツール・教材の状況

問2-1 > 研修科目・研修時間数を介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)よりも多く設定している場合があるか。

実務研修	講義形式の科目で時間数を追加している。 講義・演習一体型の科目で時間数を追加している。
更新研修(実務未経験) ・再研修	講義形式の科目で時間数を追加している。 講義・演習一体型の科目で時間数を追加している。
専門研修Ⅰ・ 更新研修(実務経験有)前期	実施要綱通り
専門研修Ⅱ・ 更新研修(実務経験有)後期	その他
主任研修	その他
主任更新研修	その他

禁無断転載

平成30年度介護支援専門員研修改善事業

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート研修実施機関向け調査票より



・実務研修:追加している時間数 *「国 要綱」=介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)

		国 要綱 *(時間)	千葉県(時間)
	講義	16	16.5
講義 演習 一体型 科目	自立支援のためのケアマネジメントの基本	6	6
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	4	4
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	2	2
	介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	2	2
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術	19	19
	実習振り返り	3	3
	ケアマネジメントの展開(新)	28	28
	アセスメント、居宅サービス計画等の作成の総合演習	5	7.5
	研修を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	2	2
	計	87	90

禁無断転載

平成30年度介護支援専門員研修改善事業

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート研修実施機関向け調査票より



・更新研修(実務未経験)・再研修:追加している時間数

*「国 要綱」=介護支援専門員資質向上事業実施要綱(厚労省通知)

		国 要綱 *(時間)	千葉県(時間)
	講義	13	13
講義 演習 一体型 科目	自立支援のためのケアマネジメントの基本	6	6
	介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	2	2
	ケアマネジメントの展開(新)	28	28
	アセスメント、居宅サービス計画等の作成の総合演習	5	5
	課題整理総括表・評価表の説明と記載演習		3
	計	54	57

禁無断転載

平成30年度介護支援専門員研修改善事業

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート研修実施機関向け調査票より



(Ⅱ)研修科目・研修ツール・教材の状況

問2-3> 講義・演習一体型科目の演習の展開方法、内容等はガイドライン通りに実施しているか。

実務研修	ガイドライン通りに実施した。
更新研修(実務未経験) ・再研修	ガイドライン通りに実施した。
専門研修Ⅰ・ 更新研修(実務経験有)前期	ガイドラインから変更したものもある。
専門研修Ⅱ・ 更新研修(実務経験有)後期	ガイドラインから変更したものもある。
主任研修	ガイドラインから変更したものもある。
主任更新研修	ガイドラインから変更したものもある。

禁無断転載

平成30年度介護支援専門員研修改善事業

介護支援専門員の研修実施体制に関するアンケート研修実施機関向け調査票より



(Ⅱ)研修科目・研修ツール・教材の状況

問2-5> 講義・演習一体型科目の演習の展開方法の決め方について御回答ください。

実務研修	実務研修委員会で作成。
更新研修(実務未経験) ・再研修	実務研修委員会で作成。
専門研修Ⅰ・ 更新研修(実務経験有)前期	専門研修委員会で作成。
専門研修Ⅱ・ 更新研修(実務経験有)後期	専門研修委員会で作成。
主任研修	主任・主任更新研修委員会で作成。
主任更新研修	主任・主任更新研修委員会で作成。

禁無断転載



3 千葉県の取組

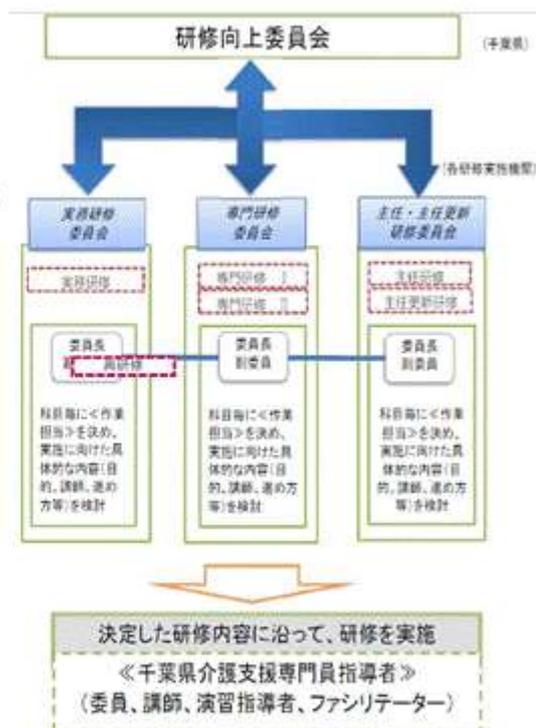
(県・研修向上委員会・研修実施機関の連携)

禁無断転載

千葉県の介護支援専門員 関連研修のPDCAサイクル

平成27年度以前
研修実施機関がそれぞれ実施している研修毎に「委員会」「部会」を開催していた。

平成28年度～
研修毎の連動制・関係性の強化のため、全体を調整する機関として千葉県研修向上委員会を立ち上げる。



禁無断転載

千葉県研修向上委員会

千葉県介護支援専門員研修向上委員会設置要綱に基づき実施。

構成員:16名

学識経験者 3名

各研修委員会から委員長含め3名

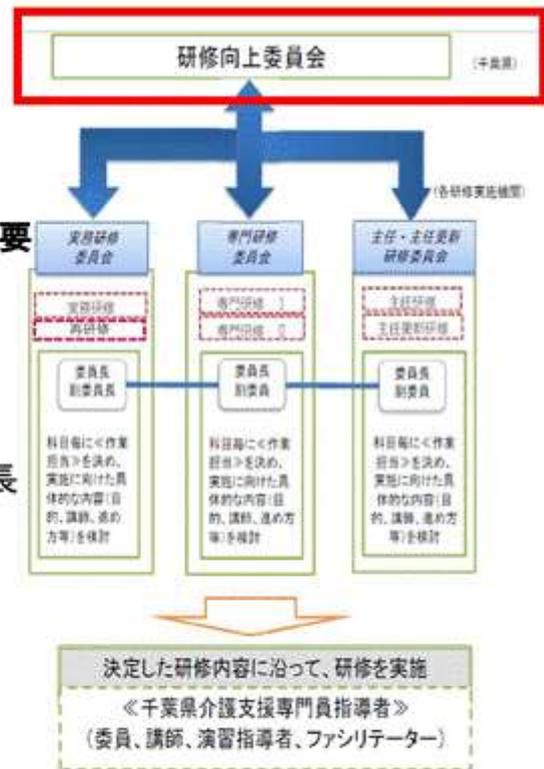
千葉県社会福祉協議会福祉サービス事業部長

千葉県介護支援専門員協議会理事長

千葉県介護支援専門員協議会事務局長

千葉県健康福祉部高齢者福祉課長

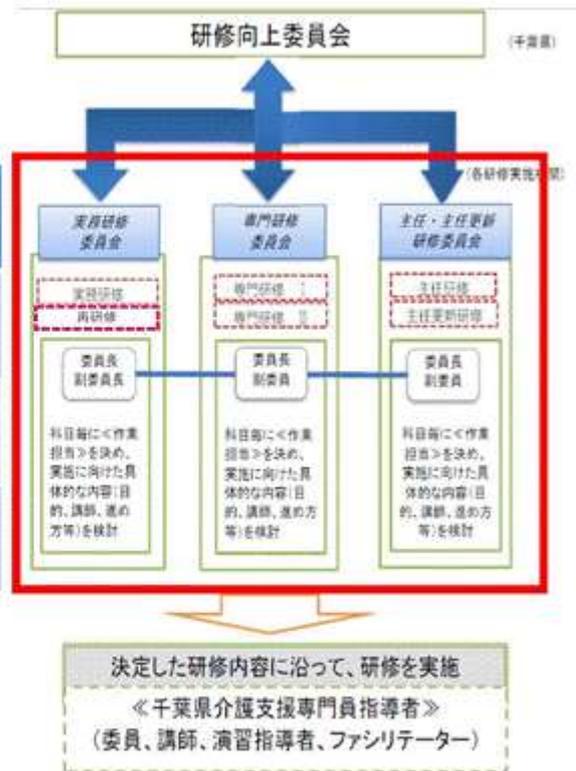
実施:年2~3回



禁無断転載

各研修委員会

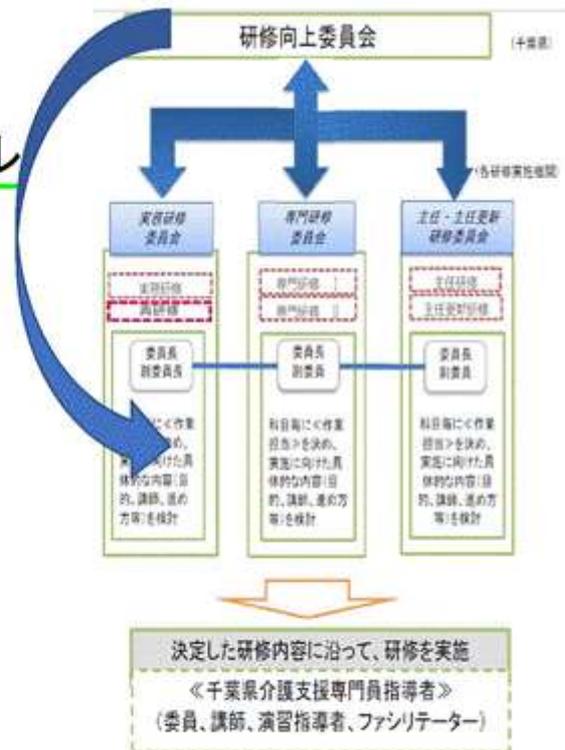
	実務研修委員会	専門研修委員会	主任・主任更新委員会
構成員	12名	16名	9名
H29年度開催実績	4回	5回	7回
設置者	千葉県社会福祉協議会	千葉県介護支援専門員協議会	



禁無断転載

千葉県の介護支援専門員 関連研修のPDCAサイクル

研修向上委員会で
研修に関する検討(案)の承認や
他研修委員会からの情報を入手し、
各研修委員会に持ち帰り委員と共有。
研修に活かしていく。



禁無断転載

課題



- 検討事項が多く、1度の研修向上委員会では十分な議論までできない。
- 研修向上委員会で決定された事項のその後の評価ができていない
- 県内だけの問題ではなく、全国的に取り組むべき課題であると考えられることであっても、国へフィードバックする仕組みができていない。

禁無断転載

ご清聴ありがとうございました



今後も
よろしく願いたします。



禁無断転載

試験を活用した研修修了評価 システムのご案内

試験を活用した研修修了評価システムは、
法定研修（専門Ⅰ・Ⅱ・主任・主任更新）の
試験問題、マークシート、
試験結果のフィードバック（受講者・研修実施機関）を
提供するシステムです。

- ①背景・目的・効果
- ②仕組み・流れ
- ③フィードバック（帳票）
- ④講師用副読本



2019.2.21
日本介護支援専門員協会

©Japan Care Manager Association
禁無断転載



試験を活用した研修修了評価システムについて

背景

- ①研修実施のガイドラインの策定
- ②修了評価の実施
- ③介護支援専門員のスキル評価
- ④研修の平準化



現状

- ①複数のテキストの存在
- ②客観的な修了評価が少ない
- ③評価分析の事務負担が大きい
- ④研修の質の指標が不明確

スキル向上をデータ指標を以って示すことが困難

法定研修の課題

- ①研修向上委員会の分析指標
- ②研修内容の個別化
※平準化に逆行
- ③スキル向上の成果が不透明



試験集（仮）の目的

- ①研修向上委員会への報告データ
- ②全国的な研修成果を平準化して統一基準で把握
- ③介護支援専門員の評価へ

スキル強化の状況を可視化

©Japan Care Manager Association
禁無断転載

試験を活用した研修修了評価システム 本システムの期待する効果



受講者

- 自分の得意・不得意分野が客観的に把握できる
- 今後の研修課題がわかる

事業所

- OJT等の社内教育の課題が明確になる
- 知識を踏まえた実践への展開が可能になる

都道府県庁・研修実施機関

- 研修向上委員会等への検討資料作成の事務負担が軽減
- 全国統一した水準と比較した自都道府県の水準の把握が可能
- 各課目の指導及び伝達のポイントが明確になる（平準化も可能）

日本介護支援専門員協会

- 介護支援専門員の知識レベルの把握が可能
- 介護支援専門員研修カリキュラムの課題が可視化できる

©Japan Care Manager Association
禁無断転載

試験を活用した研修修了評価システム概要

- 対象研修**
 - ◆ 専門研修課程Ⅰ
 - ◆ 専門研修課程Ⅱ
 - ◆ 更新研修（実務経験者） ※問題は専門研修課程Ⅱと同じです。
 - ◆ 主任介護支援専門員研修
 - ◆ 主任介護支援専門員更新研修
- 出題方法** 五肢択一方式（主任・主任更新は五肢択二もあり） / 解答はマークシート方式
- 試験時間** 50分（目安）
- 出題数** 50問（受講者は一律に50問すべてを解答）
 該当課程の各科目から均等に出題
 各研修3パターンずつ、問題（解答）を用意していますが、お選びいただくことはできません。
- 販売価格** 一部1,500円（税込・送料込）
 試験問題、解答用紙（マークシート）、個人成績表、正答率、全国平均点等の帳票類を含みます。
 試験終了後、試験問題も回収し、マークシートと一緒に返送していただきます。
 ご注文は研修実施機関、都道府県介護支援専門員協会（協議会）限定とし、個人への販売は行いません。
 地域医療介護総合確保基金の活用が可能（厚生労働省若健局振興課確認済）
- 企画・編集** 委員長：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長 遠藤英俊
 試験を活用した研修修了評価システム検討委員会

©Japan Care Manager Association
 無断転載

修了評価の状況

平成29年度介護支援専門員研修改善事業 報告書より

■問 44-1【問 44 で①-③を選択した方のみ】
 評価方法についてご回答ください（複数選択）

	n	①テスト	②レポート	③口頭試験	④受講者間の相互評価	⑤実技	⑥講義・フアンリクレーター等による評価	⑦研修記録シート	無回答
問 44-1 実務研修	43	30.2	7.0	0.0	4.7	0.0	25.6	79.1	0.0
問 34-1 専門研修課程Ⅰ	44	29.5	6.8	0.0	6.8	0.0	27.3	84.1	0.0
問 34-1 専門研修課程Ⅱ	49	25.5	6.1	0.0	4.1	0.0	20.4	81.6	0.0
問 30-1 再研修・更新研修	39	23.1	0.0	0.0	2.6	0.0	15.4	84.0	2.6
問 34-1 主任介護支援専門員研修	41	22.0	29.3	0.0	0.0	0.0	19.5	87.8	0.0
問 34-1 主任介護支援専門員更新研修	41	24.4	31.7	0.0	3.4	0.0	22.0	85.4	0.0

■問 44-2【問 44 で①「テスト」を選択した方のみ】
 テストの方法として採用するものをご回答ください（複数選択）

	n	①択一式テスト	②択一式テスト	③その他	無回答
問 44-2 実務研修	13	84.6	23.1	15.4	0.0
問 34-2 専門研修課程Ⅰ	13	84.6	23.1	7.7	0.0
問 34-2 専門研修課程Ⅱ	13	82.3	7.7	7.7	0.0
問 30-2 再研修・更新研修	9	88.9	44.4	11.1	0.0
問 34-2 主任介護支援専門員研修	9	77.8	22.2	0.0	11.1
問 34-2 主任介護支援専門員更新研修	10	80.0	60.0	10.0	0.0

※テストの方法は実施機関ごとに異なる

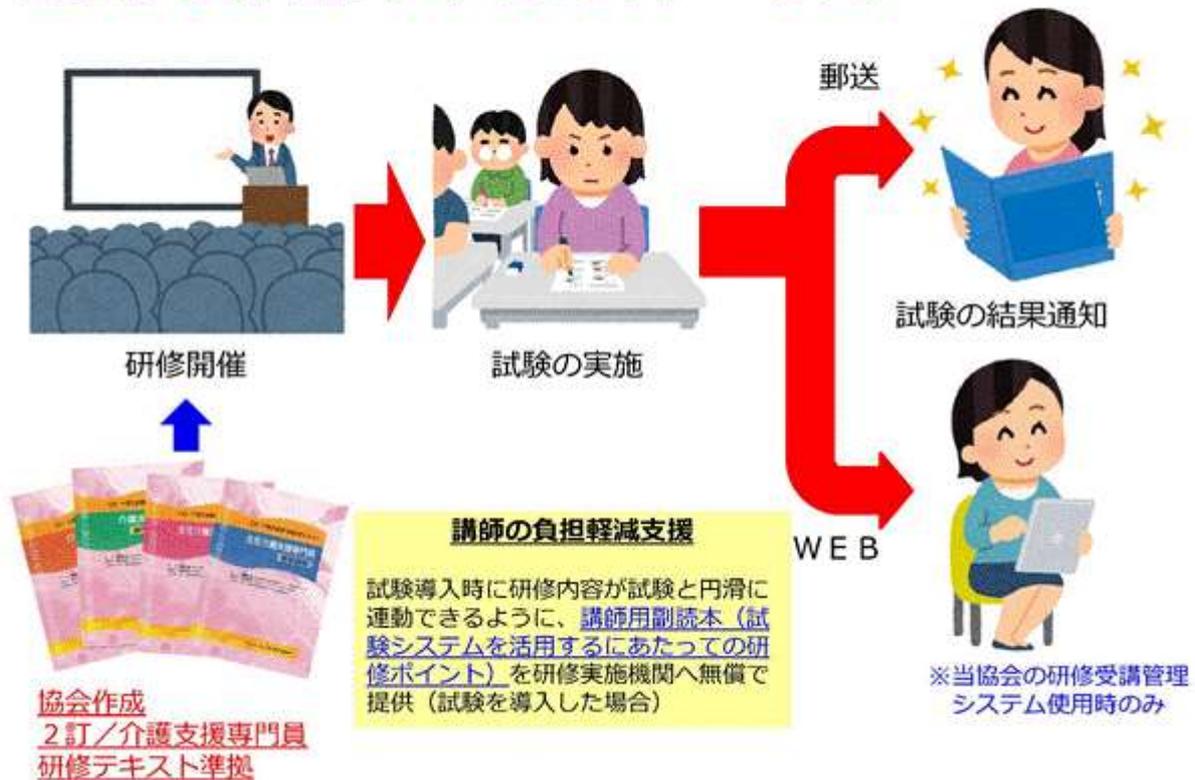
■問 46 研修記録シートを一部でも活用した場合、集計しましたか（1つ選択）

	n	①集計した	②集計していない	③活用しなかった	無回答
問 46 実務研修	45	37.5	45.8	10.4	6.3
問 36 専門研修課程Ⅰ	50	42.0	40.0	8.0	10.0
問 36 専門研修課程Ⅱ	52	42.3	46.2	5.8	5.8
問 32 再研修・更新研修	46	39.1	43.5	8.7	8.7
問 36 主任介護支援専門員研修	46	41.3	41.3	8.7	8.7
問 36 主任介護支援専門員更新研修	47	44.7	44.7	6.4	4.3

※およそ半数以上が「集計なし」「活用なし」の状況

©Japan Care Manager Association
 無断転載

研修修了評価システムのイメージ図



©Japan Care Manager Association
無断転載

実施機関の運用の流れ（その1）



©Japan Care Manager Association
無断転載

実施機関の運用の流れ（その2）



※試験作成及び採点は日本介護支援専門員協会試験センターが行いますので、研修実施機関は、試験を行うだけです。

©Japan Care Manager Association
無断転載

フィードバック（帳票類）：個人成績表（受講者向け試験単位）

試験を活用した研修終了評価システム

主任介護支援専門員更新研修

試験センター	パターンA
分館支援専門員登録No.	
実施日	
氏名	

SAMPLE

【個人成績表】

満点	得点	得点率	偏差値	順位
50	32	64.0%	49.3	

受験者数	平均点	最高点	最低点
16	32.4	39	19

← 同一会場の受験者の中での自分の位置がわかります。

【科目別集計】

科目	1	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7
平均点	6.7	4.9	4.7	4.6	3.0	3.1	1.8	3.5
正答率(全額)	83.9%	82.1%	78.6%	76.2%	50.0%	52.4%	29.8%	58.2%

← 受験者の中での自分の位置がわかります。

科目	科目名	配点・得点・正答率(%)・個人
1	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向	配点 6
		得点 6
		正答率(%)・個人 75.0
		配点 6
2-1	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	得点 6
		正答率(%)・個人 100.0
		配点 6
		得点 4
		正答率(%)・個人 66.7
		配点 6
2-2	看取り場における看護サービスの活用に関する事例	得点 6
		正答率(%)・個人 83.3
		配点 6
		得点 6
		正答率(%)・個人 100.0
		配点 6
2-3	認知症に関する事例	得点 6
		正答率(%)・個人 66.7
		配点 6
		得点 4
		正答率(%)・個人 66.7
		配点 6
2-4	介護従事者に対する研修の活用に関する事例	得点 6
		正答率(%)・個人 66.7
		配点 6
		得点 3
		正答率(%)・個人 50.0
		配点 6
2-6	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	得点 0
		正答率(%)・個人 0.0
		配点 6
		得点 4
		正答率(%)・個人 66.7

← 自分の苦手とする科目が分かり、学習課題や事業所教育の指標になります。

©Japan Care Manager Association
無断転載

フィードバック (帳票類) : 研修実施機関1 (コース別)

主任介護支援専門員更新研修

得点一覧・得点分布表

SAMPLE

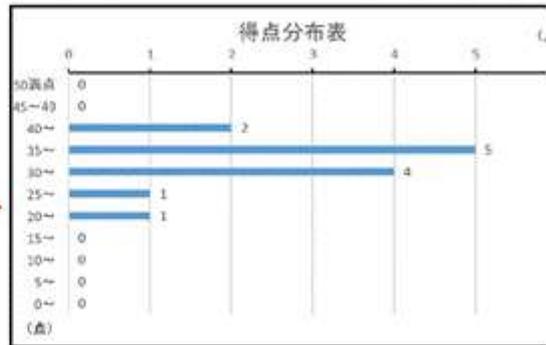
試験日	パターン	コース	受験者数
20YY年MM月DD日	パターンC	●●県	13

介護支援専門員登録番号	得点	順位
12345678	41	1
23456789	40	2
34567890	39	3
45678901	37	4
56789012	37	4
78901234	36	6
89012345	35	7
90123456	34	8
12345432	34	8

受講者の個人成績も一覧表として作成。

得点	人数	比率
50満点	0	0.0%
45~49	0	0.0%
40~	2	15.4%
35~	3	23.1%
30~	4	30.8%
25~	1	7.7%
20~	1	7.7%
15~	0	0.0%
10~	0	0.0%
5~	0	0.0%
0~	0	0.0%

得点分布も一目でわかるようにグラフ化も対応。



©Japan Care Manager Association
無断転載

フィードバック (帳票類) : 研修実施機関2 (コース別)

主任介護支援専門員更新研修 課程別・科目別の正答率

SAMPLE

試験日	パターン	コース	受験者数	正答率	平均点	最高点	最低点
20YY年MM月DD日	C	●●県		68.1%	34.2	41	24

都道府県内の同会場の問題の解答状況を表示。

【科目別】

科目	1	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7
正答率	72.1%	97.4%	74.4%	75.9%	65.4%	61.5%	64.1%	33.3%

どの科目が理解できていないか一目瞭然。

科目	科目名	問	1	2	3	4	5	6	7	8
1	介護保険制度及び施設特ケアシステムの動向	正答数	2	10	5	10	12	12	11	10
		(率)	15.4%	76.9%	38.5%	76.9%	92.3%	92.3%	84.6%	100.0%
2-1	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	正答数	13	13	12	13	13	12		
		(率)	100.0%	100.0%	92.3%	100.0%	100.0%	92.3%		
2-2	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	正答数	8	9	9	11	11	10		
		(率)	61.5%	69.2%	69.2%	84.6%	84.6%	76.9%		
2-3	認知症に関する事例	正答数	13	10	6	10	10	11		
		(率)	100.0%	76.9%	46.2%	76.9%	76.9%	84.6%		
2-4	入退院時等における医療との連携に関する事例	正答数	3	10	0	12	13	13		
		(率)	23.1%	76.9%	0.0%	92.3%	100.0%	100.0%		
2-5	家族への支援の視点が重要な事例	正答数	11	4	12	10	9	2		
		(率)	84.6%	30.8%	92.3%	76.9%	69.2%	15.4%		
2-6	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	正答数	8	7	11	7	8	9		
		(率)	61.5%	53.8%	84.6%	53.8%	61.5%	69.2%		

©Japan Care Manager Association
無断転載

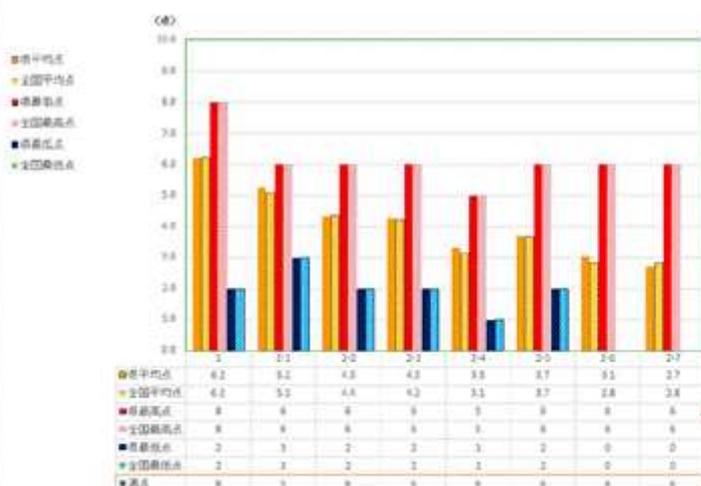
フィードバック (帳票類) : 研修実施機関 3 (年度末)

SAMPLE

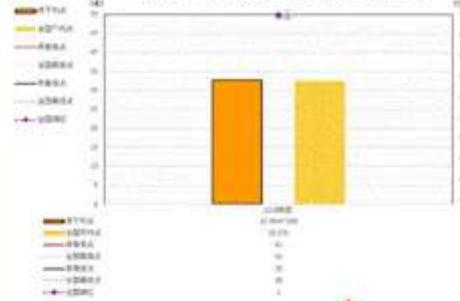
実施機関コース別(平均点・最高点・最低点)

コース	実施日	科目全体	科目								
			1	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	
●●県	20YY年MM月DD日	平均点	32.8	6.2	5.2	4.3	4.3	3.3	3.7	3.1	2.7
		最高点	41	8	6	6	6	5	6	6	6
		最低点	19	2	3	2	2	1	2	0	0

全国各県(平均点・最高点・最低点) 2019年3月31日現在



過去5年間の 全国各県(平均点・最高点・最低点)の推移



自都道府県と全国との平均点等も科目別に可視化。

過去5年間の比較も今後は可能に。

©Japan Care Manager Association 無断転載

試験結果活用方法の例



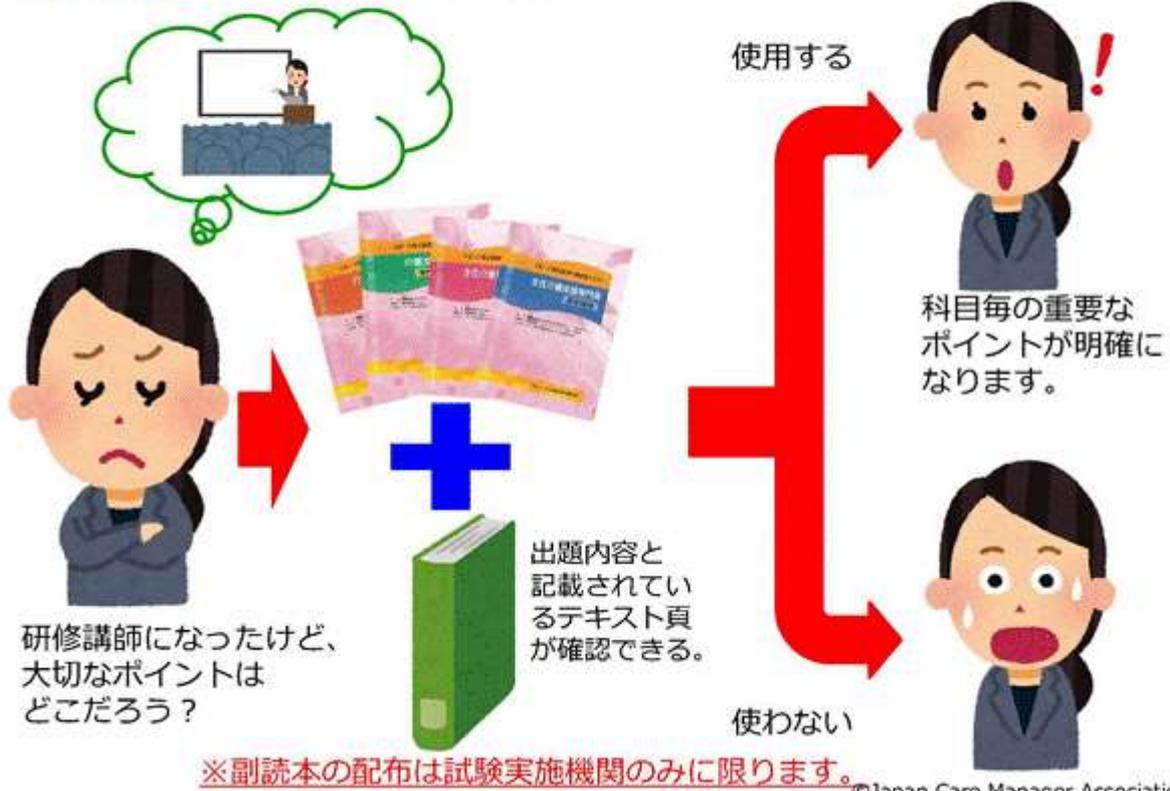
客観的なデータのため個人の主観に左右されことなく分析が可能です。

試験結果 (客観的な研修成果のデータ)



©Japan Care Manager Association 無断転載

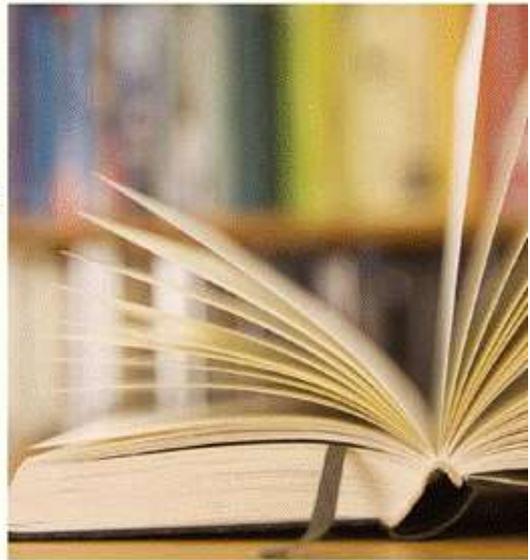
講師用副読本無料配布 (試験システムを活用するにあたっての研修ポイント)



平成30年度介護支援専門員研修改善に係る調査等事業

全国介護支援専門員 研修向上会議

グループディスカッション 2日目



※無断転載

グループディスカッション B

- 昨日、検討を行った4つのテーマについての
取り組み状況を踏まえて、各都道府県で抱えている
具体的な課題について書き出してください。（ワークシート2）
- また、その課題を解決するために実施すべきことについても
書き出してみましょう。



禁無断転載

グループディスカッション B

ワークシート2の記入例

ワークシート2_各都道府県が抱える研修の課題 (都道府県名：)	Sheet: No.2
テーマ① 研修記録シートの活用	
具体的な課題の内容 例) マンパワー不足のために集計を行うことが出来ておらず、データとしての分析・活用を行えていない。また、集計を行ったとしても具体的にどのように分析・活用すべきか分からない点も課題と考えている。	
課題解決に向けて実施すべきこと 例) ・効率的に集計を行う方法やツール類の検討・開発。 ・分析・活用に関する他都道府県の取り組み事例の収集。	

禁無断転載

グループディスカッション B

- 各都道府県が抱えている具体的な課題と課題解決に向けて実施すべきことについて、ワークシート2に記入した内容に基づいて、グループ内で共有と意見交換を行ってください。



禁無断転載

グループディスカッション B お疲れ様でした。

- グループディスカッション C は、グループ構成を変えて実施します。
- グループを B パターンに移動します。
(都道府県、研修実施機関の集まり)
- 記入を行ったワークシートを持って移動してください。



禁無断転載

グループディスカッション C

- グループディスカッション A・B で話しあった内容について、グループ内で共有と意見交換を行いましょう。
(4テーマに関する取り組み状況、課題認識、対応策など)
- 意見交換で得られた自都道府県の課題解決の参考になる「他の都道府県・研修実施機関の取り組み」について、ワークシート3に記入しましょう。(ワークシート3)



禁無断転載

グループディスカッション C

ワークシート3の記入例

ワークシート3_他の都道府県の取り組み状況	Sheet : No.3
(都道府県名：)	
テーマ① 研修記録シートの活用	
自都道府県の課題解決の参考になると感じた「他の都道府県・研修実施機関の取り組み」	
例) ○○県の研修実施機関ではマークシート形式の記録シートを独自に作成しており、集計にかかる負担を大幅に削減しているらしい。自県も同様の取り組みを行うことができるのではないかと考えた。	
例) △△県が研修記録シートの内容をデータベース化することを検討している一方で、××県では研独自様式の研修記録シートを作成して、研修を実施しているらしい。	

禁無断転載

グループディスカッションCお疲れ様でした。

- グループディスカッションDは、
グループ構成を戻して実施します。
- グループをAパターンに移動します。
(さきほどのグループ)
- 記入を行ったワークシートを持って
移動してください。



禁無断転載

休 憩 (10分)



禁無断転載

グループディスカッション D

- 今までの話し合いの内容をふまえて、
自都道府県の今後の研修の取り組み方について、
都道府県、研修実施機関それぞれの立場での
アクションプランを考えてみましょう。（ワークシート4）
- 検討時には、グループディスカッションCで整理した
他の都道府県・研修実施機関の取り組み事例も
参考にしましょう。



グループディスカッション D

- 作成したアクションプランの内容について、
グループ内で共有と意見交換を行いましょう。
- 都道府県の意見をまとめたものを、
A3サイズのシートに転記してください。



2日目のグループディスカッションお疲れ様でした。

今後、研修受講者、研修実施機関、都道府県、国のPDCAサイクルが適切に機能し、介護支援専門員の全体的な質が向上できるよう、頑張っていきましょう。

禁無断転載

ワークシート1_各都道府県の取り組み状況の整理

Sheet : No.1

(都道府県名：)

テーマ① 研修記録シートの活用			
①-1：研修記録シートを 使用 していますか。			
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
①-2：研修記録シートの 集計 を行っていますか。			
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
①-3：研修記録シートの内容を 分析・活用 していますか。			
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
テーマ② 講師・ファシリテーターの養成・評価			
②-1：講師・ファシリテーターの 養成 を行っていますか。			
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
②-2：講師・ファシリテーターの 評価 を行っていますか。			
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
テーマ③ 副教材の活用			
③-1：副教材の質の担保に向けた取り組みや共通副教材の開発・活用を行っていますか。			
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			
テーマ④ 都道府県独自の課題（アクションプランの振り返り）			
④-1：昨年度設定した「課題」、「課題解決にむけて実施すべきこと」についての取り組みを行っていますか。			
該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> 不十分だができている	<input type="checkbox"/> できていない
具体的な取り組みの状況を記載			

テーマ① 研修記録シートの活用
具体的な課題の内容
課題解決に向けて実施すべきこと
テーマ② 講師・ファシリテーターの養成・評価
具体的な課題の内容
課題解決に向けて実施すべきこと
テーマ③ 副教材の活用
具体的な課題の内容
課題解決に向けて実施すべきこと
テーマ④ 都道府県独自の課題
具体的な課題の内容
課題解決に向けて実施すべきこと

(都道府県名：)

テーマ① 研修記録シートの活用

自都道府県の課題解決の参考になると感じた「他の都道府県・研修実施機関の取り組み」

テーマ② 講師・ファシリテーターの養成・評価

自都道府県の課題解決の参考になると感じた「他の都道府県・研修実施機関の取り組み」

テーマ③ 副教材の活用

自都道府県の課題解決の参考になると感じた「他の都道府県・研修実施機関の取り組み」

テーマ④ 都道府県独自の課題

自都道府県の課題解決の参考になると感じた「他の都道府県・研修実施機関の取り組み」

ワークシート4_アクションプラン（これからの取り組み）Sheet : No.4
（都道府県名： ）

①課題のまとめ

②課題解決に向けて実施すべきこと

③課題解決する上で必要な情報（ほしい情報）

参考資料6_参考資料一覧

【都道府県】

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
2-1	青森県	保険福祉部 高齢福祉保険課	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修 次第
4-1	宮城県	保健福祉部 長寿社会政策課	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修 開催要領
4-1	宮城県	保健福祉部 長寿社会政策課	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修 日程表
6-1	山形県	健康福祉部 長寿社会政策課	平成30年度山形県介護支援専門員実務研修における習受入れに関する説明会の開催について（通知）
6-1	山形県	健康福祉部 長寿社会政策課	平成30年度山形県介護支援専門員実務研修における実習受入れに関する説明会 次第
10-1	群馬県	健康福祉部 介護高齢課	平成30年度介護支援専門員実務研修に係る実習指導者研修会 開催要項・出欠報告書
11-1	埼玉県	福祉部 高齢者福祉課	[介護支援専門員レベルアップ研修/主任介護支援専門員レベルアップ研修] 研修詳細
12-1	千葉県	健康福祉部 高齢者福祉課	平成30年度千葉県介護支援専門員実務研修実習指導者研修会 資料
14-1	神奈川県	福祉子どもみらい局福祉部 地域福祉課	神奈川県介護支援専門員更新研修実施機関指定基準
14-1	神奈川県	福祉子どもみらい局福祉部 地域福祉課	神奈川県介護支援専門員再研修事業 実施要領(全文)
14-1	神奈川県	福祉子どもみらい局福祉部 地域福祉課	神奈川県介護支援専門員専門研修事業指定基準
14-1	神奈川県	福祉子どもみらい局福祉部 地域福祉課	神奈川県主任介護支援専門員研修事業 実施要領(全文)
14-1	神奈川県	福祉子どもみらい局福祉部 地域福祉課	神奈川県主任介護支援専門員更新研修事業 実施要領
16-1	富山県	厚生部 高齢福祉課	平成30年度介護支援専門員実務研修実習受入れ説明会の開催について(案内)・出席者確認票
17-1	石川県	健康福祉部 長寿社会課	石川県「介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント実務者研修」実施要綱
17-1	石川県	健康福祉部 長寿社会課	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修会及び課題整理総括表実践講座 実施要領
17-1	石川県	健康福祉部 長寿社会課	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修会及び課題整理総括表実践講座の開催について
22-1	静岡県	健康福祉部 介護保険課	平成30年度静岡県介護支援専門員実務研修見学実習受入協力事業所説明会 実習準備から実施方法、諸注意等について
22-1	静岡県	健康福祉部 介護保険課	平成30年度介護支援専門員実務研修 実習の概要
22-1	静岡県	健康福祉部 介護保険課	平成30年度静岡県介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所管理者・指導者説明会の開催について・出欠票

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
22-1	静岡県	健康福祉部 介護保険課	平成30年度静岡県介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所管理者・指導者説明会 次第
23-1	愛知県	健康福祉部 高齢福祉課	第20回愛知県介護支援専門員協会実習受入協力事業者説明会
24-1	三重県	医療保健部 長寿介護課	平成30年度三重県介護支援専門員実務研修会現場実習にかかる受入事業所説明会の開催について
24-1	三重県	医療保健部 長寿介護課	平成30年度三重県介護支援専門員実務研修会にかかる現場実習について
24-1	三重県	医療保健部 長寿介護課	平成29年度介護支援専門員実務研修受入事業所説明会 資料
24-1	三重県	医療保健部 長寿介護課	三重県介護支援専門員実務研修報告書兼評価表
25-1	滋賀県	健康医療福祉部 医療福祉推進課	平成30年度介護支援専門員実務研修にかかる実習受入れ説明会の開催について
25-1	滋賀県	健康医療福祉部 医療福祉推進課	介護支援専門員実務研修にかかる実習受入れ説明会 次第
27-1	大阪府	介護支援課	平成29年度 大阪府介護支援専門員資質向上研修 「自立支援型地域ケア会議を通じて考えるケアマネジメントと地域課題の抽出について」開催のご案内 「地域アセスメントと社会資源開発の検討を通じて考える住民主体の地域づくり」開催のご案内
33-1	岡山県	保健福祉部 長寿社会課	平成30年度岡山県介護支援専門員実務研修見学実習指導者研修
33-1	岡山県	保健福祉部 長寿社会課	岡山県介護支援専門員実務研修実習実施要綱
34-1	広島県	健康福祉局 医療介護計画課	平成30年度実務研修実習指導者養成研修
35-1	山口県	健康福祉部 長寿社会課	平成30年度山口県介護支援専門員実務研修の実習概要
37-1	香川県	健康福祉部 長寿社会対策課	平成30年度香川県介護支援専門員実務研修実習指導者等研修会について・次第
37-1	香川県	健康福祉部 長寿社会対策課	平成29年度主任介護支援専門員に関する研修会
38-1	愛媛県	保健福祉部 長寿介護課	平成29年度愛媛県介護支援専門員地域リーダー養成等研修 実施概要
39-1	高知県	地域福祉部 高齢者福祉課	平成29年度介護予防支援従事者研修 日程表
39-1	高知県	地域福祉部 高齢者福祉課	平成29年度高知県主任介護支援専門員資質向上研修事業における圏域ごとのアクションプラン検討会について(案内)・参加者名簿
39-1	高知県	地域福祉部 高齢者福祉課	H29年度高知県主任介護支援専門員資質向上研修事業～地域支援ケアマネジャー養成研修～
40-1	福岡県	高齢者地域包括ケア推進課	介護支援専門員実務研修実習実施要領

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
40-1	福岡県	高齢者地域包括ケア推進課	平成29年度福岡県介護支援専門員実務研修研修実習について(事業所向け説明資料)
45-1	宮崎県	福祉保健部 長寿介護課	法定外研修の実施概要
46-1	鹿児島県	くらし保険福祉部 高齢者生き生き推進課	実務研修における実習指導者研修会(鹿児島会場)の開催について(依頼)
46-1	鹿児島県	くらし保険福祉部 高齢者生き生き推進課	鹿児島県介護支援専門員等指導者選定要項
47-1	沖縄県	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課	「平成30年度沖縄県介護支援専門員実務研修実習指導者等説明会」の開催について・開催要項
47-1	沖縄県	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課	「平成30年度沖縄県介護支援専門員実務研修実習指導者等説明会」プログラム
47-1	沖縄県	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課	沖縄県介護支援専門員法定研修における講師要件について
47-1	沖縄県	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課	「平成30年度沖縄県主任介護支援専門員フォローアップ研修」の開催について・開催要項
47-1	沖縄県	子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課	「平成30年度沖縄県主任介護支援専門員フォローアップ研修」研修プログラム

【研修向上委員会】

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
3-1	岩手県	保健福祉部長寿社会課	岩手県介護支援専門員研修 研修向上委員会 設置要領
4-1	宮城県	長寿社会政策課	宮城県介護支援専門員支援会議開催要領
5-2	秋田県	社会福祉法人秋田県社会福祉協議会	秋田県介護支援専門員研修委員会設置要綱
6-1	山形県	健康福祉部長寿社会政策課	平成 29年度 山形県 介護支援専門員研修向上会議 実
8-4	茨城県	茨城県ケアマネジャー協会	平成29年度茨城県介護支援専門員研修向上委員会 議事録(一部抜粋)
11-1	埼玉県	高齢者福祉課	埼玉県介護支援専門員研修向上委員会設置要綱
12-1	千葉県	高齢者福祉課	千葉県介護支援専門員研修向上委員会設置要綱
13-1	東京都	福祉保健局高齢社会対策部介護保険課	東京都介護支援専門員研修向上委員会設置要綱
20-2	長野県	長野県社会福祉協議会	長野県介護支援専門員研修委員会設置要綱
22-1	静岡県	静岡県介護保険課	静岡県介護支援専門員研修向上委員会設置要綱
23-1	愛知県	健康福祉部高齢福祉課	愛知県介護支援専門員支援会議設置要綱
25-1	滋賀県	医療福祉推進課	滋賀県介護支援専門員研修向上検討会議要綱
31-2	鳥取県	鳥取県社会福祉協議会	平成29年度 介護支援専門員支援研修会「ファンリテーター養成研修」開催要項
31-2	鳥取県	鳥取県社会福祉協議会	鳥取県介護支援専門員支援会議設置要項
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	平成30 年度専門研修課程Ⅰ 研修評価・受講者評価シート
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	平成30 年度専門研修課程Ⅱ 研修評価・受講者評価シート
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	平成29年度 研修・会議実施事業 実施概要
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	広島県介護支援専門員研修向上委員会設置要綱
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	広島県介護支援専門員研修向上委員会運営要領
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	広島県介護支援専門員研修向上委員会ワーキンググループ運営要領

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
37-1	香川県	長寿社会対策課	香川県介護支援専門員資質向上検討委員会設置要綱
38-1	愛媛県	愛媛県保健福祉部長寿介護課	愛媛県介護支援専門員研修向上委員会設置要綱
39-1	高知県	高齢者福祉課	高知県介護支援専門員研修等向上委員会設置要領
47-2	沖縄県	一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会	「平成29年度沖縄県多職種連携ケアマネジメント研修」の開催について
47-2	沖縄県	一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会	平成30年度 沖縄県介護支援専門員資質向上事業における研修「講師・ファシリテーター振り返りシート」
47-2	沖縄県	一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会	「平成29年度沖縄県主任介護支援専門員ファシリテーター養成研修」の開催について
47-2	沖縄県	一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会	「平成29年度沖縄県主任介護支援専門員フォローアップ研修」の開催について

【研修実施機関】

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	平成30年度 北海道主任介護支援専門員研修「個別事例」様式
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	平成30年度 北海道主任介護支援専門員研修 募集要領
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	平成30年度 北海道主任介護支援専門員更新研修
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	平成30年度 北海道 主任介護支援専門員更新研修 募集要領
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	平成30年度 介護支援専門員更新研修(実務経験者)[前期]・専門研修 I 指導者の手引き
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	[専門1 & 更新前期] VII. 受講にあたっての注意事項
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	専門研修Ⅱ・更新研修(実務経験者)[後期]「自己事例」作成と提出について(全員必須)
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	[専門2 & 更新後期] 指導者の手引き
1-2	北海道	一般社団法人北海道総合研究調査会	[専門2 & 更新後期] VII. 受講にあたっての注意事項
2-2	青森県	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	介護支援専門員更新・再研修にかかる修了条件等について (内規扱い)
2-2	青森県	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	修了評価テスト
3-2	岩手県	公益財団法人いきいき岩手支援財団	平成30年度岩手県主任介護支援専門員更新研修 実施要項
3-2	岩手県	公益財団法人いきいき岩手支援財団	介護支援専門員研修にかかる欠席・遅刻・早退等の取り扱いについて
8-4	茨城県	茨城県ケアマネジャー協会	平成30年度 茨城県主任介護支援専門員 更新研修の実施について
9-2	栃木県	社会福祉法人とちぎ健康福祉協会	平成30年度栃木県主任介護支援専門員更新研修実施要領
11-4	埼玉県	一般社団法人埼玉県介護支援専門員協会	「科目:リスクマネジメント講義資料」サービス展開における リスクマネジメント
11-4	埼玉県	一般社団法人埼玉県介護支援専門員協会	平成30年度主任介護支援専門員研修実施要領
12-2	千葉県	社会福祉法人千葉県社会福祉協議会	平成30年度(第2回)千葉県介護支援専門員 更新研修(実務未経験者対象)受講の手引き ※一部抜粋・再研修と同内容
12-2	千葉県	社会福祉法人千葉県社会福祉協議会	平成30年度千葉県介護支援専門員 実務研修受講の手引き ※一部抜粋
12-3	千葉県	特定非営利活動法人千葉県介護支援専門員協議会	平成 30 年度 千葉県 主任介護支援専門員研修 開催案内

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
12-3	千葉県	特定非営利活動法人千葉県介護支援専門員協議会	平成30年度千葉県主任介護支援専門員更新研修第2期開催案内
12-3	千葉県	特定非営利活動法人千葉県介護支援専門員協議会	平成30年度千葉県主任介護支援専門員更新研修第2期受講要件(個別要件)の具体的な内容
12-3	千葉県	特定非営利活動法人千葉県介護支援専門員協議会	平成30年度千葉県主任介護支援専門員更新研修(第2期)二次選考に向けての書類作成と提出の仕方
12-3	千葉県	特定非営利活動法人千葉県介護支援専門員協議会	平成30年度千葉県主任介護支援専門員研修 二次選考に向けての書類作成と提出の仕方
12-3	千葉県	特定非営利活動法人千葉県介護支援専門員協議会	平成30年度千葉県介護支援専門員研修事業 専門研修課程Ⅱ・更新研修後期【第2期】-受講の手引き-
13-3	東京都	公益財団法人東京都福祉保健財団	7 遅刻・早退・途中退席・欠席の扱い
13-3	東京都	公益財団法人東京都福祉保健財団	東京都介護支援専門員実務研修テスト(①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント)
14-4	神奈川県	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・実務経験者向け更新研修(専門研修課程Ⅱと同内容)「事例提出」について
14-8	神奈川県	特定非営利活動法人かまくら地域介護支援機構	平成30年度修了評価実施方法について
14-8	神奈川県	特定非営利活動法人かまくら地域介護支援機構	介護支援専門員専門(更新)研修課程実施スケジュール(例)
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	石川県介護支援専門員法定研修における欠席者等の取扱い要領
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	[欠席者等取扱い要領](別紙1)フローチャート/(別紙2)再受講申出書/(別紙3)レポート提出書
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	平成30年度主任介護支援専門員研修開催要綱
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	平成30年度主任介護支援専門員研修「個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開」事例シートの提出について
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	【平成30年度主任介護支援専門員研修『個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開』】
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	受講要件/事例提出/講師実績証明書/修了証(研修受講証明書)/申込書(用紙)
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	平成30年度石川県主任介護支援専門員更新研修事例の提出について
17-2	石川県	社会福祉法人石川県社会福祉協議会	平成30年度石川県介護支援専門員更新研修(専門研修課程Ⅱ)事例の提出について
19-3	山梨県	一般社団法人山梨県介護支援専門員協会	平成30年度山梨県主任介護支援専門員研修 事例の作成について
19-3	山梨県	一般社団法人山梨県介護支援専門員協会	平成30年度山梨県主任介護支援専門員更新研修 事例の作成について

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
19-3	山梨県	一般社団法人山梨県介護支援専門員協会	平成30年度山梨県主任介護支援専門員研修実施要領
19-3	山梨県	一般社団法人山梨県介護支援専門員協会	主任介護支援専門員更新研修 講義・演習の展開
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	平成30年度主任介護支援専門員更新研修 講義・演習の流れ
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	1 受講に当たっての注意事項
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	1 受講に当たっての注意事項
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	平成30年度主任介護支援専門員研修 事前提出事例について
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	平成30年度主任介護支援専門員更新研修 事前提出事例について
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	30「ケアマネジメントに必要な医療の連携及び多職種協働の実現」スケジュール
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	第9章 個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開
22-1	静岡県	静岡県健康福祉部介護保険課	「対人援助者監督指導(1日目～3日目)」スケジュール
23-4	愛知県	一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	別紙④愛知県主任介護支援専門員更新研修受講要
23-4	愛知県	一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	別紙②平成30年度主任介護支援専門員更新研修の事例提出について
23-4	愛知県	一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	平成30年度一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成30年度三重県介護支援専門員再研修開催案内
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成30年度 三重県介護支援専門員実務研修会 開催要綱
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成30年度 三重県主任介護支援専門員研修 開催案内
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成30年度 三重県主任介護支援専門員更新研修会 受講案内
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成30年度介護支援専門員資質向上研修(専門研修課程Ⅰ)開催要綱
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成30年度 三重県介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ(実務経験者更新研修) 開催要綱
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	三重県主任介護支援専門員更新研修に係る事例提出にあたっての注意事項

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	[三重県主任介護支援専門員研修] 事前課題の提出について「個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開」
24-2	三重県	社会福祉法人三重県社会福祉協議会	[三重県主任介護支援専門員研修] 事前課題の提出について「対人援助者監督指導」
25-3	滋賀県	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	[法定研修] 別表1 受講要件(受講資格番号①～⑥に係る詳細)
25-3	滋賀県	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	[認知症に関する事例の演習] 進行表/個人用 記録シート(3. 認知症)/グループ用 記録シート(3. 認知症)
25-3	滋賀県	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	主任更新研修の遅刻・欠席・早退の取り扱いについて
25-3	滋賀県	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	指導事例の提出について
26-2	京都府	社会福祉法人 京都府社会福祉協議会・京都府福祉人材・研修センター	欠席・遅刻対応マニュアル
28-2	兵庫県	兵庫県社会福祉協議会	平成30年度 介護支援専門員更新研修B・再研修シラバス
28-2	兵庫県	兵庫県社会福祉協議会	第20回介護支援専門員実務研修シラバス
28-2	兵庫県	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県介護支援専門員研修 修了認定基準要領
28-2	兵庫県	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県 介護支援専門員研修 修了 評価 事務取扱
28-2	兵庫県	兵庫県社会福祉協議会	介護支援専門員研修 課程 I・更新研修A(前期)シラバス
28-2	兵庫県	兵庫県社会福祉協議会	平成30年度 介護支援専門員研修 課程 II・更新研修A(後期)シラバス
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	課題整理総括表
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	事例まとめシート・自己事例用
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	事例まとめシート
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	事例シート(表紙)
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	事例まとめシート
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	利用者基本情報(表面)/利用者基本情報(裏面)
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	課題整理総括表

No.	都道府県名	回答機関名	資料名
29-3	奈良県	NPO法人奈良県介護支援専門員協会	平成30年度主任研修事例提供チェックリスト
30-2	和歌山県	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会	介護支援専門員実務研修 修了試験 解答用紙
30-2	和歌山県	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会	介護支援専門員実務研修 修了試験 問題用紙
30-3	和歌山県	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修(未経験者)・再研修 修了試験 問題用紙
30-3	和歌山県	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修(未経験者) 修了試験 解答用紙
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	広島県介護支援専門員法定研修 遅刻者・欠席者の取扱いについて
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	様式: 演習用事例(表紙)
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	平成30年度広島県主任介護支援専門員更新研修 事例作成要領
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	平成30年度広島県介護支援専門員更新・専門研修課程Ⅰ 事例作成要領
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	平成30年度広島県介護支援専門員更新・専門研修課程Ⅱ 事例作成要領
34-3	広島県	一般社団法人広島県介護支援専門員協会	2018年度広島県主任介護支援専門員更新研修「主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践」
36-2	徳島県	徳島県社会福祉協議会	(別紙1)介護支援専門員 関連研修の欠席者・遅刻者の取り扱いについて
42-2	長崎県	特定非営利活動法人長崎県介護支援専門員連絡協議会	[専門2] 提出課題について
42-2	長崎県	特定非営利活動法人長崎県介護支援専門員連絡協議会	[主任更新] 提出課題について
44-4	大分県	特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会	平成 30 年大分県 主任介護支援専門員更新研修受講要件
47-2	沖縄県	一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会	法定研修 修了評価テスト 修了評価テストーテスト 実施 の流れ、進め方、レポート提出 ー
47-2	沖縄県	一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会	沖縄県介護支援専門員法定研修における講師要件について

※本報告書は、平成 30 年度介護支援専門員研修改善事業(厚生労働省委託事業)として、株式会社日本総合研究所が厚生労働省から業務委託を受けて作成したものである。

平成 30 年度介護支援専門員研修改善に係る調査等一式
報告書
平成 31 年 3 月

株式会社日本総合研究所

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-18-1 大崎フォレストビルディング
TEL: 03-6833-6796 FAX:03-6833-9480